カトリック
深堀司教認可
発行所　福岡市浄水通
福岡司教館
発行兼編集人　深堀敬
定価　一部十円

新年のことば

新らしい年のはじめにあたり、私どもはそれぞれかたい決心をうちに秘め、新鮮な気持でスタートしようとしております。過ぎさった一年は、ある人々には楽しい思い出にみちたものであったでしょうし、また他の人にはきびしい試練の連続であったか知れません。いずれにせよ、私どもは期待と不安のまじった心をもって新らしい時の流にふみいろうとしております。

新年のよろこびを祝うにつけても、私どもは暖かいよろこびの日々が皆と一緒に、楽しい日を迎えることができますよう、更にこの世の楽しみだけでなく、永遠のよろこびをも共にすることができますよう祈りと愛を、すべてのお恵みの源なる天主様に捧げつつ、新らしいこの年を隣人愛にみちた聖なる一年とするよう努めたいものであります

年の始めにあたり、福岡、宮崎両教区の信者御一同の上に、また本誌を通じてキリストの愛につながる方々の上に、天主様の御祝福をお贈りいたします。

昭和三十五年一月元旦　福岡司教 宮崎教区長　ドミニコ　深堀仙右衛門

聖時間に全免償

教皇庁の内赦院は聖時間を行なう人に全免償を授けることを布告した。

いずれかの聖堂、または公けの礼拝堂または私的礼拝堂において信心をこめて私的に、一般に「聖時間」と呼ばれる敬虔な信心業を完全に一時間行ない、主イエズス・キリストの御苦難と御死去を黙想し、かつ聖主が聖体を制定し給うたいとも大いなる主の愛を黙想し尊崇する信者に対して、かれらが告解にゆき、聖体を拝領し、教皇の意向に従って祈ることを条件として、全免償が与えられる。

司祭異動

福岡邦人地区
大名町教会助任　平山　高明師
留学　岩村　清太師
任大名町教会助任
ミラノ外宣地区
ミラノ会本部　サルデイ師
任伊万里教会主任
伊万里教会主任　ルッチ師
任鹿島教会主任
コロンバン外宣地区
平塚教会主任（横浜教区）　ドヴァイン師
任人吉教会助任

カルメル修道院

福岡市神松園の女子跣足カルメル会では修道女召命の増加にともない分院設立の要にせまられていたが、この程京都市北区大北山鐘石町に新修道院を建築、十二月中旬古屋司教によって祝別式が行なわれた。福岡修道院から十名がこの新分院に移った。

お礼

福岡地区布教委員会におきましては、昨年にひきつづき十二月一日より十五日まで「クリスマスたすけ合い運動街頭募金」を実行いたしましたところ、神父様方ならびに信者皆さんの絶大な御協力をいただき、昨年の募金額を越え十九万七千五百六拾六円に達しました。

年末ご多忙のさなか、寒さをおして街頭に立たれた多くの方々に厚くお礼申し上げると共に、運動に協力され、募金に応ぜられた方に感謝申し上げます。

紙上失礼ながらお礼まで

昭和三十四年十二月

福岡地区布教委員会

救主の御降誕と
一九六〇年の新年を
謹んでお祝い申し上げます

世の光

年頭に立つて

毎年のことながら「謹賀新年」とか「明けましておめでとうございます」とか新年に対するほのぼのとした心情が秘められているのであるが、新年に対するほのぼのとたれると同時に、厳粛な感の迫り来るのを覚える。

『我は始めなり終りなり』（黙示録一ノ十七）万物の存在の原因主宰者、且辿り着くべき最終目的であるとの黙示録の聖句を強く嚙みしめる次第で、物質的成功よりも神の意志に適った生活の有方を一層想うのである。

悪魔はエデンの園に於けると同様「死にはしない」と確言し清き生活は老年のことであり、死に近づいた人のことであるとの欺瞞をもってするが、この甘云に安らうことなく、一日一日が死に近づくこと、死の日時は唯々神の御心にのみ秘められていることを思いいよいよ真面目に生きるべく神の力と祝福を祈りこの丘の前方に進み度いものである。

ところが人は云うであろう『キリスト者の生活は現実ばなれのした、活力のない、何日も旧時代のものとして取残されている。』と。しかし、キリスト者こそが、最も現実に対して物の価値を見極めて現実に生きている者である。

成程教会は華やかな政治活動を指導し、大衆をあっと云わせる事はないであろう。しかし、キリスト者は教会の教える真理に依って生活しているならば、最も完全な人間として、賢者として、謂所現代人を含めた総ての人々の先を歩いているのだとゆうことを忘れてはならない。

終戦後十余年、世界は目まぐるしい変化を来した。敗戦を悲しみ嘆いた者の多くは、今や目を開いてキリスト者と共に喜ぶようになったではないか。奴隷解放や女性解放の如き人道主義が教会によって主張され始めた時、凡そ当該国は国制を侮る思想として弾圧したではないか。わが国は神国にして云々の思想や、一五八七年の禁教会の前夜『牛肉を食するは非道である』とつきつけた秀吉の詰問が現代人になされたとすれば、おかしな事であるが、やはり当時の人々にとっては真面目な事柄であった。現代の尖端を生きる人達が、新時代に生きる者に適応した合理的道徳を創造しようとやつきになっている事を誰知らぬ者はない。

彼等は、今迄の道徳は、総て上から頂載したもので、云わば小児型のものであるから、自主的な、大人型の道徳を造らねばならないと云う。然し彼等は道徳の何たるかさえ知らず、道徳を生きる人間そのもの、また人間生活の根定にある「自由」の何たるかさえ知らない。いわんや「人生の意義も知らない。これらのものを勝手に定義し、ぬけ道だらけの、耳に心地良い名文としての道徳が出来るに相違ない。悪事と雖も、その集積をもって、人間の本性より出た正しい当然の行為とみなして、それまでの正しい習慣や掟まで時項に帰してしまうからである。そしてその背後に無神論的な性説や自然至上主義思想があって、このような誤った基礎に建てられた道徳が、完全を求める人間の本性的要求を満たし得ないことは当然である。しかし幾多の失敗を重ね、棄捨を操返しながら徐々に永遠の真理の教の方に近づいていることは事実である。先に一寸述べたように迷信あるいは背国思想として弾圧された教の部分が今日は当然の真理として受け入れられているからである。

おくれ走しながら全人類が全面的に教会の教を認める時が到来するであろう。教会は信者と共に地味ではあっても世界を改革し最高賢者の智慧としての教を高くかざし、万民を輝らす燈台として万民の辿り着くべき港を輝らし出しているのである。国の指導者達はその光によって各国民を安全に港まで運ばねばならない。

単なる人間的努力によって真理の道を発見することが、どれ程困難で遠路を経なければならないかしかも天啓を受け入れる者には如何にその道が明白で、容易に実行出来るものであるかをいいたいのである。其故にこそ、キリスト者の生活と未信者の生活は少くとも何千年かの距があり、キリスト者は何千年か先を意義深く歩いていることをいいたいのである。

年頭に当ってキリスト者の信仰生活に対する確信を促したかったのである。（牧山重光）

永久聖体礼拝（一月）

第一日曜　サンモール会
第二日曜　大名町教会
第三日曜　門司教会
宮崎カリタス会
第四日曜　大牟田教会
第五日曜　宮崎教会

祈禱の使徒会　一月

〔一般意向〕　キリストの愛における教会の一致
〔布教意向〕　離教会の復帰
〔日本布教委員会の意向〕　日本のプロテスタントの人々がカトリック教会の真の姿を知るに至るように。

昭和卅五年度福岡小神学院

生徒募集

一、入学及び編入の願書受付
高校の部　一月十日より
中学の部　二月一日より
一、選考
主任司祭推薦状と出身学校長の報告書による。
志願者及び問合せは左記宛御連絡下さい。
福岡市浄水通三八
福岡小神学院
川口康頼神父

一月

一日（金）　わが主イエズスのご割礼の祝日　元旦
新らしい年をイエズスの聖心に献げ、そのお望みのままに聖なる一年を過すことができるようそのお導きを祈ろう。

三日（日）　イエズスのみ名の祝日
イエズスの御名が賛美され、広く知られ、その御業が認められ、ふさわしい礼拝が捧げられることを望む。

五日（火）　教区司祭月例集会の日

六日（水）　わが主のご公現の祝日
ご公現とは人となり給った神の御子イエズスがごく親しい選ばれた人（マリア、ヨゼフ、羊飼、シメオンら）にだけでなく、公けにご自分を現わし給うことを意味する、東方からの三人の博士、公生活の始めのキリストの受洗、カナにおける最初の奇蹟などがその主なものである。

十日（日）　ご公現後第一の主日
聖家族の祝日
カトリック教会では家庭の聖化を強調する。聖なる家庭こそよきキリスト信者の温床である。家族中そろってロザリオを誦え、聖体拝領をすることなどが特にすすめられる。

十二日（火）　福者マルグリット・ブルジョア童貞
コングレガシオン・ド・ノートル・ダラ創立者

十三日（水）　わが主イエズス・キリストの洗礼の記念日
キリストの受洗は、われわれの受洗とは全く意味が違う。神の子となるために受洗されたのでなく、われわれに回心の必要を教え、模範となり給うためであった。

十五日（金）　最初の隠修士聖パウロ　**成人の日**

十七日（日）　ご公現後第二の主日
カナの婚礼の席上でのキリストの最初の奇蹟は、聖マリアのお取次ぎの偉大さとイエズスの慈悲の深さを美しく証拠だてる。これはマリアの母性の奇蹟ともいうことができよう。

十八日（月）　聖ペトロがローマに教座を定めた祝日
今日から廿五日まで信仰の一致を求めるため特別祈禱の週間となっており、全世界のカトリック信者は教皇と心をあわせて、離教者（例えばギリシャ正教会）異端者（プロテスタント）が真理の教会に立戻るよう祈る。

廿一日（木）　聖女アグネス童貞殉教者

廿四日（日）　ご公現後第三の主日
今日は主が癩病者と、百夫長の下僕の病をいやし給った奇蹟の福音が朗読される。奇蹟は主の神性を公現する記しである。

廿五日（月）　聖パウロ改心の記念日。
教会を吹きすさぶ嵐のようにあらし廻っていたサウロ（パウロの前名）は、神の聖寵にうたれて一瞬にして神の使徒となり、以後は神の国の建設のためにめざましい働きをなした。

廿七日（水）　聖ヨハネ金口司教博士証聖者
その雄弁のすぐれた才能のゆえに「金の口」とあだ名されたコンスタンチノープルの大司教。四〇七年帰天。

廿九日（金）　サレジオの聖フランシスコ司教博士証聖者
柔和とやさしさがこの聖人の特徴であり、聖徳と影きよう力の秘訣であった。「信心生活の入門」の著者。一六二二年帰天。

卅一日（日）　ご公現後第四の主日
「何故おそれるか、信仰うすいものよ」信仰なき者はつまらないことに恐怖し、もっと大切なものを失わおうとしているのに、平気でおるものである。

貧困者にも暖かいお正月を

県知事からも感謝のことば

扶け合い運動に活躍

街頭で十九万円募金

昨年にひきつづき福岡地区布教委員会が実行を決議したクリスマス歳末扶け合い街頭募金運動は十五万円を目標に、十二月一日より十五日まで十二の教会の司祭、信者が率先して街頭に立ち、カトリック教会の名を明示したタスキを肩に、市内新天町、呉服町、博多駅など人出の多い場所で、メガホン片手に人々の善意に訴えた。各教会別の募金額は、場所によってかなりの差があったが、新天町に立った大名町教会の組は昨年の募金額の三倍約六万円をあげ、総額十九万七千五百六十六円が西日本新聞社に委託された。

この募金運動はカトリック教会の慈善愛徳の精神を実践につうじたもので、布教の上から大きな効果があったことは勿論であるが、他方街頭に立った信者自身にとっても、自分の信仰を公けにする絶好の機会であり、その犠牲をもっても物心両面にはかり知れぬ収獲をつることができた。

直方地方に加州米

カトリック救済奉仕団から

カトリック救済奉仕団では炭坑不況による筑豊地方の生活困窮者に楽しい正月を迎えさせるため、深堀司教を通じて直方市および鞍手郡に加州米45トン、九百袋を送ったが、その引渡式が十二月十八日午後四時より直方駅構内で行われ、教会側から司教のほか聖ヴィンセンシ会教区指導司祭平田正喜師と同会員三上茂君　直方教会主任ドレル師が立ち会った。この愛の贈物は直方市内の離職者二六五一人（六〇〇袋）、鞍手町の九八四人（二三三袋）、小竹町の一八七人（四二袋）、宮田町の一五〇人（三五袋）にそれぞれ分配された。

黒い羽根運動推進最高本部長である鵜崎福岡県知事は、加州米の着荷にさきだち、十二月五日同本部の高村事務局長（県議）を伴って司教館に深堀司教を訪問し、貧困者に対する教会の尽力にお礼を述べると共に、カトリック救済奉仕団への感謝状を贈呈した。

ゼノさんも大活躍

貧しい人々の友として全国的に有名なアリの町のゼノさん（聖母の騎士修道者）も十二月はじめひょっこり福岡に姿をあらわし、黒い羽根運動員の案内で五日から九日まで宇美町のほか飯塚、直方、田川などの市部および郡部をくまなく廻って、貧困家庭を慰問し子供たちに衣類、菓子などを贈り、風呂桶二つも寄附した。

（写真は感謝状の贈呈式、左よりゼノ修士、センパトリック童貞、深堀司教、深堀師、鵜崎県知事）

聖パウロ会来日廿五年

深堀司教を招いて祝賀

出版、放送、映画などもっとも現代的な手段を駆使して神の国の建設に当るという、マス・コミの使徒職を標榜して創立された聖パウロ修道会（創立者アルベリオーネ師、本部ローマ）の来日二十五周年記念祝典は、最初の宣教師マルチェリーノ師とペルテロ師がわが国に上陸の第一歩をふんだ十二月十日を記念して、全国各地の修道院で祝われたが、同じ創立者によって始められた聖パウロ女子修道院および師の弟子修道院（ピエ・デイセポレ）が並立している福岡市では、小笹町の男子修道院に深堀司教ほか多数の来賓を迎えて盛大な祝賀会が催された。

福岡修道院は昭和二十四年十月ペルテロ師とカステロット師が深堀司教の招きで大名町教会に隣接した建物を仮修道院として発足したもので、次いで、当時全くの山地であった小笹町の丘陵を開いて木造平家建を作り、やがて本建築に移り昭和二十九年十一月現在の修道院が完成した。

現院長はパウロ・チリオ師で補佐は前田師、中学生二十四名が志願者として修養と勉学にいそしんでいる。

（写真は祝賀会に参加した聖職者）

平山高明師渡仏

要理教育法研究のため

大名町教会助任ペトロ平山高明師はパリ・カトリック大学で要理教育法研究のため、一月中旬横浜をたってフランスに向う。滞在期間は三ケ年の予定。

平山師は昭和三十二年三月司祭叙階、一年間九大で教育学を専攻ののち大名町教会助任となりカトリック学生会の育成のために大いに活躍した。師の姉君のひとりは地行町教会に所属の信者。なお後任には最近カナダから帰った岩村清太師が就任。

（写真は平山高明師）

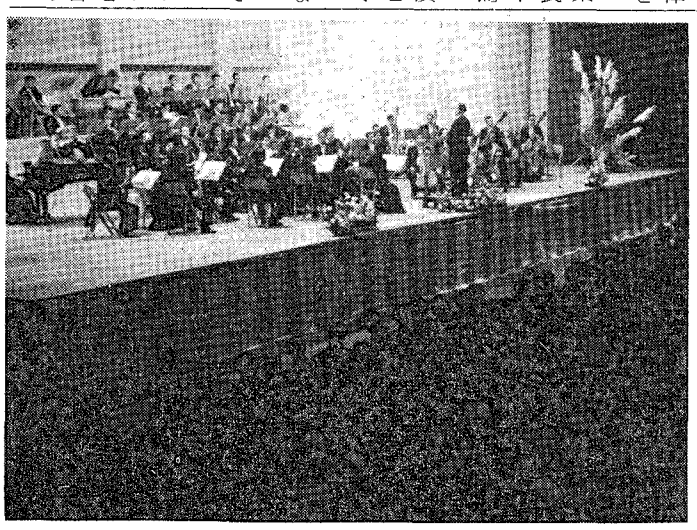
関西交響楽団

新校舎建設に一はだ

熊本信愛女学院（幼きイエズス会経営）では鉄筋五階建の校舎を五期に分けて建築することを計画し、その第一期工事延二千八百平方米（約八百三十坪）を十二月から着工したが、基金募集の目的をもって、去る十二月三日熊本市体育館で関西交響楽団の大演奏会を催した。

当日は午後四時よりの同校音楽会につづいて六時半、朝比奈隆氏の指揮のもとに七拾人のメンバーにより「眠れる森の美女」「白鳥の湖」「くるみ割人形」「悲愴」などチャイコフスキーの名曲が演奏されて、会場一杯に埋った約七千人の音楽愛好者たちを魅了して九時盛会裡に終了した。

この演奏会開催には次のような美しい話題が秘められている。去る九月初め建築が決定し、その資金は修道会よりと父兄会、同窓会が一体となって一応のメドはついたが、不足額の充填に頭をひねっていた所、音楽好きの同学院父兄のひとりが「関響の指揮者朝比奈氏とは懇意の間柄ですから、この事情を話せば何らかの力になって頂けるかも知れないが……」との申し出をしたので、その交渉をした所、九州公演の途上熊本に立ちよることを快諾、しかも「そんな趣旨ならば無料で公演を」という



ことになり、九月来以来同女学院主催、同父兄会、同窓会、県市教育委員会、熊本日日新聞社RKK、NHKの後援のもとに入場券の売りさばきに奔走した。

また熱心な音楽ファンの盲人学生十名から、特別に無料で入れてもらえないかとの交渉があったことをきいたある父兄は「それじゃ私がその切符を買ってさし上げよう」とかれらを招待、一同は久し振りに本格的な生のオーケストラに耳をかたむけて大満悦であった。

演奏会後朝比奈氏は「熊本では初めて演奏いたしましたが、こんなに沢山の方々に聴いて頂いてこんなうれしいことはありません。東京、大阪でもこんなに集ることはありません。それに生徒はじめ聴衆の態度の立派なことにおどろきました。全く静かですばらしい雰囲気でした。やっぱり神様の学校ですねェ。来年もまた来ましょう」と満足の意を表した。

大神で叙階式

十二月三日聖フランシスコ・ザベリオの祝日に恒例の叙階式が深堀司教の司式で大神学校聖堂で挙行され、左の諸師がそれぞれの聖位にあげられた。

副助祭　鵜野恭平（福岡教区）

下級聖品二段

紙崎忠男、下村徹、峯徳美、村中司、三村誠一、三末篤実（以上長崎教区）有馬馬瓚（沖縄教区）深堀朗義（鹿児島教区）

剃髪　丹羽実（鹿児島教区）

待降節黙想会

福岡カトリック学生会の年中行事の一つである待降節黙想会は福岡市茶山カトリック教会で十二月十三日午前八時半より五時まで、同教会主任棚町正刀師の指導のもとに行われた。参加者二十五名。

新田原教会で聖母ローソク行列

十二月八日聖母マリアの無原罪のおやどりの祝日に新田原教会（主任グローシャ師）では午後七時より、はじめての聖母賛美ローソク行列を行った。

ルルドのホンボリを手に教会前の新運動場に集った約四百の信者たちは、十字架を先頭に電飾光輪の美しくかがやく聖母像を中心に聖歌を歌いロザリオを誦えながら教会北側から前主任司祭ボネ師の墓前を通って修院より病院に向った。病院の広場に準備された祭壇に御像を安置して、入院患者もろともに聖母を賛美した。

しいのみ学園慰問

福岡双葉学園高校生約二十名は十二月十九日クリスマス運動の一環として福岡市井尻のしいのみ学園を訪問、お菓子を配ったり劇、歌、紙芝居などで子供たちを慰問なごやかな交歓を行った。

レジオ・マリエ新会長に鬼木保之氏

レジオ・マリエ福岡コミチウム会長任期満了につき十二月十二日選挙が行われ、佐無田望氏につづいて鬼木保之氏が新会長に選ばれた。ちなみに福岡コミチウムは八プレシジウムとニジュニアよりなり、三十二名の会員がいる。

大分市長も受堅

十一月廿九日大分教会で大在修道院の施設の子供七名をふくむ七十名が深堀司教から受堅。昨年八月十五日に受洗した大分市長上田保氏夫妻も一諸に堅信の栄をうけた。

八幡市黒崎教会でも十二月十三日堅信式が行なわれ、五十七名が受堅。

（写真は大分教会信者受堅者一同）

× × ×

謹賀新年

福岡司教
宮崎教区長　深堀仙右衛門

福岡教区

福岡邦人司祭地区

司教館附　平田勇
大名町教会　深堀均
浄水通教会　浦口敏
地行町教会　牧山重光
蓑島教会　平田高明
西新町教会　平田正喜
茶山教会　岩村清太
大楠教会　平田惣五郎
高宮教会　黒川博房
吉塚教会　牧山藤功
那珂町教会　青木正刀
箱崎教会　棚町敏
二日市教会　金松清美
古賀教会　田川ベルトラン
今村教会　ケルン
本郷教会　シュナイダー
久留米教会　オットーリー
大牟田教会　畠山七郎
呼子教会　バーレット
松島教会　ベリー
馬渡島教会　ボート
小神学校　ワー
大神学校　ハー
　　堤要吉
　　糸永一
　　糸永武夫
　　村岡久義
　　青木保
　　山川辰幸
　　竹森道清
　　川口敏雄
　　堤田成章
　　山田雄
　　畑原富
　　伊東誠二
　　川口康
　　岩永薫
　　ラプラント
　　平田三郎
　　ツルデ
　　イラエル
　　ノズル
　　カレー
　　久松和
　　太右衛門
マリア会　チリオ
聖パウロ会　前田俊
　　ジャロー
訪問童貞会附

北九州パリ外国宣教会地区

門司教会　モー
小倉教会　トクベ
湯川教会　バイ
戸畑教会　ラグレ
　　バスル
　　ラバルタ

『われに留まれ』（完）

希望をまもる

C・ジャロー

（一）　人間は神の定めた秩序を無視した自由を求めたため混乱と奴隷状態におちいった。自由を解放して永遠不変の秩序に奉仕させねばならない。キリスト教的希望は地か天か、組織かその構成員か、現実か理想かという二者択一を云々しない。希望は、ただひとりの神から出たものすべて、そして人間相互にかかわりのある一切のものを同時に目指さねばならない。理想や超自然のみを追及して現実を忘れてはならない。現実をとび越えて神の国に入ることはできない。

この地上の生活は天と地とをつなぐ橋である。この橋は決して堅牢なものではない。人がそれを渡って永遠の彼岸に達することができれば、橋として充分なのである。もしこの橋の上に永住の居を定めようとすれば、時の奔流におし流されてしまうだろう。〝神の国はこの世のものではない〟。

（二）　現代人は永遠への希望を失うと同時に、この世のものに対する希望も失っている。天体にロケットがとび廻り、核兵器が大量生産されるこの時代に、無力な小娘「希望」が一体何の役に立つというのであるか。そんなものはお祝いの日の晴着くらいの価値しかない。到底実用向きではない。

現代人の内面生活のリズムが余りにもめまぐるしいので、熱のこもったしかもやわらかな感情が涸渇し、まともに熟してゆかないのである。将来に希望する？ときくとかれらは露骨に軽蔑のそぶりをあらわす。恐らく世界は希望するゆとりを持ち合わせなくなったのであろう。

（三）　われわれの希望は、キリストのみじめな十字架上の死の末端からほとばしり出るものである。この一本の木が、世界のよろめきを支え、どんな扉でも開けることのできる鍵である。

希望とは肉と血とをとって人となり給うた神キリストである。

希望は今の生活に、一つの光、やすらぎ、温かさを織り込み、牢獄にあっても戦火のなかにあっても強くやさしくわれわれを包んでくれる。希望は宝物か遺物のように箱の中にじっとしまっておくべきものではない。それは極めてもろいものである。しかしそのかすかな灯の火をかき立て、その熱を高めて、光も平和も熱もすべてを失った生活を生かさねばならない。希望を、武器をもってでなくこそ、各自の責務である。（完）

聖書・典礼用語の説明

（6）

門

街の入口の「門」と呼ばれた公衆広場に、長老たちの評議の座があり（これも同様に門と呼ばれた）街の諸事項を審いていた。イエスは羊の檻（オリ）の門であり、牧者たちも羊も神に行くためには、この門を通らなければならない（ヨハネ十

岩、石

神は岩の如く堅固である。神はわれわれを破滅から守る「岩」「遁れ場」である。イエスス、キリストは角の親石、人は親石の上に建築し、あるいは建物上部を飾る。イエススはまた、躓きの石でもある（不信のものはこれに躓く）イエススは使徒シモンをペトロ即ち岩と名付け給うた。その上に御自身の教会を建てようと望まれたからである（マテオ十六の18）キリスト者は教会を形成する生ける石である。

ファリザイ人

元来はマカベ家の人々のように不信仰者と交わらない「敬虔な」人々。しかし宗教の本質を形式的勤業においたために、ほどなく自分の形式的勤業を実行しないものに対して傲慢で、狭量でがちがちした人間になりさがった（マテオ二三章参照）

貧者

イエススは神に信頼をよせ、神からしか助けを期待しない小さき者、不幸な者、しいたげられた者飢えたる者を幸いであると宣言し給う。かられの気持はイスラエルの貧者らによって詩篇のなかに表現されている。富者と異り、かれらは大手を振って神の国に入るのである。貧者、富者はいずれも精神的な意味で使われる（ルカ四の18、詩七三の19－20）

予言者

「神のみ言葉をいう」ため、過去、現在、未来にわたる歴史に含まれる意味を啓示するために、神に選ばれた人々。イエススはもっともすぐれた予言者。かれはみ言葉を告げるのみでなく、みことばそのものにて在す。（ヨハネ一の1）

予言

未来の光によって現在を照らす神のみ言葉。このみ言葉は神の霊によって活かされた人によって公言される。

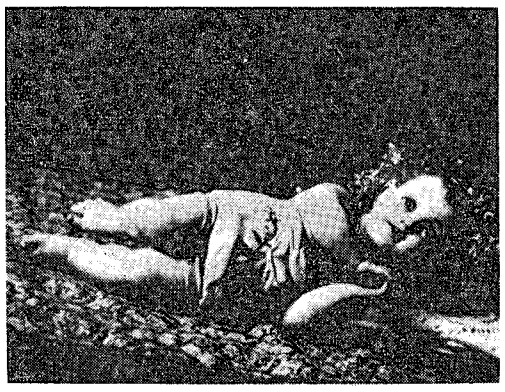
詩篇

神に鼓吹されて作られたユデヤ人の讃歌で、百五拾の詩を含み聖書の一巻を成している。これらの詩は教会の公式の祈りに使われ、信者もこれをもって正しい宗教感情をもやすことができる。

約束

イエスス、キリストは聖霊を賜ることによって、神がアブラハムとイスラエル人らになし給うた生命の約束をお果しになった。（使一の4－5）。

キリスト御降誕の洞窟



▽クリスマスは、キリスト信者にとってベトレヘムにおけるイエスス御誕生のお祝い日です。教会にも家庭にもうまやが作られ、幼きイエスス、聖ヨゼフ、聖母マリア、羊飼いたちの御像が飾られます。

イエススがお生れになったベトレヘムのうまやはどんなものだったのでしょうか。福音書はくわしいことを記していません。ルカ書によりますと、聖母は幼な子をまぐさおけにおいた。それは宿屋に部屋がなかったからだと申しています。

▽パレスチナで育った聖ユスチノという教会博士は、マテオ書の聖句を説明して、ヨゼフはこの村でとる家を見付けなかったので、ベトレヘムのすぐ傍の洞窟にとまった。そしてそこにいる時にマリアはキリストを生み、まぐさおけにおいたと述べています。聖ユスチノがこれを書いたのは一五五年頃で、こんな古い時代からベトレヘムの人々は皆、この洞窟のことを知っていたのです。

▽石灰質の丘の上に建てられたベトレヘムの村の附近には、今でも自然の洞窟が沢山あります。これらは家畜や飼主たち、家のない人々の露しのぎに使われます。幾つかの石と一枚の天幕があればどうにか入口がふさがります。向きによっては夏は涼しいのですが、冬にはしっ気があり寒いのです。でもこの住いは土地のアラビア人の使っている天幕よりはましです。聖家族がお宿りになった洞窟というのはベトレヘムの丘の東端にあります。

▽いつの時代にもキリスト信者たちはこの洞窟について、もっとくわしいことを知り度いと望んでいました。私共が目にする現代的なうまやは、ベトレヘムの場面を真似たものです。このうまややクリスマスのお祝を色どる詩的ふんいきが、キリスト御誕生の当夜の真の姿を忘れさせてはなりません。

▽天上的喜びに満ちた夜であり、人類の長い待望が実現し、アダムへの約束の成就した夜ではありましたが、しかし苦難の夜でもあり贖主なるメシアが御誕生のその時から人々の罪を負い、洞窟の不自由とパレスチナのきびしい寒さを甘んじ受け給うた夜でもあったのです。（写真はベトレヘムの大聖堂にある幼きイエススの御像）

新年に想う

一九六〇年がやってきました。私共は年頭にあたって、旧年の御恵みを天主に感謝し、今年も御恵み豊かな祝福された年であることを祈ります。礼拝に教会へ行きます。

信者以外の人々の多くは、晴着を着飾って開運の神、商売繁昌の神々？へ参詣に行くので、年始廻りその他の人々を含めて、町から村へ、村から町へお正月は人・人・人の犯濫です。今年こそは輝かしい年であるように、幸運が訪れるようにと彼等は祈るでしょう。ある人は健康を願い、ある人は栄冠、勝利を熱心に希うでしょう。私はこういう状況を見て考えさせられるのです。

朝の出勤の途上で見かけるのですが、老人が雨の日以外は戸外に出て、太陽に向って拍手を打って熱心に拝んでいます。

また、夕方の帰路ではある家からは、カチカチカチカチと打ち叩く木魚に合わせて、御詠歌風の祈りが流れてきます。

家の近所からは、毎晩老婦人の静かなお経の声が、沈黙の闇を漂うように聞こえてくるのです。

私はこれらを嬉しく思っています。なぜならば、腐敗と堕落に満ちた混沌たる社会に、宗教心を持った人が少なからずいるようなので……。

宗教心を持っている人と、家の宗教は有名無実で無神論者である人との対比は、データーが無いので分りませんが、私にとって興味あるテーマです。そして私の願いは、宗教心を持っている人々が真の宗教に立帰ることなのです。一勿論無神論者がそうなることはこの上なく喜ばしいことですが……

それには祈りと布教がなされなければなりませんが、私共は先ず自分自身を磨き、他の模範となるべく、完徳への道を励進しなければならないでしょう。言うに易く行うに難いことですけれども、選ばれたものの使命であり、責任は重大です。たとえ棘の道であろうとも、それは希望に溢れた光輝ある道であることを確信しています。

鹿野秀子

免償について（三）

J・P・ラベール

生者と死者のための免償

（イ）　生きている人のために免償をうることができるか。

聖会法（九三〇条）によると〝誰も得たる免償を他の生きている人に譲ることはできない〟となっている。教皇はキリストの権利によって、信者が免償を生きている人に譲るのを許すことができるが、実際には許さない。その理由は、

(1)免償を頂けるには恩恵の状態になければならないが、受ける人がそのような心構えにあるかどうか他の者は知りえない。その心構えがないのに譲ったとすると、免償という聖なるものを無駄にし、おろそかにしたことになるから。

(2)人が永遠の幸福に入るにはキリストの模範に従い、全力を尽さねばならない。もし教会が生者にも免償を譲ることを許せば、信心深い人から与えられる免償によってだけで、自分は何もしないで救霊が得られると考えている人の怠惰を助長することになる。勿論不信心な人のために祈って上げることは良いことであるが……。

教皇は只次のような場合、生者のために免償をうることを許す。ある特別の祭壇で生存中のある信者のためにミサを献げる司祭は全免償をうけ、その信者にそれを譲ることができる。但しその信者は恩恵の状態になければならない。この祭壇は〝特別祭壇、全免償付き祭壇〟と呼ばれ、ローマ市以外の処にはごく稀にしかない。その他ローマ聖座からの特別の権利によって個人的に特別祭壇の特典を有している司祭は少くない。

（ロ）　煉獄の霊魂のために免償を譲ることができる。

(1)煉獄の霊魂が一日も早く天国の喜びに入れるよう祈りを捧げることは美しい愛徳行為である。）マカベ後書十二章四六節参照）かれらは自力ではその苦しみの時をちぢめることができないだからわれわれが死者のために祈りをし、ミサを献げ、免償をかれらに与えて助けてあげなければならない。

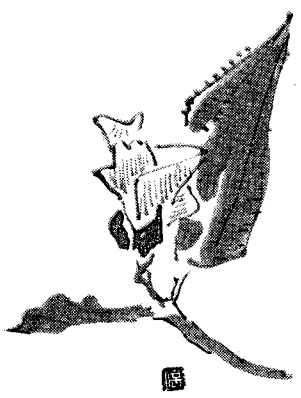
(2)われわれが得る一切の免償を煉獄の霊魂に捧げることができるか。聖会法（同上）は〝教皇自身がはっきりと禁じない限り、教言によって与えられる一切の免償を死せる信者に譲ることができる〟と云っている。その条件としてはその意向をもつだけで充分。

但し司教または教皇より下位の者によって免償が与えられた場合それを死者に譲るという目的で受けることはできない）聖会法九一三条）

(3)只一つの免償を幾つかの霊魂に与えることもできる。それがどのように分配されるか想像することはできないが、正義にして慈悲深き神の全能に信頼することができる。（完）

（文責編集部）

俳句



病者の小さき祈りや降誕祭　風声

十字架を背負いキリスト生れ給う　恵女

門松の簡素になりし里帰り　牧泉

初空や赤土かみしままブルトーザ

元旦や母となりたる妃の写真

人となり給ひ馬槽に匂体なや

天神町教会
黒崎教会
八王寺教会
水巻教会
直方教会
飯塚教会
田川教会
新行橋教会
トラピスチス修院附
聖小崎育児園附
天使の聖母修院附
煉獄助修院附

佐賀ミラノ外国宣教会地区
佐賀教会
唐津教会
鳥栖教会
伊万里教会
武雄鹿島教会

熊本コロンバン外国宣教会地区
手取本町教会
健軍教会
島崎教会
八代教会
人吉教会
玉名教会
隈府教会
荒尾教会
クリハン水俣教会
本度教会
大江教会
琵琶崎津教会
崎修院附
少年の町附

宮崎教区ザベリオ外国宣教会地区
宮崎教会
田野教会
都城教会
小林教会
日南教会
高鍋教会
富高教会
延岡教会
日向学院

大分サレジオ会地区
大分教会
別府教会
日田教会
中津教会
大貞公園教会
鶴崎教会
坂の市教会
臼杵教会
杵築教会
佐伯教会

小さな思索

大原郁紀

ロダンの考える人ではないが、私は、現在住んでいる生活環境の特異の故か、考える人になったようだ。いや、考えるというより思索するといった方が適当だろう。しかしその思索は、夢見るような空想をしている訳ではない。常に天主様への憧れというものが、私の心の中に思索する火種を創ってくれるのである。その火は一畳余の室内を燃やし、鉄窓より跳めることの出来る四角な視野の様々を燃やしてゆくのです。

約一カ月前――いつものように思索が室内を燃やしていた時のことです。天井から垂れさがっている細い煤の糸に、思索の火が燃え移った時――。いつもは、直ぐ燃えてしまう古ぼけた部屋の象徴？ぐらいにしか、心に反響のなかったこの細い煤の糸でしたが、何故かそのときは燃えつきませんでした。その煤の糸が揺れていたからです……。

私はその煤の糸の揺れを認めると同時に、壁釘に掛けているタオル、シャツから、室内に流れこんでいるすきま風を知ろうとしました（と言うのは、部屋にすきまが多くて、風の吹いている日は必ず大なり小なり、シャツの袖が踊りタオルが踊るからなのです）

しかしタオルにもシャツにも、すきま風の流れこんでいることは認め得ませんでした。タオルもシャツも察知出来なかったすきま風を、この細い煤の糸は知っている……。私の幼稚な思索はここに、天主様の知識の光に照らされて燃え始めたのです。

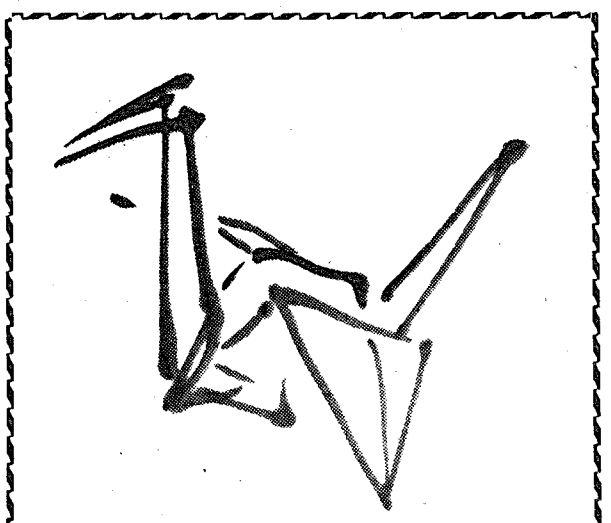
その経過は紙面の関係で書き尽くせませんが……。すきま風は天主様の愛に、またシャツ、タオル煤の糸はやがて各々人の心に置き替りました。

自己の霊的貧しさを自覚している心のように、天井にひっそりと慎ましくさがっている煤の糸。常に天主様の愛を覚り、感謝を意らない心のようにすきま風を察知している細い煤の糸。そして御摂理にすべて委せきっている人のように、細いわが体にも不安なくまた恐れなく、風のままに揺れている細い煤の糸に、私は激しい感動と羨望を覚えたのです。

「さいわいなるかな、心貧しき人」

タオルの心の人、シャツの心の人、細い煤の糸の心の人。私の心のこの三者のどれであろうか？

心新しくする朝まだきに、天井の隅にさがっている細い煤の糸の揺れは、私の一日に大きな励みとなり、慰めとなる。幼稚ではあるが、天主様への憧れによる思索が生んだ喜びを、私は人にわかちたいと思います。



短歌

満里

空間をつめたく感じ一月の
コンクリートの白くかわきて

二

永遠の中にとけ行く一日にもあれど
また新らたなり年の始めは

キャタピラのあと生々しまくれたる
赤色の道ミサに行く道

病室の緑の毛布ふくらみて
息ずきうごく日はさし入りぬ

ストーブのもえ立つ音は豊かなり
一人静かに部屋に残りて

（元旦）

堅信

なでしこ

十数年の求道の末、洗礼の秘蹟を授かり、初めて聖体を拝領して自分にも理由の分らない涙を流して一年半、いよいよ堅信の秘蹟を目前にして、受験生の様に公教要理を肌身離さず持って歩き、電車の中で迄ひろげる様な日を重ねてとうとうその日をむかえました。

司教様の公式の教会御訪問をおむかえして、イエズス様が聖言葉を御説きになるべく、町々を御めぐりになった、あの頃の様相を思い浮かべて今更らの様に、キリスト教につらなる者の喜びを味わい知りました。目に見えない糸でしっかりと結ばれた司教様と信者、これはさながらイエズス様を目標に生きた、十二使徒とイエズス様の様な愛と信頼とでつながるものでした。

荘厳な御ミサの後につづく堅信の儀式に先立って、司教様はしづかに、しかもおごそかに信仰に対する要点についての問答を御始めになりました。みんな一生懸命要理を暗記して居ります。こうなると若い者、頭のよい者が勝でスラスラと美事にお答えをして行きます。ジーッと目をこらして耳をそば立てて聞き入っていらっしゃる司教様がポイントを押えて再び三度び切り込んでいらっしゃいます。

ここまで来ると頭で覚え知識で知っているだけではどうにもならないところに到達してしまいます。頭で覚えた知識で知ったイエズス様は本当を云ってこれは光によって映し出されたイエズス様の影法師であるかもしれません。そこを今日の司教様の御質問によって魂にしみ通らせ、魂によって味わい、魂にイエズス様の誠の御姿をえがき出して下さいました。

時間を超越し時代をのり越えて今使徒がイエズス様を囲んで聖言葉に耳をかたむけている有様の再現を思いました。この様な聖なる時間がまと得られましょうか。御説教の中にもございました天主様の御姿を目の当りに仰いでいる喜びもこの様なものであろうかと思い味わったことでございます。

（一九五九・二一・六・堅信の日に）

すべてを聖母のみ手に

マリア樋口明子

退院して初めての診察日。前入院していたお室に行くと、私の横のベッドにいらっしゃった方が、おふとんの中からロザリオを出してふってみせた。私はもうその人の心の中に光を投げかけていらっしゃる聖母の深い御配慮をみたような気がして、胸が一杯になった。

入院してしみじみと思い、また反省させられたこと、それは聖母の愛娘テレンタの言葉「御母よ、われを見る人は御身を見んことを」。であった。どんなに雄弁な言葉も、美しい言葉も、すばらしい本も、すべて聖母にはかなわない。私共の一つ一つの何気ない行いによって、人の心は驚くほどそれにひかれたり、またその反対になったりする。だから私たちは皆「もう一人のマリア」たならなければならない。自分自身のためにも。そして多くの未信者の為にも。

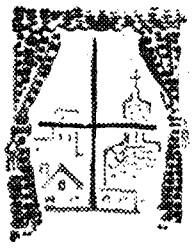
五ケ月の療養生活のあいだ、ベッドの中から心をつくし力をつくして、同室の御病人に教えてさし上げた聖母マリアのこと。あの慰めにあふれるロザリオの祈、そして聖母への子供の愛と信頼のこと……。これらのことは、今目に見える結果をもたらさないとしてもいつか聖母はそれをお役に立てて下さるに違いない。いつか、本とうにいつか私があんなに愛をこめてお話した聖母をとおして、救霊のお恵みをお与え下さるに違いない。なぜなら聖母は、「決して期待を裏切り給うことのない御方」でいらっしゃるのだから、どうしてその不思議がおできにならないわけがあろうか。

受洗して二度目に迎える新年、今年も万事をおやさしい聖母の御手におゆだねして、聖母の忠実な模倣者でありたいと願う。すべては聖母のために、聖母と共に、聖母によって……。新しい年の一日一日を、こうして聖化し、マリアの子供会の一員として、どうしてもマリア様の真の聖女になりたい

（明治学園高等学校三年）

カトリック結婚講座

結婚前の準備 ⑫



結婚しようとするカトリック信者は、できるだけ早目に所属教会の主任司祭に知らせること。他の準備ばかり進めてそれを怠り、結婚の日取りまで定めてからはじめて司祭に通知するということの絶対にないようにせねばならない。

結婚予定を知らされた司祭は、挙式までに種々の書類を整え、本人たちの心の準備をさせる。以下信者同志の結婚の場合の諸準備について列記する（教外者との結婚については次回に示す）

洗礼と堅信の証明書

受洗と受堅の場所と年月日を司祭に知らせる。新信者の場合で堅信をまだ受けていないなら、堅信は結婚後に受ける。

未婚証明書

男子は十四才、女子は十二才以降において、六ケ月以上居住したことのある教会の主任司祭の証明書。六ケ月以内であっても疑わしい場合には、問合せをする。ある所に居住していた間教会に全く顔を出さなかったとしても、六ケ月以上留った場合にはそこから未婚証明書をとる。

男子十四才、女子十二才という年令は、結婚しうる最低年令を示しただけで、教会が早婚を奨励していることではない。未成年者の結婚には親権者の承諾を要する。

結婚の公告

司祭は続けて三回の日曜日（守るべき祝日も一回に数える）にわたって二人の住所、氏名などを口頭で公告する。または公告書を八日間以上（二つの日曜日にかかるよう、また守るべき祝日も一回に数える）教会玄関に掲示する。挙式が急を要するときには、司教に許可をうけて掲示日数を短縮することもある。公告の期間が終って少くとも挙式までに三日以上の猶予をおくこと。公告された結婚について妨があると思う信者は主任司祭に届出る義務がある。

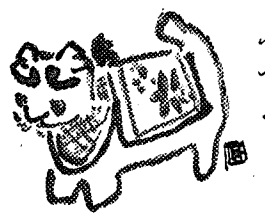
自由意志の確認

主任司祭は当事者、特に女性の方が自由意志をもって、即ち強いられず、厭々ながらでなく、自由に望んで自発的に結婚を承諾しているかを念入りに調査する。司祭がこの点について質問するときには率直に答えなければならない。すでに承諾を示したから仕方がないなどと考えてはならない。

公教要理の勉強

一般に忘れがちであるが、何よりも先に準備にとりかかるべきは公教要理の再勉強である。主任司祭が指示した期間中、忠実に教理の全般について、なかでも結婚と天主の第四誡に関する部分を復習しなければならない。そのためにも結婚しようとする者はできるだけ早く、遅くとも一ケ月前に主任司祭に結婚の予定を知らせなければならない。

ぶつくがいど



天からきた人

脇田晶子編

「まあ、きれいなご本！」「ママ、きれいなご本ね、これ借りられるの？」

「天からきた人」を、さり気なく机の上にのせておくと、訪れてくる人ごとにきれいだ、きれいだと連発する。今日まで少年少女向きとして日本で出版された多くの聖書で、これほど喜ばれる聖書をまだ見たことがない。内容は少年少女が、キリストのやさしいお姿を理解できるような場面を、聖書から選んで編んであるので、あかずに読みおおせる。

一つ一つの話を子供向きの実行的教訓でくぎったのは、ゆきとどいたていねいさからであろう。又話ごとの内容にピッタリ合ったカットをさしはさんでいるのもかわいい。挿絵は二色刷りでしかも上品である。二ページにまたがった「はかせたちの参拝」の挿絵などには、すっかり見とれて、共に歩調を合せて行列に参列しているような雰いきにとりかこまれてしまう。

文章は流麗でみずみずしい感じがにじみ出ているから、少年少女に暗記させるのにも好適であろう。「天からきた人」は過去に死んでしまった人ではなく今も魂のうちに生きている「人」で、この本を手にしていると、この「人」と言葉を交わしているような感じにとらわれて知恵と想像と意志の能力が美事に、しかも急激に発育させられたようにさえ思える。

聖書は昔から多くの天才のために、才能を閃めかすマッチの役をした。真理と美と善を含んだ聖書が多くの人びと、ことに少年少女の心の琴線にふれて楽しい思いをかきたて、音楽や美術や詩歌の題材を提供しているのは喜ばしい限りである。

およそ、本の価値は書かれた言葉が思想に似、その思想が神の思想に似る程度に応ずるものとされている。福音書の思想は神ご自身から伝えられたものであるから、表現される言葉にはあらゆる注意がはらわれるべきであろう。こうした注意と努力が編者によって惜しみなくなされているのを見て、もう一つの真珠を拾いたくなるであろう。

そこに少年少女は何ものにもかえがたい幸福感を覚えるであろうし、その幸福感の中で聖福音書をかがみとして、その前に立ち、自分の姿をうつし出し、自己の生活の姿が「天からきた人」のような生活をおくるようになれば、たとえ果てしない野の中をひとりぼっちで行く時も顔を高くもたげて、ほほえみながら行けるであろう。

（二色刷オフセット　A五版　二四〇頁　二五〇円　中央出版社）

（中山力太郎―マリア会司祭）

古い歴史・新しい内容

コンサイス英和辞典（改訂版）　革　四〇〇円
コンサイス和英辞典（改訂版）　革　五五〇円
コンサイス英英辞典　革　三八〇円　五三〇円
デイリーコンサイス英和辞典　革　四五〇円　五五〇円
新クラウン英和辞典　縮刷版　二〇〇円　三〇〇円
ジェム英和・和英辞典　D　四二〇円　四八〇円
最新明解英和辞典　大型版　八五〇円　五〇〇円
中学英和新辞典　三〇〇円
初級コンサイス英和辞典　二五〇円
初級コンサイス和英辞典　一七〇円　一五〇円
三省堂　独和新辞典　五二〇円
コンサイス独和辞典　四二〇円
コンサイス仏和辞典　五〇〇円
コンサイス露和辞典　六〇〇円
日西辞典　二、〇〇〇円
商業英語活用辞典　六五〇円

辞書は三省堂

辞海　縮刷版　背革特装版　一、〇〇〇円　二、〇〇〇円
新版広辞林　一、二〇〇円
新小辞林　三〇〇円
明解古語辞典（改訂版）　四五〇円
明解国語辞典　三八〇円
新修国語小辞典　一五〇円
音訓両引き　国漢辞典　三五〇円
三省堂　小学国語辞典　二八〇円
新撰漢和辞典　七〇〇円
明解漢和辞典（新版）　三五〇円
三省堂　大六法全書　一、一〇〇円
模範六法全書　三七〇円
明解六法　一五〇円
学習百科事典　八〇〇円
明解日本語アクセント辞典　五〇〇円

SSD
三省堂　福岡出張所
福岡市向田町九ノ三
本社　東京都千代田区神保町

カトリック
深堀司教認可
発行所　福岡市浄水通
福岡司教館
発行兼編集人　深堀敏
定価　一部十円

回勅 プリンチェプス・パストルム

邦人聖職者の養成を強調

信徒使徒職に具体的指示

教皇ヨハネ二十三世聖下は、十一月廿八日付をもって布教に関する初の回勅を発布された。「プリンチェプス・パストルム」と呼ばれ、教皇ベネディクト十五世の同じ布教に関する回勅「マキシム・イルド」の発布四〇周年を記念して発せられたものである。教皇は、歴代の教皇が布教活動に対して抱かれた慈父的関心を想起され、御自分も布教に当るすべての働き手に激励を与え、時代の変遷に適した布教法を用いるよう教えておられる。回勅は大きく四部に分たれる。

一、邦人聖職者と教会の発展

布教活動の最後的目的は〝他の国民の間に教会を確立し、土地の信者の中から選ばれた聖職者にそれを委托するに至ることである〟

従って邦人聖職者の養成と増加が、布教活動の成果をはかる尺度になるのであるが、統計的にみてアジアでは一九一八年に九一九名であったのが、一九五七年には五・五五三名に、アフリカでは同時期において九〇名から一・八一一名に上っている。

邦人聖職者は血統、性向、心性熱望の点で同胞と共通のものをもっているので、他の誰よりも説得方法を知っているので、同胞の心に信仰をそそぐのに極めて適している。しかしかれらは外来の宣教師の援助を必要とするのであるから、兄弟的愛によって結ばれ、協力して働かねばならない。

二、邦人聖職者の養成

若い聖職者の養成においては、キリスト教的完徳を第一に目指すこと。聖なる生活によって福音の美を輝かすことができる。

その教育は働き場所の特殊の環境に適応すること。世間から余りに没交渉でないよう、大衆や知識階級ともやすく結ばれうるように。更に聖なる司牧の業の重大性を自覚し、責任を以て之を果す精神を高めるよう。

その土地の価値ある諸事物と伝統をカトリックの信仰と適応せしめること。

三、布教に対する信徒の積極的参与

全信徒がキリスト教的精神によって、神の国の拡張に協力すると共に、教会の将来に対する責任の一部を負わねばならない。各キリスト信者の根本的な第一義務は、信仰の真理と神の恩恵を証明すること。これは教会の典礼への積極的参加のうちに表されねばならない。この典礼こそ、キリスト信者の印しである愛徳を涵養発揮するよう信者を教育するためのすばらしい手段である。

布教地の信者も布教事業を援助するため、物的必要物を供給する習慣を身につけるようにしなければならない。

四、布教地の信者の使徒職

伝導士は主の働き手（司祭）の右腕である。求道者はかれらから信仰の大要を習うのみならず、主と教会に対する愛と徳の実行を学ぶのである。

カトリック運動は、教会の平和の軍隊に信徒を募る必要がある。この運動は現地の状態と必要に適応させること。よその国でなされている方法をそのままとり入れるのでは不充分である。

その指導者を知的、道徳的、宗教的に養成するのに最適の場所はカトリック学校である。放課後に将来指導者になるべき者のグループを作り、特別のプログラムを与えること。

教皇は最後に、布教に従事する人の献身を賛美され、感謝された。

新駐日教皇公使に D・ヘンリチ大司教

ローマ教皇庁は一月五日付発表で現ハイチ駐在教皇大使ドミニコ・エンリチ大司教をフルステンベルグ大司教の後任として駐日教皇公使に任命した。

エンリチ大司教は、イタリヤのピエモンテ州の出身。一九〇九年生れ、一九三三年司祭叙階、一九五五年インドシナ駐在の教皇公使、一九五八年に駐ハイチ大使となった。なお前公使フルステンベルグ大司教は二月十日北極廻りで離日する。

司祭異動

熊本コロンバン会地区

人吉教会主任　クリーリ師
琵琶崎修院附　ドウーリー師
本渡教会主任　ライル師

以上三師は暇休暇で二月上旬空路アイルランドに向う。一年二ケ月滞在の予定。後任は人吉がディヴァイン師、琵琶崎がマッヴェイ師、本渡がシーヒー師。

宮崎ザベリオ会地区

高鍋教会主任　ピッチ師
日南教会主任　デイナポリ師

以上二師も暇休暇で一月廿一日空路香港に出発、香港から船でイタリヤに向った。尚後任は未定。

延岡教会主任アレッサンドロ師は肋膜炎のため、神戸万国病院に入院。

日本における信仰の初穂
二十六聖殉教者
（2月5日）

世の光

光と闇

旧、新両聖書を通読すると「光―闇」のテーマがきわめて顕著なことがわかる。また聖書の精神を基にし、そのテキストをそのままに採用しているカトリック教会の典礼には、光のシンボルが度々用いられる。クリスマスには〝光は今日われらの上に輝けり、そわ主われらのために生まれ給えばなり〟と歌われ、主の復活祭の儀式のなかでも光なるキリストのよみがえりが高らかにかなでられる。二月二日に行なわれるローソクの祝別もやはり救を慕がれるすべての人々の上に照り輝く光たるキリストの出現を記念するのである。

以下聖書にうかがわれる光のテーマを三つの線にそって解明し、カトリック典礼の理解を深めるための助けとしたい。

❶ まず第一の線は、太陽が道を照らすように、この光は神への道を明らかにするというものである。

神はユデヤ人を特愛の民とし、かれらが常に正しく掟を守りその御知恵によって生を送ることを望み給い、モイゼを通して律法を与え、予言者を仲介して語りかけ給うた。これらを以って人の歩みを助け、容易に神への道を歩ませようとされた。〝誡命は燈火、法は光、しつけのこらしめは生命の道なり〟（箴言六の23）詩篇作者も〝汝のみ言はわが足にはともしびわが径は光なり〟と歌っている。

ついで神は御子キリストを世につかわし給うて人類の進むべき道を明らかにされた。〝御言こそこの世に出でくる凡ての人を照らす真の光なりけれ〟（ヨハネ一の9）キリストは道にて在し、かれによらずして神に至ることはできないのである（同十四の6）だからかれを信ずること、そのあとについて進むことが大切である〝闇に歩む人は行先を知らず、汝ら光を有する間に光の子とならんために光を信ぜよ〟（同十二の35）〝我は世の光なり、我に従う人は暗黒を歩まず、却って生命の光をつべし〟（同八の12）

キリストが人類の案内者であるという考えは、旧約時代のエジプト脱出の折のエピソードを思出させる。イスラエル人が荒涼たる砂漠を横ぎる間〝主かれらの先にゆき給い、昼は雲の柱、夜は火柱によりて道を示し、昼も夜もかれらの導き手となり給う〟たのである（出エジプト記十三の21）

キリストは世の光であり、かれを信ずるものは光の子である。即ちキリスト信者も世の光となって神の聖徳を世に現わさねばならない。〝汝らは世の光なり。…汝らの光は人の前に輝くべし、しからば人は汝らの善業をみて天に在す汝らの父に光栄を帰せん〟（マテオ五の14、16）

❷第二の線は、光は生命、幸福歓喜のシンボルであり、闇は死、不幸、涙のシンボルである。

救主キリストの到来は人類の救の希望の実現を意味する。罪に自由を奪われていたのが、今や解放の日の近きを知ってよろこびおどるのである。〝暗黒を歩める民は大いなる光を見、死の蔭の地に住める人々、かれらには光出でたりかれらは収獲の時によろこぶ人々の如く……汝のみ前にて喜ぶに至らん（イザヤ九の2）

この光は限られた民の上にだけでなくて、真の神を知らなかった人々の上にもくまなくその恩恵を及ぼすのである。〝わが自主の救を見たり、これぞ主が万人の前に備え給いし者にして、異邦人を照らすべき光なり〟（ルカ二の30―32）

これからは選民、異邦人の差別がなくなり、光につく者はすべて約束された救の国に迎え入れられる。光につかない者は上からの救いを拒絶し、神に敵対する闇につくのである。（マテオ八の11参照）

❸ この光の闇との対立、即ちキリストの国とサタンの国との対立闘争が、光のテーマの第三の線である。

光と闇の対立は善と悪との対立に相通ずる〝けだし義と不義と何んの与る所かあらん、光と闇と何んの与る所があらん、キリストとベリアルと何んの約する所あらん〟（コリント後六の14）光と闇は相争う二つの勢力であり、現在では闇が光を圧迫しているかに見える、特にキリストを十字架の死に追いやったときには、闇が勝利を手にしたとさえ思えた（ルカ廿二の53参）しかし十字架こそは正義の審判であって闇の国に決定的な鉄槌を下し、その隠れた所業と弱点を白日の下にさらす。〝我は審判のためにこの世に来れり〟（ヨハネ九の39）〝審判とは是なり即ち光すでに世に来りたるに人はおのれの行いの悪きために光よりもむしろ暗を愛したるなり。すべて悪をなす人は光を憎みおのれが行いを責められじとて光に来らず。されど真理を行なう人は、おのが行いの顕れんために光に来る。〟（三の19―20）

光を故意にさけることは許されないことである。〝夜はふけたり日は近づけり、さればわれらは暗の業をすてて、光の鎧を着るべし〟。（ローマ十三の12）（深堀敏）

永久聖体礼拝（二月）

第一日曜　別府日菊寮
第二日曜　浄水通教会
第三日曜　小倉教会
第四日曜　健軍教会
大在教会
福岡訪問会

祈禱の使徒会（二月）

【一般意向】ローマ教区の会議の成果
【布教意向】迫害下の中国教会
【日本布教委員会の意向】教皇の牧者としての努力が豊かに報いられるように

祭服展示会

この度福岡雙葉学園の協賛を得まして、左記の要領で祭服展示会を開催することになりました。出品は全国的に有名な京都市の五天貿易株式会社が丹精こめて謹製いたしました祭服類一式現品それに数年前から教皇聖下、枢機卿、司教様方のために製作した祭服の写真その他材料などで、教会典礼芸術の一端をうかがう好機会と存じます。皆様の御来場をおすすめいたします

記

一、とき　二月十六日と十七日午前九時より午後六時迄
一、ところ　福岡雙葉学園講堂

福岡カトリック司教館

二月

一日（月） アンチオキアの聖イグナチオ司教殉教者
聖パウロや聖ヨハネのすぐあとに続く信仰の伝達者で、司教への従順と一致がキリストと結ばれる第一の条件であることを強調した。ローマで殉教。

二日（火） **聖母マリアの御清めの祝日**
キリスト御降誕の四〇日目マリアは御子をたずさえて神殿に参詣する。そのときシメオン老人がキリストを〝人類を暗より引き出す光〟として挨拶した。そのためこの日は光の祝日となりローソクの祝別が行なわれる。

五日（金） **日本二十六聖殉教者**
関白秀吉の最初の禁教令により捕縛され、長崎立山で鮮血を神に献げた二十六人の雄々しき信仰を崇める。

七日（日） ご公現後第五の主日教会は神の聖なる畑ではあるが、良い麦ばかり生じない。悪魔はここに毒麦をまきつけることを忘れない。良い麦と悪い麦の区別は現在ではむつかしいが、世の終りにおいてはっきりするであろう。

北九州地区で司教の日（小倉教会で司教荘厳ミサ）

八日（月） マタの聖ヨハネ証聖者サラセン人にとらえられた信者を救助する目的で三位一体修道会を創立した。一二一三年帰天。

九日（火） アレキサンドリアの聖チリロ司教博士証聖者

十日（水） 聖スコラスチカ童貞
西方修道会の開拓者聖ベネディクトの妹。

十一日（木） ルルドにおける無原罪の聖母ご出現の記念日
一八五八年フランス・ルルドの一少女ベルナデッタにお現われになった聖母を記念する。

十四日（日） 七旬節の主日
七旬節は四旬節への準備の時期。昔、イスラエル人が神罰をうけて、聖都エルザレムから流され、七十年間バビロンにとらわれていたことを思い出させる。永遠の国をあこがれること、罪を悔むこと。

十六日（火） **教区司祭月例集会の日**

廿一日（日） 六旬節の主日
人が神に多くのことをなしたからとて誇ることはない。一切は神の聖寵によってのみ成就されたのであるから。他方、自分の無力になやむこともない。その無力は神の聖寵によっておぎなわれるから。〝汝には、わが恩寵にて足れり、それ力は弱き中に全らせらるべければなり〟（コリント後十二の九）

廿二日（月） 使徒聖ペトロがアンチオキアにて教座を定めた祝日

廿三日（火） 聖ペトロ・ダミアノ司教博士証聖者

廿五日（木） **使徒聖マチアの祝日**

廿六日（金） 日本の福者ディダゴ・カルヴァリオら殉教者

廿八日（日） 五旬節の主日
四旬節が三日後に始まる。われわれは受難の場に歩みを進めう主のみあとに従おう。

二月第一日曜『司教の日』

パリ外国宣教会北九州地区では二月の第一日曜を「司教の日」と定め、今年から実施することになった。司教の日には司祭、信徒が十二使徒の後継者であり、教区の父である司教との一致を固くし、司教への従順と忠誠を新たにし、司教のすべての意向のために特別に祈り、献金をすることになっている。これは各教会別で行なわれるが、今年は二月七日日曜日午前八時半に深堀司教が小倉教会で司教荘厳ミサを献げる。

ルネ・ルリエ師司祭銀祝

聖小崎聖堂も祝別さる

旧臘二十九日八幡市本城赤城の聖小崎育児園は三重のよろこびにわいた。当育児園で教育されている六〇名の子供たち（男子）から父と慕われるルネ・ルリエ師の司祭叙階銀祝と当園附属聖堂の落成祝別式に、折りから来日中のパリ外国宣教会総長ルメール司教が来園出席して、深堀司教と共に育児園事業の上に神の祝福を祈った。

この日午前十時ずクリスマス直前に竣工した美しい聖堂の祝別式が、深堀司教ほか三十五名の教区内外の司祭、園児、多数信者列席のもとにルメール司教司式で行なわれ、聖小崎（日本二十六聖殉教者のひとり）に献げられた。次いで司祭叙階廿五年を感謝する荘厳ミサをルリエ師が献げ、ドルエ、モーゼ両師が補祭をつとめた。なおミサ中、深堀司教が司祭職とミサ聖祭について説教した。

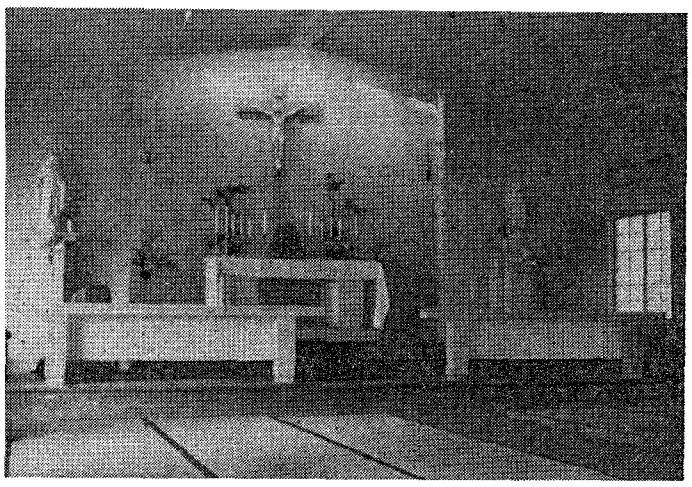
新聖堂は三八坪、畳敷で障子になぞらえた明り窓がつき、和室を思わせる落ちついた感じを出している。近い将来折尾地区の小教区聖堂として使用されることになっている。

祝別式を司式したルメール司教は十二月下旬視察のため来日、函館を皮切りに北九州、神戸、静岡、東京の各地を訪問した。一九四八年以来パリ外国宣教会の総長の要職にあるが、前に元満洲吉林代牧司教であった。

ルリエ師略歴

ルリエ師はフランス・アンゼー教区出身、一九三四年十二月二十二日パリ外国宣教会大神学校聖堂で司祭叙階、翌三五年六月十四日来日、三八年から五〇年迄戸畑教会主任として司牧に当ったのち、聖小崎育児園々長として不幸な子供たちの指導に献身している。

（写真上は聖小崎聖堂内部下は右からルメール司教、ルリエ師、深堀司教）



スカボロ会総長来福

カナダ・トロント市に本部をもつスカボロ外国宣教会総長F・デイマート師と副総長J・フーラートン師は、同会の視察のため一月中旬来日、廿六日深堀司教を訪問した。

スカボロ会は本教区では福岡市吉塚教会を受持ち、長崎、名古屋両教区でも布教の第一線に立っている。ディマート師は中国、サンドミンゴの宣教に当ったのち、本部の同会大神学校長を歴任し、昨年八月総長に就任。フーラートン師は前にサンドミンゴの管区長であった。

臼杵教会にルルド洞窟

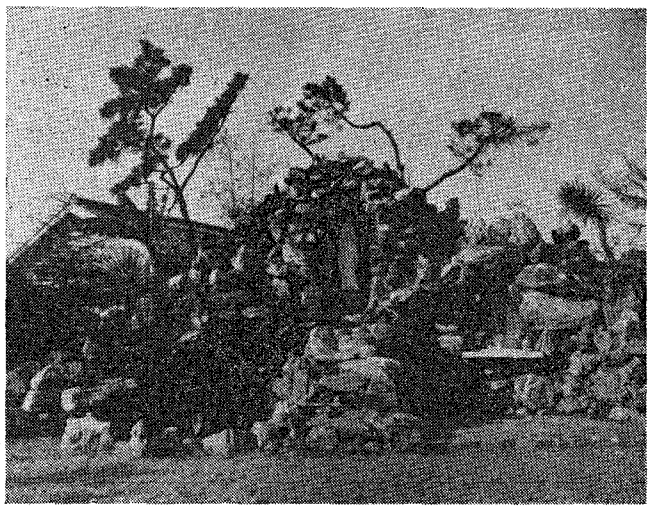
イタリヤから聖母像

大分県臼杵市祗園洲の臼杵のサンタ・マリアの教会のユリオ・マンガネッリ師（サレジオ会司祭）は一昨年十一月着任以来、教会前の空地にルルドの洞窟建設を計画していたが、さき程待望の大理石製高さ一メートル三〇センチ、重さ一四〇キロの聖母像がイタリヤから聖母像が到着したので、すでに完成していた高さ五メートル、巾十メートル以上の洞窟内におさめられ、祝別式と除幕式を盛大に行なった。

式にはサレジオ会日本管区長ダルクマン師はじめ多数のサレジオ会司祭、臼杵市長、市教育長、附属幼稚園々児と父兄、信徒たちが参列して、ダルクマン師司式で行なわれた。

この洞窟建設には信徒のみならず市民多数が絶大な支援を与え、岩石の運搬、ツゲの古木ほか樹木の寄附などが全くの好意をもってなされ、その大きさと芸術的価値からみて、我が国でも指折りのものが完成した。洞窟の設計と工事監督には助任司祭ファロニー師が自ら当った。聖母像は宮崎日向学院のタシナリ院長の寄贈になるものである。

臼杵市はキリシタン史のなかで重要な町で、大友宗麟がここの丹生島（にうじま）に城を築き聖堂を建て、イエズス会の修練所もあった。一時は住民全部がキリシタンであった。なお現教会は市の公園である臼杵城址に隣接しているので、洞窟の建てられた場所も聖母公園として市民の物心両面のやすらいの場となった。（写真は臼杵教会のルルド洞窟）



二科展に入選

戸畑市明治学園図工科教諭横尾龍彦氏（戸畑教会所属信者）は第四十四回二科展に入選。

神学校のための献金

福岡教区

大名町	三、三四八円
浄水通	四、七八〇
地行町	二、七二〇
簑島	一、二〇〇
西新町	八三〇
高宮	二、〇一〇
那珂町	七〇〇
吉塚	三、四〇〇
箱崎	七二七
茶山	六七〇
大楠	一、五六八
古賀	五〇〇
二日市	八〇〇
今村	四、五〇〇
本郷	二、〇〇〇
久留米	一三、九九〇
大牟田	一、三〇〇
呼子	一、一六〇
馬渡島	七三五
佐賀	一、七〇〇
唐津	五〇〇
鳥栖	二〇〇
伊万里	四〇〇
鹿島	三〇〇
武雄	二〇〇
門司	一、九五〇
小倉	五、〇〇〇
湯川	九〇二
戸畑	一〇、〇〇〇
若松	一、二〇〇
門田	一、七〇〇
八王寺	一、三一〇
黒崎	三、四〇〇
水巻	一、四〇〇
直方	一、三〇〇
飯塚	三、二〇〇
田川	・八〇〇
行橋	四、〇〇〇
新田原	四、一〇〇
手取本町	八一三
健軍	三、七〇〇
島崎	一、〇〇〇
八代	一、〇〇〇
人吉	五〇〇
水俣	一、〇〇〇
玉名	七五〇
限府	二、一七〇
本渡	二〇〇
大江	一、二〇〇
崎津	二、一五〇
荒尾	二〇〇
計	一〇四、一八三

宮崎教区

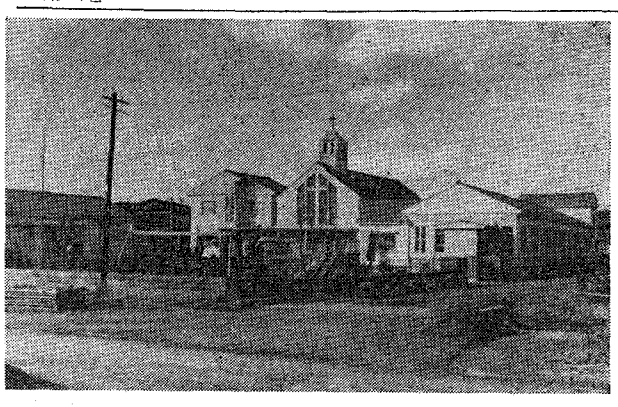
宮崎	一、七〇〇
田野	
都城	
小林	
日南	
高鍋	
延岡	
日向	一、三〇〇
大分	一、〇〇〇
別府	一、二〇〇
臼杵	一、三〇〇
中津	
大頁公園	一、〇〇〇
日田	五〇〇
坂ノ市	
杵築	三〇〇
佐伯	五〇〇
鶴崎	
計	八、八〇〇

日向カトリック幼稚園完成

宮崎県下で八番目

宮崎県下のサベリオ外国宣教会では日南市飫肥の新幼稚園について（主任司祭フォケサト師）に隣接の地に幼稚園を新設、昨年十二月深堀司教の臨席を仰いで祝別式を行なった。これによって宮崎県下のカトリック幼稚園は八つを数えるに至った。

新幼稚園は一〇五坪で近く二一坪の小ホールを増築の予定である。開設と同時に一一八名の園児が入園したが、来る四月には一六〇名収容することになっている。（写真は日向幼稚園）



AFS杯を獲得

明治学園の林さん

明治学園高等学校二年生林茂登子さん（写真）は、十一月二十三日大阪ABCホールで開催されたAFS杯第一回全国高校英語弁論大会（演題「十代と世界」）に九州代表として出場し、各地代表二十五名中第一位となり、最初のAFS杯を授与された。

トクベフ師帰日

昨年一月以来フランスに帰国中であった小倉教会主任F・トクベフ師は去る一月七日北米経由で帰日した。師が日本から出発の際林小倉市長自らの筆になる三枚の色紙を故郷ランジャクの市長デュラン氏に委托されたが、帰日にあたって同市長より林市長への贈物を持参した。

アガタ青木いちさん

（久留米教会主任青木保師母堂）一月八日老衰のため逝去、享年七十七才葬儀は九日午後二時半より大刀洗教会で挙行深堀司教ほか十数名の司祭が参列した。

宗教書、宗教用品のお求めは

聖パウロ書院で

福岡市万町電停前

TEL④四五八八

カトリック全書　各巻　価200　〒30

第十二回配本

レキュエ著　野口秀吉訳

司祭とは何か

司祭、神父について、最近とくに話題になっているが、司祭の役割について、明白に答えられる人は少ない。本書は司祭の起原、設定、階級、特長などをのべ、信者がどのように司祭職に協力すべきかものべている。

第十三回配本

ドリオトン　ギュイユマン　コントノー　共著　稲垣良典訳

古代オリエントの宗教

東洋は文化を築く温床地ともいわれ、古代人も深い宗教心に富んでいた。本書は、エジプト、ヒッティト、ウール、フェニキヤ、スメル、バビロン、アッシリア、イランなど古代人がいかに神を探求したかを物語っている。特にこれら諸国の神話は、だれもが興味をもって読める。

第十四回配本

クリスティアニ著　金子之賢介訳

異端小史

キリストの教は唯一であるが、表現は多けれども称である。教会はこの教えを保ちつづけたが、途中で、ある者は、これを誤解し、違った解釈を行った。本書はこの異端説を史実に基いて説明している。

砂漠の炎

ミシエル・カルージュ著　パウロ・エグリ　鈴木映子・細川淑子　共訳

神秘的探険家シャルド・フーコー伝

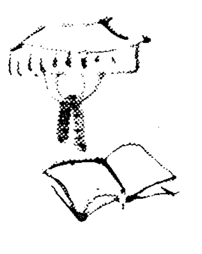
軍隊生活を送って後改心し、トラピスト会修道士となり、ついで司祭としてパレスティナや砂漠で隠遁生活を送った「サハラの隠者」の感銘深い伝記。彼はその感嘆すべき模範によって、今日でもキリストの生活すなわち隣人への奉仕とともに隠遁と祈りの生活をいかにして生きることができるかを示している。誰にも興味深い本。

四三八頁　三九〇円

「わがことばを守れ」①

罪をおそれよ

D・バートン



罪とはどれ程恐ろしいものであろうか。われわれには罪など日常茶飯事のように見える。新聞、テレビ、映画はいつもわれわれに犯罪を見せつけてくれる。"罪だって？ どうしてそんなに恐れなきゃならないんだ、人をだましたり、袖の下を貰ったりなどは珍らしいことではない。どうせつまらん人間のすることだ、誘惑は多すぎるし、然もわれわれは天使ではないんだから……。

人類を滅亡させる程の大災害が起ったとしても、一つの大罪、一つの嘘ほどに恐るべきものではない。自然が破滅しても霊魂に決定的打撃は加えられない。もし神が望み給うなら、新らしい世界を創造することがおできになるのだ。しかし一つの大罪を償うには、神は最愛の御子をこの世に送り十字架の死を要求し給うたのである。

キリスト教的罪悪観は、世間の感じる所と雲泥の差がある。罪とはこの世のもっとも戦慄すべき災いである。一体どうしてなのか。

それを理解するには君自身がどんなものであるか、そして君が罪を犯すとき実際に何が起るのかを考えてみなさい。神に対して大罪を犯した、または犯しうる君自身は一体なんだろう。今年二十歳の君は、二十一年前にはどこにも存在しなかったのだ、その時にはこの老木にも劣るものだった。

所が憐みの神は君を無より引き出して、貴重な存在を君に与え給うた。この存在こそは自然界の何物よりも貴いものである。そして神はこの外に限りない程のお恵みを惜しみなく君に施し給うた。君のもっている良いものはすべて神から来ている。

君に最高の贈物をして下さった御者のみが、君に本当の幸福を賜うことがおできになる。人間の心を限りなく満たすものは神以外にはない。しかも神のこの寛大は、君が神を愛させるためではないか。君は"万事に越えて"愛すべきではないか。

罪を犯す者は"私はあなたを見ることができない。私は自分で幸福を作り上げます。好きなまま生活を楽しみたいのです"と言う。かれは地上の快楽の空虚をもって神の富に代え、愛に対して憎しみを返えし、神の寛大さを利己的な愛をもって踏みにじるのである。

一切を与え給うた神に背くこと これが罪である。

神が一つの大罪に対して恐ろしい罰を下し給うわけがお解りだろうと思います。（筆者は那珂町教会助任）

聖書・典礼用語の説明 (7)

民族

唯一の祖先につながる神の民を指す。"あなたたちは、選ばれた民、王の司祭職、聖なる民であり、やみからかがやかしい光にあなたたちを呼ばれたお方の不思議をあらわすためにえらばれた民である"（ペトロ前二の9）

腰

ヘブライ人にとって腰とは、神のみが近づくことのできる人間の隠れた部分を示す。腰は内密の感情のわき出る所であると共に、身体的力の源と考えられる。

食事

地上と天上につどう家族の意味をもっともよく表現する日常行為。

休息

約束の地を形容する語の一つ。砂漠をやっとの思いで通過してきたあとの休息、敵の攻撃から護られた休息の場所、虜囚の苦しみから解放されたあとの休息、天国での決定的休息、一週の最後の日は休息の日である。死者のミサで、"主よ、永遠の安息をかれらに与え給え"と祈る。

イスラエルの生残り

大きな災い、特にバビロンの流刑から生きて帰れた人々。

露

露はパレスチナに多く降り、雨量の不足をおぎなっている。ヘブライ人は、露を雨と同じにみなしている。露は神の聖寵の象徴。"天よ、汝のつゆをしたたらせよ"（待降節中の祈り）

神の国

神の国または天の国といわれる。これは度々ダヴィドの王国のすがたで表わされてきたが（詩篇七二参照）政治的性格は全くなく専ら完全な精神的王国に変貌してきた。イエズスによって創設され聖霊の降臨をうけて堅固にされ、世の終わりの日に完成される。（ルカ一の32参照）

サバオ

これはヘブライ語であって、群星や軍隊のように秩序ある群衆を指す。"万軍の神"は天軍、すなわち天使たちを命令統率する全能の神にて在す。

安息日

イスラエル人たちが仕事を休んで、神を礼拝していた安息の日（土曜日）

犠牲（いけにえ）

生物や無生物を神に捧げることであるが、その場合殺したり、形を変えることによって、すでに人間の使用から離れて、神のものとなることを表わす。われわれは自分を犠牲に供することはできないが、われわれの生命のもとになるものを捧げるのである。牛や羊、穀物などが捧げられ、キリストは人類全体の犠牲として御自分を御父天主に捧げ給うた。

御子を神殿に献げ給う

ユデヤの習慣によると、母親は男子出生の四十日目にエルザレムに参詣して犠牲を献げ、初子である男子は神のものであるから、それを買い戻さねばならなかった。

その日朝早くヨゼフは、幼子を抱くマリアをロバにのせて出発した。丘を登ること四十分にしてかれらはエルザレムを五粁のかなたに望見、約一時間ののち聖なる都の城壁のもとに達した。町の大門前の広場には商人や隊商、ロバやラクダがひしめき喧騒をきわめていた。ヨゼフは次々と門をすぎヘロデの宮殿の前を通って神殿に到着した。マリアはロバからおりて同じ目的で神殿の東の大広場に集った人々に合流した。長い回廊のそばで犠牲の供物を司祭がうけとるので、ヨゼフは貧しい家族の献物である二羽の鳩をさし出した。一羽は屠られ、もう一羽は潔めの犠牲として献げられるためである。（レビ書一の14－17、五の7－10）

ヨゼフはそれから五シクルのお金を、イエズス買戻しのために献げた。これはモイゼの時からの定りであった。ヘブライ人がエジプトから出発するのをファラオン王が妨げるので、神はすべての初子を殺し給うたが、ヘブライ人の子だけは難を免れた。この時以来ヘブライ人の母親から生れた初子は神に献げられることになった（出エジプト書十三章）神のものとなったものを自分のもとにひきとるには、神殿に五シクルを支払う規定になっていた。これは廿日間程の労働賃金に相当する金額であったらしい。

幼子イエズスが天父の家を去る前に、神はある敬虔な人々に御子を現わすことを望み給うた。シメオン老人はマリアの腕に抱かれた幼子が、イザヤが予言した待ちに待たれた救主であることを聖霊によって知らされ、救いが諸国民の上にもたらされたことに感謝の叫びをあげる。

キリストは世の光である。ローソクの祝別はわれわれが主の御教をうけ、福音に従って生きること、主のようにわれわれも世の多くの人々を照らす光となることを意味する。

冬の夜の語らい

一、罪―自己を見つめる

一日の仕事からすっかり解放されて、暖かい部屋に妹とおこたに差し向いで冬の夜長を語り合う愉しいひととき――。

「人間って容易に自己を捨て切れないものなのね。私達の信仰過程では窮極のところ自分が可愛いいから、抑制出来なくて罪を犯してるみたい。今日もね、長たらしい洋書のタイトルの略し方が間違っていたので、善意から、ごく小声でそれを言ったら『私じゃないよ』『僕じゃないよ』『誰？ そんなタイプの打ち方するのは』と騒がしくなりかけたの」

妹は愉しそうに編棒をリズミカルに動かしている。

「ホ……皆自分を悪く思われまいと必死になるのね、どこの職場でも同じね、

「そうなの、この間も、単行本のカードが、生理学の四九一・三の分類番号の所に入れるべきなのに、診断、治療学の四九二に入ってたの、皆自分ではないという風をしたわ、人に転嫁したい心理が動いてたわけよね。そういう場合、自分さえ認められゝば良い、誤解されては損だとするたてまえは一般通念であって、私達は、人が侮り、さげすもうとそれを快く受け、またそうされることは神の愛であるから喜ぶべきでしょうけれども……」

「実際問題としては私達にはまだ難しいですね。つい正当防衛的な罪を犯しがちになるわね、お姉様は女にしては悪口を言わない方だけれど――万事批判的だから…」

「『お門が悪い』と言いたいのでしょ、直すべく努力するわよ。人の悪口は私、影響のある人には言わないわよ、友達同志にでも。貴女にだけしか」

「キャッキャヤッ、まるで私は食虫植物、そうだわ真空掃除機みたいね」

「その点信用絶大だからなのよ。私は人から信頼されてゝ、誠実な人だとは言われてるんだけれど、もっと内省し確め試してみたいわ」

「私も、苦しいことだけれど愉しくもあり生き甲斐あることだと思います」

「私もっと口を慎しみましょう、私、告白する罪の種類で最も率の多いのは『妹に人の悪口を言いました』だわ、統計をとったら自分がはっきりして面白いわね」

「あらいやだ。私は怒りの罪が多いわホ……」

「まあ、貴女はいつも優しく朗かだからその点愛徳になってるわ、怒りっぽいのは傲慢に由来するのじゃないかしら、お互に謙虚な人になりましょうね」

私達の忌憚なき語らいは尽きることがない。夜はしんしんと更けまさり、外は厳しい寒風が荒んでゆく。

鹿野 秀子

獄中の涙

大原 郁紀

クリスマスの翌日のこと。「大きな犯罪者であるとはいえ、これまでになっている人間を……酷い！おれには理解できん」と、はずませた声の内に悲嘆と憤りを秘めて、親しい囚友がやって来ました。それはクリスマスの日に「死」という最終宣告をいい渡された私への、彼の深い同情の言葉でした。そういう彼のまぶたは潤んでいました。私は、彼の今までの好意のどれよりも、この涙をうれしく美しく思いました。私がジット彼のひとみと光る涙を見つめているのを知って、彼は恥ずかしく思ったのか「おい大原、お前はどう思っているのだ！」と、死の宣告に対する心境をいえというように、涙をぬぐって私の眼差しをさえぎりました。あのカルワリオの主に向って流される涙だったら、この囚友の涙は真に美しいといえるのだろうが……と思いながら、私は彼の追及に口を開きました。

「君の友情には、ぼくも泣けてくるほどにうれしい……。だが、この宣告は犯した罪に対する当然の償いなのだ。そう、現代社会ではぼくの償いが、この宣告以下のものであってはいけないのだ。また、心おこっていうのではないが、審判を下した裁判官も、君と同じ思いであったかも知れない。とすると、裁判官のこの決定のための苦衷は、恐らく君以上だったと思う。それにK君、たとえ宣告が死であっても、最もぼくにとって大切な霊魂に、死の宣告のない方がぼくには喜びなんだよ」と。

天主様のご聖寵で知り得た知識の範囲で、死というものについての私の信心を、彼に語りました。

「国禁を犯した罰でさえ"死"であるならば、神の国の禁を犯した人間はどんな罰をうけるべきであろう。君の憤りと嘆き、そしてこの宣告を下した裁判官の心中の苦しみにもまして、神の国の法廷で霊魂の死を宣告し給う時の、無限の愛に在す神の御心は如何なるものか。そしてまた「汚れ多い社会でさえ罪人の存在をゆるさないのだから、ましてや、全く汚れなき神の国においておや。その社会さえ受け入れてくれないこの汚れ多い身が、神の御恵（洗礼）によって、神の国に住むことをゆるされたのだから……。ぼくの喜びが如何なるものかも、賢明な君にはきっと理解出来るだろう……」と。

かねてより無神論者をもって認じている彼は、私の顔をポカンと見つめていましたが、複雑な表情で十字架像を眺めつつ帰室してゆきました。そのひとみにはさきほどの涙がまだ光っていました。私は彼の涙がこの状態で、やがて主のために心の中で流されるよう、彼のために祈ることを、聖母の優しき御まなざしのもとで決心しました。

俳句

仕事場の横は絶壁梅開く
冬ぬくし砂丘に子等の駈け廻る
風声

しいのみ学園にて
煖炉燃え園長十年の苦心談
初あられ痳痺の子相撲い顔真赤
牧泉

着ぶくれの人間違えて共笑う
楚々と来て真ぐ立ち去れり春の風邪
恵女

祭服及びその材料

昭和23年春カトリック教区連盟事業部の御指導により発足

TRADE MARK
THE WEAVERS' GUILD "GOTEN"
Kyoto Japan

光栄ある業績

前教皇ピオ十二世聖下の荘厳ミサ用セット謹製。世界各地の枢機卿様方を始め内外各地の多数の神父様方へ祭服あるいは生地などを納品。

営業品目

祭服・ストール・祭壇掛・同天蓋・聖体行列用旗・カソック・壁掛・聖櫃掛・聖画（織絵）・祭服地・裏地・等々

御用の節は何卒御一報下さいますようお願い申し上げます。見本も種々取揃えてございます。

国内法人名及び所在地
京都市上京区室町寺ノ内角
五天貿易株式会社
電 京都 44・八二二一

ユニヴァーサル文庫

テレーズ・マルタン
M・G・ドーレ 著
大滝玲子 訳
価 230

ある女の一生
マリオ・ナシテリ 著
菅 節子 訳
価 150

聖パウロ女子修道院

現代思潮とカトリシズム

J・ロゲンドルフ 編

好評重刷

西洋の代表的な思想家二十数人が今日の世界的な問題に答えた宣教百年記念の一大シンポジウム。布教第二世紀への教役者には回顧と展望に、一般には古い伝統と広い世界性をもつカトリック思想の再認識。現代の危機克服に資するところ多大。

四五〇頁 価七五〇円 〒48

高山右近伝を読む

日置　吉彦

我戦国時代の名将高山右近、彼は信長、秀吉、家康の三人に仕えて武名を轟かし、切支丹迫害の始まるや当局の忌む所となり、国外追放という前代未聞の処罰を受けて、マニラに送られ、遂にかの地に於いて客死した数奇なる運命の所持者、ジュスト高山右近の生涯こそは誠に波瀾に富み、わが国キリスト教布教について重大なる役割を果たしていることをしみじみ感ぜしめる。

彼れ右近、性慎重にして豪毅、若くして洗礼を受け、青年武将として一城の主となり、千軍万馬の巷を往来し、当時多くの武将の仲間では重きをなしていた。

当時の畿内方面はキリスト教渡来後日猶浅く、外人宣教師、日本人伝道士等の活躍に当っては、右近は積極的に援助をなし、素晴らしき布教手腕を発揮して、彼が家臣及領内の住民に対して洗礼を施すに尽力し、多くの武士や町民は続々と信者となり、華々しいキリスト教殉盛時代を作り上げたのであった。

切支丹が時の主権者より一時は優遇され、次いで迫害を受けて、彼の有名な二十六聖人殉教という事件の起ったのは、実に右近の全盛時代であった。当時切支丹宗門の筆頭として自他共にゆるされた右近が、幸いにも所刑を免れはしたもの、やがては領地没収、そして前田家寄食等漸次受難の度は深刻さを増し、遂に一家眷族と共に長崎に送られ、ルソン島追放の憂き目に遭わされる悲劇を見るに至った。

一見、戦国時代の武将としては敗北の姿と云えるかもしれない。しかし、毅然たる殉教的態度、信仰に徹したその堅固旺盛なる精神は、実に讃歎に値するものと称すべきであろう。聖教のために地位を棄て、家を離れ、曇烟万里の異域に於いて、敗残者の姿を以て地上の命を失ったけれども、光栄を天主に帰し、天国に於いて無上の幸福を得たことゝ思われる。

予、数年前高槻市に遊び、親しく高槻城址徘徊して往時を追想したまたま右近会館（高槻教会堂）の献堂式に招かれて、田口司教様と席を同じうした光栄の日を想い起し、感慨更に深きものがある。

また終戦の月数ケ月を経て四国の小豆島を訪れ、島の名勝地寒霞渓に登り、四望亭より遠く中国及び四国の山々を望見したことがある。右近の迫害に遭える期間の一に、小西行長の庇護の下に、この島に避難していたという史実を読み、これと思い合せて感興を深めたことであった。

聖将高山右近逝いてより已に三百余年、わが国カトリック界の現状を顧みる時、右近の如き先覚者、熱烈なる布教の先達者を必要とすることいよいよ切なるものがある。

短歌

二丈

人気なきこの高原のスロープを
切りて道ありジープ現わる

はめ板のこわれしままの出湯なり
湯治の子らか人おじぬはだか

（塚原の湯）

石仏のくびのみ石にのせてあり
岩に形ありかげ絵の如く

石仏の肩辺の岩に残りたる
朱色かすかなり千年のとしと

（深田の石仏）

三ッ子の魂

なでしこ

ある席上でその筋の専門家から子供の不良化の原因と動機について講演を伺いました。

甘やかした結果か、又は遺伝的性格異常か又は親が子に打て合わない結果の慾求不満かと大別して実例を上げてくわしく説明して下さいました。結極何れの場合もブレーキのきかない心に育て上げてしまっているので、一寸したきっかけによって、大それた犯罪を犯す結果となると云うお話しでございました。

私はよくバスにのって田川方面に出かけます。両側の景色に見とれていると、パタッとバスは停車します、赤い字で「ブレーキ検査」とかいた白い立札の側で、運転手はブレーキのテストを始めます。

グーグー　ガーガー

運転手が「ブレーキ異常なし」とつぶやいて後、車は又すべり出します。人間の心にも目に見えるブレーキがついていて、一々危険な曲り角へ来る度に、ブレーキテストがされるなら、世の中にこんなに沢山のあやまちや犯罪はないでしょうに。

そこで講演会後何人か集まって扱ブレーキが効く様に育てるには何時頃、どんな風に教育をしたらいいだろうか、と言う事が話の中心になりました。

私の末っ子が二歳半の時、丁度近くの幼稚園が立派に竣工しました。あの幼稚園に僕も行き度い、僕も行かせてとしきりにせがみます。一歳半も年が不足なので、一生懸命に言って聞かせますが、そんな事は子供には理解が行きませんのでとうとうシスターにお願いして見ましたところ、近い事ですし、そんなに希望されるなら、およこしになってごらんなさいと、快い御許しが頂けました。

シスターも親もどうせ長くはつらくまいとたかをくくっておりましたところ、来る日も来る日も身体に不似合な大型バスケットにおべんとうを入れて出かけて行きます。

三つになった頃ある朝

「この頃僕のところへ、悪魔が来て僕の邪魔ばっかりするから、おいのりして下さいってシスタにお手紙かいて」と申ます。

シスターは、早速その組のお子さんをみんなつれて、お聖堂で祈りして下さいました。

どんな誘惑に負けているのかとシスターに伺って見ますと大分幼稚園に馴れて来たので、食前の祈りが始まるとがまんし切れずにソーットおべんとうのふたをあけて角っこのお漬物をつまみ出してポリポリやり始めるのだそうで、ほほえましい、その状景にシスターと顔見合せて笑った事でございます。誘惑にかかることが悪魔のいざない、と知ったところに大きなブレーキが取りつけられた物と思われます。五歳の頃一度又ハッキリと「僕の心に、今日悪魔が来て僕はとうとう負けてこんな事ををしました。」と云ったことがございました。

この話しをその席上で致しましたところ、「三歳で、誘惑に対してハッキリと自覚する教育を、その幼稚園ではなさるんですね」と先生は、つくづく感心していらっしゃいました。結極生まれた時から小学校に入る迄にあらゆる時を逃さず、がまんする力、忍耐する力、カトリック的に言えば、キセイする力を養なわせると同時に目に見えない神が常に見守っていらっしゃると云う事を心の底迄しみ通らせる事が何より重要だと云う事の思いを深く致しました。

カトリック結婚講座

結婚前の準備 ⑬

今回はカトリック信者が、非カトリック信者と結婚する場合の準備について略述してみよう。ここに非カトリック信者とは、カトリック以外の洗礼をうけた者、またどんな洗礼もうけなかった者を指す（但し回教、ユデヤ教の信者は除外する）。前者との結婚が混宗結婚で、後者とのそれが異宗結婚で、何れも司教の免除なしには結婚することはできないものである。

主任司祭への通知

信者はできるだけ早目に、非カトリック信者との結婚の希望とその理由をはっきり主任司祭に知らせる。司教から免除をうけるために、主任司祭はその結婚の理由を具体的に説明する必要があるから

信者側からの準備

受洗と受堅の証明書、未婚または新らしい結婚をする自由の証明書、公教要理の勉強などは信者同志の結婚のときと同様（前稿参照）

この種の結婚の公告は、特別の場合を除き、行ってはならない。（教会法一〇二六条）

非カトリック信者側からの準備

(1) 戸籍謄本―これによって配偶者との血族関係の有無、結婚への自由（未婚、または再婚の場合には前配偶者の死亡など）が明らかにされる。

(2) 公教要理の勉強―福岡・宮崎両教区では少くとも六回の要理勉強をすることが絶対的に要求される。これによってカトリックの教の大要、特にキリスト教的結婚と家庭の意義が教えられ、充分の納得が与えられる。

両方同時に

誓約書の作成―主任司祭はふたりのほか、証人（信者）二名を出頭させ、自分の前で誓約書二通に署名させる。誓約の内容は、子供にカトリック教の洗礼を授け、カトリック教的教育を施すことを約束させるものである。

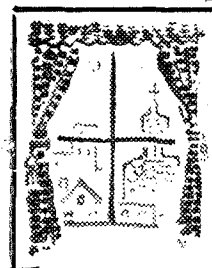
またカトリックでない配偶者は書類によって、カトリックである配偶者の信仰を危くするものを遠ざけるという約束をする。

誓約書二通のうち、一通はふたりに手渡され、もう一通は主任司祭が保存する。

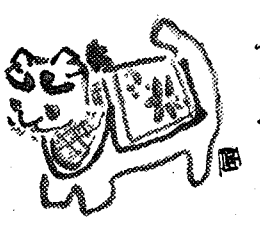
以上の準備が終ってはじめて、主任司祭は、ふたりの結婚免除を司教に請求する。免除が与えられると、カトリックの儀式に従って結婚式を司どる。

注意

正規の免除をうけた夫婦は、カトリック教会で、主任司祭の前で結婚した後にも、またその前にも、非カトリック教の祭司のもとに行って、結婚式を挙げてはならない。



ぶっくがいど



現代思潮とカトリシズム

J・ロゲンドルフ編

この書については、カトリック新聞や世紀に大家の詳しい紹介または解説の文が出ているので、またこの新聞で推薦文を書くのは、屋上屋を架するようで少々うしろめたいのであるが、日本のカトリック出版界に正に一時期を劃する金字塔ともいうべきこの書の出版に対し、一言なかるべからずと思い筆をとる次第である。

大体世界一流のカトリック学者文人が二十数名執筆しているというだけでも目をみはるものがあるのに、それの翻訳に協力した人が、単にカトリックに好意をもつ日本の有数の学者達であるということは、大変うれしいことである。このような大編さん事業をなさって下さったロゲンドルフ神父様に厚く感謝する次第である。出版社も、創文社であり、表紙から見返し、題紙、そしてルオーの絵に至るまで、全く申し分のない上品な出来栄えであり、しかも定価が七五〇円とは全く低廉で、その倍の金額でも高くはないと思う程である。

五〇〇ページの本文は、信仰道徳、社会、文化の四項目に分れドーソンのキリスト教と近代の起源という論文を序として、一項目に付、それぞれ数名の学者、文人が寄稿している。その中には、既に数種の翻訳が出て日本に於ても著名なマルセル、グアルディニ、シュマウス、アダム、ダーシー、グリーン、モーリヤック、リュバック等の名もみえている。それらの人々がいずれもカトリックの一致の下、自己の個性を失わず発言している。ロゲンドルフ師もその序文に「この論文集が、目前焦眉の問題に対してかならずしもみな一様に権威的な強い発言をなしていないかもしれないが、しかしそのことは、カトリシズムが懐疑も逸脱も許さない、ただ一本の固定した柱のような体系であるという世間の錯覚を一掃するのに役立ってくれるだろう」と云っておられる。文化、あるいは道徳に興味がある人はその項から読めばよいであろう。しかしながら、こゝにのせられている程度の問題は、カトリック者としてすべて一応は考えておくべきであろう。名のみ知ってその人の思想にまだふれていなかった時など、あゝこの人の考えはこのようであったかというようなことが分り大変便利である。そして関心のある問題にぶっかったならば、この二・三十ページの短文に満足することなく、更に深く同名の人の著書を研究することができるだろう。

（K）

新刊　価20

カテキスタの霊的養成

福岡大神学校 聖会法教授　ジアン・ポール・ラベル著

中央出版社

古い歴史・新しい内容

コンサイス英和辞典（改訂版）　革　四〇〇円
コンサイス和英辞典（改訂版）　革　五五〇円
コンサイス英英辞典　革　三八〇円
デイリーコンサイス英和辞典　革　五三〇円
新クラウン英和辞典　革　四四〇円
ジェム英和・和英辞典　D縮刷版　二〇〇円
最新明解英和辞典　大型版　三〇〇円
中学英和新辞典　四八〇円
初級コンサイス英和辞典　八五〇円
初級コンサイス和英辞典　五〇〇円
三省堂独和新辞典　三〇〇円
コンサイス独和辞典　二五〇円
コンサイス仏和辞典　一七〇円
コンサイス露和辞典　一五〇円
日西辞典　四三〇円
商業英語活用辞典　五〇〇円
コンサイス露和辞典　六〇〇円
日西辞典　二、〇〇〇円

辞書は三省堂

辞海　縮刷版　一、〇〇〇円
新版広辞林　背革特装版　二、〇〇〇円
新小辞林　一、二〇〇円
明解古語辞典（改訂版）　三〇〇円
明解国語辞典　四五〇円
新修国語小辞典　三八〇円
音訓両引き国漢辞典　一五〇円
三省堂小学国語辞典　三五〇円
新撰漢和辞典　二八〇円
明解漢和辞典（新版）　七〇〇円
三省堂大六法全書　三五〇円
模範六法全書　一、一〇〇円
明解六法　三七〇円
学習百科事典　一五〇円
明解日本語アクセント辞典　八〇〇円
　五〇〇円

三省堂　福岡出張所
福岡市向田町九ノ三
本社　東京都千代田区神保町

昭和30年7月14日第3種郵便物認可　毎月1日発行 第59号

カトリック

深堀司教認可
発行所　福岡市浄水通
福岡司教館
発行兼編集人　深堀敏
定価　一部十円

科学研究者を養成せよ

青年教育の回勅発布記念に

教皇メッセージ

教皇ヨハネ二十三世聖下は、ピオ十一世教皇が三十年前に発布された青少年のキリスト教的教育に関する回勅「ディヴィニ・イリムス」の回勅記念会が、オランダのユトレヒトで開催された十二月三十一日、国際カトリック教育事務局にメッセージを送られた。その中で教皇は、この記念すべき回勅が少しも現代性を失っていないこと、それを新時代の要求に充分に適応させる研究をつづけるよう論された。メッセージの主要点は左の通り、

(1) この回勅はまさに青少年の教育に関する大憲章であって、教会の教権のすばらしい記念碑であり確固たる原理、明白な論述をもって家庭、教会、国家それぞれが教育に対して負うべき役割を示している。

(2) この重要な文書は、その真理の一つをも失っていない。昨日も今日も教会は教育の分野において自己の権利と家庭の権利が、国家の権利に先立つものであることを高らかに肯定する。また教会には強い確信をもった教師たちによってキリスト教的人生観が教えられ信仰の光のうちで、一切の教えが与えられるような学校をもつ固有の権利があることを主張する。

(3) この回勅の明らかな指導を、教育にますます強い関心をもってきている信者たる両親が知らずにいてはならない。両親の集いが多くもたれ、家庭と教師との協力が強められていることはよろこばしい。

(4) 国内当局と国際当局が、人類の知的、道徳的向上を熱望して教育、科学、文化の普及を大規模に行なっているこの時代においては教育の見地を説明し代表し擁護するために、教会の子らが各場所に積極的に現存することが、従来より以上に必要である。

(5) 回勅の現代的な原理を常に新らしい情勢変化に適応させてゆくこと、最近宗教教育の著るしい進歩、教育心理学の発展などがみられるが、特に技術の進歩とその教育に対する影響を度外視することはできない。我々の信仰は、科学や技術を恐れるものではない。むしろ科学の新らしい進歩は、世界を創造し給うた神の善意をたたえるものである。

(6) しかし「科学は、人間がよりよいことにも、またより悪いことにも自由に利用しうる単なる手段にすぎない」ということも信仰の教える所である。

(7) 従って今日多くの熱心な信者が科学の分野にのり出して、創造主の望み給うた方向にそれを向けてゆくこと、そのために多くの子供たちが専門的な養成とキリスト教的教育を施す、すぐれたカトリックの技術学校に通い、世界と教会が必要とする明日の「職業的、道徳的エリート」が養成されることは、まことに適切なことであると考える。

カトリック・アクションの三つの特徴を明示

教皇聖下は去る一月十日ヴァチカン大聖堂に参集したローマのカトリック・アクション会員に演説なされたが、その中で三つの特徴を次のように説明なされた。

(一) カトリック・アクションは聖職者を「援助する」ものである。教会権威者に托された使徒職への平信者の協力である。ゆきずりの情熱の表現でも、伝統の単なる擁護でもなく、カトリック司祭職と一致して、神の御国の到来、魂の救いという理想を助けるものである。これは聖なる召命でありピオ十一世教皇は、使徒職への完全な人間形成からでてくる。

(二) カトリック・アクションは秩序ある正しい和解した一致の模範である。私が度々口にしているこの一致は、実際効果ある司牧と使徒的活動に対する希望と約束を包みもっている。

とくに日々つのりゆく奮発心をもって、精神の和解と一致を固く保つように、それがなければ何も永続できず、豊かな実を結ぶことは、同じ活動をしていること、同じ方針に従っているということからだけでなく、全会員相互の和解、相互がキリスト教的愛と奮発心にもえ、相互によき模範となることが生じる。

(三) カトリック・アクションは旗であり、現代の輝やく記しである。黙示録にこう記してある。私は天頂をとぶ天使をみた。かれは地上にすむ者、すべての国と部族と言葉と民とにつげる、永遠の福音をもち、大声でこういった。「神をおそれよ、神に光栄を帰せよ、その審判のときがきたからである。天と地と海と水の源とをつくられた方を礼拝せよ」(十四章6—7)、皆さんは生か死の言と復活の言を携えるもの、教皇たる私の心のなかに躍動する夢を全世界にひろげ、実現するために働くものである。

皆さんは私の望みに応えて、キリスト教的社会秩序の基本原理を防衛し、キリストによってあがなわれた人間を保護し、人間の尊厳性、その自由、その不変の権利の基礎となるものを価値あらしめるために献身しているのである。神の聖寵の助けのもとにこの理想を実現してゆかれんことを…。

聖ドミニコ・サヴィオ
青少年の模範
(3月9日)

世の光

もっと善い生活を

無神論者で科学者でもあったジャン・ロスタンは信仰と生活の一致しないキリスト者に次のような皮肉な言葉を残している。『信ずる人は信じない人に言う〝貴方は信じないでよく生きておられますね。信じない人は信ずる人に言う〝貴方は信じているなら何故もっと善い生活をしないのですか』と。このような言葉はジャン・ロスタンに聞かされなくても、周囲の人々から度々聞かされ、また自ら口にする言葉であろう。

実際、信仰の光によって人生の意味を知り、如何に生くべきかを知りながら理由にもならない口実のもとに信仰に生きない信者がいる。彼等は口癖のように『生活が苦しいものだから』『忙しいものだから』とか言う。彼等の処作は如何にも、信仰に生きることが裕福なヒマ人のことでもあるかの如き感じを与える。生活苦を理由にキリスト教的生活をしないからこそ『貴方は信じているなら何故もっと善い生活をしないのですか』と言われるのである。『信者とはいい加減なものだ、あの位のものだったらわざわざ信者になる必要はない、守らない信仰、棚の上にあげて置く信仰が何になるか』と求信者と悪魔に高笑されるのである。彼等は世の光たれとのキリストの言葉に反するユダ的信者であり、キリストの御名に泥を塗り、教会の名誉を汚す者である。

天主を知らない者が非行を働くのは致し方ないとしても信者には断じて許されないことである。彼等は自分の中に自分勝手にでっち上げたキリスト教の中で生きているのである。朝夕の祈りをどうにかして、日曜日のミサは時たま与り、一週のうち一回小斎を守り、十戒のうち気に入ったものを守り聖体拝領は最少限度に控え、狡猾な泥坊を働き、平気で偽をいい、安易な生活をする。天主からも人からもより多くのものを得たいと貪欲に身を固めながら、他方では天主のためにも人のためにも殆んど何も与えようとしないケチンボなのである。

このような生方が献身的な協力をほばみ、傍観的な、そして批判的な、さらに嘲笑的な態度となり教会の発展をはばむのである。これは他人事でなく、われわれ一人一人が反省すべき事柄である。

われわれ自身の中にそのような点が見出されないとは言えないからである。われわれが本当に信仰生活の永遠的偉大さを悟り信者としての軛に愚痴を挟まないで、喜喜としてこれを荷なっているならば、敵どもは決して『カトリックは窮屈だ』とか『いい加減なものだ』とか言わず、却って内心からほとばしる神への愛のエネルギーに心打たれて感嘆の声を洩らす筈である。われわれは此処で聖パウロの言葉を想起すべきである。『兄弟達よ、汝等洗礼により神の子光の子となったのであれば、神の子、光の子として信仰の光のうちに生活しなければならない』。キリストとともに天国の共同の世嗣として、キリストの如く労難を排して信仰に生きなければならない。キリストは狂者と思われる程に、われわれの救いのための御自分の使命を、鉄の心をもって果して行かれたではないか。あらゆる嘲笑も、批判も、罵倒も呪も十字架への彼の心を変動することは出来なかった。このようなキリストの態度は敵等の眼からすれば愚の極みであった。しかし、見る眼を持った人達はこの厳然たる態度のうちに真の偉大さを認めたのである。われわれも、いやしくもキリスト者として、このキリストのうちに偉大さを認めなければならない。そして、倣わなければならない。われと光栄をともにしたければ、われとともに日々信者としての十字架を担いで従い、その十字架の上に身を横たえて死なければならない、とは同じ聖主の教なのである。われわれは皆、自分に都合のよいように作りかえた信仰を棄ててキリストによって打ち立てられた信仰に生きることによって過去を精算しなければならない。

邪曲な心をもってキリストに近づいたユダが、その内心を見抜かれて、こそこそと暗の中に逃げ去ったような真似をしないで、マリア・マグダレナのように、十字架上で改心した盗賊のように赦を求めるべきである。聖パウロのようにきっぱりと方向を変えてキリストの精神に則って奮発すべきである。キリストは、われわれ一人一人の信者としての聖性と完成またわれわれの協力による諸人の救を望んでおられるからである。

××　××

われわれ一人一人がより強き信者となるよう努力しないで、どうして他人を信仰に導くことが出来よう。

われわれがキリストに一層近づかないで、どうして他人をキリストに近づかせることが出来いう。

われわれが天主を愛する者とならないで、どうして他人に天主を愛させることが出来よう。

われわれが聖徳に進み、完成に努力しないで、どうして他人を聖徳に励ますことが出来よう。

われわれが改心しないで、どうして他人を改心させることが出来よう。われわれが救霊に意を用いめないで、どうして他人の救霊に努得よう。(牧山重光)

綜合叙階式のお知らせ

来る三月十七月(木)福岡サンスルピス大神学校では、剃髪式から下級、上級聖品、司祭職までの綜合叙階式が挙行されます。このような機会は当地ではめずらしいものでありますから、列席なさりたい方は、神学校当局に御申込み下さい。(電④四九四三)聖堂の座席数に制限があります。また叙階なさる方のためにもお祈り下さい。

七田喜次師は十七日大神で司祭叙階、鵜野泰年師は十七日助祭に二十日久留米教会で司祭に叙階されます。

永久聖体礼拝

(三月)

第一日曜　都城教会
第二日曜　マリア会
第三日曜　地行教会
第四日曜　潟川教会
男子パウロ会

祈禱の使徒

(三月)

来るべき公会議の準備促進

【一般意向】

【布教意向】アフリカにおける健全な家庭生活

【日本布教委員会の意向】キリスト教の道徳が日本の家庭に行き渡るように。

メリー・ジョゼフ童貞(聖体のフランシスコ会修道女)二月二十二日午後二時三十分心臓弁膜症のため逝去。昭和二十六年十一月米国クリーヴランドの修道院より来日。葬儀は二十四日午前十時より深堀司教のもとに行なわれ、塩原水町の修道院内の墓地に埋葬された。

三月　聖ヨゼフの月

二日(水)　灰の水曜日(小斎)
「汝は塵なり塵にもどるべきなり」四旬節を通じて、われらの心の基本的態度はけんそんーわれらの本性を直視すること。ごうまんとは自分のありのままのすがたを認めないことである。
各教会で朝または夕方に灰の式が行なわれる。

六日(日)　四旬節第一の主日
四旬節は霊と肉との激闘のときである。自ら誘惑を経験し給った主は、われらの弱さを助けることを望み給う。

学士会黙想会(於司教館)

七日(月)　アキノの聖トマ博士証聖者。
学問と信仰の見事な調和を実現した中世最大の神学者。天使的博士と称せられる。

八日(火)　聖ヨハネ・デ・デオ証聖者。
看護修道会を創立して、病人のために献身した。わが国では、神戸市で病院を経営している。

教区司祭月例集会の日

九日(水)　聖トミニコ・サヴィオ証聖者。

十日(木)　中津市八幡前教会祝別

十一日(金)　臼杵教会の鐘の祝別

十二日(土)　聖大グレゴリオ一世教皇博士証聖者。
グレゴリオ聖歌の創始者として有名。

十三日(日)　四旬節第二の主日。
イエズスの御変容は、四旬節の修練によって、われらが達すべき光栄の度合を示すものである。肉の欲望を正しく抑えることが、人の輝きを増す因になる。

門司教会で堅信

十七日(木)　日本のキリスト信者発見の童貞マリアの記念日。聖パトリック証聖者
日本のキリシタンが長い迫害の間、聖母マリアの特別の御保護のおかげで、信仰を保持し、一八六五年ついに発見されるに至ったことを記念する。

福岡大神学校で綜合叙階式

十九日(土)　聖母マリアの浄配および全教会の保護者聖ヨゼフの祝日
聖ヨゼフが聖マリアの浄配に選ばれ給うたのは、御子と聖母を困難や誤解から守るためであった。今はキリスト教会を守護し給う。

廿日(日)　四旬節第三の主日。
〝私とともにおらぬは私に反し、私とともに集めぬ者は散らすものである〟イエズスとサタンの中間をゆくという態度は不可能である。あえて中立を保とうとする者は必ず悪魔にもてあそばれる。

久留米教会で司祭叙階式

廿一日(月)　聖ベネディクト修院長
西欧修道院制度の創立者。五四七年帰天。

廿四日(木)　大天使聖ガブリエルの祝日。

廿五日(金)　聖母マリアの御告げの祝日。
御言なる神が人となって、マリアのうちに降り給うた、人間歴史最大の玄義を礼拝しよう。

廿七日(日)　四旬節第四の主日。
今日はよろこびの主日である。長い四旬節の苦業のなかでも、決してほほえみを忘れてはならない。

武雄カトリック新幼稚園祝別

開校準備進む二高校

マリスト会が男子高校 熊本市健軍に新設

マリスト学校修道会では福岡司教区とコロンバン外国宣教会の申し出により、一年前から熊本市健軍町字北原の八千七百坪の地に男子高等学校の新設を決定、来年四月開校を期してパトリック修士が熊本で準備を進めている。

熊本市には現在私立高校は十校あるが県・市当局のみならず、父兄の多くが高校の新設を希望しており、市も健軍地区を将来文教地区とする意向をもち、教育環境として申し分がない。しかも敷地は電停から二分しかかからない至便の地である。

来る四月工事に着手し、三カ年三期計画で校舎その他付属施設を完成させる予定で、第一期工事は鉄筋三階建、五百坪程度を約六カ月で建設する。昭和三十六年には第一学年一二〇名（三学級）を募集する。

久留米に信愛女学院 幼きイエズス会が経営

わが国で教育、社会事業に長い伝統をもつ幼きイエズス修道会（ショーファイユ会）は、地元の絶大な熱望と協力により、久留米市に幼稚園から短大までをふくむ女子綜合学園（久留米信愛女学院）を開設することになった。

その具体的話し合いのため二月十七日フランスの同会本部から、総長テレーズ・ド・ランファンゼーズ管区長が、宝塚市の日本管区長セン・ポール管区長を伴って来福し深堀司教と会見し、現地関係者と意見を交換した。

これによると久留米市御井町字矢取の五万平方米（約一万五千坪）が学園敷地となり昭和三十六年四月、まず高校開設をめざして、農地五条の許可がおり次第工事に移る。募集人員は第一学年二百名、四学級でそのあと直ちに幼稚園を開き、小学、中学、短大の順で五年後に全コースを完成する予定である。学校が建てられる御井町は西鉄久留米駅からバスで十五分の地点で、高良山を一望におさめる風光明眉の閑静の地である。

当計画に対しては杉本市長はじめ市当局、住民会部がこぞって積極的に協力し、四十三に上る地主全員がよろこんで土地を提供した。

幼きイエズス会は、わが国では大阪、和歌山、熊本に同じような女子学園を経営しており、久留米市に三十年前から聖心幼稚園と嵯川養護、養老施設をもっている。

田島に小教区設立計画

アウグスチノ修道会（公称はアウグスチノ隠修士会）では福岡市内の布教に従事するため、友泉団地に近い田島の野添の地に、小教区を創設することになった。すでに土地の購入も終ったので宅地にする許可がおり次第、建築にとりかかる。田島・長尾地区は近い将来に人口十数万をいれる一大住宅地となるため、小教区の設立は結果千人塚殉教碑のある城山公園の後方が市当局から提出されることになったのである。

移送に当り墓石を掘り起した所裏面の中央に幅三センチ、縦横二十センチの十字架と隅の方に高さ十五センチ横九センチのマリアの姿が刻んであった。このマリアの像は極めて幼稚なもので、幼きイエズスを抱いてはいないが、同市本町には子供を抱いたヤマンバの人形が伝わり、いまも作られており、関係があるのではないかと今後の研究課題となった。

キリシタン墓地と指定された所は広さ八十坪で、ここに埋葬されたものは天草迫害前後のすべてのカトリック信者の代表として記念するものであり、所有者は本渡市で教会が管理一切を受けもつことになっている。

（写真上はキリシタン墓地での祓祷式下は墓石に刻まれた十字架とマリヤ像）

本渡にキリシタン墓地 貴重な資料も発見

天草本渡カトリック教会では去る一月二十九日本渡市観光協会と協力して、天草郡五和町御領と手野から古いキリシタンの墓碑九基と遺体を本渡市に移送、城山公園の旧本戸城二の丸の一角に埋葬したが、二月三日改めて祓祷式を行なった。

そもそも天草島には千三百程のキリシタン墓が残っているがそのうち千二百が本渡市から四粁はなれた五和町にあり、五十基二十基という具合に散在している。十字架の刻印のないものも墓石の形によって容易に推察できる。そのうちに幾つかは土台石などに転用されていた。

ライル師（当時本渡主任）は本渡中学校の鶴田教諭の案内でその実態を知り、適当な墓崇を表わすことを望んでいた所、五和町および本渡市観光協会との話し合いの

家庭ロザリオ 十字軍を設置決定 総指導師に棚町師

深堀司教は昨秋来福したペイントン師の主唱する家庭ロザリオ十字軍を、福岡、宮崎両教区において開始することを発表し、まず教区総指導師に棚町正刀師を任命したが、ペイトン師との話し合いによって、両教区における実践計画日程を次のように決定した。

開始　四月十日　教書発布
第一説教　四月十七日
第二説教　四月二十四日
第三説教　五月一日
第四説教　五月八日　野外大会
第五説教　五月十五日
終了　五月十八日

本十字軍の内容は各主任司祭からくわしく説明されるが、その組織のアウト・ラインは左の通りである。

家庭ロザリオ十字軍の世界的成功のかぎは、細密な組織とその完全な遵守にある。

（一）司教の役割

十字軍は教区単位で行なわれ、その責任は司教にある。司教はペイトン師と協力する教区総指導師を任命する。

十字軍の日取りが決定すると、全教区内の司祭、信者教師を別々に召集して計画を説明し、尽力を要請する。

五週間の十字軍の開始と家庭ロザリオの実行について、信者に教書を発布し、日曜日のミサに朗読させる。

（二）主任司祭の役割

小教区に十字軍を組織するのは各主任司祭である。

五つの日曜日の説教においてロザリオの祈について説教する。指導能力のある二名の信者を選び、小教区の委員長と副委員長に任命する。この二人がリーダーとなって、十字軍の終りに誓約を集める役員のグループをつくる。

十字軍の役員の五回の集りを司会する。

小教区組織を通じ、地区に従って小教区内の全家族の氏名住所のリストを作成して、委員長に渡す「誓約の日曜日」の後、誓約に署名した家庭の数を集計し、司教に報告する。

（三）教師の役割

教師は種々の方法を用い、生徒を通じて家庭に十字軍を教える。

（四）平信者の役割

小教区で活動する平信者は十字軍組織の隅石である。かれらが家庭に誓約署名させる実際の仕事に当る。

委員長は、小教区を百家庭づつの地区にわけて地区長を決め、地区長は各地区を二〇の家庭の組に分ける。地区長は五名の組長を選び、各組長は三名の係員をもち、共に活動する。

小教区内の病人には、英雄的な誓約を依頼する。

役員は男子に限り、ロザリオと誓約についての質問に答える。

（五）野外大会

教区野外大会は家庭ロザリオ十字軍の劇的中心である。大会ではロザリオを共同に厳かに誦える。司教が司式する。

家庭ロザリオ十字軍組織一覧

ペイトン師

司教

教区総指導師

委員長

副委員長

主任司祭

（地区長）

（百家庭単位）

（組長）

（二〇家庭単位）

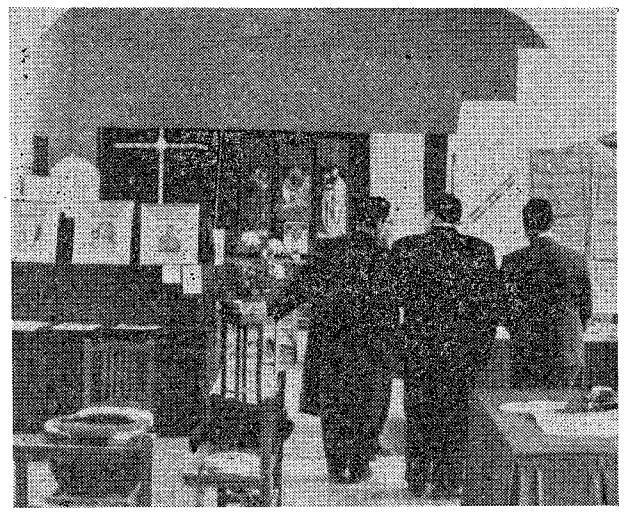
（係員三名）

〝共に祈る家庭は共に留る〟

祭服展示会開く

京都の五天貿易株式会社（社長藤野捲造氏）出品の祭服および材料の展示会は二月十六・十七両日福岡双葉学園講堂で行なわれたが司教館の集会に集まった教区司祭や大神学生、修道女、一般信者多数が参観に押しかけた。なおピオ十一世教皇から今村教会に下賜された同教皇紋章入りの祭服も特別出品されて人目をひいた。

（写真は展示会場）



アンゼラスの鐘着く

イタリヤから臼杵と日田に

このほど大分県の日田教会と臼杵教会にそれぞれ大小二つのアンゼラスの鐘がイタリヤから送られてきた。大きい方が日田教会の分これはサレジオ会総長が数年前日田教会を訪問したとき当時そこの主任司祭であったユリオ・マンガネッリ師に約束してあったもの。

臼杵教会のローマ式の鐘楼にあげられるものは銀と銅でつくられた重さ七十キログラムで、周囲にキリスト像と平和のシンボルであるオリーブの花に聖ドン・ボスコ（サレジオ会創立者）の肖像、ピオ十二世教皇の紋章であったオリーブの小枝をクチバシにくわえたハトを浮き彫りした時価十余万円の立派なもの。三月十一日深堀司教によって聖別される。

教会ホール完成

（本郷）

大刀洗町本郷教会（主任村岡久義師）では長年待望されていた伝導館（教会ホール）を建設、一月三十一日落成祝いをかねて深堀司教から祝別された。建坪二十二坪

なお本郷、今村両教会では当地出身のブラジル在留者の依頼で、教会の諸行事や家庭、田園風景などを十六ミリに撮影している。大きく変わりを見せた故郷のすがたを婦国できない在留邦人にしのばせるため。

育児園を慰問

吉塚カトリック教会のヨゼフ会員日置吉彦氏ら五名は、二月七日福岡県三井郡今村教会付属の清心慈愛園（育児院）を慰問、自分たちのポケット・マネーで準備したお菓子、文房具など九十人分を贈り、紙芝居、しば笛、お話し、手品、剣舞などを披露して子供たちをよろこばせた。

ヨハネ木村大吉さん

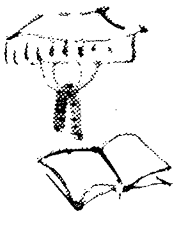
（木村義己師――前馬渡教会主任現在ブラジル――厳父）

二月一日老衰のため長崎県北松浦郡鹿町町褥で逝去。

宗教書、宗教用品のお求めは
聖パウロ書院で
福岡市万町電停前
TEL④四五八八

キリストにならって
荻原晃訳
「第二の福音書」「中世紀最高の信心書」とも称されているキリスト教的修徳書の傑作で、約五百年前に出版されてから世界各国語に訳され愛読されています。内容は「浄めの道」「照らしの道」「神との一致の道」に区分されています。
ポケット判四七八頁
一八円・〒三〇円

聖心の使徒（昭和35年3月号）
表紙　日曜日の朝（大野綾子作）
三月の意向　今世紀最大の出来事……七田和三郎
アフリカの家庭問題（三日の布教の意向）……粕谷源蔵
黙想　心の細道……下嶋正昭
最上の賜物（四）神的生命をどう考うべきか……K・テイルマン著　荻原晃訳
病人の回復なる聖マリア（二）……十字架のイエズス修道女会
聖なる四旬節……I・スチューツレ著　窪田芙美子訳
写真特集　十字架の道……
ユダの悲劇……辰野太野
アン女王……須賀敦子
報復……池淵鈴江
二十の公会議……教会史を語るもの
現代人の祈り（二）……岳野慶作訳
聖書の時間　山上の声（一）……J・A・フイリツプス
新本めぐり……
ポスト……
ラテン語教室……J・ベチコフエル
日本祈禱の使徒会発行
売読会員費（一ケ月）¥三〇円〒5　（一ケ年）¥三〇〇円〒05
東京都千代田区紀尾井町七



「わがことばを守れ」②
人の目的
D・バートン

この世の多くの人は唯今のことしか考えません。まして自分の将来の目的、何のために生きているのか、将来何処にいくのかを知ろうとしないし、考えようともしません。丁度行先も知らずに汽車に乗った人のように……

ドイツのある詩人は次のようにいっています。たいていの人の墓の上には、なぜ世に生れたかを忘れていた愚かな人がここに休んでいる、と書きつけることができそうだ、と。

確かに人間には目的があるに違いありませんもしその目的を捉えたら、人は自分のつまらない生活を高めて、一生を満足に過ごしてゆくことができるでしょう。しかし、多くの人は自分の生活にとらわれて、この尊い目的を忘れ、莫然と日々を過しているのではないでしょうか。

人は誰でも幸福を探します。私たち人間は長い長い人生の旅行をして、この世の淵に辿りつくまでに一時的な楽しみをもって、幸福を探したが、ご存知の通り、到底できないものです。一体、快楽、財産、歌や踊り、酒などは本当の幸福を与えてくれるでしょうか。いいえ、これらは私たちをがっかりさせてしまいました。

なぜなら私たちの生活は、悲しみの巡礼であり、痛みをもってこの世に出て、涙の谷を通ってこの世を発ちます。黄金が精錬されるためには、汚ない金鉱が苦しい火に入らねばならないように、私たちは完全な人間になるために、生活の苦痛と悲しみとの潔めを受けねばならないのです。

見渡す限り砂また砂の砂漠を通る旅人を想像してごらんなさい。照りつけり太陽、のどの喝き、恐しい嵐にさいなまれ、疲れた足をひきずりながら、歩くその身は空腹のため半ば盲目になった形です。この憐れな人はどこからきたか？どこへゆくか知らないのです。次第に大空は闇に包まれてしまいます。苦痛や欠乏には希望が少しもありません。慰めのない旅行です。

もし私たちが人間の目的、要するになぜこの世に生れてきたか、なぜ生きているか。なぜ苦しむのかという問題の解決を知らなければ、その旅人のようではないでしょうか。私たちの理性、来世について考えられる知慧などが、拷問の道具にすぎないでしょう。

自分の目的を知り、それのために生活を送らなければ大損です。その上私たちが探す完全な幸福に達することができません。

聖書・典礼用語の説明 (8)

サドカイ人

ユダヤ教の一派に属する人々政治的には日和見主義、宗教的には懐疑派。かれらは人間の復活と天使の存在を否定していた。（ルカ廿の以下）

救い

死と罪はわれわれを奴隷化した。「救い」はこの隷属からのイエズス・キリストによる解放あがないを増す。これはわれわれの敵に対する決定的な勝利である。

智恵

神における智恵は、人間の知性を無限に越える属性をさし、人間における智恵は、人間的経験と神の誡律に従って生活する術をさす。真の智恵はすべて神から出るものであって、神なる御言において完成される。聖書中の智恵の書とは、格言、伝導雅歌、集会、智恵の諸書を含み人間と神の智恵をとりあつかう

聖なるもの

聖なるものとは、第一に完全な人物を指すのではなく、俗界から離れて、至聖なる神にささげられた人または物をいう。神は被造物とは全く別のものであるという意味で聖にて在す。聖霊は最高の成聖者である。

衆議会

ユデヤ人の総評議会。三階級に属する七名の議員によって構成されていた。即ち現役または退役の大司祭たちと司祭の家柄の長男たち、律法学士（その大部分はファリザイ人）、長老またはその顔役たち。ニコデモやアリマテアのヨゼフはその議員であった。（ヨハネ十一の47）

サタン

ヘブライ語で敵を示す。とくに狡猾者、誘惑者なる悪魔をさす。（マテオ四の1―11）

救世主

人間に救いをもたらし給うたイエズスの呼称の一つ。（マテオ一の21）

つまづき

誰かが転ぶもととなる障害物（道ばたの石）イエズスを信じている隣人の信仰をあやうくする行為や手本や言葉は、このとき"つまづきの石"となる。つまづかせるとは、誰かの信仰を減少させ、あるいは殺してしまうことである。イエズスは、隣人をつまづかせる人をのろい給うた（マテオ十八の6―9）

律法学士

律法を解釈する人、律法を制定する人。

冥府（よみ）

旧約によれば、死後の霊魂の住居。霊魂はそこで神とのまことの結びをもたず、半睡状態の生活を生きる。新約においては冥府はイエズスが打ち勝ち給うた死の力の住む国である。

シオン

エルザレムの神殿のたつ丘、そのことから聖なる都をさすようになった。エルザレムと同義である。

イエズス試みられ給う

イエズスの試みに関する記事のうち第一の部分を簡単に註解してみよう。この超自然的事件はイエズスとサタンの間で行ったことである。公生活の一番始め主は洗者ヨハネから改悛の洗礼をうけ給うたが、ヨハネはその時"これは私がよろこびとする愛子である"という天からの声をきいた。このあと主は、宣教の大事業開始の直接準備として、まず四十日の苦業に入り給うたのである。

福音の記事

イエズスは四十日断食してのち飢を感じ給うた。すると試みる者が近づいて、"あなたが神の子ならこれらの石がパンになるように命じなさい"といった。そこでイエズスは"人はパンだけでなく神の口から出るすべての言葉によって生きる、と書かれてある"といいかえされた。

誘惑者の言葉

"もしあなたが神の子なら…"サタンはナザレトのイエズスが、本当に三位一体の神の第二位なる神の子であるか知らなかった。それをよく知っていたら、あえて誘惑はしなかったであろう。しかしイエズスは非常に特別な使命を神から授っているらしいこと、そのふしぎな誕生、受洗の時の天の声などを考え合せると、神の摂理の計画がはっきりとわかるし、モイゼやエリヤと同じように、奇蹟を行なう力も受けているらしいことが解ったのである。

だから悪魔は、イエズス受洗の時のかの声をとり上げて"神も申された通り、あなたが神の子なら奇蹟の力をもって石をパンに変えないか、そうしたら飢を満たすことができるではないか…"といいよってきたのである。

イエズスのお答え

イエズスはやがて着手なさる使命にはふれずに、きっぱりと悪魔の誘惑を退け給うた。大切なのは食物だけでない、何よりも神の摂理に従わねばならない。神はその口から言葉によって世界を創造し支配し給うではないか…。イエズスはこのとき、神の意志に全く従順に生きる敬虔な一ユダヤ人の態度をとっておられる。

誘惑の意味

これが貪食に関する誘惑であったと考えるのは見当違いである。サタンの底意は、イエズスに超自然的能力によって必要な食物を手に入れさせることにあり、こうしてイエズスを摂理に不従順ならしめようとしたのである。ではイエズスに対する摂理とは何であったか。それは、神の子は人間となったのだから人間として生きること人間として忍むべき苦しみから自分だけ除外されないこと、喝きも疲労も忘恩も、そして更に御受難の時の責苦も十字架上の死さえも甘受することである。苦しみの杯を最後の一滴まで飲みほすことである。飢を医すため奇蹟を使うことは摂理の望む所ではない。しかし、同時に日常生活に必要なものは、信頼をもって摂理から期待してもよい。主は山上の説教で教え給うことを自ら実行しておられたのである。"生命のために何を飲もうかと思いわずらうな。"（マテオ六の25）。

冬の夜の語らい

二、苦難について

私達は寝る前の自由な時間をどちらからともなく、勿論テーマはきめないがよく、宗教に関する話しをする。

姉　この頃は苦難の悲痛さの中に喜びが、それも成果のそれでなくて、加味されていることを実感として味わうことができるようになったわ。あまり有難くはないけど与えられた苦難に立ち向う希望、努力の課程においてね、もっとも病苦、生活苦、国家や世界に関するもの等のように、自分一個人の力では ゴマメの歯ギシリで どうにもならない。政治の貧困や社会悪から来るもの――それも非常な努力と忍耐と祈りとで、ことによっては進展するが――そういう大きな苦難を喜んで甘受する自信はないけどもね。

妹　神の御手によるものであるから、忍べもし、希望を持って前進できますわね。

姉　私、試煉の最初の頃は、克己と忍耐とがうまくできなくて苦難の奴隷となってたわ。情熱にまかせたり、派手な口論をしたり。今ふりかえると赤面したり、ふき出すようなことばっかりホ…。でも次第に人間が深まり、忍耐の訓練ができるのね、そこに神の愛を見るわ！

妹　神の愛だから試煉はそう長く続くものではないでしょうね、人によって長さや大きさはいろいろでしょうけれど……。

姉　貴女なんかこれからよ、しっかりしっかり。

妹　まアとんでもない。でもお姉様は試練続きですわね、そして今はか弱い女の独り身で社会悪やいろんな誘惑と闘いながら、自分一人の実力だけでも生きていらっしゃるのだし――まるで暴風時のボートね。

姉　凪の日もありましょう。――さっき聞いたベートーヴェンの百三十二は百二十七、百三十とともに苦難の極地で血を以て作られた、とロマン・ロランはいってるわ。彼ほど大きな試練を受けた人も少ないでしょうね。私たちは聖人や偉人に励まされるわね！

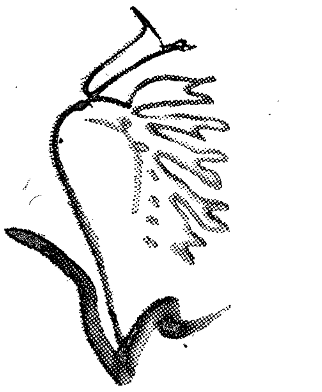
妹　そうね、そしてイエズス様の御生涯と御受難とを黙想すれば何でも忍べるはずだわね。

姉　だからキリストを知らない人は可愛想ね。私そこに布教の情熱が湧くのよ。重病人の苦患や病気と生活苦等が重なった人たちの苦難を思うとたまらなくなるの、自分で行動に移せない苦難程苦しいものはないんですもの……苦悩を神に捧げることね。

妹　病人は、苦悩を忍耐強く担うことそれ自体が一つの犠牲であり忍耐の徳の中で最上だといわれていますね。

苦難から御摂理へと話は尽きない。時計は十二時を指している。

鹿野　秀子



俳句

冬ぬくし丘で神父の話聞く
雲雀野や通勤バスに揺られ行く　風声

春の水古陶に充たし抱きかこう
ウイスキー控え目に滴（おと）し春の客　恵女

梅林を見上ぐる玻璃や大試験
面接や隅の小卓のシクラメン　牧泉

児童福祉献金（十一月三日）

福岡教区

大名町	四、四六八
浄水通	三、五五〇
地行町	二、三〇〇
襄島	一、一五〇
西新町	一、〇〇〇
茶山	二、一四〇
大楠	二、五八九
高宮	一、〇九〇
那珂町	一、〇〇〇
吉塚	一〇〇
箱崎	八九一
古賀	八五〇
二日市	六六一
今村	四、六〇〇
本郷	二、〇〇〇
久留米	四、五二三
大牟田	一、五〇〇
呼子	一、六五二
馬渡島	一、八一一
佐賀	一、五〇〇
唐津	五〇〇
伊万里	五〇〇
鹿島	三〇〇
武雄	二〇〇
門司	二、二〇〇
小倉	四、五〇〇
湯川	一、二〇〇
若松	一、五〇〇
門田	一、三〇〇
八王寺	一、三〇〇
黒崎	二、八三〇
水巻	一、一五〇
直方	二、〇〇〇
飯塚	三、二〇〇
田川	三六〇
行橋	一、三二〇
新田原	二、五〇〇
手取	四、五〇〇
健軍	一、五一四
島崎	三、二五〇
八代	一、三〇〇
人吉	二、二一〇
水俣	八〇〇
隈府	一、〇二〇
玉名	七九五
本渡	一、〇〇〇
大江	一、五〇〇
崎津	二、一五〇
荒尾	二四〇
学園	
泰星	五、〇〇〇
双葉	四一、五三〇
明治	二九、一〇〇
信愛	一五、三〇〇
白百合	一、六四二
幼稚園	
高宮	四、四三五
大楠	三、六六五
二日市	四、一二四
聖母（久留米）	九、六九〇
聖心（〃）	一八、三〇〇
修道院	
琵琶崎	二、三〇七
人吉	九、〇〇〇
計	二七一、六〇七
（昨年度二二三、四〇〇）	

宮崎教区

宮崎	三、八〇〇
田野	一、五二〇
延岡	七五〇
高鍋	一、九〇〇
日南	二、五〇〇
日向	五〇〇
都城	三、五〇〇
小林	六〇〇
大分	一、五〇〇
別府	二、〇〇〇
中津	六〇〇
大貞公園	六〇〇
坂ノ市	一、〇〇〇
鶴崎	一、〇〇〇
杵築	八〇〇
臼杵	一、五〇〇
佐伯	五一〇
計	二三、五八〇
（昨年度二〇、四五〇）	

祭服及びその材料

昭和23年春カトリック教区連盟事業部の御指導により発足

光栄ある業績

前教皇ピオ十二世聖下の荘厳ミサ用セット謹製。世界各地の枢機卿様方を始め内外各地の多数の神父様方へ祭服あるいは生地などを納品。

営業品目

祭服・ストール・祭壇掛・同天蓋・聖体行列用旗・カソック・壁掛・聖櫃掛・聖画（織絵）・祭服地・裏地・等々

TRADE MARK
THE WEAVERS' GUILD "GOTEN"
Kyoto Japan

御用の節は何卒御一報下さいますようお願い申し上げます。見本も種々取揃えてございます。

国内法人名及び所在地
京都市上京区室町寺ノ内角
五天貿易株式会社
電 京都 44・八二二一

カトリック全書

各巻200円　〒30円

第十三回配本
ドリオトン　ギュイユマン　コントノー　共著
稲垣良典訳
古代オリエントの宗教

東洋は文化を築く温床地ともいわれ、古代人も深い宗教心に富んでいた。本書は、之エジプ、ヒッティト、ウール、フエニキヤ、スメル、バビロン、アッシリア　イランなど古代人がいかに神を探求したかを物語っている。特にこれら諸国の神話は、だれもが興味をもって読める。

第十三回配本
クリスティアニ著
金子之賢　介訳
異端小史

キリストの教は唯一であるが、表現は多称である。教会はこの教えを保ちつづけたが、途中で、ある者は、これを誤解し、違った解釈を行った。本書はこの異端説を史実に基いて説明している。

高血圧なでしこ

血圧二百二十、これじゃぁよほど用心しなくちゃいけませんね。先づ無塩食、そして睡眠をよく取ること、あまり外出をしないこと。

医師から注意されて、さてこれはまたどうした事かと、心まどいながら家へかえった。

充分の睡眠という事は、寝坊の私には大変有難い事ですが、塩辛い物の好きな私にとって無塩食、そして外に仕事を持つ私に外出禁止同様、これはまた何と情ないことでしょう。丁度その日博多駅で血圧二百二十の人が倒れた話をきき、今日有って明日を計られない人の生命。

この生命を聖手の中に司り給う天主様におゆだねするより外に道のない計りがたい人間の生命について次々に思いめぐらす。また一面、この私を創り給うた主に対し、自分の不注意から血圧のバランスを破った自分の落度にも深く反省される。だんだんこれについて黙想する時、聖心がこれを望み給うならば、無塩食を守ろうし、また外出時は特別の御保護を願って外出もしようと、決心すると同時、きっともっと深い何等かの聖計らいがあってこの様な状態が起った物にちがいないと判断される。

いくら遺伝とはいえ、体質とはいえ充分の注意を怠らず、与え給うた天寿を主の御用に立てつくして故郷にかへるべき大切な義務のある肉体をおろそかにした罪は大きい。天主様からわ賜った生命の尊さ、仰せつかった使命の重さを思う時、今まで自分なんかと、軽く思っていたことすら罪に価する様に思われる。聖心ならばどんな事も快く行わせて頂くという固い決心とともにわがままを封じて聖心の御命令のままに御保護を祈りつつ謙遜に与えられた使命に精進し度いと願われる。

リュマチの痛みに堪えかねて鎮痛剤をのみすぎて急死された方、激怒して鎮静剤を用いて家族のあれよあれよという間になくなられた方をこの一週間内に身近かに見聞して、創り主の御恩と愛とを、わが胸に常において生きられる者の仕合せをつくづくと思う。

天主様への愛は忍耐を生み、隣人への愛から寛容を覚えて、常に心の平静を保つことが出来る様になって来た。その結果として高い血圧でも突発的に危険を生じる事もなくなる。

天主様から頂いた身体に対する観念は節度を守る事を教え、天主様に対する信頼は安眠をうながし、従順は医師の指示を守らしめる。偉大な御恵みを感じて信仰の尊さを改めて感謝するにいたった。

司教の日に憶う

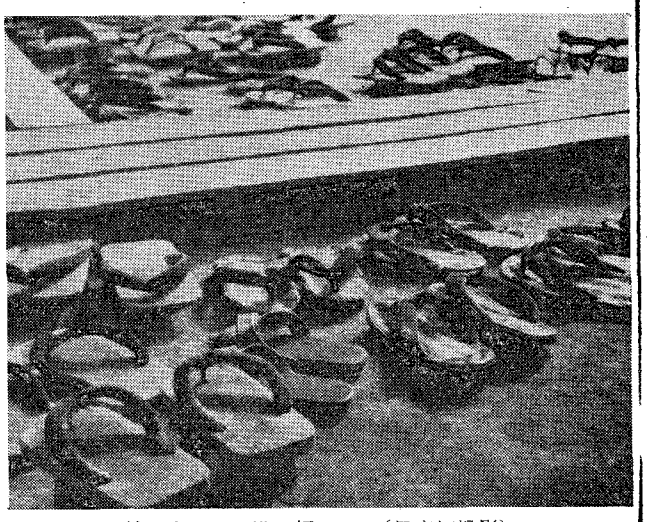
山中　茂

読む祈りであるなといはすみ論しの耳朶にしひびく吾も然りき
信仰に徹し得る日のありやなと省みるとき弱く魏くし
信仰薄き者よの御声うけとめてたじろく吾を吾と憐む
一日の内神と一致のひとときをせめてと願ふまたも崩るる
ロザリオを繰りつつこころ一途なりこのひとときぞ私なりす

折々の歌

日置吉彦

死の如き静もり愛すわれひとりまだきに起きて朝の祈りす
しみじみとこの世の旅路思いおり六十迫るわが髪白く



教会の横顔　(伊東師撮影)

カトリック結婚講座

結婚＝神の召命 ⑭

神の父性に

結婚生活に入ることは、修道生活を選ぶことと同様、召命の道であることに気づいている人は少ない。教育や社会事業に従事することは尊い職務であるが、結婚生活を送ることなどは、献身というような崇高をふくまない俗なものだと考えられている。

夫婦の生活は、崇高な生活の様式である。司祭が、教え導き聖化する聖務をもって、神のあがないの恵みを発揮するように、かれらは相互に扶け、子供を産み育てることによって神の創造の業をつづけ、子供の霊魂を見守り永遠の生命にまで導くことによって、神の父性にあずかるのである。

異る役割

神は創造の業をつづけさせるために、いろいろの方法をおとりになることができたが、人類の生存のためには、男女を造り、各々に適した役割を課し、一方の弱さを他方の力をもっておぎない、相共に扶け合いながら神に協力するようにし給うた。

男女は同じ役割を果すのではない。家庭という社会にはそれぞれ違ったつとめがある。夫は妻と子供に対して権威をもち、家庭のかしらであり、妻はその心である。"キリストが教会のかしらであるように、夫は妻のかしらである。妻はすべてにおいて夫にしたがえ"（エフエゾ五の23）

妻が夫にしたがわねばならないのは、人間としてまた他の能力において劣っているからではない。夫が統治の上では首位を占めていても、妻は愛における首位を要求することができる。そして妻の果す役割は、夫の役割よりも実際には、はるかにすぐれているとさえ考えられる。

愛によって

だから夫婦間のつながりは奴隷的なものでなくて、愛に基ずく一致である。聖パウロも"妻はすべてにおいて夫にしたがえ"と言ったあとですぐに"夫たちよ、キリストが教会を愛し給うたように、あなたたちも妻を愛せよ"（同25）とつけ加えている。

この愛は相互の深い認識と尊敬からもくるが、さらにキリスト信者たる夫婦にとっては、非常に高い目標、超自然的な完徳に向っての相互扶助から生じてくる。

信者たるものは境遇のいかんを問わず、だれでもキリストが命じ給うた完徳をめざすならばならない。そしてそれは霊魂のうちにキリストを形づくることである。これに達するには、各自の境遇によって可成ちがっているが、結婚生活を営むものに与えられた手段は、ふたりが相共にたすけながら、子供の出産と教育に当たることによって愛徳を実行してゆくことにある。

結婚の目的をまじめに追及してゆくことが、夫婦の人間としての完成の方法である。

修道生活と同様、結婚生活も完徳への神の召命の道ということができる。

×

愛犬ベル修道院に入る

日置吉彦

我家の前にタクシーが一台停っている。昨日の朝のことである。やがて妻が犬を一匹つれてやって来た。本人は車中の人となり、犬を曳き入れようとするが、犬は仲々中に入らうとしない。妻はあせって、しきりに引くが犬は後足をふんばって、鎖をピンと張り、頑として応じない。この犬はポチ第二世、ベルと呼ばれているもの、う。

妻は今朝タクシーで吉塚教会の御ミサに行くついでに、犬を吉塚修道院につれて行くつもりらしい。同修道院では最近犬が居なくなったので、長女が我家のベルを譲ることを約束したらしい。所が妻はじめこの約束に不服だった様だけれど、納得したのか、今朝犬をつれて行くことを決心したのだろう。

私は何気なく二階から往来を眺めていると、この光景が目についた。間もなく買物に出かけた長女が後戻りして来て、この犬を抱きかゝえて車に入れる、やがて発車。この犬は初めての自動車乗りにおびえていたのだろう。

この犬は一昨日長女が湯で体を洗い、首輪も新しく付け、男振りも男ましく、可愛く見え、そして堂々と、修道院入りをする準備が整っていたのだ。

この犬は未だ幼な顔の失せない、そして何処か子供々々した態度のある犬、吠えるのは一匹前の堂々たる吠え方をするけれども、母親犬に甘えているもの、又母親犬（テル）はこの犬をよく可愛がっている。

この親子犬は各々「どんな運命にあるのか知らぬだろう。たゞ子犬も親犬も顔を見合せて、子供犬が自動車につれて行かれたことだけは大体見ていたかも知れない。しかし、何を思い、何を考えていたのか、恐らくこれがお互いの一生の別れだとは気がつくまい。

そして子犬も親犬もお互いに今日から淋しい思いをすることだろう。特に子犬は見知らぬ―それが親切な童貞様達の修道院―とは云え、全く見知らぬ所につれて行かれて、しばらくはホームシックにかゝるだろう。又一方親犬も、夜、そして朝、共に遊び、じゃれ、共に仲良く食事をし、日中は鎖につながれてはいるものゝ、お互の顔は毎日見合って、夜になると共に鎖から解放され、家の内外を警戒し、怪しい物音や物影に親子共々に盛んに吠えていたことを思うとき、親犬は淋しい思いがすることだろう。物云はぬ犬、しかしその淋しい心地を想像すればホロリとさせられる。

私は朝出勤のとき、いつもの様に倉庫の入口につながれている親犬テルの頭を軽く叩いてやる。いつもの様に嬉しげに尾を振っている。「今日からは子供犬は居ないんだよ、お前は嘸かし淋しいだろうね、よしよし」とまた頭を軽く叩いてやった。

＝注意＝

ちかごろ郵便で「ファチマのノベナ」と称する信心が普及されてきて、多くの方が迷惑をこうむっていられるようですが、福岡、宮崎両教区の信者は、一切これに応じないようにして下さい。

深堀司教

ぶっくがいど

テレーズ・マルタン

M・G・ドーレ著　大滝玲子訳

世の中に何と多くの人々が名を売り出し、喝采を博そうとしてあくせくしていることだろう。だが世間は必らずしもこうした人々の期待にそいはしない。人の心は、求めようとすれば身を変わすのに、しばしば人目を意識しないで歩き過ぎる姿を追う。

十五歳という全くの少女にすぎなかったテレーズ・マルタンはその美しい金髪を修道尼のベールでおおって身をかくしたが、今世界でこの年若く世を去ったフランスの修道女を知らない人は少ない位である。

いったい何がこんなに彼女に魅力を与えるのだろうか？何が彼女をこんなに有名にしたのだろうか？

彼女の全生活がその理由を語ってくれよう。

テレーズ・マルタンは美しい人であり、愛すべき人であり、また事実、愛された人でもあった。そして「汝が私を愛するでしょう」とはテレーズ自身の言葉である。しばしばわれわれがただ深い沈黙の世界かと考えている修道院に、かくもドラマにみちた人生があり、かくも豊かな表情と魅力ある人格があり、かくも詩に富む愛があることを見るとき、表現しがたいある真剣な喜びにとらわれる。修道院がいろいろな形で紹介されつつあるこのごろ、この書は読者に今まであまり知られていない修道院の一隅を展開してくれよう。

著者ドーレはイタリア一流女流作家で、その鮮やかな筆致で名を売っている。

ユニヴァサル文庫　二三〇円

ある女の一生

マリオ・ナンテリ著　管節子訳

数カ月前に出版され、早くも再版を見ているこの書は、われわれよりも半世紀前に生きた女性を描いているのに、読むうちに今でも生きているのかという錯覚をおこさせる。

なぜだろうか？

当のアレッサンドラ自身いうように、彼女の人生が「馬や車に砂煙を立たせるばかりが目的ではなかった」とはいえ、やはり彼女の生活には超現代的なテンポがある。

元イタリア首相の令嬢で、人にねたまれるほどの美貌と富にめぐまれ、自由と愛情を思うままにしたこの女性は、小説を上まわるような芝居がかった結論を出す。

彼女の芝居は幕間もなくクライマックスのまま続けられる。

テレーズ・マルタンとともにこの女性もカルメルの修道院の娘になるのだが、同じ島にこんなに違ったものが育つものかと驚かされる。たとえふたりとも力いっぱい生きたという点では類似していても……

力いっぱい生きるということは生きとし生けるものに許されている野心である。この野心を人間らしく全うする人はしあわせな人だと言えるのではないだろうか。だから、ここでもわれわれはアレッサンドラという幸福な女性を見いだすことになるのだ。

訳は原文に忠実でありながら、耳さわりのよい美しい日本語である。

ユニヴァーサル文庫　一五〇円

古い歴史・新しい内容

コンサイス英和辞典(改訂版)　革　四〇〇円
コンサイス和英辞典(改訂版)　革　三八〇円
コンサイス英英辞典　革　五三〇円
デイリーコンサイス英和辞典　革　四五〇円
新クラウン英和辞典　縮刷版　五五〇円
ジェム英和・和英辞典　D版　四三〇円
最新明解英和辞典　大型版　四八〇円
初級クラウン英和辞典　八五〇円
初級コンサイス英和辞典　五〇〇円
初級コンサイス和英辞典　三〇〇円
三省堂独和新辞典　五三〇円
コンサイス独和辞典　四三〇円
コンサイス仏和辞典　五〇〇円
コンサイス露和辞典　六〇〇円
日西辞典　二、〇〇〇円
商業英語活用辞典(増補版)　六五〇円
新英文法辞典　一、三〇〇円

辞書は三省堂

辞海　縮刷版　一、〇〇〇円
新版広辞林　背革特装版　二、〇〇〇円
明解古語辞典(改訂版)　一、二〇〇円
明解国語辞典　四五〇円
新修国語小辞典　三八〇円
音訓両引き国漢辞典　一五〇円
三省堂小学国語辞典　三五〇円
大明解漢和辞典　二八〇円
明解漢和辞典　七〇〇円
三省堂大六法全書　三五〇円
模範六法全書　一、一〇〇円
明解六法　三七〇円
学習百科事典　一五〇円
明解日本語アクセント辞典　八〇〇円
五〇〇円

三省堂　福岡出張所
福岡市向田町九ノ三
本社　東京都千代田区神保町

カトリック

深堀司教認可
発行所　福岡市浄水通
福岡司教館
発行兼編集人　深堀　敏
定価一部十円

毎晩そろってロザリオを

家庭ロザリオ十字軍開始

四月十日を期して一斉に

本誌前号既報の通り、福岡、宮崎両教区では来る四月十日から五月十八日迄の五週間にわたって、家庭ロザリオ十字軍を展開する。

司祭および信者リーダのための手引書の中に示された具体的実施要領、それにマニラ大司教区の同軍指導師ロペズ師から与えられた指示のうちから、参考になる諸点を以下に列挙した。

1　開始四月十日に司教特別教書が発布され、各教会でミサ毎に朗読される。終了五月十八日。

2　この期間中毎日曜日家庭ロザリオについて説教が行われ、その必要性を信者に強調する。

3　主任司祭は男子信者のなかから指導者となるべきものを選び十字軍について特別に説明する。指導者は正、副委員長、地区長、組長、係員で、その数は信者総数によって加減される。

4　組長と係員は、最後の日曜日（五月十五日－誓約の日曜）から家庭を訪問して、家庭ロザリオの誓約の署名または約束をとりにゆく。家庭単位のカードに署名する。学令期に達しない子供は除外される。

5　十字軍中すべてのミサの後、および信心業の際に「十字軍の成功のための祈」がつけ加えられる。

6　司祭、修道者、指導者、信者は同じく成功のため、できるだけ屡々ミサにあずかり、聖時間（公的または私的に一時間の聖体礼拝）を行う。祈や犠牲なくしてこの運動は成功しない。

7　病人は自分の苦しみを献げることによって、ひとりでも多くの者が家庭ロザリオを誦えるようになるために祈る。病人には「英雄的奉献のカード」に署名するよう願われる。

8　信者家庭に限らず、未信者と結婚している者、家庭内でただひとり信者である者も、署名することができる。

9　十字軍野外大会は各県毎に開かれる（但し福岡県は三ケ所）できるだけ多くの信者がこれに参加する。

福岡地区の野外大会は五月八日（日）教区主催の恒例聖体行列にひきつづいて行われる。

北九州地区、筑後地区、佐賀地区、熊本地区、大分地区、宮崎の野外大会の日程は未定。野外大会には深堀司教または棚町正刀師が列席する。）

10　誓約に署名した者または口頭で約束した者が誓約を破った場合には、罪にならない。

11　十字軍は小教区内の家庭ができるだけ多く家庭ロザリオを実行するようになるための運動であって、十字軍終了後も家庭ロザリオを永続させねばならない。十字軍の行われている間だけの実行ではない。

12　署名された誓約標は小教区毎に保存する、誓約者の総数を司教館に報告する。

【家庭ロザリオとは】　毎日きまった時間に、家庭一同がそろって、家庭の聖化と世界の平和のため、神と聖母の御保護を頂く目的でロザリオ五運を誦えること。

【家庭ロザリオ十字軍とは】　ひとりでも多くの人が家庭ロザリオを実行するようになるため、教区全体の運動として司教の指示のもとに、家庭ロザリオの実践の意義と必要性を全信者に納得させ、信者のなかから選ばれた指導者を通じて、賛成の記しとして誓約標に署名させ、あるいは口頭で約束させること。

新公使エンリチ大司教
四月八日羽田着

第二代目の駐日ヴァチカン公使に任命されたドミニコ・エンリチ大司教は、四月八日午後二時十分SASで羽田に到着する。

なお今年の全国教区長会議は例年よりも遅れて開かれる模様。

土井大司教、枢機卿に

教皇ヨハネ二十三世教皇は、三月三日、ペトロ土井辰雄東京大司教を枢機卿に任命された。この新任命では七名が新枢機卿にあげられたので、枢機卿の数は史上最大の八十五名となった。アジアにおける枢機卿は土井新枢機卿をいれて三名。信者数二十五万に達したばかりの日本の教会に枢機卿を任命されたことは、教皇がいかに日本の教会を重要視しこれに期待をよせていられるかを示すものである。

深堀司教は新枢機卿任命の公表と同時に、福岡・宮崎両教区民を代表して祝電をおくった。

なお「秘密枢機卿会」は三月二十八日にローマで開かれた。

祈禱の使徒会四月

【一般の意向】　司祭に司牧上必要な恵みを求める

【布教の意向】　布教地における悪質出版物の防止

【日本布教委員会の意向】　日本におけるカトリック出版物が堅実な発展をとげるように

家庭ロザリオについて

パトリク・ペイトン

聖母が求めておられるのは、カトリック信者が皆、子供でも毎日ロザリオを誦えることです。家庭は天主様から頂いているお恵に対して負債があります。住い、食物、そして家庭的愛情など、これらのお恵を天主様に感謝する一番適当な方法は毎日の家庭ロザリオです。

ロザリオはそれを下さったマリア様と同様力強いものです。マリア様は御父の愛娘、御子の御母、聖霊の浄配とたたえられます。天国での仲介者としてはマリア様の右に出るものはありません。

× × ×

家庭が幸福と聖性に達するには努力がいります。特に祈りがなければ絶対不可能です。家庭ロザリオは家庭の完全な祈りです。これは天の御母、幸福で聖なる家庭の霊的母で在すマリア様から与えられたものです。この祈りがよく実行されている家庭から、偉大な司祭や宣教師、健全な信者男女が輩出いたしました。

× × ×

家庭ロザリオは両親のための祈りです。多くの困難や毎日の結婚生活につきものの自己放棄や忍耐を要する、辛い仕事に立ち向ってゆく力がこの祈りによって与えられます。同じく夫婦は互いに愛情と理解を増し、緊密に結ばれます。

家庭ロザリオは子供達のための祈りです。かれらはこの祈りをやさしく誦えることができ、よく理解できます。一番感じ易い時期に祈りの習慣と、神と聖母に対する熱心な愛がつちかわれます。

この祈りが家庭に真の信仰的精神を注入してくれます。

× × ×

家庭ロザリオをすべての家庭に一つの制度、きまりとして確立することです。丁度どの家庭にも夕食の時間がきまっているように、家庭ロザリオをあるきまった時刻に誦えるようにすることです。そしてその時に家にいる者は皆、一緒にロザリオを誦えねばなりません。その時家にいない者は、家にいる者と心をあわせて個人で誦えます。誰かがいなくてもきまった時間をずらしてはいけません。

× × ×

いつの時代でも家族共同の祈りはロザリオでした。それはやさしい祈りであったからですし、また「われら」という共同の祈りの形式を具えた祈りによってできているからでした。「めでたし」も「主祷文」も子供が最初に憶える祈りです。誰もがそれぞれの年令と才能に応じた霊的利益をロザリオからくみとることができます。

× × ×

ロザリオはすべての人、すべての家庭のための祈りです。教会の中でもっとも美しい口祷に加えて玄義の黙想という深い精神的な面をもっています。喜び、苦しみ、栄えの十五玄義は、主イエズスと聖母の御生涯のでき事で、私達は口で祈りながらそれを黙想するのです。ロザリオの美しい祈を口にし、玄義を黙想することによって家庭はイエズスとマリアに親しく近づき、ナザレトの聖家族に似た家庭を作り上げることができます。

× × ×

家庭ロザリオはカトリックの国では美しい古い伝統的習慣でありました。所が不幸にしてこのような伝統がだんだんと見られなくなりました。家庭ロザリオを旧式な家庭の骨とう品位に考えている人もあります。しかし骨とう品を処理してしまった新式な家庭には家庭生活の根本を危くするような色々な病毒が入り込んでいることも事実です。もし多くの家庭でロザリオを忠実に誦えていたら、青少年の非行や離婚その他の不幸は今日これ程に重大化しなかったでしょう。ある意味で家族共同の祈りは正しい家庭生活の魂と考えられます。魂なしに体は生きてゆくことができません。

× × ×

家庭ロザリオ十字軍の唯一の関心事は、ロザリオが恩寵を与えるための効力を失っていないことを万人に納得させることです。今の新しい時代にカトリック家庭の精神的基礎をつくり上げるには、今でも昔と同様、ロザリオが完全な祈りであることを再認識させることです。家庭問題に対する解決法は今も同じです。信仰と祈り、家族揃っての祈り、特に毎日家族で誦えるロザリオの美しい祈りに信頼することです。父も母も子供も一緒にひざまづき、頂いたお恵みを感謝し、絶えざるおん助けとご保護を求めながら、ロザリオを熱心に誦えることです。

× × ×

将来への希望は、主に明日の家庭を築いてゆく若人達にかかっています。キリストの聖なる軍隊の最前列に並ぶ強い兵士達が、子供達のなかから出なくてはなりません。この新しい世代の人達の霊的訓練ということが、今の教会に課せられた一番重要な問題であってこのような訓練は実は家庭で始まっていなければならないのです。家庭こそ神の召命の温床であって家庭ロザリオこそ、それを育てる天来の露であります。

（○）……

われは活けるキリストの墓と
蘇れるキリストの栄光を見たり

永久聖体礼拝四月

第一日曜　延岡教会
第二日曜　今村教会
第三日曜　黒崎教会
第四日曜　女子パウロ会
（最終）　八代教会

和田墓地整地公告

福岡市大橋の和田教会墓地は、以前は山の中でしたが、その附近が急速に開け、今では住宅街の真中になりました。そこで、囲いをつくり、整地を余儀なくされましたので、左記の点につき御協力をお願い致します。

一、墓地の所有者は、確認のため坪数、現住所、本籍地を知らせて下さい。
一、整地費（囲い、壁、地ならし費）として、使用権を有する坪数に対して坪当り五百円を大名町教会に納めて下さい。
一、四隅に標杭を立て、墓地の周囲に柵その他の物件で境界を設けて下さい。
一、管理費としてこれから毎年百円を納めて下さい。
一、住所変更の場合は、必ずその移転先を大名町教会墓地管理者宛てお知らせ下さい。
一、五月一日まで返信のないものは、整理都合上、一応使用権のないものとみなしますのでご了承下さい。

以上

福岡市大名町カトリック教会
和田教会墓地管理者

四月

二日（土）　パウラの聖フランスコ証聖者

三日（日）　ご受難第一の主日

四旬節最後の二週間はご受難節とよぶ。いけえの場に自ら足をふみ入れ給うイエズスの聖心を黙想する。典礼では主と敵との戦が強調される。

レジオ・マリエのアチエス

五日（火）　聖ヴィンセシオ・フェレリオ証聖者

十五世紀最大の説教家といわれるドミニコ会司祭。かれによって二万五千人のユデヤ人、八千人の回教徒が改宗したと伝えられる。

教区司祭月例集会の日

七日（木）　浦上出身者の集り（大名町教会で司教ミサ午後七時）

八日（金）　聖母マリアの七つの御悲しみの記念日

聖母の御一生は、救主の御母にふさわしく、いけにえの一生である。教会は福音書にあらわれた所に従って聖母の七つの主なお苦しみ、特に御子の御受難に立ち会い給う御母のお悲しみを記念する。

聖週間（十日—十六日）

枝の主日　イエズス聖都に入城し給う。

聖月曜日　いちぢくの木呪わる。
神殿で教え給う。敵ら主を殺そうと企む。

聖火曜日　二人の息子の喩。肉体の復活について。エルザレムの滅亡、世の終り、最後の審判についての教え。

聖水曜日　ユダ、イエズスを裏切ることを決意。

聖木曜日　最後の晩さん。聖体の秘蹟の制定。ゲツセマニの園での苦悩。捕えられ大司祭のもとに連れられ給う。

聖香油聖別の司教ミサ（於浄水通教会午前八時）

最後の晩さんの司教ミサ（於大名町教会午後七時）

聖金曜日　ピラトの法廷にあらわれ給う。死刑の宣告、ゴルゴダの丘で十字架につけられ、死し給う。葬られ給う。

十字架崇敬の聖式（大名町教会では午後七時）

聖土曜日　聖なる安息日

御復活徹夜のミサ（大名町教会では午後七時）

十七日（日）　ご復活の大祝日

主のご復活はその救世の大事業の完成、信仰の勝利の保証であり、希望の基礎である。

二十一日（木）　聖アンセルモ司教博士証聖者

司教荘厳ミサ（於大名町教会午前九時）

二十四日（日）　白衣の主日

〝世に勝つ勝利はわれらの信仰である。イエズスが神の子であると信じる者以外に、誰が世に勝つであろうか〟主は復活をもって御自分が神の御子たることを証し給うた。

二十五日（月）　福音史家マルコの祝日

大名町教会で堅信

二十八日（木）　十字架の聖パウロ、御受難修道会の創立者、一七七五年帰天。

七田、鵜野両師司祭叙階

トンスラから司祭職まで

三月十七日　大神で綜合叙階式

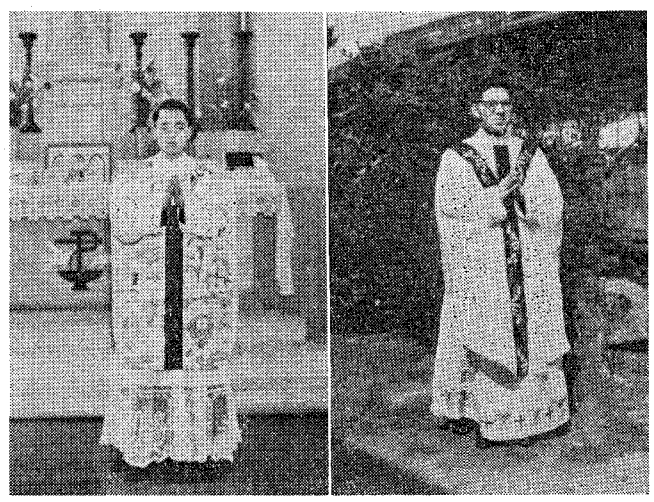
福岡サンスルピス大神学院では今春六名の卒業生を送り出したが福岡教区の司祭団に二名の新司祭が加わることになり、そのよろこびの叙階式が同大神学院聖堂と久留米教会において挙行された。

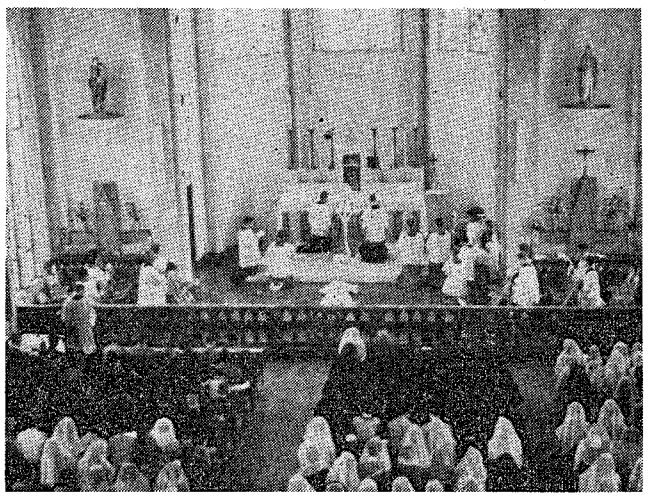
まず三月十七日長崎キリシタン発見の記念日に、教区ではじめての綜合叙階式が深堀司教司式のもとに大神聖堂で行なわれ、受階者親族、のほか約三百名が参列した午前九時、神学生、教区内外司祭、受階者につづき、ラブラント・平田三郎両師にそわれて深堀司教が入堂。キリエ、エレイソンのあと二十一名の受階者全員に叙階式開始が宣言され、直ちにトンスラ（六名）守門と読師（二名）抜魔師と侍祭（九名）の聖位が授けられ、書間と昇階誦の朗読のあと上級聖位にあげられる。五名が、諸聖人のとり次ぎを願う連禱のあいだ祭壇の前に身を伏せ、三名が副助祭に、一名が助祭に、そして最後にフランシスコ、ザベリオ七田善次師が荘厳な按手の礼をもってキリストの司祭職にあげられ、正午すぎ三時間にわたる聖式を閉ぢた。

新司祭は祭壇前に戻って列席者一同に聖香油の香る手をもって掩祝を与えた。なお福岡市西新町教会で初荘厳ミサが献げられた。

七田師は一九三四年長崎県南松浦郡玉ノ浦井持浦生れ五三年泰星高校から大神学院に入学した樋須賀聖心侍女修道院附の七田八十吉師と鹿児島山下町教会主任七田和三郎師の甥に当る。尚七田師はスルピス会に入会のため、近くカナダに留学する。七田師のほかに当日受階した諸師の氏名及び出身教区は左の通り。

助祭＝鵜野泰年（福岡）副助祭＝平田敬（福岡）平松一夫、川原義和（長崎）技魔師と侍祭＝丹羽実、深堀明義（鹿児島）紙崎忠男三村誠一、峰徳実、三木篤実、村中司、下村徹（長崎）有馬馬司（琉球）守門と読師＝丹羽実、鹿児島　山城正常（琉球）剃髪＝浦俊雄（福岡）萩原効、平野勇、野下千年（長崎）三浦省（鹿児島）大城清正（琉球）写真上右は七田善次師





久留米教会の初穂

創立76年ぶりのよろこび

ラファエル鵜野泰年師の司祭叙階式は三月廿日午前十時より久留米市イエズスの聖心の聖堂で、深堀司教司式によって盛大に行なわれた。

参列者は堂に溢れ創立七十六年の伝統をもつ同教会で最初の司祭の誕生とあって、一同の目は神に選ばれた師の上にそそがれていた。日曜日にもかかわらず二十数名の司祭が式につらなって、司教と共に受階者の頭上に手をかざし、必要な聖寵を祈った。

鵜野師は福岡県三井郡太刀洗町中川の出身で一九三二年生れ、四九年六月久留米明善高校一年のとき棚町正刀師より受洗、母堂サカオさんは昨年十二月廿五日に久留米教会で受洗、現在同市東櫛原町に住い、令兄のひとり共則さん一家六名は島原市で近日中に受洗されることになっている。

鵜野師の任地は大名町教会。

（写真上左は鵜野泰年師下は久留米教会での盛儀）

第廿五回福岡地区　布教委員会

家庭祭壇の件など

第廿五回福岡地区布教委員会は二月廿八日（日）司教館で開かれ左の諸点が検討された。

1、まず棚町正刀師が家庭ロザリオ十字軍の意義と組織について説明、布教会委員が各小教区において積極的に協力されるよう要請し、更に五月八日に福岡地区の十字軍野外大会が教区主催聖体行列と同時に行なわれること、何れも盛大に行なう予定であるから、昨年にもまして信者の協力を求める旨あいさつした。

2、ついで話し合に移り、家庭的祈を奨励し霊的向上をはかるため、家庭祭壇を普及させる運動について検討し次回委員会までに具体案をもちよることに決定

3、教会聞の親睦と一致の精神を促進し、布教の一助ともする目的で、来る五月廿九日（日）午前十一時よりソフト・ボール大会を開くことに決定。競技後に一同で聖体降福式にあずかる。優勝教会には司教杯がさずけられる。メンバーには求道者を加えること。

次回委員会は六月廿六日（日）

司祭異動

大分サレジオ会地区

別府教会主任　カスチリオニ師

病気のため静養

別府教会助任　秋元保夫師

任別府教会主任

宮崎ザベリオ会地区

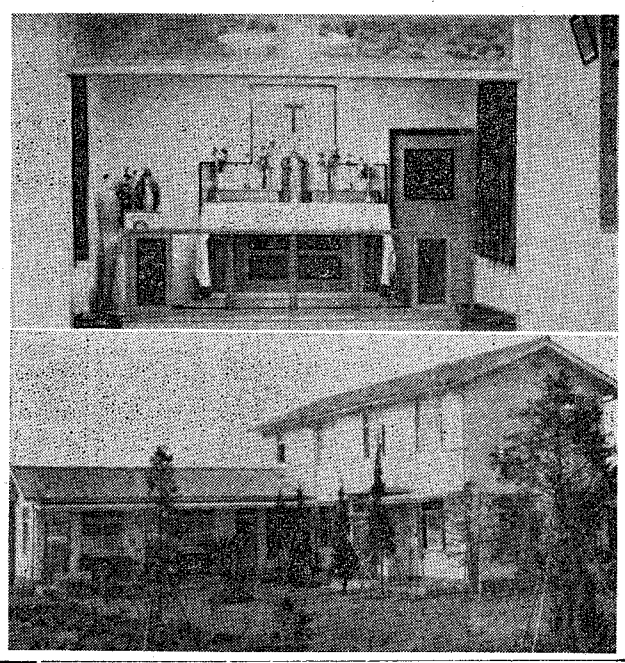
任高鍋教会主任代理　リュー　師

任延岡教会主任代理　ザンパロ師

八幡前教会祝別

大分県中津市大貞公園カトリック教会は、昭和二十七年創立以来ドン、ボスコ学園（育児）の隣接地で小教区活動を行なってきていたが、市の中心から離れすぎて、司牧、布教ともにさまたげが感じられるので、市内八幡前（はちまんまえ）の九九〇坪の敷地に、この度十五坪の平屋聖堂と七仮十八坪二階建の司祭館を新築、去る三月十日午前十時半より深堀司教によって祝別され、聖ドミニコ、サヴィオに献げられた。主任司祭はサレジオ会員マリオ、カルデロリ師、信者数三百なお同市の繁華街の中央にも三の丁教会がある。

（写真上は八幡前教会内部、下は教会と司祭館外観）



黙想会と送別会

福岡カトリック学生会では（信者及び求道者）三月十八日小笹聖パウロに修道院で今年度卒業生を中心に会員約三十名が、深堀司教御指導のもとに眷拳黙想会を行った。沈黙のうちに祈りの一日を過したあと司教を囲んでの茶話会で散会。

なお廿日には大名町教会で卒業生の送別の集いが開かれた。今年は学大からの十四名を筆頭に、女子大二名、西南、九大各二名、計十八名が学窓を巣立ち、社会と教会の新らしい分野に入ってゆく。

聖母の騎士女子会

馬渡聖母園をひきつぐ

佐賀県馬渡島教会所属の聖護施設聖母園は終戦以来愛苦会の人達が面倒に当ってきたが、この度聖母の騎士女子会修道会のシスター達によってうけつがれることとなった。

新らしく来島する聖母の騎士女子会は聖母の騎士聖フランシスコ姉妹会ともよばれ、一九五一年長崎でコンヴァンツアール会士によって創立され、社会事業を目的とする邦人修女会である。

過去数年間、特に学芸大学での カトリック研究が盛ではじめ信者は四名であったのが現在では十二名に増加した。また現会員中四名が九大大学院に進学する

着衣式　二つ

【神学校援助姉妹会】三月廿四日姉妹会聖堂でマリア平田栄子さんとテレジア七種スエノさんが深堀司教から着衣

【トラピスチン修道院】三月廿五日シタ寺田玉井さんが深堀司教から着衣。説教は平田三郎師

堅信のよろこび

【今村教会】二月二十六日四十六名が受堅

【門司教会】三月十三日三十六名が受堅

【ブレーディー】西戸崎ブレーディー、キャンプで三十三名が受堅。

【鹿島教会】三月二十七日十七名が受堅。

【武雄教会】三月二十七日二十六名が受堅

浦上出身信者家族の集い

このほど有志数名の発案で、福岡市に在住する全浦上出身信者家族の親睦会を行なうことになり、司教館および大名町教会の御賛同を頂きました。つきまして旅に流されていた私共の先祖が、長い信仰の戦いから最初に凱旋した四月七日を期して左記の通り第一回親睦会を開くならば、まことに有意義なことと存じますので、皆様御家族そろって気軽に御出席下さい。

記

とき　四月七日（木）午後七時（司教様ミサと親睦会）

ところ　大名町カトリック教会

以上

三月三十一日

福岡在住浦上出身信者有志

福岡カトリック学生会

会員募集

目的　学生の霊的生活の向上をめざす修徳、知的生活におけるカトリシズムの研修、信者学生間の交流及びキリストの愛を一般学生に伝える布教を目的とする。

資格　福岡市内及び近郊の大学に在籍中の信者または求道者であること。

活動　❶例会　毎月第二及び第四土曜日午後二時半に集会を開く。

❷黙想会　四季毎に開く。特に夏季には大黙想会を開く。

❸九大、学大、中村短大、女子大、福大に研究会をもっている。

連絡先　福岡市大名町カトリック教会気付　福岡カトリック学生会

新入学生はふるって御入会下さい！

改訂公教要理

カトリック要理

昭和三十年春の全国教区長会議の決定にもとずき、公教要理の改訂委員会が京都、横浜、仙台、鹿児島、広島の各教区長による構成で発足、その監督の下に五年間、全国の司祭、修道者、信徒有識者から寄せられた熱心な参考意見に慎重な検討が加えられ、このほど教える側にも、教えられる側にも、たいへん使いやすい新しい要理書が完成いたしました。

○編集者　公教要理改訂委員会

○発行者　カトリック中央協議会

○発行所　中央出版社

A六判上質紙・二一六頁　上製五〇円　並製三〇円　〒20円

ハイリツヒ・デュモリン　著

典礼にいきる信心

第二巻　救い主

七旬節の主日より聖金曜日まで

B6判・二六〇頁　〒二二〇円

典礼に近づこうとしない羊は、生涯を、よりよく生きることは困難です。霊的糧の供給源として典礼は精神生活面の支えを与えてくれます

宗教書・宗教用品のお求めは

聖パウロ書院で

福岡市万町電停前

TEL ④四五八八

カトリック思想史（再版）

増補・第六篇として「第二十世紀におけるカトリック思想」が加えられました（小林珍雄教授執筆）

執筆者　ヨゼフ・フービー　ピエル・ルッスロ　A・ブルウ　グラン　メーゾン　小林珍雄　訳者　戸塚文雄

権威ある専門家が一般の教養ある人々のために学的良心をもって書いた概観的キリスト教史で、大学のテキストとしても使用できる。

A五判三五八頁・四二〇円　〒四五

心理学シリーズ　③　④

読書・思索　文章

J・ギットン　著　安井源治　訳

新変形版・266頁　▲250　〒30円

心のコントロール

N・イララ　著　カルワナ　訳

新変形版　239頁　▲220,　〒30円

「わがことばを守れ」③

幸福を求める

D・バートン

完全な幸福に対して人間は三つの希望をもっています。

第一は真理を知りたいこと。誰れでも嘘つきの人が嫌いです。自分の聞いた噂が本当でないと言われてがっかりします。おばあさんたちがいわゆる井戸端会議をするのは、隣近所の本当の生活状態を知りたいのです。

第二は、善すなわち愛すべきものを愛したい希望である。しかし私達が求めているものには、善、美、聡明、能力、親切などがなければならない。奥さんは自分の主人を愛している。それは主人だからです。子供は可愛いから、誰でも愛しています。けれども限りのある人間は本当にその希望を満足させてくれません。その愛すべきものが無限の善をそなえていなければ、私達は満足しません。

第三は、正しい指導者に導かれたい希望です。つまり完全な指導者を求めているのです一番がっかりさせられるのは、自分の指導者がくるった場合です。会社の社長はいつもへまをしでかしたり、自分の前の計画を急にとりかえたりするならば、誰でもいやになってがっかりするでしょう。

この三つの希望、即ち真理を知りたい希望、愛すべきものを愛したい希望、正しい指導者に導かれたい希望を満たすならば、必ず人は完全な幸福を得るばかりでなく人間の目的に達するでしょう。

しかし人間の希望を満足させるものは、この世に存在しません。人間は自分が不完全でも部分的な真理でなく、全部を知りたいからです。人間は不完全であっても愛すべき事柄を全部含んでいるものを愛そうと望んでいます。人間は自分が欠点をもっていても、完全に導かれたいものです。絶対的に一寸の間違いなしに導いてくれる者を待っています。

所がこういう条件にかなったものがこの世に居ないことは、誰でも知っています。もしあるとすればそれこそ神と呼ばれるものではないでしょうか。しかしもしそんなものは絶対に存在しないとすれば人間とは全くみじめなものと云うべきではないでしょうか。

聖書・典礼用語の説明 (9)

会堂　聖書の解釈をきくために、安息日にユデヤ人たちが集まった場所。各地方にそれぞれの会堂があったが、公式祈祷と犠牲のための場所なる「神殿」はエルザレムにしか存在しなかった。イエズスも諸所の会堂で福音を述べ聖パウロも伝導旅行中会堂でまず教えた。

幕屋（聖櫃）　テントを意味する。旧約時代ではイスラエル人の聖所の役をする移動式組立物であり、その中に契約の櫃がおさめられていた。要するに仮の住居であり、ダヴィドの子サロモン王が永続的な神の住居として神殿を建立した。

人間のもろい身体を形容する語である。聖パウロは〝この幕屋、われわれの地上の住居が壊れれば神から下さる……永遠の住居が天にあることを知っている〟と述べている。（コリント後五の1）

聖ヨハネも〝御言葉は肉体となって、われわれの中でテントを張り給うた〟と言っている（1の14）

神殿　紀元前九七五年サロモン王によって建立された石造りの建物で贅美をつくした豪華なものであったが、五八七年にナブコドノゾル王によって破壊され、イスラエル人が流滴の地から帰還後に再建され、ヘロデがこれを美化したが、紀元七十年イエズスの予言通りローマ軍隊によって壊滅された。

キリストの御体はその御復活によって建てられた新しい神殿である。（ヨハネ二の21）教会は信者という活ける石によって建てられている霊的な神殿である。（ペトロ前二の5）

とき　キリストの第一の御来臨（マリアによってこの世に来り給うたこと）は人類の宗教史が頂点に達し、ときは満ちたと云われる。〝時が満ちて女から生まれた子を神はおつかわしになった。〟（ガラチア四の4）このメシアの時は世の終り、キリストの第二の来臨まで続き、われわれはいま末の日に生きているとも云われる。

徹夜　キリスト者はいつも目ざめていなければならない。まず敵に対しサタンに対し、しかしわけても終りの日、キリストの再臨に不意打ちされないように目ざめていなければならない。（テサロニケ前五の6）教会はいくつかの徹夜を規定して、その間祈りにすごす。聖十曜日から御復活の日にかけての夜は、もっともすぐれた徹夜であって、暗夜にあける暁の如く「復活者」がその御墓から出で給うのを見奉るべくわれわれを準備する。

イエズス蘇えり給えり

イエズスは死して三日目によみがえり給うた。神のみにできる業で、人の限りある知恵では到底理解することのできないという意味で、復活は一つの神秘である。

福音史家は主の御生涯と御教を伝える目的でその崇高な時期について見たこと、知りえたことを伝えている。次に史家が主の御復活をどのように叙述しているかを簡単に述べよう。

（一）イエズスは実際に死し給うた。マルコによると、アリマテアのヨゼフは主の御体をピラトに求めた。ピラトはこんなに早く息絶え給うたことに驚き刑に立会った百夫長に事実を確めた。ヨハネによるとユデヤ人は安息日が始まる前に死を早めようと、二人の盗賊の脛を折ることを要求、兵士は既に死し給えるイエズスに近づき、槍で脇腹をついたので、血と水が流れ出た。ヨハネはこの最後の残酷行為を目撃した。

従って百夫長、兵士、ヨハネがキリストの死を確めたのである。

（二）墓に葬られ、封印され、番兵がおかれた。

このこともヨハネが目撃者として記している。ヨゼフは布を買いニコデモは没薬と沈香を持参し、主の御体を包んで墓に葬った。その入口には直径75センチ、厚さ25センチ程の円形の重い石をころばした。しかも屍が盗まれないように番兵がおかれ、封印もされた。

（三）墓は空であった。

敍階式に与って

三帰児

「汝は永遠の司祭なり。」ラテン語のこの聖歌がいとも壮厳に聖堂一杯に漂って二人の新司祭が誕生した。

三月十七日と三月二十日、わが福岡教区でのことである。信者等はできるだけ多くこの敍階式に参列し、新しく聖別される司祭のために祈ると共に、信者各自の信仰をも強め且つ強化するようにとのことであったから、流石に聖堂は信者で一杯であった。そして遠近を問わず「あすかってよかった！」というのが信者等の共通した感激でもあった。ラテン語で誦えられる司教様の言葉は何にも解らず、解説がなければ更に儀式の概要すら解りはしなかったのに、それでいて敍階式を理解し感激したのだから不思議である。すなはち今眼前で行なわれているのは「永遠の神の御業である」と。

神は絶えず働き給う。神の働きは永遠である。人間がそれを意識しようとしまいとに拘わず、神の御手は全被造物の上に働いて止むことを知らない。これは信者ならば誰でも知っている教理である。しかし私は敍階式に与って初めて教わったかの如くに感激しながら知ったのである。日常の私は信仰が眠っていたのであろうか。

春眠暁を知らぬような深い私の眼りも覚醒させられたというべきか。

汝は永遠の司祭なり、あの壮厳な敍階式を唯物論的に片附けることは断じてできない。敍階される本人は勿論のこと最前列にいる親兄弟の感激、ひいては信者等の感激が物質的にどう説明がつくであろうか。とくに鵜野新司祭のお母さんは昨年のクリスマスに洗礼を受けたばかりであるが、兄弟等は未信者であると聞く。その未信者のお兄さんが感謝感激し光栄の涙を流したのである。祝賀会における親戚代表としての謝辞にこの世の打算があったというなら、それこそ失礼千万である。

永遠の司祭！それは超自然的であり神的である。物質的なるものは時間と変化の中に消滅する。しかし霊なるものは不滅である。不滅のものは永遠に連なる。永遠なるものは神的である。神的なるものこそ清く尊く輝しい、敍階式の神々しさは到底筆舌にはつくし難いがそこには神の霊の御業がある。

感激の敍階式！人に促されてではあったが、本当に参列してよかったと心の底から思うのである。

青と黒

ミシン針より太い釘のような針を手首にグサッと突き刺された。黙まってじーっと我慢するので顔が真赤になる。血がポタポタと落ちる。瞬間ホッとしたが、今度は氷水（血）が通るうずく痛さに耐えねばならない。その頃は未信者だったので、イエズス様の御受難を忍んで天主に苦しみを捧げることなど知らず、癒ってゆくのだという喜びと、大切な血まで供血して下さる方々への感謝とが苦難を救っていた。肘関節静脈が入らないので、私は痛い手首をねらわれていた。こうして隔日に針地獄の苦業が繰り返された。あるときは入りにくかったので手足に六ケ所程刺された。「まるで地獄ですね」と先生がしきりに気の毒がられていた。でもスムーズな場合は二百ccが約二間ですんだ。この他毎朝ブドウ糖その他の五百ccもある静注と五cc位の鉄の静注が打たれていた。

お産その他でいつか貧血になっていたが、悪化したのはその年大流行の流感にやられ。四十度の高熱が約一週間も続き、食慾が全く無く胃まで痛み、下った熱が再び上るという病状だったので、高熱の原因を調べ、貧血を癒すため医者から入院をすすめられたのであった。入院後熱はすぐさがり、別に病気は無いらしかった。貧血も先生の熱心な治療のお蔭で、退院時はヘモグロビン七十五%、赤血球三百二十万位になった。貧血の種類によって勿論治療法は異り、色は黒くならない由だが、私はひどかったので、透き通るように青白かった肌が鉛色がかった褐色に変った。見舞に来た友人云く「お元気そうな鉄錆色になられましたね」妹が呼んで「インディアン」と。成程妹達は逆に白赤。でも浅黒くても上品な理知的な美しさもあるものだ。外見などどうでも良いとはいうものの、霊魂の清さ、信仰の深さが内から輝き出たような神々しい美しさがある、私達は魂をよく磨いてそのようになりたいものだ！最近黒さは薄れつつあるが、少し青くなったので検査をして頂いたら七十三%あり、顔色と貧血とは無関係なこともあることが分った。

ともあれひどかった貧血が癒ったので、私は医学の力とお骨折り下さった諸先生に心から感謝している。これからもっと天主様の御栄えのために働かなければならない。

鹿野　秀子

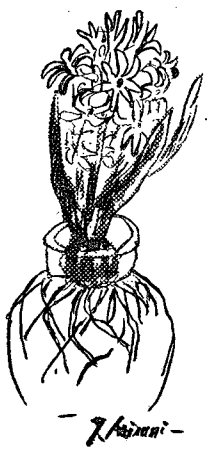
『家庭ロザリオと教皇』

ピオ十二世――なかんずく家庭のなかにおいてこそ、ロザリオを誦える習慣が至る所でとり入れられ保たれ、熱心に実行されることを望むものである。人間社会の原理にしてかつ基礎であるところの家庭を、福音の規範のもとに戻さないならば、社会生活の動揺をなだめるための医薬を見出すことはできないであろう。

ピオ十一世――特に家庭の父母は、家庭に平和と豊かな天的賜をよび下す美しい、敬虔な習慣をもって、ことに夕暮時にひざまづいてロザリオを誦えることによって子供たちに模範を示すべきである。

レオ十三世――だからすべての家庭がロザリオを誦えずに一日を終ることがなかったかの時代のような、高い位をこの祈りが再びより戻すことは、個人の信心として望ましいばかりでなく、時代の要求にもかなったものである。

ピオ九世――もしあなた方が心に、家庭に、国家に平和を望むならば、毎晩揃ってロザリオを誦えなさい。全ヴァチカン宮殿のなかに、ロザリオよりも貴重な宝物はありません。ロザリオのこの簡単な美しい。そして多くの免償を附与された祈を、習慣としてすべての家庭で毎晩誦えてもらいたい。これは私の最後の言葉で、記念にあなた達に残してゆくものです。



俳句

初雛をかざり陶匠孫抱き　風声
梅林の丘越え修女帰り行く　恵
再会を約す小駅のシクラメン
桜草吾等成績の上りそむ　牧女
竹林に朝日さしおり卒業す　泉
梅添えて尽きざる名残棺を閉ず

福音史家は見たこと、確めたことを述べているだけで、少しも個人的註解を加えていない。われわれはイエズスの御体がどのようにしてもとの御霊魂に再び合わせられたか、どのようにして墓から出給うたか知ることはできない。それは神秘である。しかしわれわれの信仰は強固な客観的根拠をもっているのである。

カトリック全書

各巻〒 200円 30円

なぜ信ずるか

レオン・クリスチアニ 著
金田 忠一 訳

第十五回配本

神が求められるものは真の信仰者である。本書はキリスト教の伝統的な護教論を中心にその神性を証明し、信仰と神へのあこがれへの目標をあきらかにしてくれる、歴史的背景も加えられ、充実した内容をもっている。

キリスト教音楽史

アルフレッド・コラン 著
江藤 きみえ 訳

第十六回配本

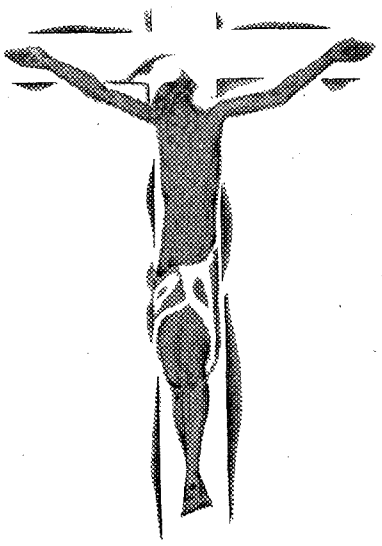
キリスト教音楽は、キリストの生涯以後にその起源をもつことはもちろんである。だが歴史は短かくとも、音楽史では重要な地位をしめている。本書はキリスト教音楽の変遷の歴史を興味深く記している。

聖心の使徒

（昭和35年4月号）

表紙　南蛮寺扇面図部分（狩野元秀筆）
四月の意向　祈りましょう我らの牧者のために……野口秀吉
悪質出版物（四月の布教の意向）……粕谷源蔵
黙想　心の細道……下嶋正照
京都の南蛮寺……品川勝郎
写真特集　みやこの巡礼……うるがん伴天連……H・チースリク
柳谷武夫 訳
愛の使徒たち　ドロテウス・シリンク　高橋憲一 訳
殉教者の血はたぎる……荒野の師父のことば……須賀孰子 訳
良識……
十字架のイエズス修道女会
聖書の時間　山上の声（二）……J・A・フイリツプス
ポスト……
新本めぐり……

日本祈禱の使徒会発行
購読会員費　一カ月三十円〒五円　一カ年三百円〒五十円
東京都千代田区紀尾井町七



短歌

二丈

谷あいのごみやくほのほゆらぎてはちぎれはばたく
その朱をば見入る
やね瓦やや落ちたりし山門とこけの石だんに制服の
おとめ
「われもはやしもべとは呼ばじ」ひとひとひとの前
に静かなりカズラ折りし司祭　（新司祭授品）
草千里はだしであるくと念願といいてくつなししば
をふむひと　（阿蘇）
前を行く人かげきりにながれ行きのどもとをさす風
ふん火こうは近し　（阿蘇）

（カットはルクーチ作「十字架」）

絵をみてのある感想

アントニオ

今ここに一つの泰西名画がかかっている。ルオーの絵である。そしてルオー独特の力強い、ステンドグラスからヒントを得たといわれる黒い太い線が画面一ぱいに見られる。

イエズス様が正面にあり、弟子たちに何か話している所。その弟子らしき人は白いポエールをかぶっているところからして、あるいはマリア様かも知れない。そういえば、この二人は朱色の衣をつけている。

バックには低い塔のある門がかいてあり、その屋根の色はおちついた朱色である。それから左の方に壁がつづき、かなたには高い塔が立っている。その塔の丸い屋根をもち、これはやや暗い赤色で、塔の肩の上にある黄色の太陽といちじるしいコントラストをなしている。

空はうすい緑色で、すきとおるようにかかれ、所どころ雲がうかんでおり、太陽のかがやきを、あたたかく反射している。画面のやや左よりの所に、大きな木が葉をおとした姿で立っている。――まして枯木はいかにそやと――。このことを思わせるような書き方である。そういえば黒くふちどられたままのイエズス様も、心なしか沈んでいるように見え、たたずむ二人の女性もうち沈み、日のかげも黒く地にかげを落としている。

この絵を見ていると、二三日前見た、近代美術を思い出す。勿論ルオーも現代画ではあるが、そこに書かれていたものは、ありとあらゆる色と、線とが入りまじり、はなはだしきは、ボルトをくぎでとめて、立体感を平面の上に、画布の上にもって来ている。

そこには、求めていて、何も求め得ぬ現代を感ずる。

過去をのりこえて進むのが時代の流れであろうが、それが神を否定した上でののりこえ方に、問題があるのではなかろうか。

一方では神を認め、そこを精神のより所として、そして再出発の点として、より深いものを求めている絵と、それなく、しかもなお求めなやんでいるもの。この明らかな対比がここに見られる。

私たちはなる程、現代に生きている。肉体はたしかに二十世紀のそれである。心の中にひそむイエズスをうける心。これは現代のものでもなく、二千年の過去のものでもない。それは永遠の天主につながるものである。

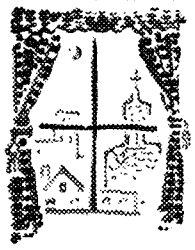
私たちは原罪の結果、心は弱きものとなり、ともすれば、時代の子として生き勝ちである。

精神ははやれども――この御言葉を、これらの絵を見て思う。そして、特に現代絵画に感ずる。二十世紀後半の今、一度神を否定し去った合理的あまりにも合理的精神は今、あらゆる面に合理的なるが故の非合理的面を人の弱さとともに露出しつつあるように思われる。

天地はすぎん。されどわがことばは過ぎざるべし――。この真理

カトリック結婚講座

神の召命に従う ⑮



前回で述べた通り結婚生活は修道生活と同じように、神の召命の道である。では結婚が神の召命であるとはどういうことであろうか。

(一)まず第一に、一組の男女が全く自然的な傾きによって結び合い共同生活を営み、相互援助によって生活を楽しむという人間的なよろこびのなかには、非常に崇高な神的な意味がふくまれている。即ち結婚の第一の目的である子供の出産と教育が、神の創造と摂理のお働きに協力することであって生命の伝達という非常に神秘的な業を行うことが、結婚した男女に托せられているということである。人間の生命の創造にたずさわることは、優秀な機械の生産、深い思索の書を物する以上に尊いものである。むしろそれは神のみがなしうる所のものであり、神以外のものが、それにふれてはならないものである。

所が神は御自分の能力の一部を結婚した男女に与え、神人共同の働きとなし給うたのである。神はこの働きのためにかれらを特別に招き給うたのである。

(二)もう一つの召命の意味、それはこの一組の男女が共同生活を通じて、神の光栄、その聖徳を発揮するよう召されたということである。

修道生活に召された者は、清貧、従順、貞潔の三つの誓願を文字通りに実行してゆくことによって、完徳に達し、神の光栄をあげることができるのであるが、結婚した者は、特定の男女ふたりの相互扶助によって子供を産み、育てることによって、聖徳を修めることができそれによって人格をみがき聖寵の生命を表わすことができる。方法に於て相違があるだけで、目的は全く同一である。従って結婚生活も神の召命の道である。

× × ×

結婚生活に入らんとする信者はこの召命の事実をはっきりと見究めなければならない。

1、自分の召命に誇りを抱くこと、即ち自分が選んだ境遇の崇高性をはっきりとつかむこと。修道者は高い理想をめざすが、結婚した者はありふれた目的に満足してもよい思うこと程、馬鹿げた考えはない。

2、次に召命の神聖性に確信をもつこと。修道生活そのものが結婚生活よりも優れていることは否定できないが、その何れかを選んだ人から見れば、その境遇において各人が完徳を修め、もっとも確実な方法でたすかりが得られることも、また否定できない。結婚によって完徳への努力から免除されてはいない。

3、召命に尊敬をもつこと。

結婚は神の召命であるから、その全生活に規範を与えるのは神の意志である。ふたりの生活を快楽と我ままのはけ場とするのは、神の召命に逆行する。召命に従う精神が、結婚生活を向上させ、神聖化し、幸福に導くのである。

自分とにらみっこ

なでしこ

私の家にだるまさんがにらんで座っている博多人形がある。何をにらんでいるのだろう。石の上に八年間座禅して足が腐り落ちたとか聞いたけれど、そのにらんでいる対象は一体何なのだろう。

いろいろと黙想している中に、にらみっこについてふと考え始めた。

天主様の子になったばかりの時は、心の目は前向きで人様ばかりが見える。人様をにらんで、あぁの、こうのと思って暮している間は非常に楽な人生だったと思う、けれども一面、不平の多い人生だったともいえる。

段々天主様に近づき奉って、即ち聖書や聖伝によってイエズス様の聖言葉を学ばして頂いている中に、外向きの目が段々と内面に向いて光って来る。

心の目が内面にきびしく光っている時は、鏡に向って自分ら快い感じの顔をしているが、反対に自分に光る目がなまけ鈍っている時は、自分さえうとましい様な不愉快な顔をしている。

ところで、家庭のイザコザでよく相談に見える。ジーッと話しをきいていると、みんなお互に相手ばかりにらんで、問題をあら立てている様な傾向がつよい。あっちがこうしたから、こっちもこうした、之では狭い家という囲の中からはみ出して来るのが当然で、之をもし双方ともに相手とにらみっこする心の目をクルッと向きかへて自分をにらんだら、何にも混乱する事はないだろうに。

そんならどうしたら心の目が自分とにらみっこする様になるだろう。イエズス様の聖言葉を本気で学んでいる中に何時の間にか自分にをらむ目が鋭くなって来る。イエズス様の聖言葉は拡大レンズの役目もして下さる。心の隅ここに知らぬ間に積ったほこりを拡大して見せて下さる。大きな拡大レンズでジーッとそのほこりを照し出された時、自分とにらみっこの見おとしに恐縮する。

聖言葉にましますイエズス様にはげましの聖言葉を以て、常に呼びかけて頂く事のみを御願い申し上げる事を今月の目標に暮し度いと願う。　一九六〇、二、一七

マリア田川セツさん

（田川清美師―大楠教会助任―母堂）

三月二十六日胃癌のため長崎県北松浦郡田平で逝去。行年六十二才

ふっく

がいど

ユニバーサル文庫、アーサータン著「光に向った窓」は、変化はあるがでたらめでなく、世俗的ではあっても下品ではなく思想に富んでいてもかた苦しくなく、知的であってもきざではない（本文「会話」四七ページ）読物である。

目次をみると、なぜ「プラス」がいるのか、如才なさ、礼儀、おしみなく与える心、会話外観、ユーモア、働こうとする心、がんばり、自制、誠実、約束を守ること、おちつき、寛容、平静に異性に接する能力、主の磁力の十六章からなっており、いずれも肩のこらない書き方でそれぞれの章にイエズス、キリストの模範と主に最もよくあやかったアンジの聖フランシスコの逸話がのべられている。

如才なさでは、四年生の男の子がいたずらをして女の先生にとがめられ、云いわけをしようとした時、「言いわけしてもだめです、私はこの二つの目でチャント見たのですから」といわれて、「ええそうです。先生はそのきれいな目でたいていのことは見ていらっしゃるんだとみんなにいっていたところです」と答えたという例をあげ、この子供を如才のない子供だとしている。そして、如才ないというのは、人の感情を察することである。つまり、その場にいちばんピッタリとしたことを、言ったりしたりする才能、あるいはもっと大切なのは、相手の感情を傷つけないためには、何を言ってはならない、何をしてはならないかを知る才能である。

如才なさというものは、他人に対する心からの愛情にもとづいたものでなければならず、それは愛の大切な一部をなしているものであるとのべている。そして如才なさの模範としては、イエズス様を政治にまきこもうとした者達が「セザル」にみつぎを納むるはよきや否や」と質問したのに対し、「セザルのものはセザルに返し、神のものは神に返せ」とお答えになられたイエズス様のなさり方をあげている。

又礼儀の章では、アメリカの友人に御馳走になったフォッシュ元帥がフランス式の礼儀正しさから大変なほめ言葉をのべた時、一人のアメリカ人が「そんなものは、ただの息にすぎない」と言ったということでありそれに対し元帥は「ゴムタイヤの中に入っているのも空気にすぎませんが、人生の道を車で行くときには、タイヤの中の空気が、車のゆれをとても安楽にしてくれます」と答えたという逸話を冒頭にのべ、そのことから礼儀について色々説明した後、その根本精神は自己の否定であり、自分の楽しみは犠牲にしてでも、他の人に対して不愉快な感じを与えないという心構えがあってこそ始めて真にできることだと説いている。

以上二、三の引用をしたが、一見卑俗に思われるような話や説明の仕方で、一歩あやまれば全く単なる処世術に堕してしまうスレスレの線までさがりながら、その背後にキリストの精神がたえず匂っていて、ここまで精神が至らなければ、先の種々の徳目も十分には行われないことが暗示されている。

世界中でイエズス様ほど、多くの人より模範として仰がれた人はなく、最も美しい芸術品、英雄的な行為、深い献身の生活を鼓吹した人もなく、また学校病院、貧困者などの社会施設を増進せしめた人もない。世界中の誰が一体、かほどまでに多くの心からなる記念碑をたてさせることができたであろうか、世界中の誰が一体、かほどまでに多くの人から生命を捧げても悔いないと思われるまでに強く愛されたであろうか。人々に愛され、尊敬され、慕われたいと思うなら、イエズス様のようになりなさい、とこの本の著者はのべるのである。近頃学校などでも道徳教育が声高く叫ばれているが、所謂道徳の教科書などよりも、かえってこのような本の中に、真に興味深く、又心に深く浸透させる何ものかが秘められていて、指導上のよい手引きとなるのではなかろうか。

（一〇〇円、中央出版社）(K)

人に好かれる術

古い歴史・新しい内容

コンサイス英和辞典（改訂版）　革　四〇〇円
コンサイス和英辞典（改訂版）　革　五五〇円
コンサイス英英辞典　革　三八〇円
デイリーコンサイス英和辞典　革　五三〇円
新クラウン英和辞典　革　四四〇円
ジェム英和・和英辞典　革　二〇〇円
最新明解英和辞典　三〇〇円
初級クラウン英和辞典　八五〇円
初級コンサイス英和辞典　五〇〇円
初級コンサイス和英辞典　一五〇円
三省堂　独和新辞典　五三〇円
コンサイス独和辞典　四三〇円
コンサイス仏和辞典　五〇〇円
コンサイス露和辞典　六〇〇円
日西辞典　二、〇〇〇円
商業英語活用辞典（増補版）　六五〇円
新英文法辞典　一、二〇〇円

辞書は三省堂

辞海　縮刷版　背革特装版　一、〇〇〇円　三、〇〇〇円
新版広辞林　一、二〇〇円
明解古語辞典（改訂版）　四五〇円
明解国語辞典　三八〇円
新修国語小辞典　一五〇円
音訓両引き国漢辞典　三五〇円
三省堂小学国語辞典　二八〇円
大明解漢和辞典　七〇〇円
明解漢和辞典　三五〇円
三省堂大六法全書　一、一〇〇円
模範六法全書　三七〇円
明解六法　一五〇円
学習百科事典　八〇〇円
明解日本語アクセント辞典　五〇〇円

三省堂　福岡出張所
福岡市向田町九ノ三
本社　東京都千代田区神保町

カトリック

深堀司教認可
発行所　福岡市浄水通
福岡司教館
発行兼編集人　深堀　敏
定価　一部十円

家庭ロザリオ十字軍に関する教書

霊魂の聖化・家庭平和のくさび

神の御憐みとローマ聖座の御恵みにより、教区司牧の聖にして重き任務を受けた福岡司教並びに宮崎知牧者は、この度教区において初めて行なわれる家庭ロザリオ十字軍開催にあたり、聖母マリアが我等の大会を祝し給わんことを祈りつつ、両教区内の司祭、修道者信者の皆様に教書を送ります。

福岡教区と宮崎教区が一環のロザリオの鎖につながれ、四月十日から家庭ロザリオ十字軍運動を各教会において一斉に開始することは、神の御母にして我等の母なる聖マリアと力トリック信者の家庭との結びつきを一しお固くし、御祝福を蒙むる機会となり、布教活動の力となることを思い合わせて、喜びにたえない次第であります。

ロザリオの信心に関して、ピオ十一世教皇は「家庭の父母は、家庭に平和と豊かな天のお恵みをよび下す美しい習慣をもって、殊に夕暮時に跪いて、ロザリオを誦え、子供達の模範とならなければならない」。と申され、またピオ十二世教皇は「親も子も一日の業務を終えて家に帰り、家族中が揃って天の御母の御像の前に跪き、一つの信仰一つの心から親の先あげてロザリオを誦えるのは実に有益な美しい習慣である。このような美しい習慣によって家庭には和気あいあいたる雰囲気が作られ、天のお恵みはこの上に降るのである」。と教えておられます。

我等は今、未だ曾ってなかった程の堕落と困難と、戦の中に生きております。世は神を見失い、道徳の根本義は浅薄な誤った思想観念に置換えられ、宗教心はすたれ道徳的秩序は乱れ、何処も堕落と腐敗の有様であります。我等の兄弟姉妹の中にさえ、この害毒に染ってその信仰を誤り、大切な神の賜や霊的な富の大部分を失っている者のあることは、不幸にも事実であります。

しかし我等は寄るべなきみなしごのように、ただ落胆や悲観におちいってはなりません。目をあげて我等の助け手なる聖母マリヤを仰ぎましょう。その人類救済の最も有力な手段であるロザリオに伝統的な地位を回復し、その功力その価値にいつも変りなき信頼を新たに致しましょう。――ロザリオこそは、不信仰と異端を亡ぼすために、一二〇六年聖母おん自らドミニコに直接授け給った武器でありロザリオの信心こそは霊魂の聖化家庭平和の楔、布教活動者の力、諸悪の防壁、信仰の強壮剤であります。ロザリオを繰りながら聖母に祈る人であるならば、その人はきっと健全な信仰の人であり、また救霊が確かな人であります。ファチマの聖母が「天国に入るためには痛悔の心を以ってロザリオを沢山誦えなさい」とルチアにおうせられたお言葉を思い浮べるときその確信を更に深くされるでしょう。

ですから、我等はロザリオの聖母によって、地上キリストの聖なる王国が益々拡張され、永遠の平和が打ちたてられるように祈りましょう。

そのために聖母によって全世界をゆり動かしキリストへの愛の火を燃え立たしめている家庭ロザリオ十字軍に自ら進んで馳せ参加し、各人がまず自分のうちに、ひいては隣人、家庭、職場、社会にそして全世界に、キリストの愛の火を点じ、燃え立たせるよう励んで頂きたいものであります。

ここで使徒的活動について御留意願いたいことは、教皇ヨハネ二十三世聖下が昨年の回勅「ペトロの教座に」の中に示しておられることであります。そこで教皇様は使徒的活動においては全信者が教区の司教に一致協力しながら与えられた任務を忠実に完遂するよう要求しておられます。更にこれを説明して、信者にはすべての布教活動において何時も司教と一つならんことを希望され、各教会の司祭に全心をあげて協力するよう勧告しておられるのであります。

我等は全能なる神の幸なる御摂理によって、福岡教区と宮崎教区において本日四月十日より五月十八日まで、家庭ロザリオ十字軍を開催することをここに正式に公布致します。願くは、両教区内のすべての聖職者、修道院長、カトリック教職員、各教会におけるすべての布教活動関係者、その他一般信者が、聖母の御光栄のため司教と密接な一致を保ちつつその教導の下に、家庭ロザリオ十字軍の恩寵の成果をあげるよう熱心に祈り協力し励まれんことを。

ここに我等は聖母の御像の下においてロザリオを誦えながら、父と子と聖霊の御名によりて、我等が尊敬する福岡宮崎両教区内のすべての司祭修道者並びに親愛なる信者諸子に使徒的祝福をおくります。

一九六〇年四月十日
福岡司教　ドミニコ
宮崎教区長　深堀仙石衛門

共に祈る家庭は共に留る

土井枢機卿の名儀聖堂

聖アントニオ大聖堂について

三月廿八日新枢機卿を任命されたあと、教皇聖下は八つの新らしい名儀聖堂を割り当てられたが、土井枢機卿の名儀聖堂はヴィア・メルラナにあるパドアの聖アントニオの大聖堂で、ラテラン大聖堂からサンタ・マリア・マジョーレ大聖堂への道筋に位している。

これは聖フランシスコ修道会に属するもので、一八八六年ロカリミニという建築家の設計によったもの。信者席は十四本のバラ色の影石によって三分され、後陣（アプンス）とその壁にはロフレド師の壁画がかかげてある。その他沢山ある壁画のうち左の第四祭壇の上部には日本殉教者の姿が画かれてある。

世の光

キリストを信ず

ナザレトのイエスが人となり給った永遠絶対の神であるという信仰は、キリスト教の土台でありすべてである。もしイエスが神でなければ、我々はひとりの人間の教えを信じているだけである。教えは立派であっても、絶対完璧であると断言できない。偉人として尊敬でき、道徳生活の指標として耳を傾けることはできようが、全心全霊をかれに委托することはでき難い。神について教えるであろうが、神を与えるかは疑問である。所がキリスト信者というのはキリストを通じて神を信じるよりも、むしろキリスト自身を神と信じかれに絶対的に帰依しているのである。

では如何にして我々はキリストを信じ得るのか。これに対する答は、第三者に対し客観的根拠をあげて信仰の理由を主張することであり、また同時に自己自身に対し信仰の神秘性を確認するという二つの面を含んでいるのである。

（一）

一般にキリストを知るための材料はその言行を録した福音書である。キリストがどんなひとであったかを知るための第一の資料がこれである。これを読むのはキリストを信じるか否かと関わりはない。目的は何であれ、これに目を通さないでキリストを論ずるのは「告白録」を読まないでアウグスチヌスの生涯を論ずるのと同じである。

イエスという歴史的人物を知るためには、歴史書として書かれた福音書を手にしなければならないのに、そうしないで頭から福音書の内容にけちをつける者もいるがおかしな話である。

然しこの書はイエスを神に祭り上げるために、あとで熱狂的な崇拝者がでっち上げをして、都合のよいことだけを録したのであるから、伝記書として殆んど信用できないという者もいる。これは今日に限らず昔から聞かされる陳腐な論であるが、この「キリスト神話論」に科学的異付を与えた者のあるを耳にしたことがない。稀にキリストの行ったという奇蹟の叙述が作り話にすぎないことを証明し得たかに見えて、何も知らない世の喝采を招いたこともあったがそういうベストセーラー的書物も何年かの後には一顧だにされなくなっている。福音書の非歴史性を証明するために、いかに非歴史学的方法を四苦八苦して使い、美辞麗句で人をあざむいていたかが暴露されて世の冷笑を買ったものである。

福音書の真実性は教会が総力をあげて検討しているのである。どれ程多くのまじめな学者がこの研究と取組んだことであろう。恐らく世界中にこれ程に批判的となり試練の火をくぐったものはないであろう。もしそこに半言半句たりとも嘘構があれば全体の命とりとなるのである。然しそれがあるという反証がなくむしろ真実性が確証されるならば、福音書の内容を事実として認めねばならない。

もし事実であるならば、イエスは神でなければならない。

この結論を素直に受けることが我々の信仰の人間的、客観的基礎なのである。

（二）

然しこの結論を受け入れることはまだ信仰とはいわない。それはキリストの神性の記しを認めたにすぎない。キリストの証明を認めることとキリストを神として受けることは別物で、ここが信仰と学問の違いである。学問であれば証明のみで足りるが、信仰は神たるキリストと私との完全な人格的一致、私の全存在がキリストの全人格に屈服することである。人としてのキリストへの帰依の転移の例としてのキリストへの帰依の転移の例として、我々はかの弟子達の心理的変化をとり上げることができる。

かれらはイエスの教えと奇蹟を見てかれに完全に心服していたが、それは十字架の死の瞬間に霧散して了った。所が三日後の復活を目撃したときかれらは文句なしに膝を屈したのである。復活を境としてかれらの信仰には雲泥の差が生じたのである。以前にはイエスは神性の記しとして奇蹟を行った。弟子たちはその記しを見たが、その記しに心を奪われていたにすぎない。復活によってイエスが記しでなくて神性そのものの輝きを見せられたとき、はじめてイエスの誰なるかを悟らされたのである。

これは人間の普通の心理的変化としてだけ説明され得ない。この変化の第一の要員は弟子たちにあるのでなくて、キリストにある。キリストによって変化させられ真の信仰に導かれたのである。

キリストの復活の事実は弟子たちにとってだけでなく、今日のわれわれにとっても客観的歴史的事実であるが、と同時に超歴史的事実である。キリストの神性に対するわれわれの信仰は、歴史的事実の証言に基いたものであるが、その証言だけで生れたものではない。われわれの魂のなかにおける超自然的働きの結果である。

（深堀　敏）

永久聖体礼拝

（五月）

第一日曜　久留米教会
第二日曜　高鍋教会
　　養島ウルスラ会
第三日曜　八幡天神教会
　　別府カリタス会
第四日曜　恵風園
　　カノッサ会
第五日曜　熊本天使園

祈禱の使徒会

（五月）

【一般の意向】　青少年期に対する正しい理解と評価

【布教の意向】　アジア・アフリカ出身のカトリック留学生のため

【日本布教委員会の意向】　欧米諸大学に学ぶ日本人留学生がカトリックの信仰を受けいれるよう。

教皇様の御意向のために祈りましょう

（朝の奉献）　いつくしみ深き聖心よ、主が今日全世界の各聖堂の祭壇の上にて犠牲とならせ給う御旨に心を合わせて、本会会員の求め得んとする願いのため、特に教皇聖下の今月中の御意向のため、今日の祈りと働き、喜びと苦しみを聖母マリアの汚れなき御心に頼みて献げ奉る。

移民の日の献金

一九五九年全国教区長会議の決定により、五月第一日曜は「移民のための日」になっており、この日すべての教会で日本カトリック移民事業のために献金が行なわれます。昨年福岡教区の献金額は七万四千七百四十八円、宮崎教区は一万六千五十二円でした。この大切な事業の推進のため今年も皆さまの御協力をお願いいたします。

五月　聖母マリヤの月

一日（日）　勤労者の聖ヨゼフの祝日
　　ご復活後第二の主日
勤労と祈りの美しい調和はカトリック教会の伝統である。聖ベネジクトは「祈れ、働け」のモットを以て、勤労を魂の聖化手段とすることを教えた。われわれはその模範として聖ヨゼフを尊崇する。今日の教会献金はカトリック移住事業のために献げられる。
大分地区ロザリオ大会

二日（月）　聖アタナジオ司教証聖者三世紀アリウスの異端の猛威に対して教会を防衛した司教。

三日（火）　聖十字架発見の祝日
聖女ヘレナがエルザレムでキリストのかかり給った真の十字架を発見したこと（三二〇年）を記念する。
水俣教会祝別式

五日（木）　こどもの日
佐賀、北九州地区ロザリオ大会

六日（金）　ローマ・ラテン門外の使徒聖ヨハネ
板付ベースで堅信

八日（日）　ご復活後第三の主日
前週まで典礼はキリストの過去の御業を記念してきたが、これからキリストとわれわれ自身の将来に目をそそぐ、キリストの御昇天が近づく。われわれも天国に向う旅人として最終の目的地から目をはなしてはならない。
教区主催聖体行列
福岡・熊本地区ロザリオ大会

十一日（水）　聖フィリッポ、聖ヤコボ両使徒の祝日

十三日（金）　聖ロベルト・ベラルミノ司教博士証聖者

十四日（土）　カノッサ会宣教出発百年記念祭

十五日（日）　ご復活後第四の主日
主は聖霊をつかわす御約束を弟子達にくりかえし、御自分が今迄示し給った御教えの真意を悟らせ教会をみちびき給うことを確信させ給う。
健軍教会で堅信
熊本マリスト会高等学校定礎式

十七日（火）　パイロンの聖パスカリス証聖者
フランシスコ会の功修士、聖体大会の保護者と仰がれる。一五九二年帰天。

十八日（水）　家庭ロザリオ十字軍最終日

廿二日（日）　ご復活第五の主日
聖ヤコボは舌の抑制を勧める。口を慎しむことを忘れたためにどれ程多くの罪が犯されていることであろう。聖霊は舌の形をもってあらわれ給うた。口を正しく用いる恵みを願おう

廿三日（月）　祈願日
今日から三日間祈願日である。天父のもとに帰り給う長兄イエスにわれらのつつましい願いをことづけよう。

廿六日（木）　わが主ご昇天の大祝日
主のご昇天を仰ぎつつ、イエスの神性に対する信仰をかためよう。

廿九日（日）　わが主ご昇天後の主日
福岡地区教会信者親睦会（於福岡大神学校）

卅一日（火）　天地の元后なる聖母の祝日

ロザリオ十字軍 野外大会日程
福岡地区では聖体行列も

四月十日司教教書の発布をもて開始された家庭ロザリオ十字軍は、各小教区、学校、病院などですでに活動してきているロザリオ会やレジオ・マリエ、その他の信心会の協力もあって一般信者の間にロザリオを斉唱するか、個人で誦える習慣が急速にひろまり、家庭ロザリオの実行えの気運をもり上げている。

同十字軍運動中の一つの行事である野外大会の日程、場所は次の通りである。

宮崎地区 四月二十九日二時（於日向学園）棚町師司式

大分地区 五月一日二時（於別府明星学園）棚町師司式

北九州地区 五月五日二時（於八幡八王寺教会）棚町師司式

佐賀地区 五月五日二時（於佐賀教会（深堀司教司式

福岡地区 五月八日二時（於双葉学園）深堀司教司式

筑後地区 も福岡に合流

熊本地区 五月八日二時（於琵琶崎修道院）ハンター師司式

教区主催聖体行列

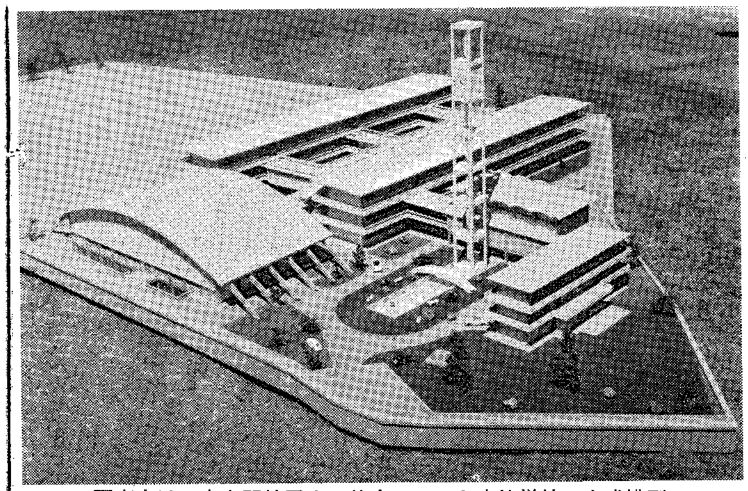
恒例の聖体行列は、福岡地区ロザリオ十字軍野外大会と重ねて五月八日午後二時より挙行される。コースは例年通り泰星高等学校々庭より双葉学園校庭までで、幼稚園、保育園々児およびその父兄多数の参加も大いに望まれている

なお、行列の前日午後二時から仮祭壇の準備、通路の清掃、飾りつけを行うので、教区当局としては福岡市内全教会の男女青年、壮年層の人々の協力を期待している。雨天の場合はロザリオ大会のみを双葉学園講堂で行なう。

J・マルタン師金祝

鎌倉の訪問童貞会本部づき司祭J・M・マルタン師（パリ外宣会員―所属教区は福岡）は去る三月十二日で司祭叙階五十年の金祝を迎えた。

マルタン師は一八八六年フランス生れ、一九一〇年司祭叙階、同年六月来日。以来宮崎で一年間日本語習得、鹿児島と川内で教会司牧後、第一次欧州大戦に応召、一九一九年再び来日し鹿児島主任をつとめたのち、二十一年から十年間門司教会に留まり、三十一年熊本に転任、四十年大牟田教会に移り、戦後鎌倉の訪問童貞会づきとなって今日に至っている。師は二十年以前にラゲ師が出版した仏和大辞典の改訂版の編集に努力し、五十三年白水社から発行された。



写真上は、来春開校予定の熊本マリスト高等学校の完成模型

レジオ・アチエス

レジオ・マリエ福岡コミチウムでは、四月三日、大名町教会で午後二時半より、深堀司教臨席の下にアチエスを行った。

式は二時半、ロザリオに始まり司教様の説教、会員のマリア様えの奉献の式、ベネディクションで三時半すぎに終った。

参加者は福岡近郊のレジオの会員約五十名であった。全員、聖マリアえの信心を深めるとともに、来るべき一年をマリア様の兵士として、悪魔の軍隊と戦う決意をかためたのである。

尚熊本クリアでは三月二十日、北九州クリアでは四月三日、それぞれの地でアチエスを行った。

（アチエスとは、レジオ・マリエの会員をマリア様え奉献し、その信心を深めるとともに、その兵士として忠誠を誓う式である。）

緑ケ丘高等学校に新校長

ウルスラ女子修道会日本管区長エステル・タボニ童貞は、昭和三十年四月延岡市恒富浜の同会経営緑ケ丘高等学校創立以来、校長を兼任していたが、本部の要務を果すため昨年六月イタリヤに出発、なを当分帰任できないので学校長職のみを辞任、後任にマリア・ガエタノ童貞が就任、日本副管区長を兼ねることになった。

ガエタナ童貞はローマ国立大学マリア・アスンタ・ヴァチカン大学卒業後、イタリヤの諸高等学校で教鞭をとり、本年一月来日した。

ウルスラ会は一五七五年創立された修道会で現在三五〇名の会員をもっている。わが国では福岡、佐賀、延岡に修道院があり誓願者二六名、志願者一六名である。（写真はガエタナ童貞）

ノートルダム会に新修道院長

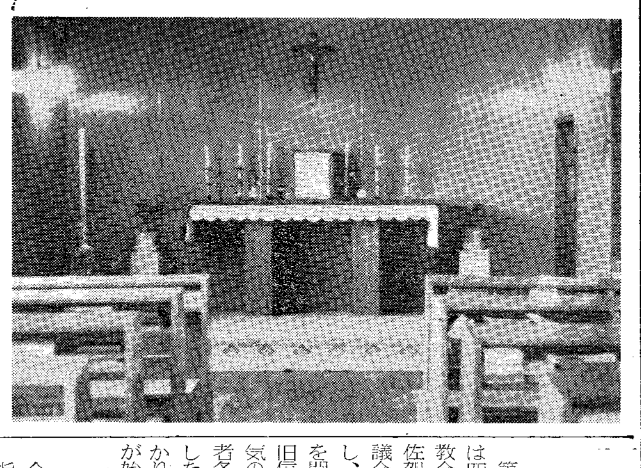
戸畑ノートル・ダム修道院ではマリー・アンヌ童貞の修院長任期満期により、新院長としてセント・ルース・ド・ローム童貞が任命された。新院長は昭和二十一年来日以来福島修道院に属し、同会経営の桜の聖母短大で音楽を指導していた。前院長は五月四日カナダに向い暫く滞在する予定。

小神学校に小聖堂
小神生数は40名

福岡小神学校（校長、川口康穎師）では、戦後現在地に移転して以来個有の聖堂をもたず、浄水道教会の聖式にあずかっていたが、このほど校舎内の一部を改造して十七坪の小聖堂をもつことになりその祝別式が四月十六日聖土曜日に深堀司教によって行われ無原罪の聖母に献げられた。

現在小神学生は四十名、うち福岡教区所属は三十七名で三名が鹿児島教区に属している。今春の新入生氏名および出身小教区は左の通り。

西田順一（高三、少年の町）尾上友亜（中三、馬渡）牧山育美（中二、馬渡）水野聖司（中一、崎津）城戸利男（中一、高宮）鈴木弘司（中一、茶山）



スイスに留学

福岡市の泰星高等学校を経営するマリア会の富来正博修士は、スイス・フリブールグ大学で四年間神学を研さんするため、来る五月二十三日横浜出帆、欧州に向う。

富来修士は昭和八年福岡県若松市の生れ、泰星高校一年のとき大名町教会で受洗、東京暁星学園高等科卒業ののち上智大学で哲学を専攻、昨年四月以来母校泰星で社会科（日本史）を担当していた。両親は福岡市香椎に在住。（写真は富来修士）

着衣式

福岡女子カルメル会のイエズスのマリア・アンヌ童貞（出口節子―東京田園調布出身）の着衣式が四月十九日行われた。説教は男子カルメル会日本管区長ペトロ・アロイジオ師。

聖体拝領規定の緩和
午後ミサ以外にもできる

聖会法八六七条第四項によると、聖体拝領はミサ聖祭の施行が許された時間にしか与えられないことになっているが、一九五三年一月六日付の教皇庁令により、各地の司教はある日には午後、または夕方にミサを献げることを許すことができ、次で一九五七年三月十九日付の自発教令で相当数の霊的利益のため必要と判断すれば、毎日でも午後または夕方にミサを献げることを許すことができるようになった。従ってこのミサの間、またはその直前、直後にも聖体拝領が行われていた。

所が去る三月二十一日付の聖座の新布告によると

一、午後または夕方にミサを献げることは、必ずしも何時でも、何処でも可能でないから今後各地の司教は、午後にミサの場合以外でも聖体を授けることを許してもよい。

二、午後に、ミサとは無関係に聖体を授ける場合には、その授与は何らかの祭式と結びつけられねばならない。

三、各地の司教は、小教区聖堂またはそれ以外の聖堂、即ち病院、刑務所、学校の聖堂でそのような聖体授与をする許可を与えることができる。

右のような聖体授与の許可および祭式の種類についての具体的指示は、福岡、宮崎両教区に対しては深堀司教から近く通告が与えられる。

SVP福岡地区中央理事会

第二十六回福岡地区中央理事会は四月二十四日（日）大刀洗今村教会で行なわれた。福岡、熊本、佐賀、久留米及び明光学園の各協議会代表者二十四名は夕刻に到着し、予定通り食後、直ちに座談会を開き、地元伝統的な今村教会の旧信者約三十名となごやかな雰囲気の中に、結婚問題及び新・旧信者各々の信仰体験等を深夜迄懇談した。翌日曜日八時半のミサに与かり、朝食休憩後正午から協議会が始った。会は

一、開会の祈り 二、霊的読書（ヨハネ福音書及び書簡）三、会長挨拶 四、議長選出 五、指導司祭講話 六、前回中央理事会報告 七、各協議会状況報告 八、協議 九、閉会の祈り

の順で行なわれ、会長挨拶につぐ指導司祭講話では、代理の今村教会主任糸永師の自からの若き神学生時代の体験にもとづいた「愛について」の講話があり一同深い感銘を受けた。つづいて八協議会による活発な報告討論が行なわれ協議では就職問題と寄附問題が議題にのぼった。大聖堂を一杯に埋め尽くすベネディクションをもって終り、会食後各人はそれぞれ帰途についた。

琵琶崎修院で二童貞帰天

スール・あけのほし（平田松代）四月十日六十歳で逝去。大名町教会主任平田正喜師の叔母さんに当る。

メール・マリア・ベアタ（ヘレナパラディ）四月十九日八十九歳で逝去。六十二年前当時の熊本教会主任コール師の招きで救癩事業のため、マリアの宣教者フランシスコ会の創立者から五名の修道女とともに来熊以来生涯を病者のために献げ、度々表彰をうけた。

和田墓地整地に関する経過報告

本紙前号で公告致しました通り大橋和田の教会墓地の整地は予定通り進行しております。周囲の囲いは既に完成し、南北両面の整地も進み見違えるように美しくなり中央部の広場と共に、近日中に完了の運びとなりました。

墓地所有者には確認のため、坪数、現住所、本籍地を知らせ下さるようお願いしていましたが、まだ多くの方の連絡がありません。至急お知らせ下さい、通知のあった方は次の通りです（敬称略）

サンモール修道院、久保守、相良剛、畠山しげ、深堀千治、松尾隆夫、深堀徳市。

また墓地整地費として所有者は坪当り五百円を頂いています。未納の方は大名町教会墓地管理者までお納め下さい。

納入済の方は次の通りです（先着順、四月十七日現在）

那珂町教会（一・一、四〇〇円内訳、主任司祭千円、山口薩男千円、大野キミ子千円、大石昆太五百円、角田種三千五百円、牧山五百円。

大楠教会（七、五五〇円）一般信者の寄付による。

地行教会（一〇、〇〇〇円）内訳、石川邦雄五千円、相良剛二千円、石橋貫昭五百円、田原輝三百円、一般信者二千二百円。

浄水通教会（七、七〇〇円）内訳、矢野繁隆千円、篠崎秀子千円一般信者五千七百円。

大名町教会（募集中）内訳、深堀広、同清吉、同弥吉、同徳市、同アヤ子、同滑市一万二千円広中サエ千円。

其他（三、三〇〇円）内訳サンモール修院八百円、久保守二千円安部任五百円。

以上の金額をお収め下さった方に領収証は発行いたしませんから御了承下さい。

堅振のよろこび

【大名町教会】四月二十四日七十六名が受堅。

改訂公教要理
カトリツク要理

昭和三十年春の全国教区長会議の決定にもとずき、公教要理の改訂委員会が京都、横浜、仙台、鹿児島、広島の各教区長による構成で発足、その監督の下に五年間、全国の司祭、修道者、信徒有識者から寄せられた熱心な参考意見に慎重な検討が加えられ、このほど教える側にも、教えられる側にも、たいへん使いやすい新しい要理書が完成いたしました。

○編集者 公教要理改訂委員会
○発行者 カトリツク中央協議会
○発行所 中央出版社

A六判上質紙・二二六頁 上製五〇〇円 並製三〇〇円 〒20円

G・テイボン著 S・カンドー、金山政英訳
愛の哲学 神の合わせ給いしもの

目次
第一部 精神と生活の相剋 感覚と精神 愛と結婚 愛の清め
第二部 肉と霊 女 愛の真実 愛の偽り 愛の悩み

三省堂 ￥190

宗教書・宗教用品のお求めは
聖パウロ書院で
福岡市万町電停前 TEL ④四五八八

カトリツク思想史（再版）
増補・第六篇として「第二十世紀におけるカトリツク思想」が加えられました（小林珍雄教授執筆）

執筆者 ヨゼフ・フーピー ピエル・ルッスロ A・ブルウ グラン・メーゾン 小林珍雄 訳者 戸塚文卿

権威ある専門家が一般の教養ある人々のために学的良心をもって書いた概観的キリスト教史で、大学のテキストとしても使用できる。

A五判三五八頁・四二〇円 〒四五

心理学シリーズ ③ ④
読書・思索・文章
J・ギットン著 安井源治訳 新変形版・266頁 ￥250 〒30円
心のコントロール
N.イララ著 カルワナ訳 新変形版 239頁 ￥220, 〒30円

枢機卿のおこり（カルヂナル）

枢機卿とは

教皇につぐ教皇最高の聖職者であって、教会行政のすべての分野において教皇を補佐する者。

名称の起源

ごく始めは、一つの教会で永続的に聖務を果す司教、司祭、助祭をカルヂナルと呼んでいた。しかし司教座都市以外に住うものは除外され、なおすべての主任司祭（パロクス）がカルヂナルであったのでなく、ただ参事会員（司教顧問）に限られていたので、この呼称は市の主だった聖職者という位の意味であったらしい。

後代になるとカルヂナルとの名で呼ばれるものはローマの教会にのみ存するようになった。そして教皇の最高顧問にのみこの名称を限るようにしたのは、ピオ五世教皇（在位一五六六―七二）である。

枢機卿職の起源と進展

枢機卿団の起源は、司祭団（又は長老たち―プレスビテリウム）のそれとはっきり区別しがたいが聖パウロがチモテオ前書の中に記している長老たちというのが、枢機卿の起源とみられる（四の14）

教会のはじめから、すべての司教の周りに司祭および助祭のグループがあって、その顧問の役を果し、聖式において司教を補佐し、司教座都市の行政運営、愛徳事業を司どっていた。

（一）ローマには他のどの都市よりもこの点において強大な司祭団があった。そしてローマが多数の小教区に分割されたとき、司祭団に属する者がそれぞれ幾つかの小教区の上に長となり、定住するためのバジリカ（大聖堂）をもつように なった。これを 主聖堂（カルド）といい、それに任命された司祭がカルヂナリスである。（現在枢機卿はローマ市内に名儀上の主聖堂をもつだけで、土井枢機卿のそれは聖アントニオ大聖堂である）その数は最近まで二十八であった。かれらは実際には司教の位をうけたものであって、教皇の聖式を補佐し、その顧問であって、任ぜられた教会を司牧する。普通に自分の 教区内に 居住する（土井枢機卿は東京に定住）以上を**司祭枢機卿**と呼ぶ。

（二）教会は創立当初から貧民の救済に努力したが、ローマの中心地 は七つの地区 に分けられて、それぞれに責任者として助祭が任命され、施物の分配を司どった。その 数はやがて 倍になったが、その他に四名の助祭が教皇の儀式に奉仕するためにだけ別に任命された。

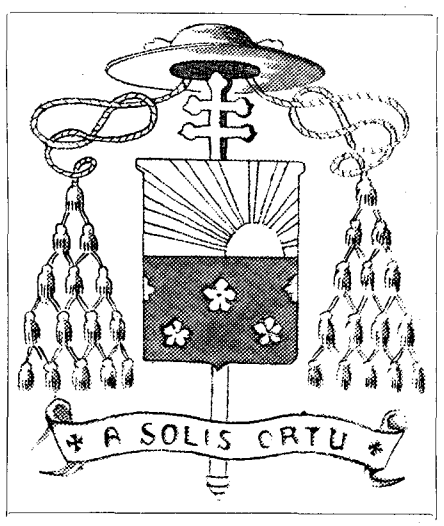
十二世紀になると、貧民救済という任務は名目だけとなり、教皇補佐の任だけが残った。かれらはラテラン大聖堂に居住し、実際には司祭以上のものが任命されるようになった、これが**助祭枢機卿**である。

（三）以上の他に**司教枢機卿**というのが存在 するが、その起源はもっと新らしい。但しはっきり指示することはむつかしい。

中部イタリアの司教達はローマ司教、即ち教皇の属司教（スフラガニ）であったので、教皇行政のために、教皇座に近く住んでいる司教が教皇から召集されていた。ステファノ三世教皇が召集したローマ宗教会議の折（七六九）にはカルジナルの肩書をもつ七名の司教がおり、ローマ郊外司教と呼ばれていた。十三世紀にはかれらはラテラン大聖堂で交替に毎日聖式を献げる義務を負っていた。

かれらの 七つの教 区はオスチア、ヴェレトリ、パレストリナ、サビナ、アルバノ、フラスカチ、ポルトである。かれらは現在聖庁内に居住する。

（上は土井枢機卿の紋章）



聖書・典礼用語の説明 (10)

いざない

(1) 神が人をいざない給うことがある。その場合「こころみる」「ためす」などの言い方が使われる。神は人の心の 奥底に隠れているものを、あらわにするために試み給う、〝あなたたちはしばしの間、いろいろの苦しみに会うにしても、そのために喜びいさめ。火でためされる、なくなる 黄金よりも 尊いあなたたちの信仰の試煉は、イエズス・キリストのあらわれの日、誇りと光栄と名誉とに変るであろう〟（ペトロ前一の6―7）

(2) 誘惑という意味にとれば、人が神を否定するようにいざなわれる。このいざないは神からでなく、その人自身の弱さ、また悪魔からくる、サタンに打ち勝ち給うたキリストに結ばれていれば、キリスト信者はこれに負けることはない。〝誘惑におちないように、めざめて祈りなさい、精神は熱しても肉体は弱いものだ〟（マテオ廿六の41）

しもべ

この語は奴隷から執事までの役務全体を表わす。神が「わがしもべ」とのたもうときには、栄誉ある肩書であって、聖主の家に個人的に所属していることを表わし、特にある使命のために派遣された者を指す、主イエズスは 人類の主にて 在しながら、神と人間とのしもべとなり給うた 〝私はあなた たちの間で、給仕する人のようである〟（ルカ廿二の27）そして真の意味で神の奴隷にすぎないわれわれを、友とさ えお呼びに なった。（ヨハネ十五の15参）

地

ヘブライ人たちの考えでは、地は球形でなく平面にひろがっている。この地の下に水の深淵がありそれは「下なる地「あるいはよみである。

群

この 語は度々神の 選民を指す。神はわれわれの牧者にて在す。イエズスはその羊らの世話をしに来り給うた誇き牧者である、主 からつかわされた 者は皆、その牧職を継続する。

聖言

聖書を意味するラテン語「ヴェルブム」は言葉の意、イエズスは神の 御言葉、聖書 にて在す。

暗

聖書は、神なき世間、原始的暗黒のうちに沈んでいる世を暗と呼んでいる。イエズス・キリストに従う者は暗闇のうちを歩ます。そこに投げ出されることもない、なぜならイエズスは生命の光であり死の君主、サタンに打ち勝ち給うたから。

真理

真実にして生き給う神は、その御約束、御意図について忠実で、変わり給わない。神は人間から同様の忠実さを求め給う、真理は道徳と無関係なものではなく、生活のうちに活かさるべきものである、それ故にこそ人は「真理を行い」光に歩まねばならない。

沈黙

ピエール

沈黙。おおよそ、わたしたちの生活とは縁遠いようです。日々の喧騒。目、耳、口。心のいらだたしさ。そして、生活のつかれ。しかし、それだけに、沈黙に何か魅力を感じるようです。沈黙。何があるのでしょう。

口をとじてみます。しかし、耳は外の音にピンと張っています。目は何かを求めています。耳も目も閉じてしまいます。しかし、頭の中で、心の底で何かがまだ騒いでいます。いいえ、外の 音よりも、もっと 大きな 音がしています。外の色よりも、もっと鮮やかな色がうつります。

なかなか消えません。なかなか止みません。昨日、車の窓から見た景色が、顔が、家が、はら ても、はらっても、つぎつぎに浮んできます。今朝きた註文客のしわがれた声が、「おい何をしているのだ。明日までだぞ。必ず仕上げるのだ。早く早く早く……」。いけません、すべてを消さなくてはなりません。「沈黙」です。

やっと、みんなが静かになりました。しかし、何があるのでしょう。突然、わたしの心の底に恐怖が湧き起こります。そして、体全体が異様な戦きにつつまれます。真暗です。物音一つしません。真夜中の 巨大なビルの中に 唯ひとり、とりのこされたような感じです。精神は極度に緊張します。勇気が必要です。一切の沈黙を前にして、英雄的勇気が必要です。

だが、わたしは 耐えられません。沈黙を破ります。「主よ」、ぽつっとつぶやきます。「主よ」、ともう一度。なんと心がなごむことでしょう。心は深い愛の中に包まれます。いましがた異様な恐怖に戦いた私は、深く謙り下り、シーンと 静まりかえった 沈黙の中に、主を見凝めます。主の声に耳を傾 けます。「主よ、復活 の主よ、語り給え。おんみの下僕はききたてまつらん」と静かに、ささやきます。沈黙は消えました。沈黙にかわって深い潜心がやって参ります。

わたしは、いつまでも、この潜心を保ちたい。堪えがたい悪口の中にも。わたしを世の中から追い出すような悪意の渦の中にあっても。黄色い嬌声をあげて、わたしをくすぐる称賛の中にあっても。そして、また聖書たちの中にあっても。精神の極度の緊張を要求する仕事の中にあっても。体が綿のようにくたくたに成りおえた疲労の中にあっても。そして、また、日常のつまらない仕事の中にあっても。

ルルド巡礼

在パリ　平山高明

パリはもうすっかり春です。先日迄毎日愛うつな霧にときされていたのが、急に一足とびに緑の春に入ってしまいました。

さて私は突然国際巡礼団の招待をうけて、四月一日から待望のルルド巡礼にでかけました。午後九時シナ、スイス、フランス、ベトナム、ビルマ、日本、韓国から集った学生達十数名がパリ・オーステルリッツ駅に集合しました。日本からは私と天阪教区のペンケル神父様の二名でした。

まずこの巡礼の精神が説明され夜半過ぎまで一諸にロザリオを誦え聖歌を歌いました。翌朝眠がさめた時には汽車は早くもピレネーの山麓にさしかかっていました。幾度か写真で見たあの大聖堂の尖塔が谷の一角に姿を現わし、淋しい片田舎の 駅に到着 いたしました。駅から洞窟まで ロザリ オを誦えながら進み、司教様の御ミサに与りました。

その後この巡礼団の頭であられるルルドの司教様に挨拶申し上げました。近頃はややもすると、漫然とやってきてホテルに泊り、一寸祈り眺めて帰るという巡礼がはやっているが、司教様はマリア様のおうせに従って、自分と同胞の償のために、司祭の聖化のために祈りと苦業をささげる巡礼団を、毎日初金曜 から第一日曜 にかけて、ルルドに送る計画を立てられたのだそうです。

ビッシリつまった日程はまさに大黙想会のようでした。くり返えしこの償の精神が説かれ、罪を痛悔しながら洞窟前のコンクリートの上に跪き祈っているうちに、肉体の治癒ならぬ精神の治癒が行われてゆくのを感じました。

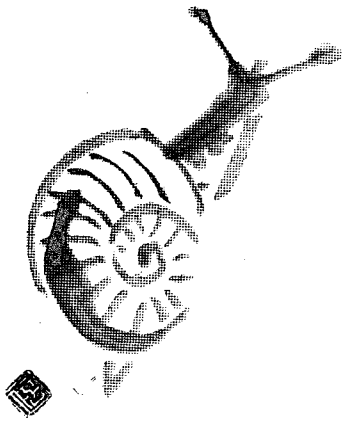
司教様が私が日本からの司祭であるときかされて、すぐあとに洞窟の前でミサを捧げることを許して下さいました。

一度ルルドには全英国から初の公式巡礼団が姿をみせ、仏空軍落下傘部隊も従軍司祭と一諸にきておりました。ルルドの司教様は巡礼団えの説教の中で、今自分達の間に日本人司祭も加っていることを告げられて、日本のため祈ることを願われました。ここにきてシナの迫害下の教会のため、日本の布教のため祈っている人々を目のあたりにして、カトリシタスの偉大さを改めて感じ入りました。

ローソク行列は何んと申したらよいでしょう！洞窟から大聖堂までジクザグしながら、色々の国語で「天の門」を歌いながら進みます。火の流れのように。そしてアヴェマリアでは皮膚の色も国語の違いもなくなって、一人の母えの一つの讃美を歌いつづける同胞なる子供達の歌がきこえるだけでした。

翌日はベルナデッタの例の牢獄跡の家の一室に設けられた祭壇でミサを捧げました。

（写真右はルルドの大聖堂　左は洞窟）



俳句

桜花散る病廊神父急ぎ行く　風声

麦の穂に日輪真赤沈み行く　恵女

庭石をめぐる人尚春雨に　牧泉

撮られつつ朝の若葉の中に立つ

アレルヤの家族合唱牡丹咲く

薔薇さげ嬰児の命祈りけり

カトリック全書

各巻 200円 〒30円

なぜ信ずるか

レオン・クリスチアニ 著
金田一忠 訳

第十五回配本

キリスト教音楽史

アルフレッド・コラン 著
江藤きみえ 訳

第十六回配本

キリスト教音楽は、キリストの生涯以後にその起源をもつことはもちろんである。だが歴史は短かくとも、音楽史では重要な地位をしめている。本書はキリスト教音楽の変遷の歴史を興味深く記している。

聖心の使徒

（昭和35年5月号）

表紙　北原怜子（竹森輝光画）
五月の意向　この頃の青少年の問題……森田宗一
留学二年の思い出（五月の布教の意向）……高橋憲一
黙想　心の細道　……下嶋正照
蟻の街のマリアにつゞく……人々……松居桃楼
写真特集　蟻の街のマリアにつゞく人々……
転落した教育……石田加都雄
カトリック教育の方針について……千寿利久
毒蛇はここにあり……K・サリヴァン
この勇敢……J・セフェル著
さこそ……菅佳夫訳
最上の賜物(五)失われた神的生命……K・ティルマン著
荻原晃訳
聖書の時間　山上の声(三)……J・A・フイリップス著
……長島達也訳
診察……十字架のイエズス
修道女会

日本祈禱の使徒会発行

購読会員費　一カ月三十円〒五円
一カ年三百円〒五十円
東京都千代田区紀尾井町七

私の経験したこと

なでしこ

或御婦人が、「お宅の奥さんどこの先生ですか」と、私の家の手伝いのオバさんに尋ねられたそうです。お手伝いさんは、「先生ではありません、家庭裁判所の調停委員です」と答えたそうです。するとその御婦人はある日私を尋ねて見えました。

お話しによると、その方の御主人は会社の女事務員さんと行動を共にして全々家をかえり見ないとのことです。そこで家裁の相談部へ相談に行かれる事をおすすめして別れました。ところが、私の心にささやかれる、マリヤ様のお声に気がついて、早速ロザリオをとなえてマリヤ様にその御婦人の幸福を祈りました。

三日目の朝、その方が、かがやかしい顔をして私を訪れて、折角家裁に行くよう教えて下さいましたがその日は丁度持ち合わせがなかったため寄らずにかえりました。ところがその晩かえって来た主人が私の前に座るや「お前に長いことすまないことをしていた、とても許してはもらえまいが、どうぞ許してくれ。子供も大きくなるのに、今迄自分は何と馬鹿なまねをしていた事だろう。どうぞ許してくれ、これからは決して今迄のような心配はかけないから」と一生懸命あやまるんです。本気かしらと思って昨日もだまって見ていましたがキチンと定刻にかえって来て、朝はまじめにつとめに出るんです。マアどうしてこんなに急に変わったんでしょう。不思議で不思議でたまりません、といわれます。私はハッとしました。

けなげに働くその婦人に、マリヤ様は御取りつぎの御祈りをささげて下さいましたんでしょう。それ以来その御主人は必ずまじめに働いておられるそうです。もうそれから一カ月半たちましたが会う度にその方は不思議をくりかえしておられます。

その二

或奥様が、私を呼びとめて、「マア聞いて下さい。私はどうすればいいでしょう。あまり母親としての資格がないから離婚する。今度のボーナスを みんなやるから、荷物を持ってかえってくれといいますの」と、私は何とお答えしていいか途方にくれました。

その奥様と二人でマリヤ様にお祈りしました。そしてその奥様に私の受洗の時頂いたオメダイを贈ってどうぞこれをお首にかけてマリヤ様をはなれず御祈りして下さいと御願いしてお別れ致しました。その翌朝その奥様は、「マア、一寸聞いて下さい、驚いてしまいました。いつも夜中にかえって来て、寝ている私の枕をはねとばして怒る主人が、昨晩は何と「お母さん、おきて見ないか」というではありませんか、びっくりして、私もすなおにおきました、とその病弱のその奥様は申されます。

すると、「お前の首にかけているものは何かね」と聞きます、説明して、外して見せられた時、そのオメダイを見られる御主人のお顔何ともいえないお顔だったそうです。

「それ迄、何日も私と口をきかなかった主人がこんなことから私と話しをするようになりましたの」、とうれしそうにお話し下さいました。

奥様も御主人も未信者さんです。この話し以来三年近く御家庭に平和がつづいているようです。

信者未信者を問わず、マリヤ様の御慈愛はこうして、けなげな心根の婦人には味方して下さることを知って、何ともいわれない感激を覚えました。マリヤ様は今も私共の背後に立って、ほほえみかけて下さることを身にしみて感じます。

マリヤ様の五月を目の前にして、マリヤ様にロザリオの祈りをたやさず、その御功徳にあやかりたいものでございます。

アベ　アベ　アベマリヤ

一九六〇・四・二〇

短歌

二丈

座席表と並ぶ生徒をくらべては
日は新らしきことを思へり

制服のここの乙女は幸あらむ
未来を持ちて机にむかう

テレビをば見終りて帰る足音の
にぎにぎしくてやがてコンマツチョットコイ

山道に若葉の光まぶしくて
照りぐわし緑こきとうすきと

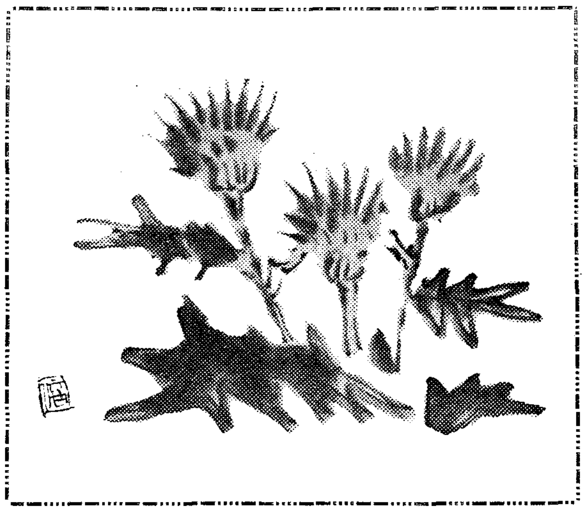
新緑の木々のかなたの空はまた
かくも青きかそのきわみを思う

子供を育てて

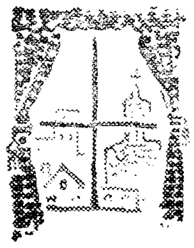
最初の子供が生まれたのが一昨年の八月、すぐ後を追うようにして昨年の七月に次の子が生まれた。まだ二十才台の若いお父さん、お母さんは一体どうして育てようかと途方にくれてしまった。幸に里の方に上の子が可愛がられていたのでしばらく面倒を見て貰うようになった。しかし自分の子供である以上いつ迄も他人に預けておくわけにもいかぬし、最近里の方にも病人が出たので、それをしをに引きとって二人共私達の手で育てることにした。上の子はもう一年半、下の子も半才になり二人共恐ろしい程いたずらをするのにはほとほと音を上げてしまった。特に上の方はやたらに破壊本能を発揮して大人でもこわせないものを長時間かけてはこわして、その破片を人目につかない片隅にかくすことに無上の生甲斐を感じているようである。最初のうちは子供のおいたはあたりまえ位に思っていても、夜もう店が締まってしまってから煙草がないのに気付いたり、人からいただいた大事な品物をこわされたりすると、ついつい声も荒くなり、手も上がるようになった。仕事に疲れて帰ってもやたらにまつわりつく子供をもてあます時など子供は天使である等といわれた方がつくづくうらめしくなるのを押えようもなかった。

こんなことを時折尋ねてくる里の人達に話すと、私をまるで鬼でもあるかのようになじった。そして子供にお菓子をもたせてごきげんをとろうとするのに、子供の方は半年も育ててもらっているのに、もう顔を忘れてしまったのか、お菓子は貰っても、あまりだかれたがらないような顔をしている。子供を預けていた頃、私はあまり尋ねてはいかなかったのにそれでも顔をおぼえていると見えて結構にまつわりついてきたものだった。それをおもい出して半分は口惜しさもあって里の人達は血は汚いものだとなげいた。

福岡の方で血は争えないということをそのようにいうのだそうである。怒られても、たたかれてもまつわりつく子供の顔をつくづくながめて、キリストと血をわけた兄弟である私が、父なる神に対する態度においてむしろこの子に教えられるの点あること、私はもっと神との「血の汚さ」を利用して甘えた方が父なる神を喜ばせるのではないかということをぼんやりと考えてみた。



カトリック結婚講座



愛について ⑯

皆さんは結婚なさるときに、結婚費用の捻出に一番頭をなやまされるかもしれませんが、相互の愛こそが、何よりも大切な結婚資金だということを忘れないで下さい。お二人の愛が真実で、美しく強くあればある程、これからの幸福は保証されています。愛が結婚生活の幸福の秘訣、源泉であります。

若い人々の間には愛を信じなくなっている人もありますが、それは愛の何たるかを知っていないからです。かれらが想像している愛は、実はまがいもの、愛の戯画にすぎないのです。愛とは軽々しく口にできるものではありません。

皆さんが愛を理解するとき、人の心の奥底にゆれている深い幸福欲求の源泉にまでさか上るのです。愛について正しい考えを抱くとき一致に必要な基礎をうち立てることができます。だから皆さんが結婚を準備なさる間、愛についてまじめな考察をして下さい。

愛一般について

私達の言葉で"…が好き"というのは自分中心的な愛し方を表わしており、"…を愛する"というのは、他人中心的な愛し方を示しています。好き、嫌いという言葉を頻繁に使う人は、どうも利己的な傾向が強いようです。"…を愛する"というのは普通人について言われます。

私が人を愛するとき、私の愛は波紋のようにひろがってゆくべきです。自分の利益にちぢこまらないで、相手によいものを与えようと拡がってゆくのです。そして相手の幸福を思って自分を忘れ、相手からも同じような愛が返えされるとき、友情が生れたと申します。

友情とは我儘を満たすためでなく、他人を喜ばせることを喜ぶために、相手に自分を与えることです。こういう愛し方では、自分のことよりも他人の幸福をさきに望み、必要とあれば自分の幸福を犠牲にすることさえいといません。そして自分が愛している相手も、同じ愛を以て応じてくれなければなりません。"愛は愛を呼ぶ"とはこのことを指しています。

従って友情的愛は、好きな書物や果物を前にして生じる感情とははるかに違っています。私達はこの本、この食物を自分のために欲するのですが、友情の場合には、自分の利益を忘れ、相手のために相手を愛するのであります。

人間的愛

人間的愛を理解するための第一の前提は、人間が霊と肉から成っているということです。そしてこの二つのものは非常に緊密に結び合っていて、どんな高尚な精神的働きも肉体的機能を無視することはできません。私が人を愛する愛は、純粋に天使的な愛でも、動物的な純粋に感覚的愛でもありません。むしろこの二つの整然たる合流であって、精神から出発して感覚を通り相手の精神に達するのです。愛は魂のなかに生れます、そして外にあふれてゆきます、ほほえみ、ささやき、しぐさなどが心を相手に伝える役目をします。

ぶっく がいど

家庭の聖女

エリザベット ルスール著　志村辰弥訳

「自ら向上する魂は、世を向上せしむ」

「考えることは美しく、祈ることは一層すぐれ、愛することはすべてである」

というような今はもうあまりに有名になったエリザベット、ルスールの言葉。

この書は彼女の日記と覚書や感想からなっている。

小さき花の聖テレジアより七年前に同じフランスに生れ、彼女より二十四年間長生して、第一次大戦勃発の年に亡くなった。二十三歳にて、信仰を失った夫フエリックスと結婚し、彼よりたえず無神論的な攻撃をうけたにもかかわらず、立派に信仰を守り通して、完徳の高みにまで達した。彼女の死後、夫は、その霊的手記を読んで回心しドミニコ会に入会した。

「これは確かに美しい、また非常に有益である。しかし私にとってはあまりにかけ離れすぎている。私はこのような内的生活の深みに、はいって行くことは出来ない。俗世間の日々の出来事や苦労の中でこんな崇高な教訓をどうして実現できようか」と考えるかもしれない、ところがこの著者は、世俗の一婦人で世俗の中に生活し、生活上の義務を立派に果していたものである、とその夫は述べている。その言の如く、司祭でもなく、修道者でもなく、又世俗から離れて孤独な生活をした人でもなく、家庭生活の真只中にあって、日々の忙しい仕事、家庭内の色々な煩瑣な事柄にもまれながら、これだけの潜心と布教の生活ができたのである。二十世紀の今日に、このような生きた模範を見せつけられると、家庭生活をいとなんでおれば、到底そんなことはできないということは、もはや許されない、それは口実でしかないことを悟るからである。

エリザベット・ルスールの信条は神と人とに自らを与えつくすということにあった。自らを与えつくすということ、私は今まで自らを捨てるということは考えていた——東洋においては捨身とか滅私とかいう語は熟知のことである——が、この書を繰返し読んでいる中、自らを与えるという語に気が付いた。同じような意味でありながら、前者が何か冷酷な感じを与えるのに対し、後者のいかに甘美な調子をもっていることか。献身とか奉献とかいう言葉がある。しかしそれは、自らを与えるという言葉程生活に根ざした実感をもっていないように思う。自らを与えるという言葉には、生ける神と人間との深奥での親しい個格的な交わりがいいつくされている。

神は御独子を与える程に世を愛し給えり。

彼女は終始肝臓病のために悩まされた、しかしながら常に快活であることを忘れず、人にできる限り愛想よく接した。如何に多くの犠牲が人知れず捧げられたことだろう。イエズスの聖心に確実に到達するものはただ犠牲のみである。

憎む人のためには愛を、楽しむ人のためには苦しみを、自らを与えない人のためには私自身を与えること。

又苦業と謙遜これはキリスト信者の生活の二つの土台である。念祷と犠牲の中における活動、これはキリスト信者の生活の法則である。日々の感想の中では次のように記している。

「愛徳のみ人と物とを正確に見ることが出来る」と。

（二〇〇円、中央出版）(M)

古い歴史・新しい内容

コンサイス英和辞典(改訂版)		四〇〇円
	革	五五〇円
コンサイス和英辞典(改訂版)		三八〇円
	革	五三〇円
コンサイス英英辞典		四五〇円
	革	五五〇円
デイリーコンサイス英和辞典		二〇〇円
	革	三〇〇円
新クラウン英和辞典	縮刷版	四二〇円
	D版	四八〇円
	大型版	八五〇円
ジェム英和・和英辞典		五〇〇円
最新明解英和辞典		三〇〇円
初級クラウン英和辞典		二〇〇円
初級コンサイス英和辞典		一五〇円
初級コンサイス和英辞典		一五〇円
三省堂独和新辞典		五三〇円
コンサイス独和辞典		四三〇円
コンサイス仏和辞典		五〇〇円
コンサイス露和辞典		六〇〇円
日西辞典		二、〇〇〇円
商業英語活用辞典(増補版)		六五〇円
新英文法辞典		一、三〇〇円

辞書は三省堂

辞海	縮刷版	一、〇〇〇円
	背革特装版	二、〇〇〇円
新版広辞林		一、二〇〇円
明解古語辞典(改訂版)		四五〇円
明解国語辞典		三八〇円
新修国語小辞典		一五〇円
音訓両引き国漢辞典		三五〇円
三省堂小学国語辞典		二八〇円
大明解漢和辞典		七〇〇円
明解漢和辞典		三五〇円
三省堂大六法全書		一、一〇〇円
模範六法全書		三七〇円
明解六法		一五〇円
学習百科事典		八〇〇円
明解日本語アクセント辞典		五〇〇円

SSD 三省堂福岡出張所 福岡市向田町九ノ三
本社 東京都千代田区神保町

カトリック

深堀司教認可
発行所　福岡市浄水通
福岡司教館
発行兼編集人　深堀　敏
定価　一部十円

家庭ロザリオ十字軍終る

誓約数 8,351に達す（5月26日現在）

四月十日司教教書の発布をもって開幕された福岡・宮崎両教区の家庭ロザリオ十字軍は、五週間のプログラムを完了して五月十八日閉幕した。教書のなかに示された司教の強い要望にこたえて、全教区民がよく家庭ロザリオの重要性と霊的効果を自覚し、家庭ロザリオの誓約の署名が、ぞくぞくと各小教区指導者のもとによせられた。

この聞十字軍の一つの山であるロザリオ大会は両教区の六カ所で四月廿九日から五月八日まで盛大に開かれた。この大会は地区の中心地一カ所に全教区民が集まって、司教とペイトン師（十字軍創始者）の声をきくのが理想であるが、ペイトン師の来日が果せないのと（昨秋十月の大会には来福）地区の地理的環境のため、両教区の六カ所で分散的に開かれることになったもの。

大会は聖歌につづいてロザリオと聖母マリアの連祷の斉唱、説教、聖体降福式の順で行われた。

その皮切りは宮崎地区で、天皇誕生日午後二時宮崎市日向学園の大講堂に約四百の信者が全地区の司祭たちと参加、教区指導司祭棚町正刀師の司式で、家庭ロザリオ実践への熱意をたかめた。

ついで聖母月最初の日には、大分地区が扶助者マリアの修道会の経営になる別府市明星学園附属聖堂に約三百名の司祭・信者を集め、同じく棚町師の口を通じて呼びかけ給う聖母の、切なるお願いにこたえる決意を固めた。

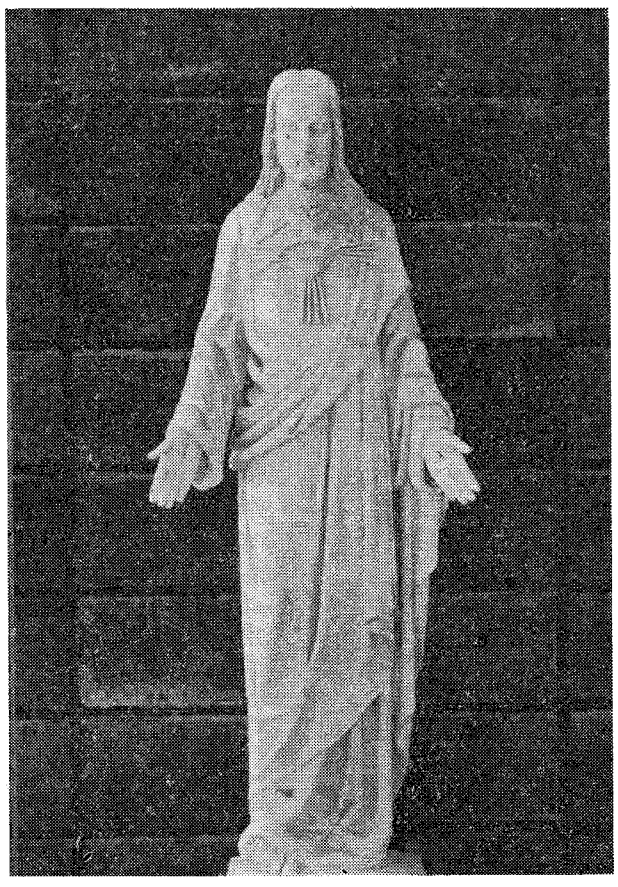
佐賀地区と北九州地区は五月五日こどもの日に二カ所同時に大会を行ない、深堀司教が佐賀教会内で三百名の信者に、棚町師が八幡市の八王寺教会のルルド洞窟前に集まった百五十名に、家庭聖化の最大の手段であるロザリオの実行を説いた。

熊本地区では、五月八日熊本市琵琶崎修道院内の広場に県下約七百名の信者が参集。美しく飾られた仮祭壇の前で世界の平和のため家庭でロザリオを誦える決心を表明した、説教は少年の町のベラス師。

福岡地区のロザリオ大会は、毎年この時期に行われる教区主催聖体行列と併せて挙行され、司祭三十名、市内の信者は勿論、筑後地区、馬渡、呼子方面の信者も合流して約三千数百名が、すべての聖寵の泉なる聖体とその取次者なる聖母マリアを賛美した。

聖体行列ははじめ泰星学園から双葉学園まで行う予定であったが前日の雨のため準備が間に合わず急きコースを変更、サンモール修道院から出発して浄水通教会前を通り、双葉学園校庭を一巡して同校講堂内の仮聖堂まで一時間にわたって挙行された。

聖体が顕示されたその前で、直ちにロザリオ大会に移り、深堀司教の先唱でロザリオ第一連が唱えられ、ついで各連毎に信者の代表が先唱をつとめ、司教はその説教のなかで、家庭ロザリオこそ現代のあらゆる危険に対する防波堤であることを強調、参加者一同今までにない深い感動をおぼえながら家庭ロザリオ実行の約束を決心して、午後四時散会した。



救主にて在す神の慈恵と
仁愛のあらわれなる聖心
（水俣教会の聖心像）

教会別誓約数（5月26日現在）

福岡教区

		誓約者	未信者
地区	町	198	26
	宮	213	24
行	山	194	3
	町	118	24
珂	市	61	9
日	村	828	
	子	242	
	賀	192	11
	津	113	
	栖	38	
	里	67	
	島	70	2
	雄	67	
万	寺	131	
	司	156	
王	川	356	
	崎	505	45
	原	749	
田	巻	102	
	取	402	30
	軍	255	
	代	265	57
	吉	171	20
	俣	46	
	名	43	9
	府	197	49
	津	265	
	江	366	
	渡	38	5
	尾	36	17
計		6,485	331

宮崎教区

		誓約者	未信者
宮	崎	488	
田	野	129	
日	南	55	5
大	分	125	
別	府	505	80
中	津	63	
八	前	102	23
臼	杵	45	
坂	市	130	
杵	築	51	
佐	伯	40	
鶴	崎	133	
計		1,866	108

世の光

主をおそれる

「神をおそれることは智えのはじめである」とは旧約聖書のことばであるが（箴言一の7）正しい宗教心は、神に対するおそれによって育成される。神をおそれることは、神の尊厳とその最高の権威を認めその御意志の実現をきまたけるものを避けようとすることである。この心構えが根底となって、やがて愛による神との一致に開花するのである。

（一）

福音書中にタレントの喩が記されてある。タレントとは貨幣単位である。これは神から与えられた恵に応じて、神の国を拡張すべきことを説いた喩であるが、このなかに「神に対するおそれ」の思想がうかがわれる。

旅に出ようとした主人が、三人の下男に能力に応じて、お金をあずけた。五タレントと二タレントをあずかった下男は、主人の命令とあって精出して働き、収入をえて二倍にふやした。一タレントを渡された者は、それを土のなかに埋めておいた。主人は帰宅すると、かれらと決算した。最初の二人はあずかった分ともうけた分を差出した。主人は二人の善良さと忠義を賞賛した。最後の者は一タレントを掘り出して、主人に向い〝あなたはきびしく、私にできないことさえ要求される方ですから、こわかったのです。お金は地下に埋めておきました。あずかった分だけはお返ししします。〟といった。主人はこの下男を悪い怠惰な者と怒り、かれを罰した。

この喩によると長上に対するおそれに少くとも二種類あることがわかる。忠実な者も怠惰な者も、いずれも主人をおそれていたことは事実である。最初の二人は主人の命令であるので義務を忠実に果し、努力して収入をえたのである。主人の威光を認めなかったら、この服従はありえない。しかしそのおそれは単なる恐怖でなくて、主人の意に叶い、その為に働くことを喜ぶ感情を含んでいる。

怠惰な下男の主人に対するおそれは、主人のきびしさと罰だけを考慮した。実りのないおそれ「奴隷的恐怖」である。主人に服従するという外的行為に於ては、前者と変りがないが、その動機（内的行為）に相当の開きがある。

（二）

おそれとは自分の安全をおびやかす悪に直面したときに生ずる感情である。しかし悪に限らず善なるものに対してさえおそれることがある、善なるものでも、安全をおびやかす原因や機会になるかも知れないと感じるときがそうである、衝突や車酔の危険があれば自動車をおそれる。

神は万物の創造主、主宰者にて在すから被造物はこれを畏れ救うのである。恐怖のまとになる善はないのであるが、ある者は神の正義と罰を考えて戦慄する。ある者は自分の過失のために幸福の源なる神から離れることになりはしまいかと考えられて、矢張りおそれを抱く。

神の限りない正義と罰だけにもとずいておそれるのが「奴隷的おそれ」である。神はこの者にとって悪である。できれば神から離れたいと願む。神の罰がおそろしい から罪をひかえるし、最少限度の義務を果す、極端にいえば、神の罰がなければ、実は自分の好きなざかり、正しい道を止むなく実行してゆくうちに、神の法と権威をよろこんで認め、その御意志を絶対のものと考えるようになることがある。

教会の伝統的な教によると聖霊の賜は敬畏に始まって孝愛に発展し、遂に上智に終わることになっている、敬畏は必ず自己抑制―克己を前提とするが、これは愛そのものなる神と結ばれ、神のみを愛することに言い尽し難い甘味さを味わう上智にまで進展してゆくのである。集会書は敬畏を次のようにたたえている。

〝主を畏れるのは、光栄にして歓喜の冠である。主を畏れるのは心を愉快ならしめ楽しみよろこびを与える。神を愛するは尊むべき智慧の冠であって、平安と救いの効果とをあふれるばかりに与える〟

（深堀　敏）

（三）

「主をおそれることは智えのはじめである」とはこの第二のおそれ、孝子的敬畏をさしたものである。奴隷的恐怖はまことに不完全である。但し、この恐怖を踏み台として敬畏の段階に上ることもできる。神の罰をおそれて罪から遠ざかり、正しい道を止むなく実行してゆくうちに、神の法と権威をよろこんで認め、その御意志を絶対のものと考えるようになることがある。

もう一つのおそれは、神に対する愛と孝子的服従に生かされたものである。罪を避けるのは罰がおそろしいからでなく、人間として創造主であり慈父である神の心を傷けることが忍びがたいからである。神に近づきその御意志を完全に行なうことを願むが故に、それを妨げる一切のものをおそれ、神の御命令を忠実に果そうと心掛けるのである。

（三）

「主をおそれることは智えのはじめである」とはこの第二のおそれ、孝子的敬畏をさしたものである。奴隷的恐怖はまことに不完全である。但し、この恐怖を踏み台として敬畏の段階に上ることもできる。神の罰をおそれて罪から遠ざかり、正しい道を止むなく実行してゆくうちに、神の法と権威をよろこんで認め、その御意志を絶対のものと考えるようになることがある。

教会の伝統的な教によると聖霊の賜は敬畏に始まって孝愛に発展し、遂に上智に終わることになっている、敬畏は必ず自己抑制―克己を前提とするが、これは愛そのものなる神と結ばれ、神のみを愛することに言い尽し難い甘味さを味わう上智にまで進展してゆくのである。集会書は敬畏を次のようにたたえている。

〝主を畏れるのは、光栄にして歓喜の冠である。主を畏れるのは心を愉快ならしめ楽しみよろこびを与える。神を愛するは尊むべき智慧の冠であって、平安と救いの効果とをあふれるばかりに与える〟

（深堀　敏）

永久聖体礼拝（六月）

第一日曜　馬渡島教会
第二日曜　戸畑教会
第三日曜　人吉教会
第四日曜　日田教会
簑島教会
ノートル・ダム会

祈禱の使徒会（六月）

【一般の意向】信仰一致のための聖霊のお助け
【布教の意向】未開発地域へのカトリック的影響
【日本布教委員会の意向】日本の教会が貧困者救済のために一層の努力を払うに至るよう。

二師帰国

福岡大神学校哲学教授ノー師は五月十日羽田発欧州経由でカナダに帰国。九月まで滞在の予定。

前別府教会主任カスチリオニ師は数年前から健康を害し療養してきたが、五月十二日イタリアに帰国、徹底的に療治することになった。

アウグスチノ会管区長

アウグスチノ会米国東部管区長ドヌロン師と秘書のガラガー師（ペンシルヴァニア州ヴィラノヴァ）は五月七日深堀司教を訪問のち、今秋新設される福岡市田島の同会小教区予定地を視察して長崎に向った。

カロロ梅木兵蔵師

長崎教区同祭カロロ梅木兵蔵師は五月十一日長崎市浦上の聖婢姉妹会修院で逝去した。享年六六。葬儀は十二日午後五時から浦上教会で行われたが、福岡教区から棚町、糸永一、ドルエの諸師が列席した。師は福岡教区と関係がふかく、一九二六年司祭叙階後二ケ年半今村教会助任となり（主任本田師）、一九三七年から一ケ年小倉教会主任、ついで七ケ月間門司教会を司牧した。

六月　イエズスの聖心の月

一　日（水）　日本の福者アルフォンソ・ナヴァレット等殉教者
一六一七年六月一日長崎県高島で殉教

修道者の集り（於司教館）

二　日（木）　**カトリック教職員黙想会**（於司教館）

三　日（金）　聖心の月の初金曜日に当り、できるだけミサに与るようにしたい。

五　日（日）　**聖霊ご降臨の大祝日**
この日聖霊は燃える舌の形のもとに現われ給う。以来教会はいかなる敵をも恐れずに、火の如きことばをもって地の涯まで神の愛をもたらして行った。―病者使徒職の日―

浄水通教会で司教ミサと堅信

深堀司教は司教会議のため午後上京

八　日（水）　四季の水曜日

十一日（土）　使徒聖バルナバの祝日
改心したばかりのパウロに対し、人々がまだ一抹の不安を抱いていた時に、バルナバはパウロを弁護した。パウロはやがて異邦人の使徒として活躍する。

十二日（日）　**聖三位一体の祝日**
唯一にして三つのペルソナにて在す永遠の神を賛美しよう。

戸畑教会で堅信

十三日（月）　パドゥアの聖アントニオ博士証聖者
大衆説教家として有名。天性と恩寵とのみことな調和によって多くの人をひきつけ、生きた福者とさえ称えられた。幼きイエズスを抱いた姿で画かれる。一二三一年イタリアのパドゥアで帰天

新田原トラピスチヌ修院で誓願式（司教司式）

十四日（火）　聖大バジリオ司教博士証聖者
東方における修道生活の推進者のひとり、西欧の聖ベネディクトと並び称せられる。

十五日（水）　**教区司祭月例集会の日**

十六日（木）　**聖体の祝日**
聖体の秘跡はすべての典礼、霊的生活の中心、最高峰である。これは礼拝すべき神にて在すと同時に、最大の親しみをこめて、自由に近づき、そのみ声をきき、ふれることのできる神にて在す。

十九日（日）　聖霊降臨後第二の主日
聖体拝領えのすすめは単なるすすめではない。このすすめに従わない者は神そのものを拒絶するのであって、神から捨てられる。

簑島教会で堅信

廿　日（月）　日本の福者フランシスコ・パチェコ等殉教者

廿一日（火）　聖アロイジオ証聖者
天使的聖者と呼ばれたイエズス会の修士。廿四才で世を去った。青少年の純潔のかがみと仰がれる、一五九一年帰天。

廿四日（金）　**イエズスの聖心なるみ心の祝日**
イエズスの聖心はわれらが実践すべき万徳の模範にて在す。特にその限りない愛を考えるとき、われらの一切をイエズスに奉献せざるを得なくなる。

廿五日（土）　洗者聖ヨハネ誕生の祝日

廿六日（日）　聖霊降臨後第三の主日
迷える羊を見出しそれを肩にのせて家路を急ぐやさしい羊飼の姿を黙想する。聖心に対するわれらの信頼はどんなものであろうか。

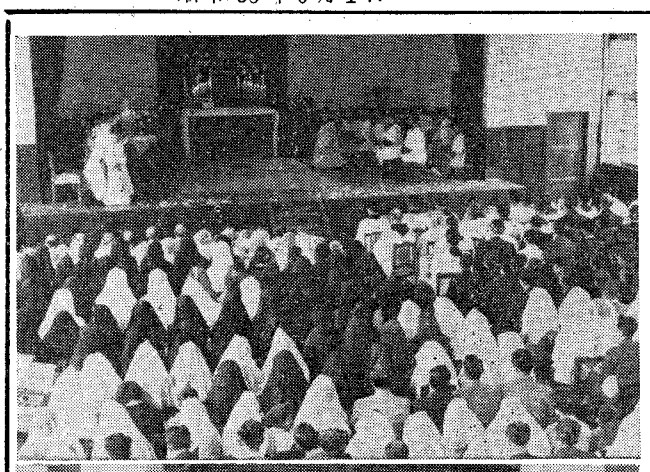
廿九日（水）　**聖ペトロ、聖パウロ両使徒の祝日**
今日特に使徒の首、教会の初代教皇たる聖ペトロを祝う。われらは教皇のために祈ろう。

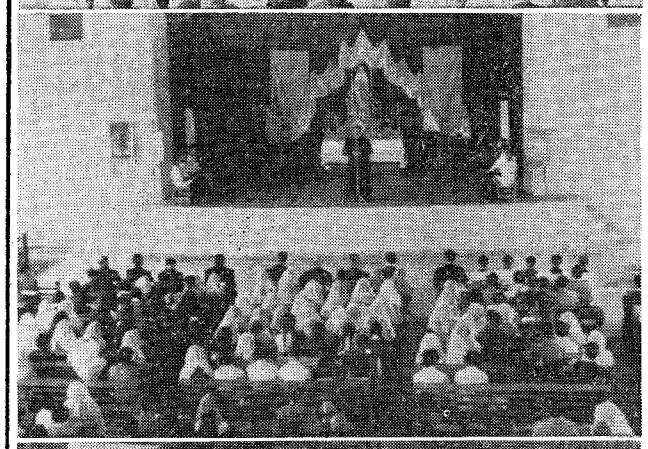
イエズスの聖心の聖堂完成

宣教三十年の水俣に

福岡教区の最高端に位する熊本県水俣教会は、昭和五年当時八代教会の主任であっていたパリ外国宣教会のルマリエ師（故人）によって巡回教会として発足、以来三十年間、駅前の民家改造の仮聖堂で救霊活動が行われてきたが現主任司祭H・ハンター師（コロンバン外国宣教会）はまず司祭館を新築し、この度南国にふさわしいモダンな聖堂を建立、憲法記念日に県下全司祭、多数信者列席のもとに深堀司教によって祝別され、イエズスの聖心に奉献された。（これまでの仮聖堂は守護の天使に献げられていた）

新教会は八五坪、福岡市の管種雄氏の設計によるもので、氏はすでに八代、人吉、茶山などの教会設計に独創的なアイデアを発表し、高く評価されている。十字架を除く塔の高さは一六メートル五百、信者総数は百二〇名。隣接地で幼きイエズス会修道女が幼稚園を経営し、将来の布教が期待されている。（写真は水俣教会の外観と内部）





写真説明（上右は教区主催聖体行列その左は福岡地区、中は宮崎地区下は熊本地区の各ロザリオ大会―記事は第一面）

筑後地区布教委員会

筑後地区布教委員会は五月十五日午後二時より大牟田明光学園で開かれ、司祭四名、委員十二名が参加、次の諸点を話し合った。

1° 誰にでも親しめるようなカトリック雑誌を病院、理髪店などに無料で配布してその反響データを調べる。

2° 布教のもっとも地味な方法をたゆまず実行すること。一人一人の信者ができるだけ多くの知人を教会にみちびくこと。

3° 各教会で実行してきている布教方法に力をそそぐこと。次回委員会で発表する。

4° 次回集会は八月中に本郷教会で開く。

岩永義人師司祭位に

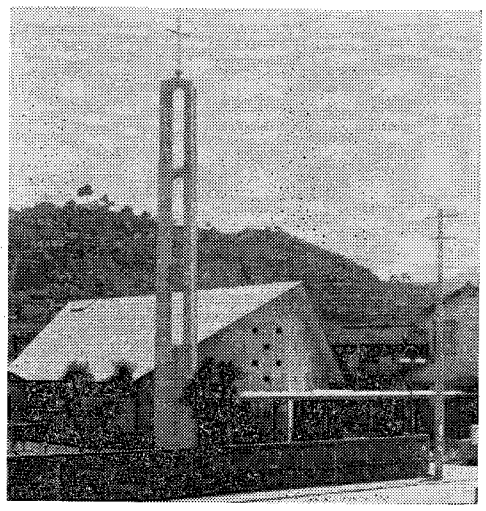
カナダ・モントリオールで

四年前からカナダ・モントリオール大学神学科に留学中の福岡教区所属のラウレンチオ岩永義人師（熊本市健軍教会出身）は五月廿一日モントリオール大司教レゼ枢機卿によって司祭に叙階された。

なお高木善行師（熊本市島崎教会出身）も同日副助祭にあげられた。岩永師は叙階後数カ月カナダに滞在する。詳細は次回に発表の予定。

細川ガラシヤ展

小倉井筒屋で



五月廿一日から六月五日まで小倉井筒屋デパートで細川ガラシヤ夫人展が開かれる。西日本新聞主催、駐日ローマ法王庁公使館、外務省、東京国立博物館後援のもとに開催される同展は、一五四三年ポルトガル人渡日、聖フランシスコ・ザビエルの宣教、一六三八年の島原の乱を経てポルトガル人追放に至る一世紀間のキリシタン大名に関する資料、特に「信仰と殉節に散った細川ガラシヤ夫人の生涯」を中心にキリスト教の伝来と布教発展の歴史を正確な伝承文書、遺品、遺物並びに内外の記録によって考証的に展観する。

佐賀教会だより

佐賀小教区 信徒布教 委員会では、四月十七日復活大祝日に、幼稚園舎に於て年次総会、佐賀教会史料展示会、中古衣料バザーを開いた。

◎信徒総会

総会は、主任司祭マグリン師の挨拶にはじまって、三浦委員長以下、SVP会、レジオ会、婦人会青年会の各会長、家庭ロザリオ十字軍委員長及び信徒代表の要望事項、活動状況の報告、信仰生活への導きなどが語られた。その中でも次の諸点が強調された。

❶ 信者は御ミサに参加することを第一に考えねばならない。

❷ 善き牧者の運動援助福引券の販売に協力すること。

❸ 家庭ロザリオ十字軍に参加すること。

❹ 各部会の活動に積極的に参加すること。

◎史料展示会

史料展示会場には、貴重な写真、古書籍、絵画、遺物などが展示され、マグリン師より佐賀教会の歴史が簡単に述べられた。

佐賀にカトリック教が伝えられたのは、聖フランシスコ・ザビエルに続く宣教師の一人イタリヤ人ワリニアーノ神父にはじまるとされている。（一五八〇年頃）

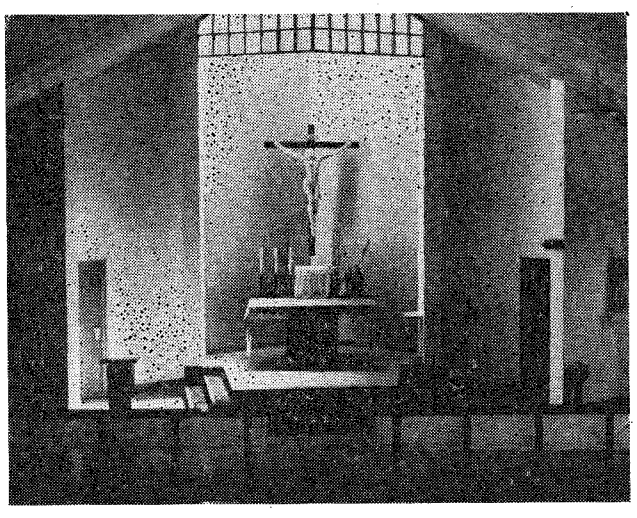
ローマから送られた写真によると、当時の教会、即ち南蛮寺が、現在の佐賀劇場の裏附近に建立さ巾十米あり、聖マリアの御像も新たに当地トラピスチン修道院付ベルナルド師の厚意により、那須トラピスチン修道院のものを割愛されたフランス製高さ一米三〇の素晴らしいものである。

なお、このルルドの祝別は、洞窟内の祭壇、棚などの完成を待って今秋聖体行列の際行なわれる予定である。（写真は再建したルルド）

馬渡修道院設立

聖母の騎士会 姉妹会

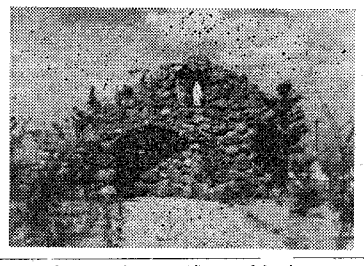
既報の通り佐賀県馬渡島教会所属の養護施設聖母園（児童数三五名）は愛苦会の手から聖母の騎士会姉妹会にうけつがれることになり、去る五月一日聖ヨゼフの祝日を期して同会馬渡島修道院が発足院長テレジア竹山童貞ほか四名の修道女と愛苦会に感謝していた山本リモさんほか九名の姉妹たちが、増築の新修院に入り、子供達の指導に当たっている。



新田原ルルド再建完成

新田原教会（主任グローシャン師）では、さきにグランド拡張のため取壊したルルドの洞窟の再建を急いでいたが、約一カ月間にわたる信者の岩や樹木の寄附と、尊い汗の奉仕によってこの程完成した。

この新らしい洞窟は高さ六米、



和田墓地整地費報告

四月十七日より五月廿三日までの間に大名町教会墓地管理者に納入された墓地整地費

二日市教会（四、四〇〇円）内訳、林千円、水野嘉五百円、園田五百円、一般信者二千四百円。

高宮教会（一四、九〇〇円）内訳、島田四千円、島山玉希、桑原万寿太郎、城戸成吉、伊勢田ノブ淵上、田中―以上各五百円、井口潔、東島茂、溝部保三―以上合同で五百円、一般信者七千四百円。

大楠教会　一般信者追加三百円

堅信のよろこび

【板付ベース】　五月六日五時半より米軍家族関係者三十七名が受堅。

【健軍教会】　五月十五日九時より三十五名が受堅。

明治以後の教会は、現在の位置中の小路）に、初代の平山牧民神父によって始まる。その後、一度焼滅し明治橋通りに移転したが、約五、六年で現在の司祭館の位置に復興なり、日本人、フランス人、豪州人神父について、現在はイタリヤミラノ外国宣教会神父が布教に専念している。

昭和二十五年に現在の聖堂が司祭館横に建立され以来、鳥栖市、伊万里市、鹿島市、武雄市、佐賀市内多布施にと次々新教会を建立し今日にいたっている。

◎中古衣料バザー

信徒総会後に幼稚園舎で開催、貧困者救済のための資金獲得に可成の収益をあげた。

宗教書・宗教用品のお求めは
聖パウロ書院で
福岡市万町電停前
TEL ④四五八八

改訂公教要理
カトリック要理
昭和三十年春の全国教区長会議の決定にもとずき、公教要理の改訂委員会が京都、横浜、仙台、鹿児島、広島の各教区長による構成で発足、その監督の下に五年間、全国の司祭、修道者、信徒有識者から寄せられた熱心な参考意見に慎重な検討が加えられ、このほど教える側にも、教えられる側にも、たいへん使いやすい新しい要理書が完成いたしました。
○編集者　公教要理改訂委員会
○発行者　カトリック中央協議会
○発行所　中央出版社
A六判上質紙・二一六頁　上製五〇円　並製三〇円　〒20円

G・テイボン著
愛の哲学
神の合わせ給いしもの
S・カンドー、金山政英訳
目次
第一部
精神と生活の相剋
感覚と精神
愛と結婚
愛の清め
第二部
肉と霊
愛の真実
愛の偽り
愛の悩み
三省堂
〒190

六月初旬発売！
キリスト教百科事典
ヘルデル出版社　諸事典編集援助
上智大学教授　小林珍雄責任編集
カトリックの神学、哲学、道徳、倫理、公会議、修道会、旧新約聖書、修徳、神秘神学、数千名の聖人伝、典礼、祝日、キリシタン、外国日本の定期刊行物、各種団体、学校、文化祭、地名、日本各教区、異端、他宗教、著作等を総合的に最新資料と駆使して解説し、これに年表一覧表、統計、豊富なさしえを配し読むと同時に見る事典とした。
特価一五〇〇円　四六縦二段組四六判
（一九六〇年八月末日迄）九六六頁さしえ六五四個
発行所ヘルデル代理店　エンデルレ書店

『もろびと神を頌えよ』 神の最高権 ①

C・ジャロー

旧約聖書は祈のすばらしい学校である。勿論キリスト者の祈の特性は、キリストにおいて聴きいれられているということにあって、信者たるわれわれはキリストが願って下さった以外の何か新らしいものを獲得するために願うのではなくて、すでにキリストによって得られたものを、自分のものとするために願うのである。

しかしそれでもわれわれはユデヤの偉大な聖者たち、アブラハム、モイゼ、ダヴィド、ダニエルから多くのことを学ぶことができる、かれらの名を記憶するに満足して信心生活の案内者としていないのは残念である。

かれらの祈は次のことを教える

一、神の最高権を認める。
二、神において全人類が一致することを望む。
三、神の御計画の秘密を知らされる。

㈠ 神の最高権

旧約聖書はまず神の最高権を強調している。神と親密になり、神の心のなかに入ってゆけばゆく程とるに足らぬ世界に対する神の御配慮を感嘆せざるを得ない。詩篇は森羅万象に対する神の最高権を賛美する。

「宇宙に対する最高支配権」

諸天は神の栄光を物語り
蒼穹はその御手の業を告ぐ
（第十八篇）

昼も汝の有なり、夜も汝の有なり、汝は月と日とを固く据え、地の四方の境界を定め、夏と冬とを形成し 給えり（第七十三番）

「歴史に対する支配権」

この世に起るすべての事件を導くのは神である。諸国民はかれの手にあり、かれの許しなしには何一つ起らない。つまる所歴史は神の業である。

この最高権は反抗する世界のなかにあらわれる。諸国民は神に抗して偶像を祭る。イスラエル人の戦争はすべて聖戦である。かれらの戦は偶像と真の神との戦に通ずるものだから。しかし神の最高権は交戦の末に勝ちとられたものでない。神は本質的に最高者であり、ただ人間がそれを認めないだけである。

所が旧約の聖者たちはその祈のなかで神の最高権を公言し、人々がこれを無視し、恭順を示さないことにたえがたい苦痛を憶える。

こうしてかれらは神の国の拡張を熱心に求める。

神の栄光を心から希求するこのような祈りは、神についての非常に純粋な感覚から生ずるものである。

聖書・典礼用語の説明 (11)

生命

聖書によれば、「生き給う」のは神のみである。そして被造物はこの唯一の生命にあずかるものである。われわれにとって永遠の生命は、ある程度、未来に属することであり、死と復活のときにしか与えられない、しかしイエズス、キリスト（私は生命である）において、キリスト信者は今からすでに永遠の生命を生きている。その生命は天にあるのであるが、地上に生きている間にもその輝きを放つのである。聖体は生命のパン、復活の保証である。

ぶどうの樹

主のぶどうの樹なるイスラエルは、神の愛こもる御配慮の対象であるが、あてはずれであった。神はこの樹からよき実を期待されたのは、野ぶどうしかならかった。イエズスは真のぶどうの樹であり、その生命によって生かされたいと望む枝、キリスト信者はこの樹に接がれていなければならない。（ヨハネ十五の1―6）

訪問する

聖書には、神がその民を裁き、あるいは強め給うとき、神は民を訪れ給うといわれている。即ち最後の審判のときは訪問の日といわれ、人がなした善悪について裁き給う。（ペトロ前二の12）また神は聖寵をもって人の心を訪れ給い、改心、奮発をうながし、親密さを増して下さる〝我は我が愛する人々を責めかつこらすなり、されば奮発して改心せよ。みよ我門前に立ちてたたく、わが声をききて我に門を開く人あらば、われその内に入りてかれと晩さんを共にし、かれも又われと共にすべし〟（黙三の19―20）

旅人を接待するよう勧められるのは、神の変身であるかも知れないから。（創十八1―15）訪問し給う神を冷やかに取扱う者は必ず罰される。エルサレムは救主の訪問を拒絶したので滅ぼされた（ルカ十九の42―44）

道

そこを通る者の足によって少しづつ形づくられていった通り道。神または人々に当てはめられるときは、その生き方、態度、慣習、生活の型、好みなどを意味する。

神殿の幕

至聖所への入口を仕切る大きな布、キリストの死し給うとき、この幕は二つに裂けた（ルカ廿三の45）これはキリストの御死去の功徳によって、信者は自由に神に近づくことができるようになったことを象徴している。

ヤーウエ

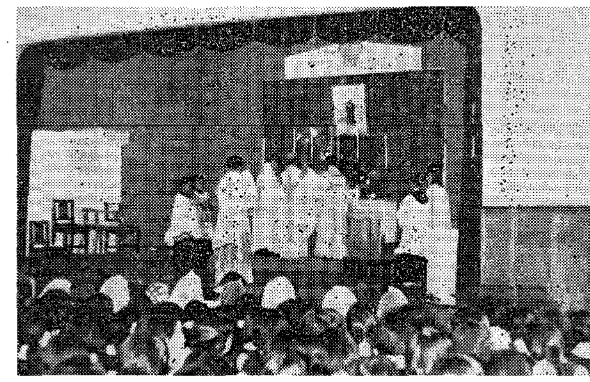
神の個有の名。「彼は存在し給う」これはただ神の永遠性、神のみが永遠に存在し給うことのみを意味するのではない。かえって特に、時を貫く神の忠実性をあらわしている。即ち神はその存在と意思に永遠に忠実にましまます。

布教出発百周年

カノッサ会で司教ミサ

五月十四日（土）大牟田市倉永明光学園では、経営に当たるカノッサ女子修道会布教出発百周年を記念して祝典を挙行したが、午前十時半講堂に全高校生と父兄約千名列席のもとに司教荘厳ミサが献げられ、青木保、山川辰幸、堤敏雄の諸師が補祭を務めた。

カノッサ修道会は一八〇八年イタリヤのヴェローナで福者マグダレーナ・カノッサによって女子青年の教育のため創立され、ついで一八六〇年はじめて布教に出発、香港にその第一歩を印し、以来今日まで世界各地で活動している。福岡教区には一九五一年五月十三日にテレジア・フランゲリ童貞以下三名が香港から到着、倉永で中学と高校を経営している。現校長はローザ・ピッコリ童貞。（写真円内はピッコリ校長、下は司教ミサ）



默想

生命のパンなる聖体

〝父よ、わが祈るはわれを信ずる人々が、われに於てことごとく一ならんこと之なり〟（ヨハネ17の21）

イエズスは御自分を信ずるわれわれが、主に於てみな一つになり、しかも永遠に一つに止ることをお望みになり、祈られたのであります。しかし主はこの祈を実現せしめ給うたでしょうか、ここでわれわれの信仰の心には、二千年の歳月をさか上って、最後の晩さんの席上で聖体の秘跡を定め給うキリストのみ姿が浮んで参ります。

〝パンをとって祝し、これわが体なり、とのたもう主のみ言がきこえ、汝ら受けて之を食せよ、といって、弟子達にこのパンをさき与え給う主のみ業が見えて参ります。これが永遠真理なる主キリスト自ら定め、われわれに残し給うた愛の形見、生命のパンなる聖体の秘跡であります。

み、ふれ、味う所では一片のパンにすぎないのですが、主キリストが「之わが体なり」との一言をかけ給うたからには、これは実にイエズス、キリストそのものであります。主のご一言によって、パンは変じて永遠の生命のパンとなったのであります。

私の知性では理解することのできない神秘のみ業でありますが、主のみ言であれば真実であります。私は固く信じます。そして私の心は主を拝領し、主と一致してそのうちに生き、主を愛し奉りたい一心に燃えております。主よ来り給え〟。

聖体拝領によって人間の時間的生命は、神の永遠の生命にのまれ私はイエズスのうちに、イエズスは私のうちに止まり給うのです。

朝初聖体したばかりの男の子に〝初聖体で君は何を授ったの〟とあとで尋ねると、簡単明瞭に〝イエズス様を〟と答える、〝そのイエズス様は何処にいらっしゃるの〟と重ねて問えば、自分の胸をさしながら〝私の心のうちに〟と言明する。

この子供は聖体拝領によって、かれはイエズスのうちに、イエズスはかれのうちに止まり給う真理を力強い言葉でいい表わしました。幸なる哉、神のみ言を信ずる人

これはとりもなおさず、イエズスとわれわれのもっとも完全な深い永遠の一致を表明したものであります。

〝われを信ずる人々が、われに於てことごとく一ならんことを〟との主の祈は、聖体拝領によって実現され、主のお望みは完成されるのです、そしてイエズスは今日もそして世の終の日まで秘跡のうちに在して、われわれを呼び招き給う。

〝わが与えるパンは人と世を活かさんための生命のパンなり。汝ら受けて食せよ、わが肉を食する人は永遠の生命を有す〟と

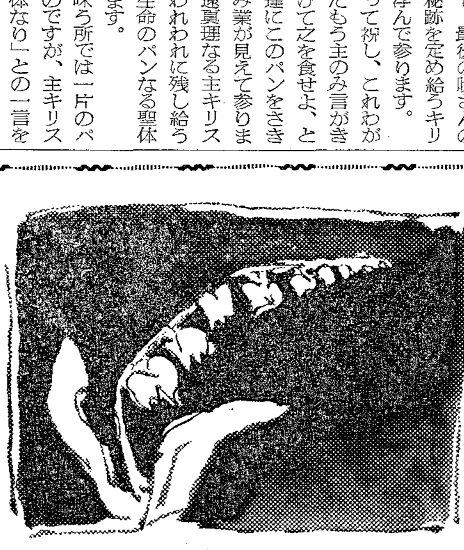
われわれは主のみ言にきき、清い心をもって信仰と愛のうちにしばしば愛の主、霊魂の生命なるイエズスを拝領し、主のお祈に応え奉るべきであろう。

短歌

二丈

女人高野室生の寺のしゃくなげの咲きさかりなり堂の古みと
見上ぐれば石だんごしの堂の屋根におおいしみどり葉にとおる児
ちらかりてかなたこなたと大空を見つぬる天使の石にほほえみ
麦のほの黄ばみそめたる畑なかのあぜに一人と立ちてみしまま

俳句



教会の庭新緑の白光す
緑蔭にシスター憩う院の庭　風声

京土産たずさえ初夏の旅をゆく
若葉風ひざもとよぎる京の宿　恵女

聖体行列
万緑や花撒きの児の花の冠
聖体や若葉の土に膝まづく　牧泉

移民の献金

（五月一日）

福岡教区

教会	金額
大名	三、〇〇〇
浄水通	一、五七〇
地行	二、〇〇〇
高宮	一、五〇〇
簑島	五〇〇
西新	一、〇三〇
吉塚	一、五八一
箱崎	一、二三〇
茶山	一、五三五
大楠	一、〇〇〇
那河町	〇〇〇
二日市	四〇四
久留米	四、一五〇
大牟田	一、四〇〇
今村	三、四〇〇
本郷	一、五〇〇
古賀	五〇〇
呼子（松島を含む）	一、二一八
馬渡	一、〇〇〇
佐賀	一、〇〇〇
唐津	四〇〇
鳥栖	
伊万里	四〇〇
鹿島	二〇〇
武雄	二〇〇
槻田	一、二一〇
門司	一、二五〇
小倉	五、〇〇〇
湯川	一、八〇〇
戸畑	三、五〇〇
門田	一、〇〇〇
黒崎	二、八五〇
直方	一、一〇〇
飯塚	四八〇
若松	一、三〇〇
新田原	二、一七〇
田川	三四五
水巻	九〇五
行橋	一、〇〇〇
熊本手取	三、〇〇〇
島崎	四、〇〇〇
健軍	九六〇
八代	二、〇〇〇
人吉	一、五〇〇
水俣	一、〇〇〇
玉名	二〇五
隈府	一〇〇
崎津	一、四五〇
大江	一、〇三〇
本渡	一、〇〇〇
荒尾	一三〇
合計	七〇、九九三

宮崎教区

教会	金額
大分	一、〇〇〇
別府	一、八五五
日田	一、一〇〇
中津	
中津八幡前	五〇〇
臼杵	一、〇〇〇
坂ノ市	五〇〇
杵築	三〇〇
佐伯	二一五
鶴崎	五〇〇
宮崎	二、四〇〇
延岡	七〇〇
高鍋	五五〇
日向	三〇〇
都城	六〇〇
田野	一、一七七
油津	三、〇〇〇
小林	一〇〇
合計	一五、七九七

聖心の使徒 （昭和35年6月号）

表紙 万国聖体大会ポスターより（説明二六四頁）
愛とはこれり……千寿利久
六月の意向 信仰の一致は聖霊の働き……荻原晃
末開発の国々（六月の布教の意向）……粕谷源蔵
默想 心の細道……下嶋正昭
流離の伴天連岐部神父の巡歴……鈴木弘道
写真特集 愛のヨーロッパ……長島達也
試練のさなかにありて……十字架のイエズス修道女会
母こそ我が守りなり……富田優
聖体大会の市ミュンヘンの横顔……
最上の賜物（六）神の慈悲……K・テイルマン著 荻原晃訳
荒野の師父らのことば（二）……須賀敦子訳
義務と情念……H・世良
聖書の時間 山上の声（四）J・A・フイリップス 長島達也訳
ポスト……
新本めぐり……

購読会員費 一カ月三十円〒五円 一カ年三百円〒五十円

日本祈禱の使徒会発行
東京都千代田区紀尾井町七

カトリック全書

各巻200円 〒30円

なぜ信ずるか

第十五回配本
レオン・クリスチアニ著 金田忠一訳

神が求められるものは真の信仰者である。本書はキリスト教の伝統的な護教論を中心にその神性を証明し、信仰と神へのあこがれへの目標をあきらかにしてくれる、歴史的背景も加えられ、充実した内容をもっている。

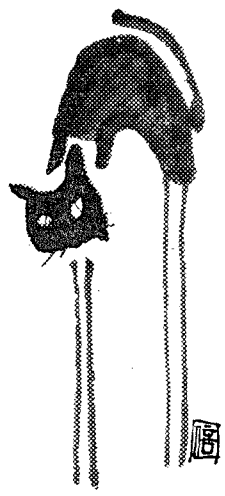
キリスト教音楽史

第十六回配本
アルフレッド・コラン著 江藤きみえ訳

キリスト教音楽は、キリストの生涯以後にその起源をもつことはもちろんである。だが歴史は短かくとも、音楽史では重要な地位をしめている。本書はキリスト教音楽の変遷の歴史を興味深く記している。

私の「メモ」より

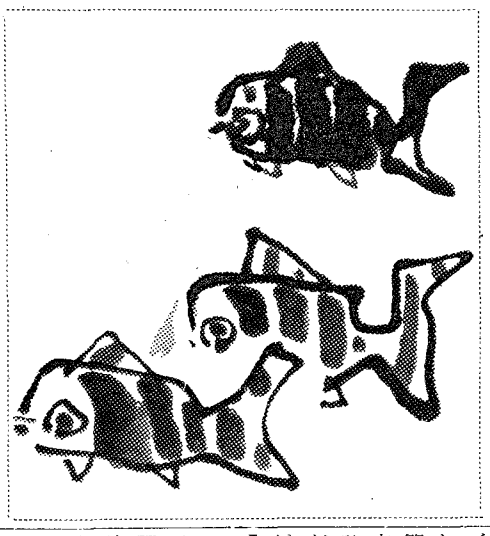
ペテロ



わたしは、いま風変わりな小説を書きたいと思っている。それは近頃流行の私小説でもモデル小説でもない。いや小説というよりも単に一場面の描写というものになるかも知れない。そして、多分、そう長い ものには ならないだろう。場所はどこでもいい、現代生活の縮図とでも言いたい一角にしたい。たとえば、種々の職業、身分の男女がはいってきては、たむろし、そしてまた出ていく喫茶店でもいい。そう、そこには、真新しいテレビが二台あって、それぞれ別の民間テレビをやっている。コマーシャルがしきりとスポンサーの宣伝をやっている。筋は、主人公の現代批判と喫茶店の情景とを織りまぜて運ぶ。こういったものが 小説に なるかな。むつかしい。しかし、書き出しには主人公のこういった笑い話で始めたい。

「君、チェスタートン、彼を知ってるね。彼がある時、銀行屋にこういったとき」と彼は口もとに笑いを含んでいった。「金を儲ける方法はいろいろあるが、正直な方法は一つしかないとね。すると銀行屋が、それは、どんな方法でしょうと尋ねた。」灰皿からユルユルと立ちのぼる煙草の煙りを見つめながら、彼は語をついだ。「すると チェスタートン がね、そう、あなたは御存知ないと思いました、とき。」

わたしは、この小説の中で、主人公にコマーシャルを見つめつつこういったことを語らせたい。金銭といえば、人間の物質的生活の全体を象徴するものとして、それだけに見境いなく、ただ金銭だけに、あくせくとして生活する者に一種の侮蔑とともに、一抹の隣憐を感じる。戯画化すれば、財布を拾おうと、いつも下を向いて歩いている人間である。だが、そう、だがと言わねばならない。現代人は、この 奇怪な 戯画の中に、ズルズルと滑りこんだ生活をおくって いるのでは ないだろうか。マスコミは文化生活というお上品なモットーを掲げて消費意慾をあおり立てる。手をかえ、品をかえて消費者一人一人に、この品物がなければ生活はできませんとおられる。



私が一番くりかえして読んできた本といえば、それは「基督模倣」であります。もう十回以上読んでいます。故岩下壮一師は、もし一冊の本しか与えられないとしたら、それは「聖書」である。もし二冊だとすると、二冊目は「キリストに倣いて」である。三冊だとすると、三冊目はないと言っておられる。

◇

私にとっては「キリスト模倣」が一冊目の聖書であります。出てくる人物は一人の弟子と主だけであり、話も簡単であります。けれども、この本は、みにくくよごれた私、打ちひしがれた私、思い上った私を、どんなにか洗い清め、立上がらせけんきょにしてくれたことでしょう。

「基督模倣」

ただ、この本について一寸私が苦情を申したいのは、イントン的でありすぎるということであります。註文をつけるなら世の中の現実をもっと肯定してもらいたいことであり、人に活発な元気を与えてもらいたいことであります。しかしそれは無理な苦情であり、勝手な註文でしょう。

◇

言葉、あるいは思想というものの限界あることを思うて、その言句に拘泥してはならないこと、綜合的に読んで行くこと、自己の見識をもって読むということ、そんな注意を自分に言いきかせながら、これからも「基督模倣」を読むことでしょう。

（一求導者）

ざっと、こういうぐあいに。これが小説になるかな。ならないだろう。だって、わたしには、そんな暇も才能もないのだから。

聖体行列

なでしこ

夕飯の席で、来ル八日の聖体行列について色々と語り合っていると来たばかりの中学出の見習いさんが、「聖体行列って何ですか」と尋ねた。

つい最近ドンタク見物に行った彼女は、ドンタクも聖体行列も区別がないらしく、何か面白い物に行くのだろうと推察しているかもしれない。あなたも 行って 見るストと共に復活したのであれば」眼を天に あげ「天上の ものを求め、天上のものを味合わねばならない。」

◇

ただ、この本について一寸私が苦情を申したいのは、イントン的でありすぎるということであります。註文をつけるなら世の中の現実をもっと肯定してもらいたいことであり、人に活発な元気を与えてもらいたいことであります。しかしそれは無理な苦情であり、勝手な註文でしょう。

◇

言葉、あるいは思想というものの限界あることを思うて、その言句に拘泥してはならないこと、綜合的に読んで行くこと、自己の見識をもって読むということ、そんな注意を自分に言いきかせながら、これからも「基督模倣」を読むことでしょう。

（一求導者）

「?」ときいて見たら、あっさり「ハイ」と答える。

八日の朝娘達が花まきに用いるバラの花をつみ取って籠に一杯集めている。五月の母の日より日に聖体行列と決ったものだと心おどらせて時間の来るのを待った。

見習いさんも いそいそ している。「早く気付けておくれない様に行こうね」とうながせば彼女もうれしいらしく早々に着がえして待っている。

サンモールの山の上から行列は始まり「あめのかど」の讃美のこえは 司教館の 森にこだましている。何のことだかわからない彼女もしきりに配られたプリントによって唱和している。

さっき空からサンサンとふり来る太陽、聖められたそのふんいき信者でなくとも、何かは感じとる事であろうと、時々彼女の方をふりむくと、彼女は熱心にうたいつづけている。

家庭ロザリオ十字軍の御祈りにも参加して彼女は何を感じとった事であろうか。

夕食後みんなくつろいで話し合っている ところへ 彼女も現われて、「キリスト信者ってみんなやさしか顔をしていなさるですばいね。その上 親切なんで たまがった。又あんなにも沢山の人が熱心にまいりなさるので、それにもたまがった。あんなにも親切にされると、今迄の自分が何かしら悪かり人間のごとあって、今日一日でも心がきれいになったごとある」とうれしいことと思う。

又今一つの特色は、第二部にあった「罪」の説明を「罪のゆるし」の箇所でなし、第三部のはじめにあった聖寵は「罪のゆるし」のまえで説明される。そして主の祈が「人」天使祝詞が「御託身」栄誦が「三位一体」の箇所で教えられる。教えを勉強する人はますます祈らなければならないのであるから、これはまことに適切なことであると思うのだが、こうなると一そのこと、御聖体と御ミサの説明を「御受難」「御死去」の箇所としては、なりとあらぬことを空想したりする。今まで最初におかれていた「人の目的」が省かれているが、最初におくことが心理的に問題となるならば、最後にでも総括として説明した方がよいのではなかろうか。

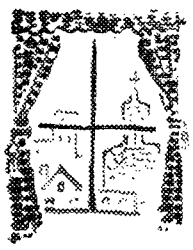
神の説明について前の要理では、天地万物をつくり、又之を等り給う限りなく完全な霊であります。であったが、新しい要理では、無限に完全な御者で、天地万物の創造主、主宰者、人間の慈悲 深い父ですと なっている。この説明の相違は、公教要理とカトリック要理の全般的な相違のニュアンスを形成している。ともすれば法律の条文のようになりかねないものを、口語訳の聖書の曇夢な引用によって確認し柔らげ、五四一番まであった問を三二七番にきりつめ、整理し、すっきりさせようとする努力の あったことが 伺われる。

第二部では最初に超自然德の説明がなされ、その後十戒にうつる、十戒の中、第一と第九は少し表現が違ってきているが、これはわざわざ変える必要があるのであろうか。この十戒の説明で感じることは、今まで禁じるという言葉が非常に多かったが、今度のは殆んどそれが使用されていず積極的な感じを与えるよう意図されていることである。第三部には、あらたに準秘跡に一項目が設けられており、最後に付録として、信者の心得や緊急洗礼、ラテン祭式によるミサ典礼、典礼暦図解パレスチナの地図が掲載されていることも、必要で親切なことと思う。全体として、昨年司祭会議の資料として限定出版された「カトリックの教え」と三四一番が三二七番にきりつめられ、聖書の引用が一層豊富になった 以外に、配列、内容において大差はない。

新しい気持で、これを機会にカトリック要理を買って、もう一度要理を勉強しなおしたら如何だろうか。（三〇円、中央出版）（M）

カトリック結婚講座

真の夫婦愛 ⑰



夫婦愛には三つの要素があって各々は区別されますが、密接に結び合い、関連し合っています。

一、感覚的魅力
二、美しい友情
三、相手の魂に対する愛

このうち一つでも欠けるか、正しい位置になければ、正しい夫婦愛は生れてきません。

夫婦愛の感覚的要素

男女それぞれの肉体的魅力にひかれることは当然のことであります。でも大衆雑誌や通俗映画で謳歌されるように、理性の導きをはなれた盲目的なものであってはなりません。情熱のとりこになることに愛の最高表現を見ようとするのは間違いです。動物でさえも本能のままに 動かされて いるようで、その実、自然の法則を逸脱していない。人間の本能も、激しく燃え上る炎のなかで理性と意志の命令をきかねばならない。性的魅力は神の 御業による ものであるが、これに足をさらわれることは神の思召ではありません。

霊的要素

夫婦愛は、二人の異性間の愛であるが、動物のように性的愛に終始するものではありません。異性の感覚的魅力にひかれるそのとき二つの魂の結合を求めなければなりません。誤解してならないことは、精神的な愛は、肉体的愛と無関心に働かないということです。肉体が求める一致を、精神がそのすべての能力をあげて実現しようと努めるのです。

相互の理解は精神的な結びの深みから生れる。ただ肉体的にしか愛していないときには、夫婦として生活してゆく複雑困難な生活において、すぐに力が枯渇して了います。感覚的な喜びだけで精神的な苦しみに対抗することは到底できません。幸福そうに出発した結婚がまもなく悲劇的破滅に終る理由はここにあります。

反対に肉体的魅力によりも魂の調和と一致の上に家庭を築いてゆく人には、試練にあっても、最初の愛を一途に深めてゆくことができるのです。

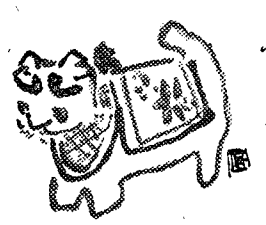
キリスト教的要素

キリスト信者たる夫婦には、以上二つの愛のほかにもう一つの愛—超自然的愛—が加わります。この愛は洗礼と結婚の両秘蹟の聖寵の賜であります。二人にとって結婚はいわば自然的愛の神秘的奉献であって、信者でない人々の間には存し得ないものです。この聖寵のおかげで、結婚生活を最後まで営むに必要な神的力が与えられ、夫婦愛を通じて神を愛する聖德を修めてゆくことができるのであります。

夫婦が超自然的愛において結ばれるとき、その家庭は信者でない夫婦が同じ程度の自然的愛ではもつことのできない幸福と安定と力を、そなえることができます。

▽　△

ふつくがいど



新しい公教要理が名もカトリック要理と改められて瀟洒な体裁で出版された。用語も天主が神、玄義が信仰の奥義、聖寵が恩恵、瀆が汚聖、煉獄が練獄、秘蹟が秘跡、堅振が堅信、悔悛が告解、品級が叙階、贖宥が免償となっている。タイトルも信ずべきこと、守るべきこと、聖寵を受ける 方法という べき固い表現をさけて、神と人間の救い、德とおきて秘跡と祈りになっている。

第一部での大きな配列の変化は、「神」のつぎにあった「三位一体」が「聖霊降臨」のあとになって おり、「人」が「天使」の前で説明される。「使徒信経」が一部の終りになり、「信仰とその源」は教会のつぎの「聖職の諸権能」のあとで説明される。カトリック要理の二つの特色は、「キリストの神秘体である教会」と「聖母マリア」とにそれぞれ一課が設けられていることで、その重要性から考えてこれは当然なるべきことであったとはいうものの、大変ボソリといった。

イエズス様の御功德、又信じて従う者の足あとは、未信者にもよい道を示して行く事を思い感謝と共に責任の重さを痛感している。

今日の聖体行列によって、新しい一つの生命のよみがえりが楽しまれる。

今もいつも秘跡にこもりましまし給うイエズス様は奇跡をも行いつづけ給うことを信じて。

一九六〇・五・八

カトリック要理

落し物

去る五月八日福岡地区ロザリオ大会のときコンタツ（二本）を紛失なさった方は司教館にお問い合せ下さい。

古い歴史・新しい内容

コンサイス英和辞典（改訂版）　革　四〇〇円
コンサイス和英辞典（改訂版）　革　五五〇円
コンサイス英英辞典　革　三八〇円
デイリーコンサイス英和辞典　革　五三〇円
新クラウン英和辞典　縮刷版　四五〇円
ジェム英和・和英辞典　D版　四三〇円
最新明解英和辞典　大型版　四八〇円
初級クラウン英和辞典　八五〇円
初級コンサイス英和辞典　五〇〇円
初級コンサイス和英辞典　三〇〇円
三省堂　独和新辞典　一五〇円
コンサイス独和辞典　五三〇円
コンサイス仏和辞典　四三〇円
コンサイス露和辞典　五〇〇円
日西辞典　六〇〇円
商業英語活用辞典（増補版）　二、〇〇〇円
新英文法辞典　六五〇円
辞書は三省堂　一、二〇〇円

辞海　縮刷版　一、〇〇〇円
新版広辞林　背革特装版　二、〇〇〇円
明解古語辞典（改訂版）　一、二〇〇円
明解国語辞典　四五〇円
新修国語小辞典　三八〇円
音訓両引き国漢辞典　一五〇円
三省堂小学国語辞典　三五〇円
大明解漢和辞典　二八〇円
明解漢和辞典　七〇〇円
三省堂大六法全書　三五〇円
模範六法全書　一、一〇〇円
明解六法　三七〇円
学習百科事典　一五〇円
明解日本語アクセント辞典　八〇〇円　五〇〇円

SSD
三省堂　福岡出張所
福岡市向田町九ノ三
本社　東京都千代田区神保町

昭和30年7月14日第3種郵便物認可　毎月1日発行　第63号

カトリック

深堀司教認可
発行所　福岡市浄水通
福岡司教館
発行兼編集人　深堀敏

定価　一部十円

全国司教会議おわる

午後の聖体拝領など決議

本年度全国司教会議は六月七日から四日間東京都千代田区六番町のカトリック中央協議会館で開催され、最終日次のような決議事項が発表された。

❶ 歌ミサにおいてミサ曲（キリエ、グロリア、サンクトスなどの）を日本語で歌うことができるよう聖座に請願する。（歌い出しはラテン語）ーグレゴリアンのメロディーではラテン語以外の言葉で歌うことは禁止されているので、日本的なメロディーを作曲して使用する。

❷ また一級大祝日および結婚式と葬式の場合には、ひとりの司祭が二つのミサを献げることができるよう聖座に請求する。

❸ 祈禱書改定と典礼問題の司教委員会が設置され、荒井、小林、里脇、長江の四司教が委員となった。

❹ ミサの謝礼は三百五十円以上とする。

❺ 一九五七年九月に発布された聖音楽と聖典礼に関する訓令中、次の部分の真意を聖座に質問する〝ミサの特定部分（典礼文、通常文、典文）は、すべての信者であれ、ある「さきよみ」であれ、司式する司祭と共に、ラテン語あるいは訳語で、大声を挙げて唱えることは厳禁する。ただし三十一条に列挙してある場合は除外する〟（第一四条のC）聖座から返答があるまで、訓令のこの部分の解釈は各地の司教の賢明な判断に一任される。

❻ ミサ以外の午後の聖体拝領に関しては、聖式が行われるときに信者に聖体拝領をさせることができる。その聖式とは例えば聖体降福式、ロザリオの共誦、共同の十字架の道行など

❼ 国鉄カトリック信者の会およびボーイ・スカウトの指導者の会が全国的な会として司教団から認可され、古屋司教がその保護司教となった。

❽ 枢機卿の呼び方は、スウキキョウサマに統一する。

教皇のための特別献金

福岡、宮崎では八月廿八日に

今回の司教会議では以上の決議のほかに、教皇聖下が今秋十一月廿五日をもって満八十才の御誕生日を迎えられる際に行われる世界的祝典に参加することを決めた。

その具体的参加方法として

㋑ この祝典を記念してローマに建立される聖堂のために各司教、司祭が寄付をすること。

㋺ 同じ目的でローマに巡礼者のための寄泊所を建設するために全世界の信者が寄付をするので、日本でも適当な時期に集めること。（福岡、宮崎両教区では八月の最終日曜日を献金日に決定）

㋩ 祝典が行われる時期に聖下のために特別の祈と犠牲を献げること。

世の光

憎しみの時代

現代は憎しみの時代である。憎しみと憎しみがぶっつかりあって巨大な闘争を形成し、こう奮はこう奮を生み飽くことを知らない。

物質文明の極度の発展、人権の主張、平和の絶叫、個人社会国家間の団結と組織化、他面においては精神生活の物質化、人権の蹂りん、平和の脅威、個人社会国家間の分裂、これ等総て時代の特徴をなすものであろうが、これ等を支配し、動かしているものは『憎しみ』であろうと思われる。

人類共通の願である愛と一致の中に共同の平和と発展が最大の福祉を約束し得る時代にありながら、憎しみによる絆に結ばれて不和と分離と破壊、そして恐怖と悲嘆と失望が世界の空を被っている。しかも非人間的な方法で権力を獲得せんとする姿と、『今日を楽しめ』という言葉を普遍的命令として受けいれる姿が一般化されつつある。それ等はいづれも将来に希望を失った人間の成の果ての姿なのではなかろうか。

かって全面的信頼を独占していた合理主義の勝利と、その背後にある知慧の、世界における支配権が作り出した複雑性と分裂故に最早その地位を失ない、それ自身としては盲目的な衝動が一切の行為の支配権を確立しつつあるように思われてならない。

衝動の王座を占める愛と憎しみは相反するものであるが、共に人間行動の原動力をなすものである。したがって愛と憎しみの度合によって行動の活力は異る。その種類の如何によって道徳的価値も異って来る。然も、この二者は願望、恐怖、悲しみ、怒、大胆、失望、歓喜等の衝動を喚起し、重大な影響を行動自体に及ぼすものである。とはいえ衝動自体は善でも悪でもなく、対象によって善とも悪ともなるもので、真正善なる目標に秩序付けられる時にのみ愛も憎しみも正しいものとなるのであって、愛、憎しみそのものが支配権を掌握するのでなく、知慧がそれを指導するのでなければならず、偏狭な知慧でなく、上智によって輝いられた知慧が支配権を掌握するのでなければならない。そしてこの上智によって輝らし出された目標たる真正善なるものへの愛によって奮発し、その追求乃至獲得を妨げるものに憎しみが向けられる時、衝動は正しき秩序の中に正しく使用されているといえるのである。上智を前提とした愛と憎しみの支配権の確立を意味する限り、衝動の支配権確立は全面的に肯定出来るものである。もしも誤謬、不義、善ならざるものへの愛着のために衝動が動員されるならば、その様な衝動の支配権の確立は最悪の状態の招来を意味し、容認することは出来ない。前者が例外的方法と手段を用いて目的を追求する時英雄的行動となり、後者における例外的追求は暴力となるのである。前者の場合は常に平和と一致が保証され、永遠の愛に合一するものであるが、後者の場合は不秩序と不安分裂がその特産となるのである。

世界の現状を眺める時、目指さるべき最高の真正善は漠然としか認められず、或は蔑視されている。ために、中間的なもの、手段的なものが最高のものとして把握され、その獲得に一切がかけられ、その追求の妨害となるものに対して憎しみが注がれ、嫌悪や敵害心を誘発し、除去が容易な場合攻略となり、困難な場合大胆な行動によって粉砕がきされ、成功すれば、不気味な歓喜が露骨に現わされ、反対の場合は悲嘆にただ捨身の争が尚も準備される。多くの場合争は平行線をたどって相互間の憎しみを増大して、益々相互の理想から遠ざかって行く。

『真理真理と叫び真理について多くの事を語ったが、真理は彼等の何処にも存しなかった』との聖アウグスチヌスの叫びが切実なるものとなって現代の我々に迫って来るのを覚える次第である。

この間にあって、神より与えられた人権を、より安全に保ち、促進するもの、或はこれを容認しながら本来の政治目標たる福祉国家形成を目指して進むものを、その主義傾向の中に有するものを支持すべきは当然である。

・・・・・

不当な憎しみの時代に平和と秩序を回復する術は闘争ではなく、最高なる真正善の神の元において神の定給いし秩序に復元することであり、この目標秩序への愛において総てを統一することであり、更にそれはカトリシズムの普及にかかっているのではなかろうか。

（牧山重光）

× × ×

貧者の友
ヴインセンチオ・ア・パウロ

「来れ、わが父に祝せられたる者よ、世界かいびやくより汝らのために備えられたる国をえよ、そはわが飢えしに汝ら食せしめたればなり」

（マテオ廿五の34～35）

葬式に関する規定一部変更

香の使用も許される

日本のカトリック教会で使用されている聖務についての共同指針（ディレクトリウム・コンムネ）のなかで葬式に関する部分に一部の変更がなされた。即ちこれまでの規定によると

「カトリックの葬式中に世俗的そして教会の精神と合致しない慣習を導入しないよう留意すべきである」という条項の註として「ひつぎの前に花で飾った死者の写真を置いてもよい。聖水をかけること。参列者は聖水をかける代りに献花をしてはならない」と明示されてある。

所が、色々の理由のために指示通りに実行できない現状である。例えば参列者全部が聖水をかけるので棺覆いやゆかを汚す結果になり、不潔な感を抱かせる。そのためある所では聖水を使う代りに棺の前で最敬礼をし、あるいは花を献げるようにしていた。最も一般的な方法としては日本の伝統的習慣に従って献香をするようにしている。

このような現状であるので、さきにあげた註は次のように変更される。「ひつぎの前に花で飾った死者の写真を置いてもよい。もし不都合がなければ聖水をかけること。しかし事情によっては香の使用または各地の司教の承認によってそれに似たことを行なってもよい」

七月三日（日）は聖ペトロの献金日です、皆様のご協力をお願いします。

永久聖体礼拝

七月
第一日曜　大分教会
第二日曜　直方教会
第三日曜　水俣教会
第四日曜　高宮マリアの宣教会
第五日曜　八幡前教会
門司天使の聖母会

八月
第一日曜　新田原訪問会
第二日曜　飯塚教会
マザレロ修院
第三日曜　佐賀教会
吉塚三位一体会
第四日曜　煉獄援助会
別府教会

祈禱の使徒会

七月
【一般の意向】キリスト教的真理の勝利のため。
【布教の意向】南米の教会のため。
【日本布教委員会の意向】日本において唯物主義の普及が阻止されるように。

八月
【一般の意向】沈黙の教会における司祭の召命の増加のため
【布教の意向】布教地に働く修道女の召命の増加のため。
【日本布教委員会の意向】司祭職ならびに修道生活への召命が増加するように。

欧州とカナダへ

福岡大神学校々長A・ラブラント師は今夏ボンで開かれる世界典礼会議に出席のため六月中旬欧州に向った。

同校教授Z・イエル師は六月下旬休暇のため、カナダに出発。九月上旬帰国の予定。

おことわり

例年通り本誌八月号は休刊させていただきます。ご諒承下さい。

編集部

七月

一日（金）　わが主の尊き御血の祝日
二日（土）　聖マリアのご訪問の祝日
三日（日）　聖霊降臨後第四の主日
主はペトロの舟から群衆を教え給うた。そのあとペトロは主の仰せに従って網をおろし大漁をえた。舟は教会を、漁は教会の宣教の効果を前徴している。

小笹パウロ会で司教ミサ

十日（日）　聖霊降臨後第五の主日
「主の目は義人の上にそそがれ、その耳はかれらの祈にかたむく」兄弟愛は善徳中の善徳である。これを実行しながら献げる祈は必ずきき入れられる。

十二日（火）　**教区司祭月例集会の日**

十七日（日）　聖霊降臨後第六の主日
「私はこの群衆をあわれむ」人生に疲れ果て、あてどもなくさまよう人の上に主はあわれみをかけ給う。人々は神と結ばれ、神の与え給う霊的食物に強められない限り、御父の家まで帰りつくことはできない。

十九日（火）　聖ヴインセンチオ・ア・パウロ証聖者

廿四日（日）　聖霊降臨後第七の主日
あなたは神の奴隷とならないならば罪の奴隷となるだろう。罪の生活から美しい実は生じない。神に自由を献げるもののみが永遠の生命の実を結ぶことができる。

廿五日（月）　使徒聖ヤコボの祝日

廿六日（火）　聖マリアの御母聖アンナの祝日

卅一日（日）　聖霊降臨後第八の主日
光の子とは神の霊にみちびかれている人である。暗の子、世間の子は貪欲の本能によってみちびかれている人である。

八幡天神町教会で堅信

八月

四日（木）　聖ドミニコ証聖者
今日はわれらの司教様の霊名の祝日である。神の代理者の上に天主のお光りを祈ろう。

教区司祭月例集会の日

六日（土）　主キリスト御変容の祝日

七日（日）　聖霊降臨後第九の主日
主はわれらの力以上に試み給わない。真実なお方であるから。われらも主を試みてはならない、いつまでも悪に執着している者は神を試みるものである。

十四日（日）　聖霊降臨後第十の主日
ファリザイ人は善業をすべて自分の力で果したかのように神の前に誇示する。しかし実際には「聖霊によらなければ誰もイエズスを主である」ときえいうことができない。

十五日（月）　**聖マリア被昇天の大祝日**

（守るべき祝日）

廿一日（日）　聖霊降臨後第十一の主日
主はおしでつんぼの人に「開け」といい給うて、医し給うた。同じ主は迫害者パウロの心を開こうとなされた。かれはこの聖寵の声に従って、遂に最大の使徒となった。

廿二日（月）　**日本の最上位の保護者聖マリアの汚れなきみ心の祝日**

廿八日（日）　聖霊降臨後第十二の主日
よきサマリア人の喩からすると、隣人とは自分の近親者、友人だけを指すのではない。助けを求めている人すべてが私の隣人、私に近い人である。私は万人にとって近い者となるべきである。

家庭ロザリオ十字軍
誓約者11,582名に達す

深堀司教提唱のもとに四月十日より五月十八日まで福岡・宮崎両教区で展開された家庭ロザリオ十字軍は、趣旨の理解と主任司祭、委員長以下各リーダー、またレジオ会員らの善意ある協力によって期待された成果をあげることができた。六月二十六日現在で二、三の教会を除き誓願者数の報告が司教館に送られてきたが、誓約者数は両教区を通じて一一、五八二名うち信者が一〇、九〇四で全信者人口の四六%を占め、未信者（特に求導者）は六二四名の多きに上った。

小教区単位にみて七〇%以上に達した教会も約十ケ所あり、宮崎県田野教会では幼児を別にすると一〇〇%の高率をあげている。

しかしながら同十字軍の目標は十字軍運動中にだけ家庭ロザリオを誦えるだけでなく、それを家庭内の日課となし、いつまでも実行しつづけなければならない、従って署名数だけで十字軍の成功不成功を云々するのは早計であろう。要するに誓約した者も今から署名するものも聖母マリアに対する約束を忘れず、世界の平和と家庭の聖化のためにロザリオを誦える決心を堅持してゆかねばならない。

下表は各教会別誓約者数で、一部は前月号と重複している。

福岡教区

		誓約者	未信者
大浄地高	町通	160	6
名水行	町宮島新塚崎山楠町市米村郷子賀津栖里島雄	69	
		198	26
		213	24
		65	8
		231	8
		215	18
		51	5
		194	3
		61	2
	珂日留	118	24
		61	9
		543	104
		828	
		412	1
		242	
		192	11
		113	
		38	
	万	67	
		70	2
		67	
篠西吉箱茶大那二久今本呼佐唐鳥伊鹿武		131	
		156	
		462	16
		356	
		51	
		505	45
		20	
		749	
		102	
		122	
			7

宮崎教区

		誓約者	未信者
熊島健八人水玉隅崎大本荒	本崎軍代吉俣名府津江渡尾	402	30
		373	
		255	
		265	57
		171	20
		46	
		43	9
		197	49
		265	
		366	
		38	3
		36	17
計		9,319	506
大別日中中臼坂杵佐鶴臣延高都田油	分府田津前杵市築伯崎崎岡鍋城野津	125	
		505	80
		38	1
		63	
		102	23
		45	
		130	
		51	
		40	
		133	
		488	
		34	
		266	3
		59	6
		129	
		55	5
計		2,263	118
合計		11,582	624

信仰生活の充実めざして
司教指導で黙想研修

福岡教区では五月下旬から六月にかけ各種グループの黙想会および研修会が矢つぎ早に開かれ現代社会に活きる信徒各階層に教区の頭の精神と意向が伝えられた。

幼稚園・保育園教師の集り

福岡、筑後、佐賀地区のカトリック幼稚園、保育園の教師の集りは御昇天の祝日に福岡市大濠幼稚園（訪問童貞会経営）で開催された。修道女をまじえた八二名の参加者が十時司教ミサに与ったのち深堀司教、小松茂、糸永一両師の講話に出席、カトリック幼児教育のあり方について明日な指導を与えられた。

なお参加者一同の希望により、この集りをこれから少くとも年二回開き全教師の霊的技術的向上と親睦をはかることになった。

学校協議会

恒例のカトリック学校協議会は六月二日聖星、双葉、明治、明光信愛、白百合、明星、緑ケ丘各校の代表約三〇名が福岡小神学校に参集、黙想会形式で行なわれた。深堀司教自らミサ、説教を行ない教師たるの天職について反省と自覚を新たにした。なお二時から司教を囲んで座談会に移り、来年延岡緑ケ丘高校で開く同協議会のあり方などにつきとり決めを行なった。

修道女合同黙想会

福岡教区女子修道者の合同黙想会は各修院の代表者約八〇名を集めて福岡市浄水通教会で行なわれた。午前十時ミサのあと深堀司教と御受難会司祭マテオ師が二回づつの説教をなし記念撮影をもって四時散会した。

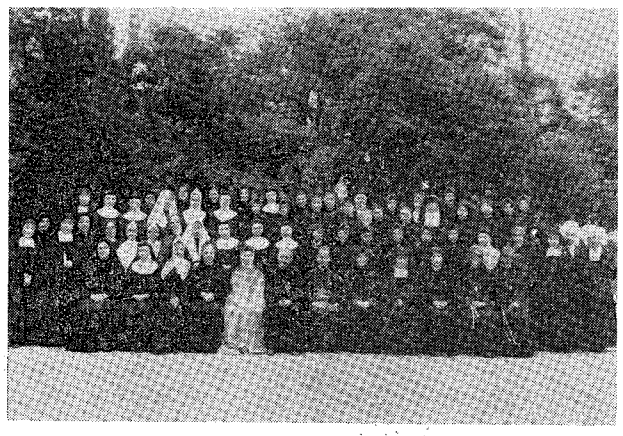
JOC黙想会

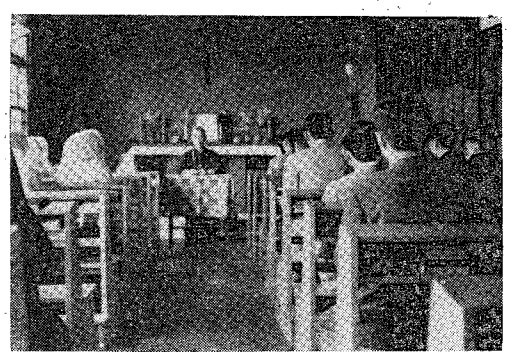
北九州地区JOC（カトリック青年労働連盟）会員男女六〇名は六月一八日午後から一九日午後四時まで八幡市槻田のパリ外宣会本部で黙想会を行なった。説教師は長崎大司教館付糸永真一師。

福岡学生会

福岡カトリック学生会の四季の静修は深堀司教の指導のもとに小笹聖パウロ修院で行なわれた。参加者男女合わせて三一名。

（写真上は修道女黙想会記念、下は学校協議会の黙想）



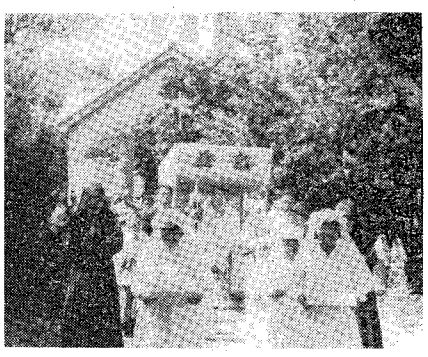


二修女表彰
救ライ事業の功労者

熊本市琵琶崎マリアの宣教者フランシスケン修道院のスール・コレッタ（畑原サタ）（八四）とスール・フロレンチ（ルイズ・ウォルシュ）（八六）の二修女は、六月二十五日三笠宮妃をお迎えして大分市で行われた「貞明皇后をしのぶ会」において救ライ事業功労者として他五名と表彰をうけた。

スール・コレッタは長崎県平戸の出身で東京聖心の女学校と鹿児島工業高等学校卒業後、明治三四年二五歳でライ者救済の待労院に管理者として入り、全生涯を超自然的愛から不幸な人々のために献げた。

スール・フロレンチは明治三二年イタリヤから来日したが、それは「度待労院創立の翌年に当たり、この創立に当った五名の修道女と二五年間救ライに献身、のち育児園の世話にうつった。当時はライ者といえば医者からも社会からも見放された状態にあり、救ライ事業を開始す



佐賀県馬渡島教会でも六月五日聖霊降臨の大祝日に日曜日に聖体行列を挙行。信徒約千名が伊東師の奉持する聖体を前後からかこんで、初夏の陽が照りはえる島の小径を進んだ。

（写真は馬渡島の聖体行列）

福岡地区 布教委員会
今秋の信徒大会の件など

第二六回福岡地区布教委員会は六月二六日司教館に各教会の委員を集めて開かれ、次の問題が討議された。

❶ 信徒大会――来る一一月三日午前一〇時より福岡地区信徒大会を開き、そのあと信者相互の親睦のためソフトボール大会を行ないたい。ソフトボール大会は五月二十九日に挙行するはずであったが雨天のため延期になったもの。

❷ 信徒大会では各教会の布教状況を報告することになっているので、布教委員は九月末日までに報告書を地区委員会に提出のこと。また他の地区の教会に招待状を出すこと。信徒大会に多数出席するよう信徒に強く呼びかけること。

❸ 家庭祭壇の普及のため、図面と値段をプリントして各教会に配布する。すべての家庭が祭壇を具えつけるようになるための運動を強化すること。

次回委員会は九月二五日司教館で開く。

×

聖体行列

熊本市琵琶崎の修道院では六月一六日聖体の祝日に諸施設合同の定例聖体行列を行ったが好天に恵まれ、外部からの信者参加者もあって司祭一〇名を含む約千名が修院の広場で愛の秘跡を賛美した。聖体奉持者は隈府主任ドノフー師で、慈恵病院の屋上に設けられたマイクから聖歌、祈がリードされて、美しい賛美の歌がマリアの丘にこだました。

。・。

和田墓地整地費報告

五月二三日より六月二三日までの間に大谷町教会墓地管理者に納入された墓地整地費（敬称略）

中山操 千円、林鉄雄 千円（追加）訪問童貞会三千円、青木宗雄四千円、西正義五千二百五〇円、出口博二千円、山本光三千円、中島房吉千円、黒川義光千五百円、簑島教会信者寄付千九百円。

恵楓園でも
無期誓願

国立療養所恵楓園（熊本県菊池郡西合志村）でも五月二二日付属聖堂での永久礼拝を信者病人で行なったのち、午後二時三〇分より主任司祭、少年の町の子供たちも加って一五〇名が聖体行列を行なった。

福岡市吉塚の三位一体の聖体宣教会では同院はじめての無期誓願式を深堀司教司式のもとに挙行した。誓願者はマリア・ルチア内田郁子さん（東京都 吉祥寺教会出身）

ハンター師濠州へ

聖コロンバン外宣会熊本地区長F・ハンター師は濠州メルボルンの同会管区本部付に転出することになり六月三〇日熊本発、七月八日離日する。

ハンター師は一九四八年七月来日、約二ケ年間福岡司教館で日本語習得ののち約一〇年間熊本地区長に在住、同師の活動によって同地区は飛躍的発展をとげた。新設された小教区は隈府、健軍、本渡玉名、荒尾、島崎の六ケ所にのぼり、人吉、八代、水俣の諸教会が新築された。

なお地区長代理は崎津教会主任ダイモンド師が勤める。

カナダテレビ班来福

カナダの国営ラジオ、テレビ放送協会ラジオ・カナダ（仏語系）テレビ班の一行七名は去る六月八日来日以来仙台、福島、福岡、長崎、京都、東京各地で取材して二三日台湾に向った。

福岡には一五日から三日間滞在して特にサンスルピス大神学校の聖式、教授とのインタビューをフィルムと録音におさめた。一行は日本を皮切りに三ケ月半でアジヤとアフリカの十数ケ国をめぐり、各地におけるカナダ人宣教師の活動状況と各国特有の人間問題を中心に――わが国では教育問題――取材してゆくが、ローマでは教皇との謁見も予定されている。

司祭異動

（カッコ内は前任地）門司主任ラバルタ（戸畑助任）賜暇帰国モーゼ師（門司主任）戸畑助任（キヌュー師（日本語学校）病気静養マクウェイ師（琵琶崎修院付）琵琶崎修院付ブルク師（和歌山県御坊主任）熊本助任ホーガン師（大江助任）同 ベーカー師（和歌 山助任）日本語学校ダンフィー師（熊本助任）同 クレハン師（荒尾助任）大江助任パウワー師（日本語学校）若葉修院付チリオ師（小笹修院長）小笹 修院長 ブラツサ師（小笹修院長）

七田師渡加

今春三月司祭に叙階されたフランシスコ七田善次師はスルピス会修練と研学のため六月二三日博多駅発、カナダのモントリオールに向った。

和田墓地整地出費

測量費　一五、〇〇〇円
工事費（境界、排水、区画整地ならし）　一三〇、〇〇〇円
八〇、〇〇〇円
計　二二五、〇〇〇円

和田教会墓地希望者はお申込み下さい

数カ月前から着手しておきました福岡市和田墓地の整地ならびに墓地所有者確認は、信者各位の御協力によりましてこの度一段落いたしました。紙上をかりて厚く御礼申し上げます。

なお整地のおかげで墓地の利用面積もずっと拡張されましたので、墓地購入希望者には次のような値段でお分けいたします。

二坪区画（三〇組）
四坪区画（二九組）
一二、五〇〇円

希望者は左記宛お申込み下さい。

福岡市大名町カトリック教会
和田教会墓地管理者

学生・教職関係者のための黙想会

一、とき　自八月十六日（火）午後五時　至八月二十日（土）午前八時
一、ところ　福岡市小笹聖パウロ修道院（筑肥線小笹駅または西鉄バス博多駅―小笹―桧原線小笹駅前下車。丘山に見える鉄筋四階建ビル）
一、宿舎　男子は聖パウロ修道院、女子は隣接のピエデイセポレ修道女院
一、資格　原則としてカトリック信者または求道者の男女大学生または教職関係者
一、指導師　未定
一、会費その他　会費六百円
持参品　米一升五合、身廻品、女子はシーツ
参加希望者は十日切手同封、左記宛七月末日迄に御通知下さい。

福岡市大名町カトリック教会気付
福岡カトリック学生会

宗教書・宗教用品のお求めは
聖パウロ書院で
福岡市万町電停前
TEL ④四五八八

G・テイボン著
愛の哲学
神の合わせ給いしもの
S・カンドー、金山政英 訳

目次
第一部
精神と生活の相剋
感覚と精神
愛と結婚
愛の清め
第二部
肉と霊
女
愛の真実
愛の偽り
愛の悩み

三省堂
¥190

六月初旬発売！
キリスト教百科事典
ヘルデル出版社　諸事典 編集 援助
上智大学教授　小林珍雄責任編集

カトリックの神学、哲学、道徳、倫理、公会議、修道会、旧新約聖書、修徳、神秘神学、数千名の聖人伝、典礼、祝日、キリシタン、外国日本の定期刊行物、各種団体、学校、文化祭、地名、日本各教区、異端、他宗教、著作等を総合的に最新資料と駆使して解説し、これに年表一覧表、統計、豊富なさしえを配し読むと同時に見る事典とした。

特価一五〇〇円　四六縦二段組四六判
（一九六〇年八月末日迄）九六六頁さしえ六五四個

発行所ヘルデル代理店 エンデルレ書店

『もろびと神を頌えよ』人々の一致の願い ②

C・ジャロー

(1) 旧約時代の祈りの第二のテーマは同じ一致、集いに対する喝望である。聖者たちは流謫にさいしての神の選民の離散に心を痛め、かれらが一つにまとまるようになることを熱望する。

〃禍なるかな、わが牧場の羊を滅ぼし引き裂く牧者等よ…汝等はわが羊群を散らして、これを逐いやり、これを労らざりき。我汝等の心ばせの悪しきゆえに、汝等に報いん。我わが羊群の残余をば、わが之を逐いやるすべての地より集めて、またその牧野に返さん。彼等は生い立ち、かつ多くなるべし我その上に牧者等を起てて、之を牧わしめん〃（エレミアザニの1－4）

(2) このような祈は旧約時代から普遍的性格をおびる。即ちイスラエル人の結合だけでなく、世界中の全国民の結合もめざしている。イザヤの第六十章はまさにそれを示すものである。

〃起てよ、輝け、エルザレムよ、そは汝の光来り、主の栄光汝の上にさし出でたればなり、主は汝の上に顕れ出で給い、その栄光は汝の上に見え渡るべし。かくて異邦人等は汝の光の中を、王たちは汝のさし出でし光輝の中を歩まん〃

所が人々の離叛をたえ難く感じ人間的面では分裂していても、神において結ばれるよう、心のせまさをとり除かせようと努力することこれが神と人との間になった旧約の聖者たちの祈の特性であった。

人間相互の心の結合は、結局神において成就するのであるから、人々が神と心を通じる程度に応じて、人と人との一致が深まってゆく。

一致は神の働きである。ひとり神を中心にして、はじめて統一ある（精神的）王国が形成される。心で結ばれた人々の団体が神の現存の場となるということができる。われわれのいう教会はこれであって、それは唯一のものである筈である。

第一世紀の終り頃に書かれたといわれる「十二使徒の教え」（デイダケ）は次のように歌っている

〃かっては山々の上に散在せしこの裂かれしパンの麦が
一つの塊とならんために寄せ集められし如く
汝の教会も地のよろずの極より汝の国に集められんことを
栄えと権力とはイエズス・キリストによりて世々に
汝に帰すべきものなればなり

福岡協議会八年の歩み

聖ヴィンセンチオ・ア・パウロ会

全カトリック慈善事業団体の保護者と仰がれる聖ヴィンセンチオ・ア・パウロが八十四才の高令で帰天して今年は三百周年に当る。パリ大学の学生フレデリック・オザナムが福音的精神に則って、貧困者のために働く団体をつくったとき（一八三三年）同聖人の名を冠した。この会は、現在全世界で顕著な使徒的活動を行っているが、以下福岡における同会の活動状況を紹介しよう。

〇〇〇

協議会設置

S・V・P福岡協議会は一九五三年十月十一日深堀司教、伊東誠二、平田正喜両師、大学関係者約十名が出席して発足した。まず司教講話とメッセージが発表され、正会員の決定、役員の任命ののち初代会長に九大助教授水波氏が推された。会合場所は福岡市地行町教会、毎金曜午後七時より協議会を開くことになった。

協議会例会

以来今日まで八年間、年々人変り幾多の浮沈はあったが、教区民の一貫した支援、会員の熱意によりSVP会は今発展の一途をたどっている。毎週の例会では、前会議事録の朗読、霊的読書、講話、会計報告から各会員の活動報告に移り、対象家庭の対策が慎重に討議される。ついで次回の訪問割当が行われ、会員のために祈る。訪問対象は主として、市内居住の霊的物的貧困者であり、その他に水害、大火等の場合には、全国的にその対象をひろげる。

資金の獲得

活動資金の獲得は主として、会員の献金による。しかしそれでは不充分であるので、一般信者から募金を行ったり、日曜毎にパンやミルクを販売している。この資金で必要な物資を購入するのであるが、衣類、麦粉、米、粉ミルクなどが教区民とカトリック救済奉仕団から寄附されている。

中央理事会に昇格

大名町教会に協議会が設立されたあと、相ついで熊本、佐賀、大刀洗、久留米、明光学園、箱崎などに新協議会が誕生した。最近これらを一括したものが、福岡中央理事会に昇格した。この理事会は会合を年四回開き、各協議会から代表者が集って、お互に活動状況を知らせている。

協力と発展

福岡市大名町協議会について、特記すべきはカトリック学生会の協力である。会創立以来正会員または協力会員として、活動に参与してきている。また女子会員制度も認められたので、会の発展は大いに期待されている。会員一同は保護の聖人の取次を願い、創立者し精神に従って母なる教会のために活動に従事することによって、計り知れない霊的お恵を蒙っている。教区民一同が地元協議会をより一層御支援下さるようお願いします。

短歌

二丈

ブルドーザーのすきのはさきに照りかえす強き日ざしに土げむり上る
ブルドーザーにおされもり上りくずれ行きがけに流れて土くれといわ
中指をつき切りたるを大げさに身ぶりまじえて告げる生徒ら
この中で乙女一人は死したるかにげまどいたるをテレビにて見つ

黙想のねらいどころ

対神徳と救霊の考察

黙想とは、世間と日常生活を離れて静寂な雰囲気のうちに於て聖霊の照しを祈りながら、われらの対神徳の状態と救霊について考察改善する業である。

(一)対神徳について

対神徳とは洗礼の秘跡をもって天主から与えられている信望愛の超自然徳であるが、洗礼以来私の信仰は健全に成長しただろうか、キリストを信じる私に約束されている天国の光栄に確固たる希望をもちつづけているか、限りなき愛にて在す天主を何物にもまして愛しているか。

御父の顕現にて在すイエズスに対する信仰はどんなものか。人間キリストのうちに神性をみているか。そのみ言は私のうちに生きているか。それを守り実行しているか「われを愛する人はわが言を守る」主との一致に至るために万事を抛つ覚悟でいるか。隣人に対する愛はどうか。主と隣人のために苦しむ所までいっているか。

パンの形色のもとに神人キリストをみているか。食物となり給うた愛の主に如何に応えているか。

主を愛しまつるために主に背く罪に対して私はどんなデリケートな良心をもっているか、小罪だからとて平気で重ねていないか。どんな心でみ摂理に服従しているか感謝と清い意向をもって常に主を喜ばせまつるべく努めているか。

対神徳は、ミサ聖祭に与っては敬虔、聖器具に対しては尊敬、信心業にあっては熱心、聖堂においては慎しみ深い態度となって現われる。このような点にまで細い考察をめぐらすことは、自己改善の上に美しい実を結ばせる。

(二)救霊について

救霊とは永遠の幸、永遠の光栄である。人にとって永遠の救霊ほど重大なものはない「汝全世界をもうくとも、もしその魂を失わば何の益かあらん」。救霊は私の唯一最高の目的である。救霊こそ必要なるただ一つのものである。

世に永続するものはない。ただ霊魂だけは永遠に残る。然も永遠の幸か、不幸かその何れかにおいて。人生のこの最大事の前に私は戦慄さえおぼえる。「人何物をもってかその魂にかえん」

主は私に救霊をえさせるために何をなし給うたか。貧困と苦しみむごたらしき十字架上の死、それにひきかえ私は何をしているか。無頓着、この世のものに対する執着。一時の快楽と永遠の楽しみとをひきかえようとするおろかさ。

私のあわれな姿をみ、犯した罪を悔い、主の憐れみを考えて霊的更生の期を逃がすな。私は主を愛しまつる熱心の火を再び燃えたたせねばならない。主よ、私の痛悔とよき決心とを祝し給え。

(三)祈り

黙想は信仰の心からわき出る祈のうちにおいてなされねばならぬ信仰は天主と私との結びであり、行き交う道路である。私の祈はこの通路を通って天主に上り、天主の恵みはここを通って私の上に降ってくる。天主と救霊についての考察に人間の自然的才能や技術は無力である。ただ天主とその恩寵のみが私のうちにおいて働き、超自然の光と勧めと指導を与えるのである。

故によき黙想をするためにこの恩寵を祈り求めねばならない。祈ることは実に黙想成功の必須条件である、熱心な祈は天主のみ心を動かし、私にすべてのお恵を得させるものである。

「聖霊来り給え」の祈や、聖アウグスチノの「主よわれを知らしめ、おんみを知らしめ給え、おんみを愛せしめ給え……」の祈などはもっとも黙想にふさわしい祈で、黙想中にはしばしばくり返し誦えられるべきであろう。

× × ×

神はわれらの父である ①

父なる神

神は父である

神は創造主として万物に生命を与え、これをつかさどり、いつくしみ給う。故に万物の父である。

〃かれは汝の父に在して汝をもうけ、造り、はじめ給いし御者に非ずや〃（申命記卅二の6）

〃生きとし生ける物の生命も、人の肉のすべての呼吸もその御手のうちにあるなり〃（ヨブ十二の10）

〃神は御独子を賜うほどに世を愛し給えり〃（ヨハネ三の16）

神は私の父である

神は永遠の昔から私を個人的に選び給うた。それは私の方にそれだけのねうちがあったからでなくひたすら神の愛による。私が神の子と呼ばれるようになったのはキリストの御功徳の故である。

〃されどわれは地の極より汝をつれ来り、さて汝にいえり、汝はわが下僕なり、われ汝を選び汝を棄てざりき〃（イザヤ四十の8－10）

〃世界創造以前よりみむねのままに選び給えり〃（エフエゾ一の4－6）

〃イエズス、キリストを以て己が子とならしめんことを予定し給えり、これ最愛なる御子において我らに賜いし栄光ある恩寵の誉のためなり〃（同上）

神はわれらの父である

神が私を愛し給うたとすれば、私の隣人に対しても同様である。神のお目には人種の差も国籍の別もない。神はわれらの父である。全人類がひとりの神を父と仰ぐ。みなが神の像につくられ、一つの本性によって連帯する。一つの家族の兄弟である。

神は全人類の父にて在すが、最初は選ばれた民（イスラエル人）に対するいつくしみによってその父性を明らかにし給うた

次でキリストに結ばれ、神の養子とされた人々に表われてくる。これは超自然的なつながりをもつ一つの家族であって、そこから社会的な愛が流れでて、完全な平和的共存の原理が生れてくる。だから御父の愛が全キリスト信者の一致の第一源泉にて在す。

〃イスラエルが幼子なりし時、われこれを愛せり。われエジプトよりわが子を呼び出したり、われ エフライムに対し養父の如くなし、かれらをわが腕にいだきたり〃（オーゼ十一の1－4）

（汝らを憎む人のために祈り、これ天に在す汝らの父の子供たらんためなり〃（マテオ五の45

〃天に在す汝らの父は、己れを願う人々に善き物を賜うべし〃（同七の11）

結論

1、ひとはみな連って責任をおびている。誰も自分を自分だけのものということはできない。各個人が全人類のものである。

2、この連帯責任は教会のなかにおいて実に強靱である。聖寵によって更に強く御父に結ばれているから。

俳句

露光る山路病後の試歩伸す
青竹を持ちて農夫は菜殻焼く　風声

紫陽花に夕闇まるく迫りくる
夏座敷かるかや艸のゆれうごく　恵女

赤ン坊と二人の留守居遠蛙
御機嫌やまつげの先の天瓜粉　牧泉

聖心の使徒 昭和35年7・8月合併号

表紙 大阪の愛徳童貞会

七月の意向 キリストに敵対する者……岡田純一

焦点は南米（七月の布教の意向）……粕谷源蔵

黙想 心の細道…下嶋正昭

ムッシュー・ヴァンサン……長島達也

写真特集 愛に活きる信仰……

真理と愛の使徒……

八月の意向 沈黙の教会に司祭を…伊藤庄治郎

布教線に立つ修道女（八月の布教の意向）……荻原晃

世を活かさんため……R・モロー 高橋憲一訳

行為、再行為…十字架のイエズス……修道女会

荒野の師父らのことば……須賀敦子訳

チベットへの道…W・ハイズィヒ 磯見昭太郎訳

日本祈禱の使徒会発行

購読会員費（一カ月 三十円 〒五円／一カ年 三百円 〒五十円）

東京都千代田区紀尾井七

青少年の指導者　トツ・テイハメル著

青少年のすすめ

①純　潔　デル・コール訳
「ふかい研究と経験との結晶からできた本書は、たくみに、簡明に注意深く青少年に正しいみちを教える」

②教　養　西田孝訳
「本書は、道徳教育の実用的手引きとして、教育者にもよき案内者である。」

③人　格　西田孝訳
「本書を読む青少年は、健全な、勇ましい人格をつくり上げるのに、必要な生命の汁を、よろこんで吸いとるだろう」

④宗教心　金子賢之介訳
「本誌こそ信仰をまもるための、神の武器を正しく使うことを教える霊的生活のありがたい指導書である」

⑤理　想　金子賢之介訳
「本書の内容は、じゅんすいなキリストの教えであり、まことの信仰生活への神秘な魅力を感じさせる」

各冊 ￥一八〇円

ドンボスコ社発行

やさしさと云うこと

三帰児

家の前の広場に、よく遊びに来る三歳位の女の子がいる。そしてその子には七十歳位の祖父が必ずついている。

「おおいちゃん、おんぶして」

「おおいちゃん、ぶらんここいで」

「おおいちゃん、みていてね。」

「おおいちゃん、うごいちゃだめよ」「おおいちゃん、あんよがよこれた。」

見ていると、小さい女の子は何でも祖父の上に絶対権を持ち、命令を下し、望み通りにして貰う。祖父はまた、とても嬉しそうに、「はい、はい」といいながら、その望み通りに素直に従う。ここに顔で一緒にかけっこもするし、地面に手をついて馬にもなる。一掌中の玉」とか一眼の中に入れても痛くない」とかいう形容詞は全くこの祖父のことであろうか。

転んで泣けば抱き起して、涙で一杯の顔に頬すりをし、垢れたその手を舐るようにしてすかしもする。家の者や近所の人達は皆口を揃えて「何とやさしいおおいさんだこと！」と感嘆する。そばで見ていて微笑ましいし、美しい姿として明るく映える。

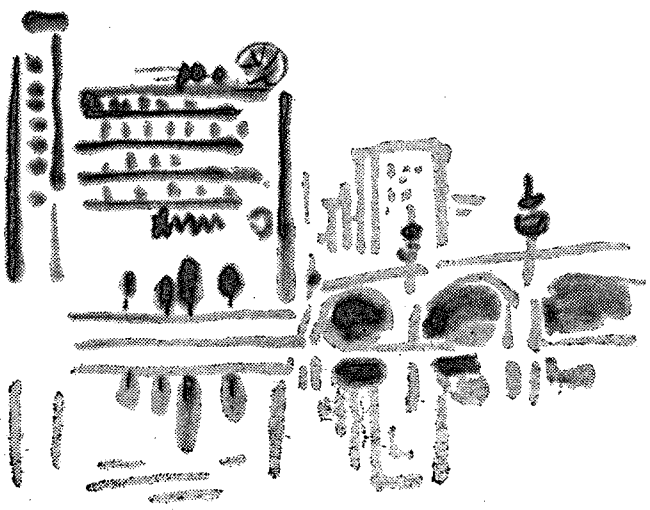
ところがある日、この小さな娘の、それはそれは恐しいおいたが始った。何が気に障ったのかは分らないが、例によって祖父がどんなに手をつくしても治まらない。大きな声で泣きわめき、近づいてやさしくしようとすれば、土砂を手一杯掴んで投げつける。無理に抱きかかえると手足をばたつかせてずり落ちる。いつまでもいつまでも。ほとほと手をやく祖父の姿は、想像にも余るほど、本当に気の毒でならなかった。

結局、お父さんの登場でけりがつき、祖父のやさしさでは治まらずに終った。それにしても、やさしくあるのは子供の躾によくないものだろうか。万人が聖主や聖母の優しさを讃える時、決してそうとは思はれないが、それでは一体やさしさとは何なのだろうか。無精に「優しさ」に心をひかれる私達は「優しさ」の本質を掴んで置きたいものだ。

聖書には、放蕩息子の喩、パンの増加の奇跡。十字架上の右の盗賊。その他、至るところに聖主の聖心の優しさがその行間に溢れている。そして聖主の聖心の優しさは、人々の欲望を叶えてくれる時ではなく、その必要を満たしてくれる時に特に目立つ。

かの放蕩息子は自分の欲望である財産分配を父に申し出る。父はその望みを叶えてくれるが、私達はそれだけで父の優しさに感動はしない。しかし財産を浪費し、飢え死なんとするに当って帰省した息子に、その必要なものを与える父の態度には強く胸を打たれて感涙する。三日間、寝食を忘れて聖主に従った群衆はその望みともいうべき金塊や宝石を与えられないで、パンを貰って満足する。十字架上の左の盗賊は主に向い、自分とわれわれを十字架より救い下せといった。それは彼の望みである右の盗賊は、御国に至らん時、我を記憶し給えといった。それは彼の必要事である。そして聖主は左の盗賊の望みを叶えられないで、右の盗賊の必要事を叶えた。「今日汝我と共に楽園に在るべし」とさて優しい祖父と優しい聖主。

私達の優しさはいずれであろうか」



天主様の脚本を

なでしこ

下手な芝居を見ていると、出演者の個性やくせが鼻についてたとえどんな名作者の脚本でも一向に面白くも楽しくもない。

そこへ行くと名優の演技は大したもので、作者の考えを見事に表現して観客を一喜一憂させその世界に引き込んでしまう。

どうしてそんな演技が出来るのだろう。思策はつづく並木道の散歩、雑木林のハイキングにもまして、黙想は楽しい。

名演技のかげにあるもの、それはきびしい修業と一種の芸道の悟りではないだろうか。芸道の悟りその物になり切るためには結局自分から抜け出すか否かいとうことが名優を作るか、大根になるかの境ではなかろうか。

楽屋へ俳優を訪問した小さい時の思い出がよみがえる。鏡を前にして四方山話をしている俳優は何の変哲もない一人の人間で、子どもだった私や祖母を相手に軽い笑談をとばしながら、おいしいお菓子やお茶で時を移している。それが一旦出番となると今までの自分をサラッとここに脱ぎ捨てて、若武者そのものになって、歩き方まで見違えた人物となって出て行く桟敷にもどって見ると、別人のような彼が観客の人気を一人でさらっている。

私達信者は大宇宙を舞台に、天主様の書かれた脚本の演出者でなければならないと思う。自分のくさみをふりまいて歩くまた個性をむき出しに演じる大根役者になっては面白くない。第一、天主様が意図される演出が本物にならない。そうすればさしづめ自分を楽屋裏に脱ぎ捨てることだ。自分を脱ぎ捨てる。脱皮、蚕や蛇が一枚すつ皮を脱いで生長する。天主様はここにも自然の姿として人間に生長に対するヒントを与えて下さる。

自分を脱ぎ捨てて、天主様の脚本の中の自分の演出部分を、おこがましい願いではあるが、天主様の子として申し分のない演出の出来る名優になりたい。今まで天主様は沢山の名優を作られた。すなわち、聖ペトロはじめ数えるにいとまない程の諸聖人方である。

しないことです。四季の変化と違って愛情の変化は、単なるくり返えしでなくて、常に新らしく進展してゆくものです。試錬は新らしい歓喜を生むのであって、錯覚が消えることは、決して平々凡々に堕することではありません。

キリスト信者にとって試錬は聖寵の働きの第一歩です。婚姻の秘蹟の聖寵は、夫婦がこの試錬を十字架として受けとり、相互の愛を通じて神の愛にまで達することができるように与えられるのです。その助けによってあなた方は被造物の愛から神の愛にまで達することができるのです。夫婦愛の崇高さは実にこの頂きから発すると考えるのであります。

カトリック結婚講座

愛の浄化 ⑱

陶酔から現実へ

結婚生活のなかで愛を浄化してゆきなさい――とう申しますと皆さんは慣がいなさるでしょう。魂の一番深いところからわき出てくる水晶のように清い愛を、自信をもって献げようとしておられるお二人のことですからしかしあなた方は今愛の陶酔にひたっていられるのです。これほど美しいすばらしいものはないとおっしゃるでしょうが、〝地上のいかなるものにもまして愛の陶酔は人間に地上の天国を見出したかの錯覚を抱かせる〟のであって、この錯覚のなかに結婚生活をつづけてゆくとはできないのです。

あなた方が純粋そのものだと思い込んでいらっしゃるその愛の中に、実はびっくりするようなみにくいものがひそんでいます。それは純粋愛とは似もつかぬ本能と自我であります。陶酔の原因は自己本位的な欲望の満足にあるとみてもよいのです。

しかし陶酔は左程長くはつづきません、錯覚は現実にふれるとき太陽の前のもやのように消え去ってゆきます。幻滅の悲哀は色々なところからしのび込んできます。相手から奪うことしか知らなかった自我は、もう一切を汲み尽したと感じるとき相手を放棄しようとさえするのです。自我心は相手の魂のなかに入ってゆくことを知らず、ただ新奇なものだけを追求していたのです。

危機との戦い

自愛心は誰にでもあるものです始めから簡単にそれを脱却することはできません。陶酔から現実に移ったとき、即ち愛の危機が訪れたときに、どのようにして自分の愛情を浄化してゆくかが問題なのです。これは実に長い苦しい、しかし聖なる戦の時であります。陶酔からぬけ出て現実の愛に生きてゆくこと、試錬をくぐりながら正しい愛を育ててゆくこと、これが真の夫婦愛であって、キリスト信者の場合では特に、神の愛にまで導く最良の手段となるのであります。

ではどのようにして浄化の効果をあげるのでしょうか、最も大切なことは、過き去った陶酔に執着しないことです。四季の変化と違って愛情の変化は、単なるくり返えしでなくて、常に新らしく進展してゆくものです。試錬は新らしい歓喜を生むのであって、錯覚が消えることは、決して平々凡々に堕することではありません。

キリスト信者にとって試錬は聖寵の働きの第一歩です。婚姻の秘蹟の聖寵は、夫婦がこの試錬を十字架として受けとり、相互の愛を通じて神の愛にまで達することができるように与えられるのです。その助けによってあなた方は被造物の愛から神の愛にまで達することができるのです。夫婦愛の崇高さは実にこの頂きから発すると考えるのであります。

その日

鹿野秀子

その日は長男の誕生日であった遠い東京の空の下で勉学に励んでいるわが子のうえに思いをはせながら、いつものように忙しく働いていた。時折Nのことが脳裡に浮かんだ。暖かい友情で結ばれた愛は次第に発展していたから……。もう一つ前から考えていた重大な課題があった。人間の目的についてである。これまで頭の一隅に押し込めていて引き出して探究することを無意識に延ばしていた。それがこの頃しきりに考えがそちらの方へ向う、神とは？人生を最大限に価値あらしめるには？愛の本質は？ETC、的確に把握したい！そして御旨にかなった生き方を一日も早くしたい！と。――取材とインタヴューに歩きながら、それらのことが頭を領していた。

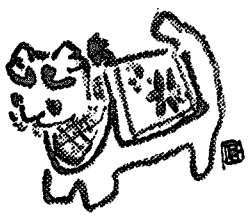
息子のこと……。やがて勉強が激しくなってくる。幸に頭も体も優秀なので感謝をしているが、傍にいて理想通りの世話をやけないので、淋しい可愛想な息子のためにひたすら祈り続けよう。

Nのこと……。神の御旨に従って行動しよう。かねてカトリシズムの精髄は吹き込んでいたのだが別れることは悲しい。彼の悲しみは私以上に深いであろう……。彼の傷心を思いやり、涙がこぼれたすべてに訣別するのだ、自己放棄だ、そう思うと日頃の私にも似ず、ヒロウイカリーに感じて感傷に浸ってしまった。

帰りに、財布が無くなっていることに気がついた。買ったばかりの財布にその日は大金を入れていた。手さげを放り出したまま仕事に熱中していた時のことだとすぐ判った。これも初めての出来事、金銭を粗略に扱うことへの戒めであろう。……人間の死も盗人のように来るであろう。一日延ばしにしないで今日こそカトリックへ踏み切ろうと決意した。

帰途、教会の門を叩いた。すると神々しく慈愛に満ちたような神父様が御現われになった。お話を伺っているうちに私の胸は、希望と平安に満たされていった。

ぶっく がいど



天主様、わたくしの今の生活はこれでよいのでしょうか。お祈りする時は、他のことに心を奪われ、早く終わればよいとそれのみを考えてすることが多うございます。このようにお祈りは気を散らしてする上、私明もろくにできず、今日犯したる罪を吟味せんといいながら、ただポカンと頭を下げているのです。犠牲も日にいくど意識して捧げることでしょう。このようなことであれば、天主様を愛するといいながら、一朝事あるときには、自分しか愛していなかったことが暴露するのではないでしょうか。どうしたらよいのでしょうか、天主様何かたりないのでしょうか。

聖霊来て下さい。御身をお受けするにはふさわしくない者であることはよく存知ておりますが、どうぞわたくしの中においでになって下さい。御身がいらっしゃらないならば、わたくしは一体どうなることでしょう。御身さえ照らして下されば、私の一切は解決することです。

罪を痛悔するについても、不快や恥のためであって、御身にそむき奉ったからとてなしたことがあるでしょうか。数えきれないほどの多くの罪にもかかわらず、御身はいつも優しい御眼もて見守り下さり、お見棄てになりませんでした。この上どうして背き奉ることができましょう。生涯の罪を、御身への愛の故に痛悔し、告白させて下さい。朝、目が覚めた時願うことは、意識してそむかず、この世に死し、御身への愛の故に生きさせて下さいということでございます。

過ぎて来し生涯を回顧する時感謝すべきことで一杯です。永遠より我を愛し、無より我を創り出だし、御子の御血をもって我を贖い、日々に数々のお恵みを下し給うと祈りますが、わたくしがこうして生まれいでて生きていることも、贖いによって御身の神秘体につながれていることも、秘跡によって罪を許されお恵を頂いていることも、自分の気付かない中に悪より守られていることも、すべて御身の愛のおはからいによるものでございます。わたくしの小さい力でどうしてこれにお酬いすることができましょう。聖母マリア様をはじめすべての天使、聖人方どうぞこの卑しいわたくしと一緒に、憐み深い天主様を讃美して下さい。

アルカンタラの聖ペトロの黙想の祈をよみながら、こんな寝言のような黙想をしていた。この書については、念禱のオーソリティたる大聖テレジアが、現今殆んどすべての人々の手中にある一小著と語り、本書を利用することができる人々は自分の勧めを求める必要なしと激賞したといわれる。読者よろしく本書を手にとり、原文から直接、天主様を礼拝し、讃美し、感謝し、奉献をなすことを学ばれんことを。そこにこそわれわれの生活に生命を与えるものがありそのためにこそわれわれのレゾン・デートルがあるのだから。天主様、御身がわたくしのすべてであります様に。

（一二〇円、中央出版社）（F）

念禱の栞

アルカンタラの聖ペトロ著
八巻嶺男訳

古い歴史・新しい内容

コンサイス英和辞典（改訂版）　四〇〇円
コンサイス和英辞典（改訂版）　五五〇円
コンサイス英英辞典　革　三八〇円
デイリーコンサイス英和辞典　革　五五〇円
新クラウン英和辞典　革　三〇〇円
ジェム英和・和英辞典　縮刷版　四二〇円
最新明解英和辞典　D版　四八〇円
初級クラウン英和辞典　大型版　八五〇円
初級コンサイス英和辞典　三〇〇円
初級コンサイス和英辞典　五〇〇円
三省堂独和新辞典　一五〇円
コンサイス独和辞典　五二〇円
コンサイス仏和辞典　四二〇円
コンサイス露和辞典　五〇〇円
日西辞典　六〇〇円
商業英語活用辞典（増補版）　二、〇〇〇円
新英文法辞典　六五〇円
一、二〇〇円

辞書は三省堂

辞海　縮刷版　一、〇〇〇円
新版広辞林　背革特装版　二、〇〇〇円
明解古語辞典（改訂版）　一、二〇〇円
明解国語辞典　四五〇円
新修国語小辞典　三八〇円
音訓両引き国漢辞典　一五〇円
三省堂小学国語辞典　三五〇円
大明解漢和辞典　二八〇円
明解漢和辞典　七〇〇円
三省堂大六法全書　三五〇円
模範六法全書　一、一〇〇円
明解六法　三七〇円
学習百科事典　一五〇円
明解日本語アクセント辞典　八〇〇円
五〇〇円

三省堂　福岡出張所
福岡市向田町九ノ三
本社　東京都千代田区神保町

カトリック

深堀司教認可
発行所　福岡市浄水通　福岡司教館
発行兼編集人　深堀　敏
定価一部十円

昭和三五年度　福岡・宮崎両教区教勢

信者数　福岡　二一、九一八　宮崎　五、二九九

㈠　この度発表された昭和三五年度福岡・宮崎両教区教勢によればまず福岡では信者数が二一、九一八名で昨年度より三六二名の増。増加数は昨年の四〇〇名より更に下廻っている。大人の受洗数は昨年とほぼ同数。宮崎の信者総数は五、二九九名で増加数は九七名。大人受洗数は昨年より僅かに少ないが、教区外への転出が転入者の二倍にも達しているので全体の増加が小さいのは止むをえない。

㈡　福岡教区の教会数は五一で、新設小教区はなし、司祭数は一〇七名で六名増。うち邦人は三五名。宮崎教区の教会数は一七で昨年と同数、司祭数は七名ふえて四七名。邦人司祭は九名。

㈢　福岡教区内の修道士数は一三名。修道女総数（志願者を含む）は五〇一名で三六名増、修道会は二一で新来は女子聖母の騎士会。宮崎教区内の修道士は一四名、修道女は二三九名増、修道会は三。

㈣　諸施設

福岡教区

学校
- (1)神学校　大一一（教区大神学生＝一八名）　小一二（教区小神学生＝三七名）
- (2)高等学校　六　三、三八六
- (3)中学校　五　一、九六八
- (4)小学校　三　一、〇二八
- (5)特殊学校　四　六一八
- (6)幼稚園　三六　四、九九六

社会福祉施設
- (1)育児園　一一　八五五
- (2)養老院　四　二〇一
- (3)癩病院　一　六六
- (4)病院　四　四、二二四（延入院者数）

宮崎教区

学校
- (1)短期大学　一　二四〇
- (2)高等学校　三　一、三六一
- (3)中学校　三　三八六
- (4)小学校　二　一八六
- (5)特殊学校　一　三四
- (6)幼稚園　一五　二、一一六

社会福祉施設
- (1)育児園　六　六八九
- (2)養老院　二　一二三

福岡教区信者状況

（１９６０年６月30日現在）

地区	教会	洗礼 臨終外 大人	洗礼 臨終外 子供	洗礼 臨終時 大人	洗礼 臨終時 子供	求道者	信者総数 1959	信者総数 1960
邦人司祭地区	大名町	40	14	1		42	568	637
	浄水通	7	5	1		250	286	327
	地行町	14	5	1		28	245	247
	西新町	6	5	1		8	330	324
	簑島	4	4	1		3	155	121
	茶山	2	7			2	312	352
	大楠	5	2			9	148	148
	高宮	14	7	14	1	45	272	283
	那珂町	11	6	2		14	163	189
	吉塚	64	2	1	4	52	364	439
	箱崎	2	2			6	122	136
	古賀	14	1			25	115	95
	二日市	2	1	12		11	85	95
	今村	1	27	1	1		1,427	1,382
	本郷	1	16			3	669	683
	久留米	33	16	9	1	63	997	1,063
	大牟田	24	6	5		162	373	397
	呼子	2	28				603	563
	馬渡	1	26			5	1,041	963
ミラノ会地区	佐賀	42	11	11	1	70	433	422
	鳥栖	1	4			16	93	87
	唐津	7	9			5	294	280
	伊万里	7	7			8	209	217
	武雄	6	4	1		5	149	131
	鹿島	11	2		1	8	73	94
パリ会地区	門司	8	11		2	15	404	399
	小倉	19	41			38	1,456	1,515
	湯川	1	15			2	542	571
	戸畑	46	16	2		80	792	902
	若松	9	4			15	255	270
	八幡	9	6			22	396	404
	黒崎	21	24	1	13	30	870	928
	飯塚	1	1			21	331	294
	直方		4			8	178	160
	田川	1	2			4	240	220
	行橋	7	7			2	237	246
	新田原	6	41	3		14	1,538	1,482
	水巻	9	15			8	367	389
	八王子	7	4			5	201	234
コロンバン会地区	手取	24	14	31		50	810	776
	健軍	7	8	1		9	289	340
	島崎	24	8	29	16	25	620	627
	八代	7	5	24		14	318	318
	人吉	4	9	38	7	10	405	410
	水俣	4	2	6	1	10	121	127
	玉名	1	4			4	48	53
	隈府	15		4		22	240	262
	本渡	4	1			10	91	89
	大江	10	23			4	790	736
	崎津	1	8	1			444	442
	荒尾	1	1			11	47	49
合計		567	491	201	48	1,273	21,556	21,918
							増加数	362

宮崎教区信者状況

（１９６０年６月30日現在）

地区	教会	洗礼 臨終外 大人	洗礼 臨終外 子供	洗礼 臨終時 大人	洗礼 臨終時 子供	求道者	信者総数 1959	信者総数 1960
ザベリオ会地区	宮崎	36	19	9		30	1,417	1,463
	都城	20	4			36	281	257
	田野	3	6			4	200	193
	高鍋	42	9	1		35	555	594
	日南		4			14	79	63
	延岡	11	3	1		18	226	245
	日向		2			3	91	84
サレジオ会地区	大分	13	5	3		6	386	392
	別府	34	12	20	1	25	855	829
	中津	17	5	2		10	277	304
	中津八幡前	14	4	3	1	16	298	298
	日田	5	5			30	98	108
	臼杵	5	3			12	79	80
	坂の市	6				5	58	64
	杵築	3	3	2		10	83	83
	佐伯	10	6	4		5	92	110
	鶴崎	16	2	2		32	127	131
合計		235	92	49	2	291	5,202	5,299
							増加数	97

世の光

信仰と教育

九月に入ると秋ともいわれ、その秋は読書の秋、勉学の時期とされている。なるほど、今までちまたに聞えていた子供達の遊び声も学校の校庭に、教室の中に集っていく。そして大人たちは『やっと学校が始った』―もう少し形式ばった言葉になおすと―教育が再び始まったと考える。

しかし、このような考え方は、物事を深く見ることを知らないわれわれが、何の気なしに口にするのであって、教育の意義を曲解しているといわねばならぬ。

教育とは、可能にあった力を活動、実現にうつすことである。故に、子供の側から見た教育とは無限なものにひきつけられる人間性の最高度の発展であり、教育者の立場からすると、この子供の発展をたすけるに成人が与える、意識され、秩序だてられた肉体および精神における反復的影響、援助である。何れにせよ、教育は、人間が創造された最高の目的に達するためにどのような人にならねばならないか、また何をしなければならないかを示し、実現に導くものである。

それ故、人間の究極目的に導かない教育は真の教育ではない。信仰がわれわれに明示してくれる唯一の目的、至福直観をめざさない教育はその名に価いしない。超自然的なもの、職業めあての教え方は教育ではなく、人間の完全なはかいに導き得るものである。

何故なら、究極目的は、あるものの最高度の発展であり、神の姿であり、神の生命に生きる人間の最高度の発展、完成は、神の御働きと同じ対象、神御自身を所有する時にのみ遂げられるからである。このことを聖アウグスチヌスは『おお主よ、御身は御身のためにわれらを作り給い、われらの心は御身に憩うまで安らかならず』といっている。

斯様にいったからとて、人間目的と教育目的とを同列におくものではない。教育は究極目的につながっていてはじめて、教育であるといったが、それは教育が直接に究極目的を実現させるという意味ではない。教育は間接に究極目的の実現をはかる。直接にそして先ず教育がめざすところは、人間性の完成、子供の中にひそむ究極目的への力をよびさまし、将来、子供が独力でそれを活用できる状態におくことである。

ここにおいて、人間性を如何に見るかによって教育の真偽が現われてくる。

信仰がわれわれに教える人間は哲学者のいう『考える葦』に止るのではない。人間は『神に似せて』作られたものであり、精神において純霊である神を模倣する。そして、この模倣は外的に止るのではなく、神の生命を分け与えられた神の子供の内的一致である。

しかし、この神との一致は、すでに人間性の歴史の第一頁において外形の模倣に止められた。そして神の無限の御いつくしみにより、キリストを通じ、原罪の状態から救われ、神の愛子としての超自然的身分を回復したとはいえ、不死や情慾の完全な統御という特質は失はれたままでいる。つまり、人間の本性には原罪の結果、特に意志の弱さ、心の無秩序な傾きが残っている。そしてこの精神面に見られる不調和が肉体に現われるのは当然である。

教育にあたる人がその目的として、人間の諸能力を正しく平衡のとれた活動と機能にすることをめざすならば、まず、仕事にかかる前に、人間性の真の姿を凝視すべきである。すなわち、信仰を通じて、人間性の諸能力の起源、本質またその歴史と現状を見るべきである。

神の子という無限の生命、しかも完成をまつ子供の模範、プロタイプになるものは、神の長子であり、神に到る道、生命、真理に在すキリスト御自身であることは説明する必要はない。

しかし、さいごに注意すべきことは、教育は、唯単に原理において超自然的であるばかりでなく、特にその手段においてそうあるべきである。キリスト御自身、『われなくしてはーキリストの聖寵なしにはー汝等何事もなすあたわず』と仰せられた。この御言葉はキリストを子供の中に形成しようとする教育者のために特別に書きとめられたように思われる。

特に恩寵を得る手段、祈り、秘跡の必要を強調したい。祈りにおいて、常に神を、キリストを眼前にし、語らい、これに学ぶこと、秘跡、殊に告白、聖体の秘跡により神の生命の中に自らを溺れさせ潔め、強めること、これ程、積極的なまた効果的な教育方法はない。いいかえると祈り、秘跡なしの教育は不可能である。

信仰、しかも生きた信仰なしには真の教育はあり得ない。そして信仰が要求されるのは教育をうける子供ばかりではなく、特に子供の人間性をその赴くところに導こうとする教育者、その中でもまず家庭に要求されるものである。

岩村　清太

永久聖体礼拝（九月）

- 第一日曜　西新町教会
- 第二日曜　崎津教会
- 第三日曜　臼杵教会　カルメル会
- 第四日曜　田野教会　人吉修道院

祈禱の使徒会（九月）

〔**一般の意向**〕全カトリック信徒たてよこの一致団結

〔**布教の意向**〕アジア、アフリカにおける民族的対立の克服

〔**日本布教委員会**〕新たに洗礼を受けた信者たちが困難に打ち勝って、いよいよ勇みたつように

歌ミサでキリエなどを日本語で歌ってもよい

教皇ヨハネ二三世聖下は、日本全国の教区長の請願をいれて、歌ミサにおいてキリエ、グロリア、クレド、サンクッス、アヌュスデイを日本語で歌う許可を七月一二日付の布教聖省令をもって認可された。但し、

(1) 司教壮厳ミサ、助祭と副助祭が奉仕する壮厳歌ミサ、神学校および司祭座聖堂における歌ミサ（助祭、副助祭が奉仕しない歌ミサでも）では、以上の許可は適用されない。
(2) グロリアとクレドの場合、歌い出しは司式司祭が従前通りラテン語で行なう。
(3) この許可は一九七〇年一二月三一日まで有効。
(4) 飜訳歌詞については教区長が認可したものを使用すること

九月

三日（土）　日本の福者ヒエロニモ城ら殉教者
聖ピオ一〇世教皇証聖者

四日（日）　聖霊降臨後第一三の主日
久留米マリア病院祝別式（司教列席）
〝主よ願わくわ苦しむ者の魂をとこしえに棄て給うなかれ、主を尋ねる者の声を忘れ給う勿れ〟主は心にいまわしいライを病むわれわれの切実な哀願に対して耳をとざし給うことはない。

七日（水）　日本の福者トマ辻ら殉教者
寛永四年七月二七日長崎で火刑
邦人司祭黙想会はじまる

八日（木）　童貞聖マリアご誕生の祝日
〝わが友よ、汝は全く美くして、その身に一点の汚れもなし〟（雅歌）

一〇日（土）　日本の福者カロロ・スピノラら殉教者
元和八年八月五日長崎立山で火刑

一一日（日）　聖霊降臨後第一四の主日
〝まず神の国とその義とを求めよ〟とは、人間の最高の目的が、天国に入ること、万事に越えて神の思召を果すことでということを〝まず〟はっきりと納得せよということである。

一二日（月）　聖母マリアのいとも聖なるみ名
〝汝らもしわが愛するものを見かけなば、われ愛によりて病めりとこれに告げよ〟（雅歌）

一三日（火）　日本の福者アポリナリスら殉教者
元和八年八月七日大村で火刑

一四日（水）　聖十字称賛の祝日

一五日（木）　聖母マリアの七つの御悲しみの祝日
七つの御悲しみとは㈠シメオン老人の予言、㈡エジプトへの避難、㈢神殿で御子を見失い給う、㈣カルワリオへの途上で御子に会い給う、㈤十字架のもとに立ち給う、㈥御子のなきがらを抱き給う、㈦御子を葬り給う

一六日（金）　日本の福者アウグスチノ太田ら殉教者
元和八年八月一〇日平戸で火刑

一七日（土）　アシジの聖フランシスコの聖痕の祝日
キリストを愛する者はキリストに似奉ることを望む。アシジの聖者は十字架の御傷さえ身に刻まれた。

一八日（日）　聖霊降臨後第一五の主日
他人の重荷を負う者はキリストと同じように愛の奇蹟を行なうことができる。

二一日（水）　使徒福音史家聖マテオの祝日
西新教会で堅信

二四日（土）　メルセスの童貞聖マリア
福岡大神で助祭叙階式

二五日（日）　聖霊降臨後第一六の主日
信仰をもたない人の常識によってでなく、キリストの愛と信仰に基いた知識によって一切を判断すること。
本郷教会で堅信

二七日（火）　ドルエ、マルタン両師司祭叙階五〇年の記念式
今村教会で聖体行列

二九日（木）　日本の守護者大天使聖ミカエルの祝日
サレジオ会員ガスチノ修士の修道生活五〇年の記念式

三〇日（金）　聖ヒエロニモ司祭博士証聖者

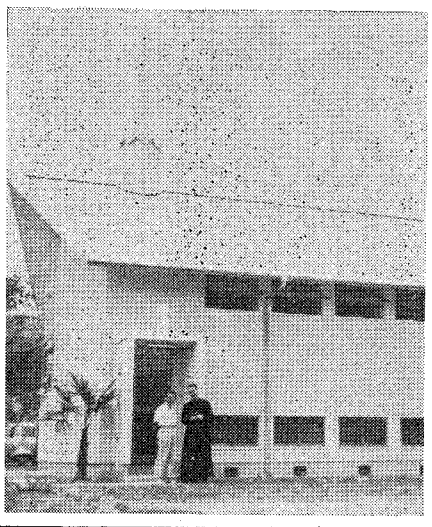
伊万里に新聖堂

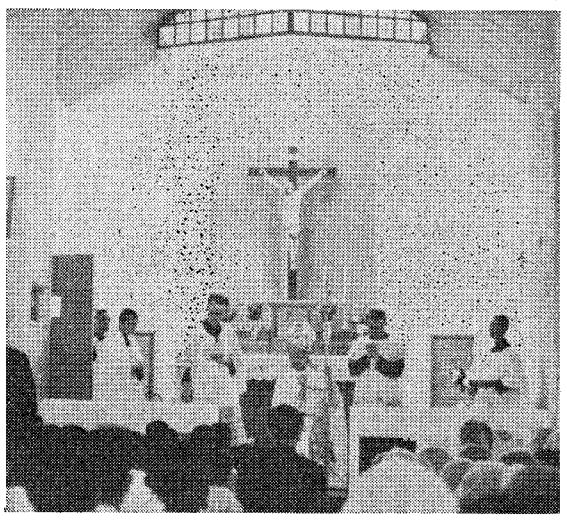
宣教24年目のよろこび

八月七日　聖ヨゼフに奉献

フランチェスコ・サルデイ師は今年はじめミラノ外宣会日本管区長を辞任して佐賀県伊万里教会主任に就任後ただちに教会建築の準備に着手したが設計管理は福岡市施工東島組（伊万里）で六月はじめ着工、去る八月七日深堀司教によって祝別され、勤労者の保護者聖ヨゼフに奉献された（これまでの仮聖堂は日本の聖母に奉献されていた）。新聖堂は一一四・五平方㍍（三四・七六坪）で、祝別式にはミラノ会司祭数名のほか男子聖パウロ会日本管区長パガニーニ師らも列席。なお式後四二名の堅信式が行なわれ、ひきつづき教会入口左側に建立されたルルド洞窟も司教によって祝別された。

伊万里地方の布教のはじめはヴェイヨン師（現在門司大使の聖母会付司祭）が一九三六年唐津教会を受けもつようになってから、同師は伊万里に移住してきた古い信者家族のため年数回民家をかりてミサを献げていた。同地は一九五二年以後ミラノ会の司牧に移され現在ブラジルで宣教中のムラトリ師が初代主任となり、ついでルッチ師（現鹿島主任）が在任した。ちなみに伊万里教会所属信者数は二一七名。





【写真（上）は新聖堂外観（下）は新聖堂で堅信式

久留米信愛女学院　定礎式挙行

来春二月完工予定

幼きイエズス会日本管区が設立にあたる「久留米信愛女学院」は明春開校をめざして準備を急いでいたが、八月一三日朝一〇時半から久留米御井町の建設予定地で深堀司教によって定礎式が行なわれた。

同校創設事務所の青写真によると、完工は明年二月、四月開校予定で、鉄筋コンクリート造り四階建（延べ約三、五〇〇平方㍍）が姿を現わすことになっているが、建設予定地は高良川のほとり、陸自幹部候補生学校と久留米大商学部および競輪場の中間部で、理想的学校環境である。この学校開設にあたっては、杉本久留米市長以下市当局関係者と地元民が非常に乗り気で、同市の「文教都市化」の一環として積極的に後援を惜しまず、計画は急速に具体化したもの。

久留米市内には現在公私立高校は七校あるが、入試地獄がやわらげられた点からも市民に大いによろこばれている。

静修二つ

レヂオ・マリエ福岡コミチウムの静修が七月四日福岡小神学校で深堀司教の指導のもとに行われた。会員六〇余名が各プレシディウムから参加して、反省と来るべき一年の決心を新たにした。

福岡学士会も八月一四日深堀司教の指導で静修を行った。

七六名が熱心に黙想

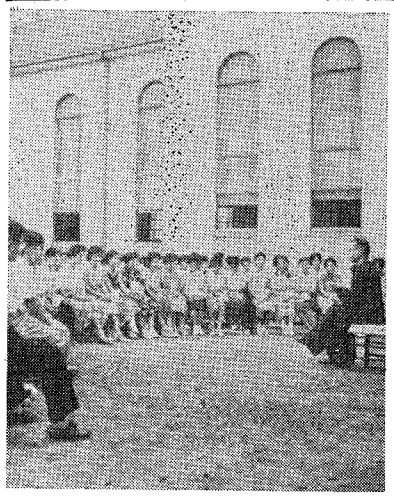
学生、教職員のための黙想会

福岡カトリック学生会員とそのOBを主要対象とする「学生、教職員のための黙想会」は八月一六日午後五時半より二〇日午前八時まで福岡小神学校で開かれた。

参加者は地元および帰省中の男女大学生、公私の大学、諸学校、幼稚園に奉職する教職員、それに一般信者希望者をもふくめて七六名という記録的数字に達し、猛暑にめげず、完全沈黙のうちに小倉教会主任トクブフ師の説教と指導に熱心に従った。

これまで教年間本黙想会は市内小笹の男子聖パウロ修道院で行われてきたが、今年は希望者数が激増したため、急拠予定を変更して会場を小神学校に移し、女子は双葉学園に宿泊した。これまでにもっとも参加者が多かったのは昨年の五二名。

一九日夜には小神校庭で聖母ローソク行列、二〇日黙想明けには司教をも交えてながやかな茶話会が行われた。本黙想会の成功の裏には深堀司教および学生会指導司祭岩村清太師のほか各方面からの多大の援助と協力があり、参加者一同深く感謝している。



写真は　学生教職員の黙想会

カトリック女性のかがみ

ガラシャ夫人360年祭

わが国カトリック女性のかがみと仰がれる細川ガラシャ夫人（忠興公正室）の殉節三百六十年を記念する行事は、その命日にあたる七月一七日熊本市の武蔵会の主催で挙行された。まず一〇時半手取本町のカトリック教会で特別ミサが献げられたあと、十二時半一同は市内立田自然公園の墓所に赴き、ブレンチフィールド師ほか修道女、信愛女学院の聖歌隊五〇人など約二〇〇名の信者とともに、ガラシャ夫人の信仰と聖德をしのんだ。

相良敦子さん渡仏

若松教会所属マリア・テレジア相良敦子さんはフランスのルルドで平信徒養成をうけるため九日十三日横浜出帆のカンボジヤ号で渡仏する。

相良敦子さんは若松市深町出身明治学園を経て福岡学大小学課程を今春卒業、二カ年福岡カトリック学生会のメンバーとして活躍、令兄遠二氏は九大ドイツ文学ドクターコースに在籍中である。

（写真は相良敦子さん）

よい子の運動会

北九州地区合同で

八月八日（月）新田原教会の新設運動場で北九州地区の諸教会の子どもたちの親睦運動会が開かれた。朝九時一同野外ミサにあずかったのち、夏休みの公教要理勉強を終えたよい子たちが、遊戯に野球にドッチボールに打ち興じ、午後四時まで楽しい一日を過ごした。

被昇天の聖母を賛美

那珂町教会でローソク行列

福岡市那珂町教会（主任バーレット師）では八月一五日被昇天の聖母を称えるローソク行列を昨年同様盛大に挙行した。午後六時半荘厳ミサにつづいて深堀司教以下十数名の司祭および修道女、米軍人家族や他教会からの参加をふくめて約七〇〇名の信者が照明に美し飾られたルルドの聖母像の前後を進み、教会周辺を約三〇分間まわり、最後に教会境内に安置された聖母像に戴冠式を行い司教の先唱で「聖母マリアに身を献げる祈」が誦えられた。

この聖式のあと同所で善き牧者運動本部振付の踊りにあわせ、ユカタ着のアメリカ人をまじえて約一時間盆踊りを楽しんだ。

なお同教会の保護者である聖母の汚れなきみ心の祝日を祝って八月二二日夜七時より教会横の広場で野外司教荘厳ミサが献げられた。司祭、父兄たちを加えて参加者八〇〇名。

写真は　聖母ローソク行列

写真は　盆　踊　り

ベリボー師渡加

福岡市箱崎主任ベリボー師（ドミニコ会員、九大哲学講師）は八月二三日カナダに向かった。一一月一〇日頃帰福の予定。東京ドミニコ会本部付の佐藤千敬師が代理主任をつとめる。

着衣式

福音の光修道会福岡本部で七月一六日クララ童貞（足立志津子さん―広島織町教会出身）が深堀司教司式で着衣した。

レヂオ・マリエ全国管理機関役員会

レヂオ・マリエの全国管理機関の役員会は八月二七日より二九日まで、本年度の当番である大阪コミチウムの主催により開かれた。

福岡のレヂオ・マリエよりコミチウムの指導司祭平田正喜師、会長フラーテル兒木の二名が参加した。

レヂオ・マリエの地方の中心機関であるクリアの運営や、レヂオの仕事の実行、聖マリアへの信心の強化などについて討議が行なわれた。

なおこの集会には、前ポルトガルおよび南米のレヂオの使節で、今度新しく日本に派遣されたソロール・ルカスも出席した。

既　報＝去る6月25日大分市で挙行された「貞明皇后をしのぶ会」で救ライ事業功労者として表彰されたマリアの宣教者フランシスコ会のマリ・ルイズ・オルシュ童貞（左）と畑原サダ童貞。

邦人司祭黙想会

福岡教区と広島教区の邦人司祭年の黙想会が九月四日夕方から一〇日朝まで福岡大神学校で行なわれる。信者各位のお祈りが望まれている。

茶山にレヂオ・マリエ

茶山の教会において八月一六日棚町正刀師指導の下に新しくプレシディウムが発足した。会員は七名で、名称は「ファチマの聖母」プレシディウム。今後の活躍が期待されている。

西田順一神学生

福岡小神学校のマテオ西田順一神学生（泰星高校三年生）は八月一〇日腎臓結核のため、熊本市の慈恵病院で死去した。一八歳。葬儀は一一日午前一〇時より熊本少年の町付属聖堂においてペラス師司式で挙行。熊本市近郊の司祭約一〇名も参列、遺骸は同所の一隅に埋葬された。

西田神学生は菊池高校卒業後司祭職をめざして今春四月福岡小神に入学したばかりであった。

助祭に叙階される

米国バルチモアのセント・メリーズ大神学校で神学研さん中の福岡教区神学生有安宗治師は来る九月二〇日同地で助祭の聖位にあげられる。

宗教書・宗教用品のお求めは
聖パウロ書院で
福岡市万町電停前
TEL ④四五八八

G・テイボン著
愛の哲学
神の合わせ給いしもの
S・カンドー、金山政英 訳
目次
第一部　精神と生活の相剋　感覚と精神　愛と結婚　愛の清め
第二部　肉と霊　女の愛の偽り　愛の真実　愛の悩み
三省堂　〒190

キリスト教百科事典
ヘルデル出版社　諸事典編集援助
上智大学教授　小林珍雄責任編集
カトリックの神学、哲学、道徳、倫理、公会議、修道会、旧新約聖書、修徳、神秘神学、数千名の聖人伝、典礼、祝日、キリシタン、外国日本の定期刊行物、各種団体、学校、文化祭、地名、日本各教区、異端、他宗教、著作等を総合的に最新資料と駆使して解説し、これに年表一覧表、統計、豊富なさしえを配し読むと同時に見る事典とした。
特価一五〇〇円　四六縦二段組四六判
（一九六〇年八月末日迄）九六六頁さしえ六五四個
発行所ヘルデル代理店　エンデルレ書店

福岡大神学院訳
司祭職　B6判　二九二頁　価三〇〇円・送四〇円
現代四教皇の司祭職についての文書

カルメル会訳
イエズスの聖テレジア自叙伝
世が生んだ大聖女、カルメル会改革者の自敍伝邦訳版が完成いたしました、偉大な観想者が真摯、誠実、確実な語調で語るその生涯、特にその内的生活、神秘生活の発展…本書は聖女の著作中もっとも重要な著です。
B6判　五五九頁・価五五〇円・送五五円

カルメル会訳
幼きイエズスの聖テレジアの教訓と思い出
聖女の実姉・聖き面影のジュヌヴィエーヴ童貞が集めた勧告と思い出を収録しています。
B6判　二八八頁・価三五〇円・送四〇円

『もろびと神を頌えよ』③
神のご計画をうかがう
C・ジャロー

旧約の祈りはまず神の最高権を認めること、つぎに人類の一致を求めるものであるが、旧約の祈りはまた予言でもある。ご自分の御計画を親しく打明け給う神のことばに耳を傾けることが、旧約の祈りの特徴の一つである。聖書は人間への神の話しかけであって、人間が神に向って述べる言辞ではないというように留意しなければならない。祈りとは神に語ることでなく、神が語り給うのをきくことであることを旧約の聖者たちは教えている。

神は友であるアブラハム、モイゼ、イザヤに語り、ご自分のご計画に引きいれ、かれらが何者であるか、人間の歴史の何たるかを語らしめ給う。即ち神がかれらをどのように見ておられるか、人間世界に起る事柄をどのように見給うかをこの人々に示しておられる。

かれら同様、われわれも情慾をしずめ、神に精神を集中するよう沈黙の雰囲気を整えるならば、神はわれわれにも語って下さる。われわれが神の前に何者であるかを教え給う。パスカルはキリストを認識するときはじめて、われわれ自身と歴史の意味を語ることができると述べている。

この神の照らしは旧約の聖者たちにおけるように、われわれにおいてもおだやかな信頼にみちた希望の火を点じてくれる。なぜなら神が霊的王国を樹立し給うというお約束に全幅の信頼をかけているから。

契約に対する神の忠実の故にわれわれはその愛に一切が托せられるという確信が固まる。

"私は契約を汚さじ、私の口のことばを変えない。私はこの聖性にもとずいて、一たん誓った。決してダヴィドをあざむきはしない。(詩篇八九の34)

だからダヴィドもその後継者もはかり知れぬ淵をもつ神の愛に、うむことなく呼びかけることを知っている。

"以前のあなたの愛は、その真実をもってダヴィドに誓われた愛は、どこにあるのか。主よあなたのしもべの侮辱を思われよ。(詩篇八九の50)

われわれは祈りにおいて神を発見し、神において万事を発見する。神と、その愛のご計画に結びつくこともできる。旧約の人々は祈りによって除々に神の玄義に招じ入れられた。最初は最高存在者のみいつが啓示され、ついでこの最高者の聖性、そして次に神の姿は限りないいつくしみの魅力をおびて現われてきている。

こうして神は霊魂をして祈りのうちにご自分を求めさせ、ご自分を見出した者を聖化することを望み給うたのである。

神はわれらの父である ②
神のセンス

"センスをみがく"ことは現代人たる資格の一つとみなされている。音楽的センス、服飾上のセンス、外交上のセンス、などなどセンスのあらわれる面は非常に多い、センスのない人の仕事や言葉には精彩や個性のひらめきがない。凡庸そのもので模倣の域を脱することができない。強弱の差があって、努力次第で鋭敏になってくる。どんなことにセンスを働かすかは人格形成上に少なからぬ影響をもつ

信仰のセンス

キリスト信者たるの第一の資格は神のセンスを身につけることである。これは洗礼によって与えられ、聖寵への協力如何によって鋭敏にもなればにぶくもなる。信仰的センスがないということは、洗礼をうけていても神を見、神を表現する能力が消滅していることと同じである。

信仰的センスは日常のありふれた生活環境のなかで力を発揮する。過ぎ去る人生の一コマ一コマをやたらに有難がって、くだらないことにうつつをぬかす者は、このセンスを失った者である。

"われわれが心にいえらく、われ往きて快楽を満喫し、幸福をえんと"(伝導書二の1)

"富を誇りしこともわれに何をもたらしたる、これらのものはみな影の如く、馳せゆく使者の如く過ぎさりぬ"(智書五の8)

信仰のセンスのあるものは、その同じ日常生活のなかに神的ひらめき、超自然的かおりを発散させる。世間人としてみなと同じ仕事に従事していても、他の人から区別できる何物かを身にあらわす。かれは人生を過ぎ去る現象に於てだけとらえないで、そこに必ず神を見出し、神と出合い、霊魂を父なる神と結びつけているのである。

神へのノスタルジー

神のセンスは宇宙万物のなかに父なる神のいつくしみの配慮を感じ、その限りなき力を認める。"世界とそのなかにある一切の物とを造り給える神は、天地の主なり"(使一七の24)

"かれに在りてこそ、我らは且活き且動き且存在するなれ"(同27)

人生は全くだらない事柄のくりかえしにすぎない。一家の長たるものが、主婦たるものが毎日汗流してやっていることも政治家の政策遂行も、芸術家の傑作も、それ自体決して永遠の価値をもつものではない。ただわれわれが神のセンスを働かすとき、人生の細々とした行為と神との間に密接なつながりをつけることができる。神への渇望とノスタルジーを強く感じているもののみが、人生を有意義に渡ってゆけるのである。人が神を探すというよりも、神が霊魂を求めていられること、この神の愛を感得する力が信者に特有のセンスであろう。人生の途上に於て父なる神と出会わさない人は不幸である。

"神よ、あなたは私の神
神は切にあなたを求め、
私の魂はあなたに渇く、
聖所であなたを眺めたい
あなたの力と栄光とを見るため
あなたの愛は生命にまさる
私の口はあなたをたたえる
あなたは私の助け
あなたの翼のかげに私はよろこぶ。(詩篇六三)

▽――△

日本の私立癩療養所
その生立と現状

現在私立癩療養所は全国で三カ所ある。収容人員は何れも百人足らずで国立に比較すれば数にもならないが、日本の救癩史上何れの私立療養所もその存在価値は大きい。即ち日本の救癩事業は明治の半ばより始められたが、この未開の領域に開拓の斧を振った者が、何れも内外宗教家であったことは注目に価する。約十年たって始めて日本人識者はこの事実に刮目、日本の癩患者が外国人の手によって看護せられ、日本人は一指もふれていないことは日本国民として甚だはずかしいとさとったのである。それで明治四〇年始めて日本に癩予防法が発布せられ、ここに国立癩療養所が発足したのである。

神山復生院と回春病院

先ず日本最古の私立癩療養所は神山復生院で、明治二十二年富士山麓に仏国の神父テストヴィド師により創立された。次いで明治二十七年熊本市下立田に英国の貴族の令嬢プロテスタント女宣教師リデル嬢が回春病院を創立。女史は自分の財産、英国の友人、紳士淑女の喜捨、英米国教会の寄附により四十八年間救癩事業に尽したが昭和十六年戦争のために外国教会よりの寄附もとだえ、財政困難のために国立療養所に併合、若くして日本の救癩事業につくしたその熱情と功績は今もお讃えられている。

待労院

明治三十一年熊本市琴平町に待労院が創立された。パリーミッション会の宣教師ジアン・マリー・コール神父は本妙寺に集る癩者を見て同情し、ローマに書を送り日本の癩患者の治療と看護に当る修道会を求めたところ、直ちにマリアの宣教者フランシスコの修道女会はその求めに応じ五名の修道女を派遣して来たので、明治三十一年熊本市花園町に家屋敷を買い病舎一棟を建築、十月三十日開院した。明治三十三年には欧米よりの寄附金により島崎町に新築拡張した。以来病院の外育児施設養老施設薬所等も経営するようになった。

ライと熊本県

当時九州の本妙寺は癩問題の発祥地であり、山門から石畳の両側には癩患者が常に土下座をして、南無妙法蓮華経と題目を唱えながら善男善女の施与を仰ぎ、その日の生活を続けるという数百年来の習慣があった。とに角清正公附近には癩と梅毒との混合部落が増加し、熊本県は日本随一の癩病県といわれるようになった。明治三十年の調査によると、同県下には二四七三名の患者がおり間もなく明治四十年五大国立療養所が設立されるに当っては、熊本が第一の候補地にあげられた位である。

戦時中の苦労

戦時中の私立療養所の経営は非常な危機に面した。戦前諸外国より仰いでいた寄附金はとだえ、百人近くの患者を抱えて患者も職員も力の限り働いた。田畑の開こん外人の修道女は毎日腰に「にぎりめし」をさげて山に燃料を取りに出かける。日本人修道女は戸毎に立っては特志家の喜捨を仰いだ。生活は涙が出る程苦しかったが、信仰の面でこれ程一心一体となったことは嘗てない程であった。十字架はイエスの愛の表われであるとの言葉を誰もが感じた。現在の療養所は国家の補助もあり、患者は安心して療養に専心している。毎朝の御ミサを皮切りに信仰に支えられた平和郷である。

患者の娯楽施設としてもテレビラジオの設備は勿論、病院内で週二回の映画も上映され、広い野球場では時々野球の試合、運動会等も行われている。もう一つの私立療養所として身延深敬園がある。明治三十九年に創立された。現在私立癩療養所として活躍しているのは、琵琶崎待労院、神山復生病院身延深敬園である。

早期治療

化学的治療により癩も全治する時代となった。結核と同じようにしばらく入院治療すれば全治再び社会に出ることが出来る。癩は手おくれにならない中に早期発見早期治療をすればよいのにと痛感する。遺伝病、天刑病ではなく、伝染病であり、しかも非常に伝染力の弱い伝染病であることを強調したい。

聖ペトロの献金
(七月三日)

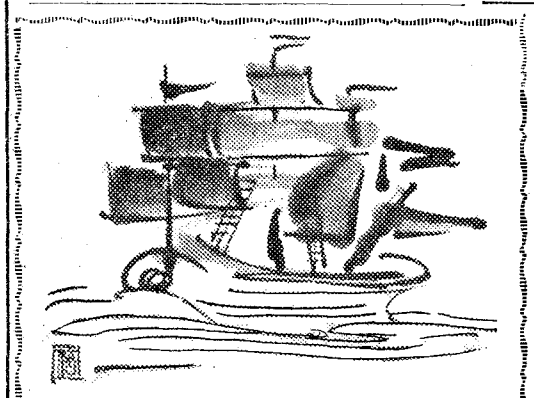
大名町	五、〇二五円
浄水通	二、二〇〇
地行町	一、七七二
簑島	七五〇
西新	一、二七〇
茶山	七七〇
高宮	二、六〇〇
那珂町	一、〇〇〇

福岡教区

吉塚	一、八九〇
箱崎	一、三三七
大楠町	二、一九三
古賀	五〇〇
二日市	一、〇〇〇
今村	三、七〇〇
本郷	一、七〇〇
久留米	五、四六二
大牟田	一、五〇〇
呼子	一、五一六
馬渡島	一、五一三
佐賀	一、一〇〇
唐津	四五〇
鳥栖	三〇〇
伊万里	四〇〇
厳島	三〇〇
武雄	〇〇〇
門司	三、〇〇〇
小倉	五、〇〇〇
湯川	一、一二〇
戸畑	九、三〇〇
八幡	二、一〇〇
黒崎	三、〇〇〇
八王寺	一、一八五
水巻	一、三三五
直方	一、五〇〇
飯塚	三、〇八〇
田川	
行橋	二、五〇〇
新田原	七七〇
若松	三、二〇〇
手取	九、四五〇
島崎	一、八七〇
健軍	一、三〇〇
八代	一、〇〇〇
人吉	一、〇〇〇
水俣	一、七六二
隈府	四二五
玉名	三〇〇
荒尾	
本渡	
崎津	二、一〇〇
大江	一、五〇〇
計	九九、六八五

宮崎教区

宮崎	四、三〇〇
田野	一、〇〇〇
都城	二、五〇〇
高鍋	八〇〇
日向	三〇〇
延岡	五〇〇
日南	三、三三五
小林	
大分	一、一〇〇
別府	三、四五〇
日田	一、〇〇〇
中津	一、六〇〇
八幡前	八〇〇
臼杵	一、〇〇〇
桂築	三〇〇
佐伯	六六五
坂ノ市	六〇〇
鶴崎	一、〇〇〇
計	二四、二七〇



俳句
風声

被昇天の空蒼々と雲抱く
夕ミサを終えて冷めたきジュース飲む
稲妻や暗き積乱雲の中に飛ぶ
炎天に湖一面の亀裂なり

短歌
二丈

対岸にたわむれあそぶ人かげの
レンズに見れば色鮮やかな水着
熔岩のなだれて海に落ち沈ずむ
白サンゴ多し密林に似て
一番星見つけたと呼ぶ子供たちに
土星は雲をとおして光る
十三夜銀河は淡き白光の
南西に消ゆ山にとまりて
杉本立のやみに下れば話声も
とだえがちにて水の音やがて

聖心の使徒 (昭和35年9月号)

表紙　東京、吉祥寺の聖霊カトリック教会内部
七つのつるぎ……三木　次郎
九月の意向
一致団結せよ……松村　菅和
義務と愛……H・世　良
愛と正義を持て(九月の布教意向)……柏谷　源蔵
二十世紀の讃美……野村　久康
写真特集　新しい教会を巡って
教会と政治……千寿　利久
荒坐の師父らのことば……須賀敦子訳
晴れの叙階式……J・ペチコフニル　戸川　敬一訳
曲り角に立って……徳川　泰国
チベットへの道(二)……W・ハイズィヒ　磯見昭太郎訳
聖書の時間
山上の声(五)……T・A・フィリップス　長島　達也訳
新本めぐり……
ポスト……

日本祈禱の使徒会発行
購読会員費　一カ月　三十円　〒五円　一カ年　三百円　〒五十円
東京都千代田区紀尾井七

青少年の指導者　トツ・テイハメル著
青少年のすすめ
①純潔　デル・コール訳
「ふかい研究と経験との結晶からできた本書は、たくみに、簡明に注意深く青少年に正しいみちを教える」
②教養　西田　孝訳
「本書は、道徳教育の実用的手引きとして、教育者にもよき案内者である。」
③人格　西田　孝訳
「本書を読む青少年は、健全な、勇ましい人格をつくり上げるのに、必要な生命の汁を、よろこんで吸いとるだろう」
④宗教心　金子賢之介訳
「本誌こそ信仰をまもるための、神の武器を正しく使うことを教える霊的生活のありがたい指導書である」
⑤理想　金子賢之介訳
「本書の内容は、じゅんすいなキリストの教えであり、まことの信仰生活への神秘な魅力を感じさせる」
各冊　¥一八〇円
ドンボスコ社発行

白いほう仙花

茅野志穂

一九四五年！その年は広大な陸軍官庁内のあちこちに特にほう仙花が自立って咲いていた。その高いものは殆んど人間の背丈近くもあり、赤や緋にむらがった花々は連日の空襲にひしがれた人間の喘ぎをよそに実に見事であった。

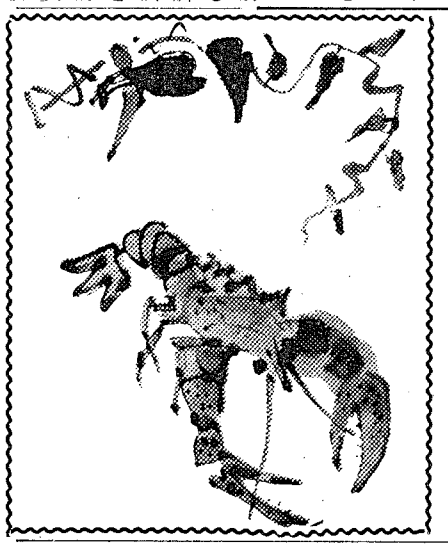
その日私は代休（代日休暇のこと、戦時体制月々火水木金々を想起してほしい）で自宅にあったのだが、警戒警報発令と共に家を出て役所に向った。勤務先は空都T市の軍官庁いわば敵襲の真只中である。ようよう電車に乗り途中くたびか待避を余儀なくされながらどうにか役所の門にたどり着くと顔見知りの守衛の一人が、やや青ざめた面持でこういった。

「あんたはまったく運が良かったよ、今十分早かったら命が無かったかも知れなかった！」

そして彼はちらと目であなたを指し示した。門衛所わきの花だんの白いほう仙花は一面の血潮を浴びて真紅に咲いていた！つい最前の空襲に、折から登庁しようとしたRさんが直撃弾を受けて、一瞬にして散華したのだという。幾個かの肉塊と化して、白い花びらをそよがせた若い生命！戦争の非情さ、人間のはかなさに、常には女だてらに、上官や同僚から天下御免斬捨御免などといわれていた傲慢な私も、そぞろ慄然としたのであった。

そしてあの終戦の日、天皇のお言葉を拝聴しながら私たちは泣いた。中隊長の男泣きのこぶしからも一すじが光って流れた。ほう仙花の紅い花びらもうすれるほどに私たちは涙をしたたらせた—

あれからもう早くも十五年の歳月が逝った。神の大きな恩恵に浴して信仰を得てからもすでに十余年になる。今年の八月十五日！終戦記念日そして聖母被昇天祭の銘記すべき日私は独りひそかに祈ろう。白いほう仙花の再び血ぬられる事なく、平和、純潔、清浄などを現わす、創造の日のままの色に咲かんことを！



童謡

「お星さま」

安部麻里

一、お星さまお星さま
ここまで下りて来てちょうだい
わたしのかわいいおにんぎょの
あなたの色によくにてる
青いお目々がこわれたの

二、お星さまお星さま
ここまで下りて来てちょうだい
病気でねている母さまの
あなたの色によく似てる
黄色いおくすりもうないの

三、お星さまお星さま
ここまで下りて来てちょうだい
わたしと母さまお祈りしてる
あなたの色によくにてる
白いおまゆはあいてるの。

神への従順

鹿野秀子

固く辞退したのに万場一致でK大I学部教職組の書記長に選出された。女のくせに男性のポストに就くなど柄にもないと思い、組合運動には不熱心だし、認識不足だし、強じんでないので、何のお役にも立たない等の反対理由を長時間にわたって述べた。そして私は当時執行委員であったので、私を除いて選挙するよう主張した。しかし情勢不利となってきたので再び神の御旨を伺った—御摂理であると観念して遂に受諾したのであった。

ところがこれ程忙しくなろうとは誰も予知しなかったであろうがメーデーの頃までは、月二回の評議員会と臨時集会の議事録を作り首脳者会議に出席、伝達及び会計の一切を取り扱うこと等がその仕事であったが安保新条約批准阻止の声が起こるやガ然多忙となった。

六月に入り発効の十九日を目前に控え統一行動は激化した。それに伴い勤務時間中に、打ち合わせ会の呼び出し、抗議集会のくい込み、その他のため、本来の職務へ忠実でありたい心と、書記長としての責任感とのジレンマに悩んだ。国家公務員のストは違憲である。それにも拘らず信念のため、また職責を全うするために敢行することは、神への従順にそむくことであろうか……。

神への従順と社会の制約とが相反した場合の行動は非常にむずかしいが、私達はどんな場合でも神を見失いはしない。神の御趣旨を基準に、すべての行動をきめたいと考えながらデモを続けた。

なつかしいということ

（市川に旅して）　なでしこ

急な娘の早産に日航機で東京に飛んで、市川へと急いだ。

五百又余りの小さい赤ん坊で果して育つかどうかが案じられる。しかし小さいながら生命力は大した物で五日目には黄疸も大体下り坂のようだったのに急な暑さで食欲が出て来ない。鼻から強制的に栄養補給したり小さな身体に注射したりしたがこのままでは素人の手に合い相ないので国立病院の未熟児センターに入院させることになった。

片手に入るような赤ん坊でも、ゆれさせないでつれて行くにはずいぶん手にこたえる。国立病院は国府台にあるのだ。

車もそろそろと真闇をすぎて国府台へと上る。病院は陸軍病院のあとで如何にも国立病院にふさわしい無雑作な建物、ここへ来るまでには父がつとめていた旅団の前を通る。ここは今教育大学の第一分校となっている。ふとなつかしさが胸にこみ上げて来る。市川といえば私の生れた街、別して国府台がその場所なのだ。車の中で何時か昔住んだ場所をそぞろ歩いて見たいなと考える。

入院した赤ん坊はガラスの箱の中に裸にされて入れられた。母の胎内と同じ状態にしてあるとのこと、心をうしろに引かれながらその日はかえった。

四、五日して赤ん坊も小康を得たので、真闇山下でバスをおりてボッボッ真闇の山内に入って見る。昔のまんまのうっそうとした木立、百段に近い階段、子供の記憶も案外しっかりしている物だとわれ乍ら驚く。手児奈の古事など思い乍ら真間川を渡ってまっすぐ松並木にそって歩けば、母に手を引かれて歩んだ道が、家並そ変わっていても思い出される。この手で弟の手を取って近づきつつある列車目あてにひた走った松並木の砂の道、田にしを拾った川べりなどをたどれば、若かった母の姿幼なかった弟の顔などが眼前に浮んで胸のうずく程なつかしい思いがする。三十年も前に亡くなった母が生き生きとして脳裏に現われて来る。

なつかしいという言葉をよく聞きもし又使いもするが本当になつかしいという事はこんな物なのだろうか。胸がうずく。歩む足も止り勝だ。

幼きイエズスの聖テレジアが非常に天国をなつかしまれた記録を見ると、子供達の心の底に創造主に対するなつかしさをしみじみとうえつけておくべきと、肝に銘じて考えた。

ぶっく

がいど

待ちに待った大聖テレジアの自敍伝の邦訳が出版された。昭和二十三年に弘文堂文庫として霊魂の城、それから四年遅れて岩波文庫で完徳の道、そして三部作中の最初の著作たる自敍伝が、今年中央出版社から出版され、これによって大聖テレジアの主要著作は、ほぼ形を整えるに至った。この類まれな十六世紀のスペインの神秘家と、思う存分に語り合う一時は、えもいわれぬ幸福な時である。

自敍伝といっても、それは主に念祷のことにベースがさかれている。修道院の奥深く、神と自分との関係のみを見つめて生涯を過した聖女の伝記としては当然のことだろう。しかもそれは波瀾万丈の生涯を送ったロマネスクな人の伝記よりも遥かに興味があり、又人間を知るということだけに限定しても裨益されること甚大である。いやしくも信仰を有する者なら誰でも、朝夕々な口祷をするであろう。そして口祷をするなら必ずそこにいくばくかの念祷を伴うであろう。たとえ聖テレジアのように潜心の念祷から、静穏、終には一致の念祷にまで高らめれなくともこの書は決してわれわれに無縁の書ではない。信仰を有する者に神がこのような恵を賜われないと誰がいうことができよう。

主よ祈ることを教え給えと使徒達は願った。祈の稽古に十年二十年あるいは生涯を費しても決して無益ではないだろう。私の考えでは、念祷する以上にすぐれたことは、この地上にありませんでしたからとは聖女自らの言葉である。この書の初めにお話したのは私の生活でした。次に念祷の種々の状態についてはしはじめたところは、もし私が誤らなければ私における神のご生活です。なぜなら神の御助けなしに、あれ程不完全な習慣から、イエズスの聖テレジアは咲き定まった大輪の、真紅の牡丹花や、一切のものを侵触して流れる大河の趣がある。

大聖テレジアの文章には、そんな比較が許されるなら、ドストイエフスキーのような一筋縄で律せられぬ、何ともいえぬ微妙な明暗がある。汚辱と光栄、苦悩と歓喜、底の知れぬ謙遜と大胆なまでの信頼、それらのものが全編にわたって渦をまいている。たとえば次のような文章を読んでそう感ずるのは私だけであろうか。おおわが主よ、おゆるし下さい。私をおとがめにならないで下さい。私も何かのうちに慰めを求めなければならないのです、あなたに何の御奉仕もいたしませんので…。もしも私があなたへの御奉仕のため大きなわざを果しておりましたのなら、このようなつまらぬものを全然問題にしないことでしょう。偉大な行為によってあなたに光栄を帰する人はなんと幸いでしょう！もしも私が彼らに対していだく羨望や、彼らにならいたいという望みを考慮にいれて頂けたのでしたら、私はあなたをお喜ばせすることについてひけをとらぬことでしょう。けれども私はなんの価値もありません。おお、わが主よどうか私に価値をお与え下さい、あなたはこんなにも私をお愛し下さるのですから。

どうか私と語り合うすべての人々が、あなたの愛に狂う者となりますように。さもなければ私が誰とも語ることをお許し下さいますな。

（五五〇円中央出版）（M）

イエズスの聖テレジアの自敍伝

女子跣足カルメル会訳

やわざに、こんなに短時日で終止符を打つことは私には不可能だったことでしょうから。私を私自身から解放して下さった主は祝せられ給え。この自敍伝を聖女は神の憐みの書と名付けたのであった。

私はこの書を読みながら幼きイエズスの聖テレジアの自敍伝と比較していた。一方はルッターの反カトリック的異端がばっこした時、他方は自然主義の全盛時代で反宗教的な世相であった時、一方は四十七才の頃から書きはじめられ、他方は二十二才の時の著作である。幼きイエズスの聖テレジアをマーガレットや清冽な泉にたとえるな

カトリック結婚講座

真の幸福 ⑲

幸福

なぜ結婚なさるのですか—幸福であるために。これは当然の答えです、不幸になることがわかっているならば、その結婚は断念すべきです。でも何が幸福で何が不幸であるかという問に対して、きまりきった答を期待することはできません。もし誰かが間違ったところに幸福を見出そうとするならば、その人は幸福を得たと思った途端に不幸になってしまいます。

時代の尖端をゆく若人であれば幸福とは自分の外、外物にあると信じています。超スピードで車を駆って疾走するスリルや、常により強度の刺戦に身をまかすことに血おどる心臓の幸福を満喫するのです。かれらは静かな雰囲気のなかに自分と向い合い、義務を遂行してゆくことなんか、身ぶるいする程に嫌いなのです。気晴らしと喧騒が激動する血の唯一の栄養分だと思っています、自分の内側に大きな空虚があるからこそ、騒音や虚栄でカムフラージュしたいのでしょう。

真の幸福は魂の真底で味われるものです、心の安定と平和がその不可欠の要素であり、求めるものを所有しえて、それを失うきずかいのない、もう他に何も望むものがないという充満感、これが真の幸福といえます。だから財産や名声、肉体の魅力だけをめざしたような結婚は、浮草のような幸福しか保証してくれません。

結婚の幸福

この世に完全な幸福はありません。私共の心の無限のあこがれを満すものはこの世にないのです。人間の心は神に向けて作られていており、万物のなかから最善のものを選ぶ傾きがあります、だからこそ財産や地位を捨てて、ただ神の愛と奉仕に一生を献げ、この世でもっとも純粋と思われる幸福を味わおうとする男女があとを絶たないわけです。

あなた方は結婚生活を通じて神を愛し、神の与え給う幸福に進もうとしておられます。結婚生活の幸福が心の高いあこがれをおし殺すものであってはなりません、そのような幸福は正しい幸福とはいえないものです。

結婚の幸福は心と体の喜びの結合であって、配偶者がお互いに自己を与え、他を所有することによって生まれてきます。それは夫婦の権利を正しく行使することと、互に相手を人間的に、ましてや超自然的に尊敬することですが、言に易く行うに難い日々の努力と犠牲を要求するものであることは申すまでもありません。水準以上の信仰をもつ信者家庭でも、目前の小さな喜びに執着する余り、より高い幸福のためにそれを犠牲にするという賢明と勇気に欠けているのを往々みかけるのであります。

× × ×

古い歴史・新しい内容

コンサイス英和辞典（改訂版）　四〇〇円
コンサイス和英辞典（改訂版）　五五〇円
コンサイス英英辞典　三八〇円
デイリーコンサイス英和辞典　五三〇円
新クラウン英和辞典　四五〇円
ジェム英和・和英辞典　四二〇円
最新明解英和辞典　四八〇円
初級クラウン英和辞典　八五〇円
初級コンサイス英和辞典　五〇〇円
初級コンサイス和英辞典　三〇〇円
三省堂独和新辞典　二〇〇円
コンサイス独和辞典　一五〇円
コンサイス仏和辞典　五五〇円
コンサイス露和辞典　四二〇円
日西辞典　五〇〇円
商業英語活用辞典（増補版）　六〇〇円
新英文法辞典　二〇〇円

辞書は三省堂

辞海　縮刷背革特装版　一、〇〇〇円
新版広辞林　二、〇〇〇円
明解古語辞典　一、二〇〇円
明解国語辞典（改訂版）　四五〇円
新修国語小辞典　三八〇円
音訓両引き国漢辞典　一五〇円
三省堂小学国語辞典　三五〇円
大明解漢和辞典　二八〇円
明解漢和辞典　七〇〇円
三省堂大六法全書　三五〇円
模範六法全書　一、一〇〇円
明解六法　三七〇円
学習百科事典　一五〇円
明解日本語アクセント辞典　八〇〇円　五〇〇円

三省堂　福岡出張所
福岡市向田町九ノ三
本社　東京都千代田区神保町

カトリック

深堀司教認可
発行所 福岡市浄水通 福岡司教館
発行兼編集人 深堀 敏
定価一部十円

行きすぎの体育重視をさけよ

教皇、オリンピック選手に警告

教皇聖下は去る八月二四日聖ペトロ大聖堂前広場で日本代表選手をふくむオリンピック参加選手に謁見を賜い、次のような教訓を与えられた。

❶スポーツは身体上から見れば健康、肉体的な力と敏捷、優雅および美を生じさせ、霊魂のためには忍耐、勇気、自制の実行を助長する。諸君は、自らが真の競技者であることを示し、"健全な精神は健康な身体に"という古い諺の真実性を観衆一同に証明して頂きたい。

❷スポーツに於て、最も価値あるものは、賞の獲得でなくて身体の正しい訓練である。しかしながら運動競技においてあたかも身体が人間の最高のものであるかのように、身体にのみ専ら注意を払うことのないように。また人間としての他の大切な諸義務をなおざりにしても、運動に従事するというような「体育崇拝」に陥らないように。

教皇聖下はこのあと更に八月二四日にカステルガンドルフの教皇別荘にオリンピック委員会の役員八〇名以上に特別謁見を賜い、次のように述べられた。

❶われわれは単に肉体的諸価値および肢体の調和を賞賛するのみでなく、さらにこれらの肉体的諸価値は人間の内的な完成と美、静穏で喜ばしい相互的張り合い、および世界的兄弟愛という、より高い熱望に奉仕することができる。

❷私はローマ、オリンピックの精神に対して楽天的な見方をもっている。それは人類が尊重されること、一切のお恵みの源なる神に対する信頼に基く。

聖下はまた同じ時期の別の機会に、運動競技に心から従事することは宗教、キリスト教生活、祈りや信心の実行と両立しないという者がいるが、両者の調和は可能であるのみでなく、もしそれが達成されたら、充実した確実な諸結果を生じさせる。聖主は、われわれがこの地上で、生命を完全なものにすることのできる一切の事を行うよう定め給うたのであり、そしてわれわれは、も一つの生命の光と輝やきとを見失わないように常に銘記せねばならない、と述べられた。

世の光 もてなしの神秘

（一）

古い時代からの考えによると、賓客をもてなすことは人間の最大の徳である。ギリシャ人は歓待をもって民族の文明度をはかることができるとした。ギリシャ語で賓客のことをクセノス、歓待のことをフィロクセニア即ち賓客に対する愛という表現を使っている。ギリシャ語に限らず多くの古代語において敵と客とは言葉の上から語源が一つであった。これは実に意味深重である。見知らぬ人、異民族の人、流浪の人を敵とみなすのは未開人の常識であった。人間歴史の黎明期にカインは悲痛な叫びをあげている。「わたしは地をさまよう者となり、わたしを見る人はたれでもわたしを殺すでしょう"（創世記四の14）

時代が下るにつれて新しい現象があらわれ始めている。まずギリシャの世界で多くの賢人達は、見知らぬ訪客をもてなすことが市民の義務のうちでもっとも聖なるものであり、それを欠くことは重大な罪であると述べている。賓客を愛することは人間性に対する尊敬に外ならない。よそ人は支えなく孤立しているのであるから、それだけになおさら叮重に取り扱わねばならぬ。文明とは技術の進歩度によってでなく、人間愛の発揮によってはかられるものである。歓待こそ文明度をはかる最も伝統的な最も確実な尺度である。

ギリシャ世界にもまして歓待の観念が発達しているのはセム族の世界である。沙漠のベドウェン達はもてなしを父祖伝来の最も聖なる習慣と心得ている。一度自分の天幕をくぐったものは誰でも賓客であり、聖なるものである。個人的に敵であっても食卓を共にする限り敵対心を棄てねばならぬ。それを犯すことがどれ程重大な犯罪であったかは旧約聖書中のソドムの歴史をみれば解る。ロトは自分の所に泊った二人の客をかばってソドムの住民に引き渡すことを拒む。かれらは戸を押しやぶって中に入ろうとした。この無礼な態度をみて神は遂にソドムの町を滅ぼす決心を固め給うたとなっている（創一九の4－13）

このエピソードと反対に、アブラハムは自分の天幕のそばに見知らぬ人が三人立っているのを見るとすぐに馳せよって迎え、地に身をかがめて招じ入れ、妻サラに命じて料理を運ばせ、客らが食している間、その側に立って控えていたのである。（創一八の1－8）

客の足を洗いパンと牛乳を与えるという行為が歓待の伝統的仕方となっていた。昔の洗礼式によれば水が額に注がれたあとで司祭は信者となった者の足を洗い、頭に油をぬり乳と蜜を与えていた。これは新信者が教会内に賓客として受けいれられたことを表わしている。また初代教会はこの神聖な義務を全信者に教え、旅人をねんごろにもてなすことを司教たるの資格の一つにあげている。

（二）

キリスト教におけるもてなしの観念には、受けると与えるの二つが含まれている。歓待は両者の交換であり、心を同じくすることに方向づけられている。これは閉ざされたものを開き、キリストの生命が通うようにして、人間の間に交わりをつけることである。だから客を受けるだけでなく、自分の方から人を訪れねばならない。

この意味で歓待の徳と宣教との間につながりがある。初代教会では宣教師は福音伝導に専念するため、人々のもてなしによって生活を維持し、かれらは神の福音をもたらすこととしていた（ルカ一〇の5、9）

こう考えてくると歓待は人間の徳であるばかりでなく一つの神秘である。真の神を知らない民族のうちでも客は神聖なものであり、旧約の人々は天使の到来と考えていたのであるが、キリスト信者にとっては客はまさにキリストご自身である。

キリストは最後の審判の説教のなかで次のように述べている"あなたは私が旅にいた時宿らせてくれた"すると義人は"主よいつあなたは旅人であり、いつあなたを宿らせたのですか"と尋ねる。主は答え給う"私の兄弟であるこれらの最も小さな人々のひとりにしてくれたことは、つまり私にしてくれたことである"（マテオ二五の36）

キリストこそこの世に来り給うた天よりの旅人であって、家の扉を叩いておられる。かれは私共と食事をともにすることを望んでおられる のである。（黙示録三の20）

歓待の概念はここで一変する。もてなしを実行してもっとも恵まれたのは客の方でなくて、客をうけた者である。もし私共が今日イエズスを賓客として受けるならばかれはいつの日にか私共を受け給うであろう。実際には主を受ける者は少ない。（ヨハネ一の11）いま心よく主を受けるなら、私共が死の門をひとりくぐったとき、きなれた友の声が耳孕にひびいてくるであろう。"私の父に祝せられた者よ、来て、あなたたちのために準備されていた国をうけよ"人をもてなすことは文明度の尺度であるばかりでなく、永遠の幸福の尺度と なるであろう。（深堀敏）

永久聖体礼拝（十月）

第一日曜 呼子教会
第二日曜 崎津教会
第三日曜 臼杵教会 カルメル会
第四日曜 高宮教会
第五日曜 手取教会 限府教会

祈禱の使徒会（十月）

【一般の意向】迫害に際しての不屈の精神
【布教の意向】布教地の伝道士の増加
【日本布教委員会の意向】日本の労働者の間で布教で実り豊かに進展するように

司教は聖堂内での撮影を禁止できる

礼部聖省では今回次のような裁定を下した。即ち聖堂内では、典礼的祭式が進行中であると否とを問わず、いかなる時でも写真の撮影を禁じる権利を、司教はもっていると。この裁定は、司教は聖堂内での写真撮影を禁じてもよいかどうかについて質問があったのに対して下されたものである。

わが国では典礼的祭式中フラッシュを使用しての撮影、ミサ中のサンクッスから聖体拝領を含む部分までの一切の撮影が禁じられている。

一〇月一六日、日曜日は布教の日です。教会献金はすべて布教事業のためですから御協力下さい。

教皇聖下への特別献金（八月二八日）

福岡地区

大名町	五、三六二
浄水通	四、〇〇〇
地行町	一、七〇五
西新町	一、五〇〇
簑島	一、二〇〇
茶山	九四〇
大楠	二、八二七
高宮	一、五五〇
那珂町	二、五〇〇
吉塚	一、〇五〇
箱崎	二、三三五
古賀	一、〇一五
二日市	七五五
今村	四、四〇〇
本郷	二、〇〇〇
久留米	五、八七〇
大牟田	二、八一八
呼子	七、三一五
馬渡島	一、〇六〇
佐賀	一、一〇〇
鳥栖	二〇〇
唐津	四〇〇
伊万里	六二〇
武雄	七〇〇
鹿島	三〇〇
門司	二、五〇〇
小倉	六、五〇〇
湯川	八〇〇
戸畑	六、五〇〇
若松	一、二〇〇
八幡	一、二〇〇
黒崎	二、一〇〇
八王寺	二、一九〇
飯塚	八六五
直方	一、五〇〇
田川	
行橋	
新田原	三、〇〇〇
水巻	五五〇
手取	三、〇〇〇
健軍	九四三
島崎	一、五〇〇
八代	二、〇〇〇
人吉	一、〇〇〇
水俣	九〇〇
玉名	六七〇
限府	二、九七〇
本渡	五〇〇
大江	一、二〇〇
崎津	二、五六〇
荒尾	五〇〇
計	一〇〇、〇六〇

宮崎地区

宮崎	二、六〇〇
田野	二、一〇〇
都城	二、〇〇〇
延岡	一、三八〇
日南	一、九〇〇
高鍋	六、四〇〇
日向	二、七〇〇
大分	一、二〇〇
別府	二、七〇〇
中津	八〇〇
八幡前	二、四〇〇
日田	五〇〇
杵築	五〇〇
臼杵	三、五〇〇
鶴崎	二、〇〇〇
坂ノ市	六〇〇
佐伯	七〇〇
計	六〇、〇八〇

本紙先月号「聖ペトロの献金」中伊万里教会の分は四五〇円でした。（司教館）

私の姉妹である小鳥たちよ、いつでもどこでも天主さまを讃美しなさい
（アジシの聖フランシスコ）

一〇月 ロザリオの月

二日（日） 聖霊降臨後第一七の主日
われらが天国に達するのはアルピニストが岩壁をよじのぼって高峰を征服するのに似ている。かれらに要求される第一のものは 全員がぴったり心を合 わせることである。聖パウロは天国への召しに応える精神の一致を保つことを勧め、主キリストはそれが愛徳によってのみ可能であることを教えておられる。
吉塚教会でルルド洞窟祝別式
学士会

三日（月） 布教の保護者 幼きイエズスの聖テレジア童貞
キリストのために一切を献げた聖女の一挙手一投足、否生活そのものが、教会全体のために聖寵の源となった。

四日（火） アシジの聖フランシスコ証聖者
フランシスコ会、クララ会、同第三会の創立者、神愛の吟遊詩人、太陽と月と星の友、アシジの乞食、そしてキリストの十字架の友。
教区司祭月例集会の日

七日（金） いとうときロザリオの祝日
戸畑明治学園創立五〇周年記念司教壮厳ミサ

九日（日） 聖霊降臨後第一八の主日
"願わくは、われらが主の真理を悟るが如く、ふさわしき生活を以てこれを味わんことを"
熊本手取教会で堅信

一一日（火） 神の御母なる聖マリアの祝日
"世紀より前にはじめから、かれは私を創り、永遠に私は存在をつづける。ぶどうのかわいい新芽のような私は、花咲いて、光栄と富の実をつける"（集会書24）

一五日（土） アヴィラの聖女テレジア童貞
"テレジアは霊的生活の師として神から教会に与えられた。かの女は内的神秘的生活の秘訣を比べるものなき明白さを以て書き記した"

一六日（日） 聖霊降臨後第一九の主日 **布教の日**
十月の第三日曜は布教の日となっている。特にわが国の布教の発展のために祈る。
佐賀地区で「司教の日」の集い（於佐賀教会）
司教壮厳ミサと堅信

一七日（月） 聖マルガリタ・マリア童貞
パレ・ル・モニアルの訪問会の修道女。三度にわたってイエズスの聖心の愛の啓示をうけた。

一八日（火） 福音史家聖ルカの祝日

二三日（日） 聖霊降臨後第二〇の主日
"バビロンの河辺にすわり、なつかしきシオンを想いいで、われら涙して泣きぬ"天国を想い出して泣く流謫の民のノスタルジー。

二四日（月） 大天使聖ラファエルの祝日

二八日（金） 聖シモン、聖ユダ両使徒の祝日
今日は現教皇聖下の選定の記念日

二九日（土） **トラピスト修道院で誓願式**

三〇日（日） **王たるわが 主イエズス・キリスト の祝日**
この祝日は御父の右に坐し、世の終りに権勢と稜威をもって再臨し給う王たる神であるキリストの御姿に信者の注意をよびもどすこと。
新田原教会で聖体行列（司教司式）

祝された年月　お恵みの50年

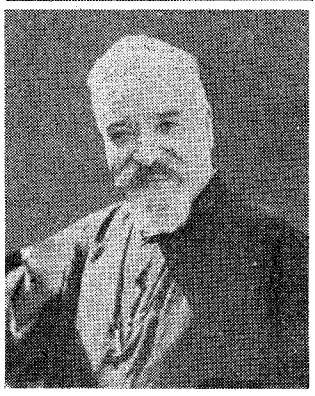
ドルエ、マルタン両師金祝
全九州に偉大な足跡

福岡教区にとってのみならず全九州の諸教会の大先輩、恩人というべきF・ドルエ師（八幡八王寺教会主任）とJM・マルタン師（鎌倉訪問軍貞会附）の司祭叙階金祝祝賀式が九月二七日午前一〇時より八幡市のパリ外国宣教会北九州地区本部でひらかれた。よろこびの式典には山口長崎大司教をはじめ深堀福岡、古屋京都、脇田司教のほか、地元教区からはもちろん、長崎大司教区から、また東京、静岡、神戸地区で働くパリ外宣会司祭ら約七〇名が、老宣教師の長い労苦と慈父的献身に感謝を表わすため参集した。ミサはドルエ師が司式し、マルタン師が助祭、ボア師（来年金祝）が副助祭を、そして師の昔の教え子たちが奉仕した。

マルタン師は去る三月に七里ケ浜の訪問軍貞会本部で金祝を祝い（叙階は三月一二日）この度は本教区に一時帰還、九月二五日に門司教会で信徒一同の前でミサをささげ、大正一一年から昭和七年まで門司教会に在任中の古い信者らと懐旧のひとときを過した。師は精魂をかたむけて関門港を一目にみおろす市内広石町の高台に白い塔をつけた聖堂を建設したが、これは去る二八年の大水害で破壊されるときまで門司市の名所になっていた。

ドルエ師はフランスのアンゼー教区出身、一八八七年（明治二〇年）生れ、一九一〇年パリで司祭叙階、翌年一月長崎に上陸、一年半宮崎で日本語を習得、一二年九月から二九年七月まで大浦の長崎神学校で神学生の養成につとめ、その間二年程校長の要職にあった。ついで福岡教区に移り三五年まで大名町教会で司牧にあたり、そのあと五〇年まで八幡教会に在任して戦中戦後のもっとも困難な時期をのり切った上、孤児たち一五〇名の世話に尽力した。この事業は現在八幡市本城（男子）と門司市笹尾山（女子）の各育児園にうけつがれている。五〇年から二年間小倉に在任、ついでパリ外宣会九州地区長に任命され、五八年以後は八幡市八王寺教会主任と同付属幼稚園長を兼ねて今日に至っている。

ドルエ師は長崎神学校教授時代に山口大司教、古屋、里脇両司教に、また福岡、長崎両教区で現在中堅として働いている多くの司祭にラテン語を教えた。（写真上はドルエ師下はマルタン師）



創立者の精神つぐ
明治学園生れて五〇年

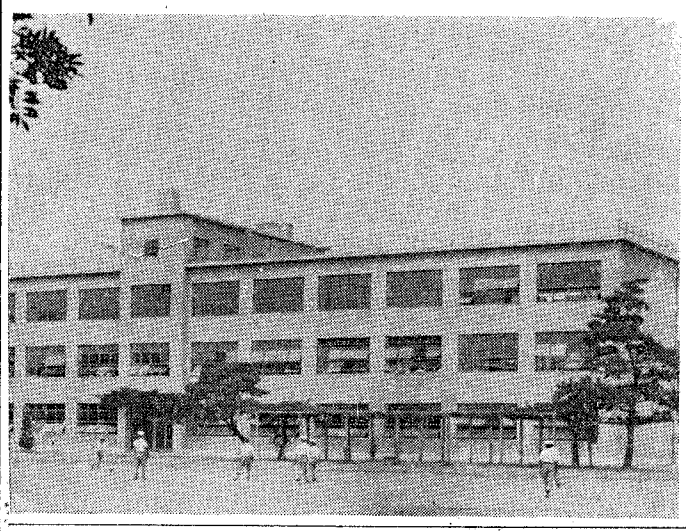
ノートル・ダム修道女会（本部カナダ・モントリオール市）が指導する戸畑明治学園は来る一〇月七日聖母マリアのロザリオの祝日を期して創立五〇周年記念式典を挙行する。当日は午前九時から深堀司教による壮厳ミサが献げられ創立以来同学園の発展に寄与した人々が、修道女、教職員、在学生とよろこびを共にする。

明治学園は安川敬一郎氏（元男爵—昭和九年八六歳で物故）によって明治四三年九月五日私立明治尋常小学校として開校したもので、当時の児童数は二三名ほとんどが明専官舎の子弟であった。初代校長は鈴木虎一郎氏。敬一郎氏は明治維新後炭鉱業を営んだが、日清、日露戦争によって莫大な利益を収めたが、戦争によって得た利益はけっして私すべきではない、国家に益するために使うべきであるとの考えから、巨万の財を育英事業に投じ現在の九州工業大学の前身私立明治専門学校および同校職員関係者のための小学校すなわち明治尋常小学校を設立したのである。いわば一民間人の高潔な精神と出資によって誕生したことは明治学園の歴史に床しい光栄をそえている。

大正一〇年明治専門学校が官立に移管されたので、財団法人明治学園が設立され、明専から分離独立した小学校を経営することになった。（理事は松本健次郎氏）以来安川、松本両家の温かな保護のもとに特異学風をつちかい、北九州の学習院とうたわれながらすぐれた人材を世に送り出していた。

所が終戦後学制改革その他で私学経営は困難になり、遂に昭和二四年安川寛氏からノートル・ダム会に移管されるに至った。当時の生徒数は小・中学校あわせて約三〇〇名であった。翌年四月に女子高等学校が併設され、校長にセント・マルグリット・ドランファン・ゼジュ軍貞が就任した。現校長はセン・シルヴェストロ軍貞、職員数は八五名、生徒数は小学校（男女）五八〇名、中学校（男女）五九〇名、高等学校（女子）三五〇名で計一、五二〇名である。

ちなみに安川、松本両家はもともと仏教信者であるが、創立者敬一郎氏の孫にあたる松本家の令嬢方は明治小学校から聖心女子学院に進んでカトリックの洗礼をうけ

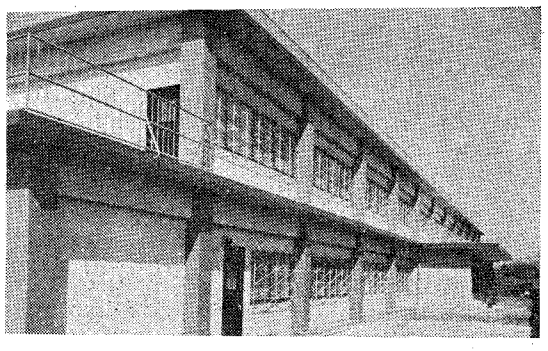


精神科・神経科増設
—聖マリア病院の進展—

久留米市津福本町西鉄試験場駅前の聖マリア病院（院長ヨハネ井手一郎氏）ではこのたび精神科と神経科の病棟を新設、九月三日深堀司教の臨席を仰いで盛大な祝別落成式を挙行した。

まず入院患者一名に堅信の秘蹟がさずけられたあと参会者一同二階病室の仮設祭壇で司教ミサにあずかったが、ミサ中ルルドの奇蹟について司教説教が行なわれ、糸永師指揮の久留米教会合唱隊が聖歌を奉仕した。祝別式後屋上で行なわれた落成祝賀会には約二八〇名が来会、杉本久留米市長、石橋市議会議長、山下市教育委員長のほか各地の保健所長、なお久留米大学学長代理らも顔をみせ、それぞれ祝辞がよせられた。

新設の病棟は鉄筋コンクリート二階建、延一一九五、五四平方㍍、総工費二、三四八万円で福岡市の三島建築設計事務所の設計で戸田組が施工した。収容司能人員一〇〇名聖マリア病院はこれまでに内科、小児科、放射線科歯科をふくみ、井手医院（院長ミカエル井手遠見氏—内科、小児科、放射線科—病床数一七）とともに医療法人雪の聖母会を設立し、昭和二七年以来、科学的且つ適正な診療を行なうと共にカトリック的愛の精神に基き、療養の適切な指導普及をすることを目的としている。理事長に井手一郎氏、理事には九大の入江英雄教授らが名を列ね、久留米教会の司祭が患者及び看護婦の霊的指導に当たっている。将来は社会福祉法人も併設して各の社会事業を行なう計画も立てられている。



聖マリア病院は一郎氏の父君用蔵氏が大正一四年に井手内科医院を開院して以来発展して今日に至ったもので、令弟使徒ヨハネ二郎氏は国立ライ療養所菊池恵楓園外科医長の要職にある。

（写真は新病棟正面）

小西行長追悼祭
来月宇土市で

来る一一月五日（土）熊本県宇土市主催でキリシタン大名小西行長の没後三百六十年祭が挙行される。この追悼祭は熊本市に在住の郷土史家下田一喜氏らが大和宇土市長と協議の結果決定されたもので、深堀司教の特別ミサ、講演会などが予定され、熊本県下の信者も参加することになっている。

小西行長は霊名アウグスチノ、生年月日は不詳であるが天正十二年高山右近の手引きで改宗、右近が信仰の故に秀吉から除封されたとき自領小豆島にかくまい、天正一六年肥後下半国二四万石に封ぜられて、宇土城を築いた。慶長五年（一六〇〇年）関ケ原の役に敗れて伊吹山に遁れたが、キリシタンであるので自害せず、自らその身をわたし、同年十月はじめ石田三成、安国寺恵瓊とともに京都土六条磧で斬首された。最後に当たっては同じキリシタン大名であった黒田長政を通じて司祭を求めたが家康の許しをえられず、罪の痛悔をなして刑せられた。行長は加藤清正ほどもてはやされていないが、武将、軍師としてもまた信仰者としても当時抜群の人物であった。

のちカルメル会と聖体礼拝会の修道女となっておられる。

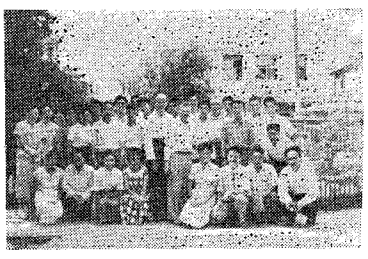
（写真上はセン・シルヴェストロ校長、下は明治学園新校舎）

佐賀司教デー

ミラノ外国宣教会佐賀県地区では、来る一〇月一六日日曜日を「司教デー」と定め、この日には各教会毎に司教職の意義、司教への従順と一致などについて説教が行なわれ、ミサ中司教のために特別に祈ることになっているが、佐賀教会では午前九時より司教壮厳ミサが献げられる。

SVP理事会

SVP福岡理事会の例会は大名町、箱崎、久留米、大刀洗、熊本崎津、佐賀の各教会の会員三五名が出席して佐賀教会で開かれた。まず佐賀主任マグリーン師の挨拶のあと各教会の活動状況報告、「物資を持参するとき相手に信仰の話をはじめるには、どのようにきっかけをつければよいか」についていろいろと意見が出された。最後に指導司祭平田正喜師が「SVPの働きは隣人愛であり、愛徳の行ないとして活動的なものであるが、それとともに深い内的生活が必要である。聖ヴィンセンシオもアシジの聖フランシスコら多くの活動家だった諸聖人はみな内的に深く主と一致した生活を送った人々であった」決議のあと聖体降福式にあずかり午後四時散会。次回会合は一二月下旬箱崎教会で行なう。（写真はSVP例会に集った会員たち）



ナザレ園（代八）表彰

九月で市制施行二十周年を迎えた熊本県八代市では、一日の記念式で市政に功労のあった一九三名を表彰した。その中には長町のナザレ園（シャルトルの聖パウロ修道女会経営）と同会のスール・ベルナール池田ノブ修道女が含まれている。

ナザレ園は明治三四年以来同地で孤児、養老の施行として目ざましい活躍をしており、スール・ベルナールは同園に二五年の勤続で常々市側から感謝されていたものである。

平田敬師助祭に

九月二十一日聖マテオ福音史家の祝日に福岡大神学院で深堀司教司式で叙階式が行われ、福岡教区の平田敬師と長崎教区の川原義和師が助祭の聖位にあげられた。

新熊本地区長

聖コロンバン外国宣教会では新日本管区長にC・モリアルチー師熊本地区長に崎津教会主任であったダイモンド師を任命、なお隈府教会助任ブレスリン師が崎津教会主任に転任した。

宗教書・宗教用品のお求めは
聖パウロ書院で
福岡市万町電停前
TEL ④四五八八

G・テイボン著
愛の哲学
神の合わせ給いしもの
S・カンドー、金山政英訳

目次
第一部
精神と生活の相剋
感覚と精神
愛と結婚
愛の清め
第二部
肉と霊
女の真実
愛の偽り
愛の悩み

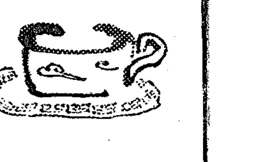
三省堂
〒190

キリスト教百科事典
ヘルデル出版社　諸事典編集援助
上智大学教授　小林珍雄責任編集
カトリックの神学、哲学、道徳、倫理、公会議、修道会、旧新約聖書、修徳、神秘神学、数千名の聖人伝、典礼、祝日、キリシタン、外国日本の定期刊行物、各種団体、学校、文化祭、地名、日本各教区、異端、他宗教、著作等を総合的に最新資料と駆使して解説し、これに年表一覧表、統計、豊富なさしえを配し読むと同時に見る事典とした。
特価一五〇〇円　四六縦二段組四六判
（一九六〇年八月末日迄）九六六頁さしえ六五四個
発行所ヘルデル代理店エンデルレ書店

福岡大神学院訳
司祭職　B6判　二九二頁
価三〇〇円・送四〇円
現代四教皇の司祭職についての文書

カルメル会訳
イエズスの聖テレジア自叙伝
世が生んだ大聖女、カルメル会改革者の自叙伝邦訳版が完成いたしました、偉大な観想者が真摯、誠実、確実な語調で語るその生涯、特にその内的生活、神秘生活の発展…本書は聖女の著作中もっとも重要な著です。
B6判　五五九頁・価五五〇円・送五五円

カルメル会訳
幼きイエズスの聖テレジアの教訓と思い出
聖女の実姉・聖き面影のジュヌヴィエーヴ童貞が集めたた勧告と思い出を収録しています。
B6判　二八八頁・価三五〇円・送四〇円



『神なんじを召し給う』アブラハムの召命 ①

C・ジャロー

ヤーウェはアブラハムにいわれた「おまえの国、おまえの親族、おまえの父の家を離れ、わたしがおまえに示す地に向かえ。わたしはおまえを大きな民にする。わたしはおまえを祝福し、おまえの名を高くする。おまえの名は祝福として唱えられる。わたしはおまえを祝福する者を祝福し、おまえをのろう者をのろう。おまえによって地のすべての民はかれら自身を祝福する」（創世記一二の1－3）

創世紀第一二章をもってアブラハムのふしぎな歴史がはじまる。それは天国で終るべき信仰者各自の歴史でもある。またユデヤ民族の、そしてそのあとを継ぐ教会の全使命は今を去る約四千年の昔ひとりの隠れた族長の耳にきかせ給うたヤーウェのお招きの声にはじまるのである。

アブラハムは当初から例外的人物としてわれわれの目前に現われてくる。代々偶像に礼拝をささげていた人々のなかで、かれだけが天の唯一神を礼拝していたのである。だからユデヤ伝統ではかれを地上の諸物を瞑想することによって、真の神の認識にまで到達した〃天の人〃と見ている。

この善意の人にヤーウェは新らしいだてで御自分を啓示し給うた。愛の御計画に人類を参興させるために、まず忠実なるひとりの人アブラハムを選び、かれに神を見る目、神に聞く耳、神を望む心を与え給うたのである。

かれはいつ果てるとも知れぬ冒険に出立するために一切を捨て去らねばならない。信仰とは別離と抛棄を伴う。まず神なしに自分だけでやってゆけるという傲慢心、理性の力だけで一切が処理でき、上からの干渉は必要なしという考えを捨てることである。アブラハムは自分の生活のなかに神が干渉してこられ、生ける命令者として親しく語りかける友として自分を示し給うのを見るのである。

神とは、信ずる者にとっては遠くに離れた抽象的な存在でなく胸を開いて御自分を示す親しい御者である。貧しい理性の光を捨て或はそれを乗りこえて、御自分の許に近づくよう招き給う御方である。

〃アブラハムは一つのもの—地上的理性をなげ捨て、もう一つのもの—信仰をとった。然らざれば旅立の不都合を思ってかれは決して出発しなかったであろう〃（ケルケゴール）

神はわれらの父である ③

御父とのまじわり

愛は御父天主とわれらとのまじわりの基礎である。神に対する愛は隣人に対する愛によって証明される。ヨハネは年老いてからは主の次のみ言葉を口ぐせのようにくり返していた〃私は皆さんに新らしい掟を与える。あなたたちは互に愛し合いなさい。私があなたたちを愛したように、あなたたちも互に愛し合いなさい〃。

神を愛する

キリストは神に対する愛のモデル。われらに対するキリストの愛は、御父天主を愛し給うその無限の愛の反動である。キリストがわれらの如きものを愛し給うたのは御父天主がわれらを愛し給うたからである。人となり給うたキリストの唯一の関心事は御父の聖旨の実践であった。十二歳の時神殿で御母に向い〃私が、私の父のことをなすべきということを知らなかったのですか〃（ルカ二の49）と、また十字架上では〃父よ、私の精神をおんみの御手に托せます（同二三の46）

愛の記し—掟を守ること。〃父が私を愛しておられるように私はあなたたちを愛した。私の愛にとどまりなさい。私が父の掟を守り、その愛にとどまったようにあなたたちが私の掟を守るならばあなたたちは私の愛にとどまるであろう〃（ヨハネ一五の9—10）

隣人を愛する

真の愛—よいサマリア人の喩（ルカ一〇の25—37）

負傷者を見出したサマリア人は傷の手当をし、宿につれて行ったばかりでなく、自分の名前を告げず、担保も求ず、恩着せの素振もなく、更に身分も宗教の違いも意に介せず、負傷者の不用心を咎めない、通りすがりに手助けするだけに満足せず、あとのことまで気を配っている。かれは見知らぬ人を友のように取扱ったのである。

真摯な愛

聖ヨハネは、神を愛すると云いながら隣人を愛しない者を強く批難している。

神を愛するといいながら兄弟憎むものは〃うそつきだ〃

私は光にいるといいながら兄弟を憎む者は〃まだ闇の中にいる〃

兄弟をにくむ者は〃人殺しである〃

実践的愛

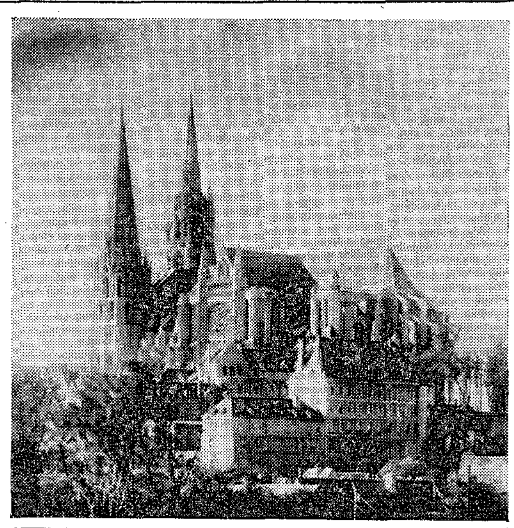
〃子らよ、ことばと口先とではなく、行ないと真実とをもって愛そう〃（ヨハネ第一書三の18）

相手の身分、使命、才能を重んじること（ローマ一二の6）

相互の信頼を増すこと（同一三の10）

関心、同情を示し、奉仕し、話しに耳を傾けること、過失を許すこと（マテオ六の12）

喜びを分つこと



シャルトル巡礼

平山高明

先日有名なシャルトルにパリの大学生一万二千名による恒例の巡礼に私も参加しましたソルボンヌの大学生が主で、土曜日の午後に出発、シャルトルから三五粁の地点で汽車をおりて歩きはじめました。四列縦隊で約二〇名が一グループになり、各グループに司祭がつきながら一時間のディスカッション、その後一時間の黙想です。

この巡礼にはプロテスタントも無神論の学生も参加します。だから信者学生は提供された題目を実によく学び黙想しております。題目は数ケ月前から与えられグループが構成され、指導司祭の許で話し合います。今年の題目は「キリストの司祭職とそれへの信者の参与」ということでした。

指導司祭は行列の間をゆききして質問に 答え、誤りを訂正 します。一行進が終ると輪になって質疑応答が交わされ、教義的説明が下されます。また行進しながらロザリオを誦え今の結論について黙想します。大休止のとき黙想の実行的結論を出すよう努めます、そして夜或る城の庭でミサが献げられ、学生らは「夕べの犠牲云々」の言葉を味っておりました。

翌日 また行進がはじま りました。照りつける太陽の直射には皆さすがに疲れたようでした。私が感心したのは、若く元気なかれらが与えられた題目に打ちこみ、他のことには沈黙を守っていたことでした。

シャルトルの聖堂に近づくと塔から鐘が歓びの声をもって迎えてくれました。地下のシャルトルの聖母像の前で各グループは今日のミサで願う意向を司祭に報告しますが、その一つに「日本の布教のために」というのが加えられました。（行進中にわが国の三百年間の迫害について話しましたら皆感動しておりました）

立ったままでびっしりつまった全巡礼学生の前で司教荘厳ミサが献げられ、司祭職についての説教が行なわれました。

この巡礼は多くの学生に霊的実を結んでいるそうです。信仰を失った家庭の学生、冷淡だった学生が度々この巡礼によって信仰をよびさまし、改宗もあるとのことです。聖母への祈りと犠牲のあるところにはやはりいつもお恵みがあることがわかります。（写真はシャルトル大聖堂）

ロザリオ　信仰の武器

毎年のことながら十月ともなればわれらの心に新たに浮びくるは聖母マリアとロザリオの信心である。顧みれば十三世紀のはじめ、聖母が自ら信仰の武器としてドミニコに直接お授けになって以来、聖母とロザリオとは切りはなされない密接な関係にある信心となった。特に近代御出現になった聖母は、多くの場合ロザリオを手に持っておられる。例えばルルドの聖母はベルナデッタと共にロザリオをお誦えになり、また同様にファチマの聖母はロザリオを手にして三人の牧童たちに自ら「私の名はロザリオの元后と申します。あなた方は天国にゆくためにはロザリオを 沢山誦えなけれ ばなりません」とお告げになった。

これらの事実は聖母とロザリオとわれらの救霊と成聖とは切りはなされない関係にあり、われらが不信仰と世の腐敗と悪魔と戦い、これに打勝つために手にとるべき武器、戦う力は実にロザリオを誦える信心からわき出てくることを物語っている。

然るに現代は、神を見失い救霊はなおざりにされ、不信仰におちいり、道徳的腐敗の中に百鬼横行する邪悪の時代である。われらはこのような危険を知っては、いつの時代にもまして信仰に心を固めて悪魔を警戒し、絶えずこれと戦い打勝ってゆかねばならない。

しかしてロザリオこそは永遠の救霊をかけた人生の戦いにおいて手にすべき最も強き武器であり身につけるべき鎧であり、勝利の保証である。されば特にこの十月の月の間母なる聖会と心を同じくして、ロザリオを熱心に沢山誦えましょう。またわれらがなした家庭ロザリオ十字軍の約束を、聖母の子供たる親しみと愛とをもって、益々忠実に 果すよう励 みましょう。

重ねて言わん。ロザリオは人生の戦における最強の武器であり、誘惑への勝利、信仰の守り、救霊の保証である。われらが最後の時まで手にしてつまぐる頼みの綱であり、聖母がわれらを天国に引揚げるためにわれらの手に握らせ給う救霊の鎖である。

ロザリオを熱心に誦える人は救霊確実である。聖母がそれを保証し給うたからである。

「天国にゆくためにロザリオを沢山誦えなさい」（ファチマの聖母）

「聖母によりすがりてお助けを願える者一人として棄てられしこと世に聞えたるなし」（聖ベルナルド）

ある夏のこと

ペテロ

カッと焼けつくような太陽をあび、ムッとむせかえるようなアスファルトの熱気につつまれて、汗をふきふき電車を待つ。ステップを踏んで乗りこむ、さてそこで一寸考える。この電車は、こう行って、ああ曲って、まっすぐ進むから、日の当るのは、エエッと、こっち側。そこで向う側に腰をおろす。

こういった愚にもつかない習慣が身についた夏のある日のこと、ヒョッと向い側を見るとシスターがひとり、ポツンと坐っていた。何かお祈りをしているらしい。わたしの左右には、思い思いの姿をした客が一列横隊に端から端まで席を占めている。かわいそうに日蔭からはみだして、ひとり太陽にさらされているシスター。

窓からみれば、街には、またデモが行く。近頃の言葉に「デモ先生」というのがあるそうだ。二重の意味をもった見事な皮肉だ。今の内閣に政治を委してはおれないそこで、われわれの（失礼、彼等の）主義主張を大衆にアッピールするためにデモる。さて、このように政治の渦が政治の渦を呼び、ゴーゴーと 不気味な騒音 をたてて、せまい日本を流れていく。政治のかけひきに、日々がすぎさっていく。そこでは、善悪の判断は次第に影をうすめていく。兎と亀の競争の物語の兎のようなものかも知れない。兎はゴールまで走るという競争の本筋を忘れて、自分の脚力と亀との打算の中にねむりこけてしまった。とすれば、あの兎は、すぐれた今日的、そう敢えて現代的とはいわない、今日的政治家である。

こんなことを考えていると、兎ならざる 電車が ゴトンととまった。アッいけない、わたしも、ここで降りなくては乗りすごす。あわてて降りて、バスに乗り 換える。腰を下ろして、フーッと一息ふいて、前 を見 ると、アッ、また、さっきのシスターが坐っている。わたしの左右は電車の中でとは違 って、まばらで ある。ここで、わたしの 感動の敍述 は省こう。そんな ものは、どうで もよい。とにかく、このシスターは、自分から、ことさらに、日の当る方の座席に坐っていたのである。あの端正な修道服それは何も語らない。しかし、この 夏の さなかに、それを着た人は何を感じるであろうか。あの焼けつくような太陽は、何も考えない、しかし、それを、まともに浴びる人は、何を考えるであろうか。

バスのシートに平然として坐っているわたしの心は、何の変哲もなく、同じように坐っているシスターの霊魂の前に立たされて、裁きの庭の被告のように、頸うなだれた。

俳句

桔梗咲く丘修道女語り行く
アンゼラスの鐘鳴り渡る秋の暮
　風声

通されて主まつ間の紅芙蓉
秋雨の赤松山も暮れかかる
　恵女

暑さ堪え来萩を捧げて病める人
静かなる火口湖秋陽かげり始む
　牧泉

短歌

たび　二丈

夏の日のひたてる砂の丘ゆけばさらさらながる砂は海の風に
海風は小砂をながしまいて飛ぶここはわずかに風紋が残る
砂は光り目にはまばゆし鳥取の砂丘の人のかげは真下に
海しずかただ行く船のへさきよりのびゆくうねりそれのみのうごき
高き声くせのある声あちこちのなまりのままにマリア像をかこむ

聖心の使徒（昭和35年10月号）

表紙　イエズスの聖心（A・ワンネル画）
十月の意向　わが武器はロザリオ……深堀　敏
伝道士（十月の布教の意向）……荻原　晃
黙想　心の細道……下嶋　正昭
十月の聖人聖　ブルーノ……長島達也
写真特集　布教の前線に立つ人々
世間の真只中での使徒職……聖母カテキスタ修道会
ロザリオと現代……千寿　利久
荒野の師父らのことば……須賀敦子訳
千軒岳の殉教地へ……
チベットの道㈢……W・ハイスィヒ　磯見昭太郎記
聖書の時間
山上の声㈥……T・A・フィリップス　長島　達也訳
新本めぐり……
ポスト……

日本祈禱の使徒会発行
購読会費（一カ月　三十円〒五円　一カ年　三百円〒五十円）
東京都千代田区紀尾井七

青少年の指導者　トツ・テイハメル著

青少年のすすめ

①純潔　デル・コール訳
「ふかい研究と経験との結晶からできた本書は、たくみに、簡明に注意深く青少年に正しいみちを教える」
②教養　西田　孝訳
「本書は、道徳教育の実用的手引きとして、教育者にもよき案内者である。」
③人格　西田　孝訳
「本書を読む青少年は、健全な、勇ましい人格をつくり上げるのに、必要な生命の汁を、よろこんで吸いとるだろう」
④宗教心　金子賢之介訳
「本誌こそ信仰をまもるための、神の武器を正しく使うことを教える霊的生活のありがたい指導書である」
⑤理想　金子賢之介訳
「本書の内容は、じゅんすいなキリストの教えであり、まことの信仰生活への神秘な魅力を感じさせる」

各冊　¥一八〇円
ドンボスコ社発行

負うた子に浅瀬を

なでしこ

親馬鹿のたとえに洩れず、出産間もない娘に少しでも楽をさせてやり度いと、市川くんだりから孫娘を二人つれてかへって来た。何といっても、六歳と四歳なのではるばる親をはなれて一晩二晩はメソメソするかなと心配していたが、何のことはない二人とも若い叔父、叔母の間にチョコンと座をしめて当然座るべき場所に座っているという顔つきなので一切の危惧は消え失せた。

一年生と幼稚園へ行っている子とはいえどっちも分ったような分らないような連中ではあるが、血を分けた間柄の故か明けても暮れてもテンヤワンヤの中に何ともいわれない満足感がただよっている。

海へ行こう、川へ行こう
映画を見よう、動物園へ行こう
夜にもなればお伽話しの総ざらい

と童心にかえって存分に遊んで四週間はまたたく間に過ぎ去った。

ある晩のこと姉娘がふと私に尋ねた。

「オバアチャマ、今一番行き度いところはどこ？」と、

「さあね、オバアチャマに行かれる学校があったら行って一生懸命勉強して見度いね」といったところ

「ああ、そう」と少々拍子抜けした返事をする。「えい子チャンは？」と問い返して見ると、

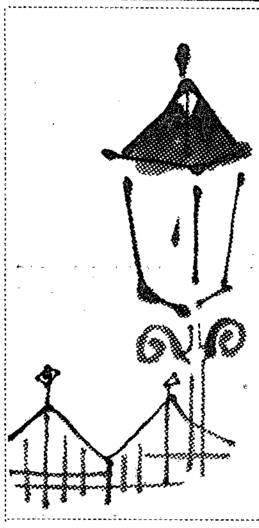
「えい子は天国に行き度い。それもね、家族中でよ。だけど少しだけ心配だな。パパはね、会社のお仕事で忙がしいからよくお祈り忘れるでしょ、だから、若し一人だけ天国に行かれなかったら、かわいそうでしょ。それで時々思い出した時パパのためにお祈りしてるの。きみ子はよくお祈りするし、お母チャマも毎日お祈りするし、赤チャンは全然悪いことしないから大丈夫だし、やっぱりパパだけが心配、オバアチャマのおうち、家族中で天国へ行かれる？」ととんでもない質問に見舞われてドキッとさせられた。いたづらでいたづらで手におえない腕白な子がこんなことを考えておるとは。

「ええ大丈夫、家族中で行かれるわよ」などと大言された物ではない。家にはまだ未信者もいるし、また名ばかりの信者もいる。

負うた子に浅瀬を教えられるという諺があるが、正にその通り、この孫娘の切ない願いは、私共信者全体の切なる祈りなのだ。

虹のかけ橋では天国へはのぼれない。一歩一歩をふみ固めて天国への道を築こう。祈りを込めた愛徳の石材を一段一段つみ重ねて天国へ直通のきざはしを築くのだ。

果してそれにふさわしい自分だろうか。



カトリツク結婚講座

配偶者をえらぶ ⑳

今からあなた方に二つの質問をしたとして、それぞれに考えられうる三つの答を申しますから、お二人がどれに当るか見て下さい。

はじめの質問

あなた方お二人が結婚なさって果して本当に幸福になれるでしょうか。

一、子供っぽい単純な態度。上の質問に対して何んの熟考もなしに「なれますとも」と答えるものです。先々のことやお互いの和合のことなどには考慮しないで、いきなり結婚にふみ切ってしまいます。

二、軽卒で勇気を欠く態度。つき合っている間にうまく行かない点があると解って、先のことが少々心配になっても、好きだからというので、周囲の注意に耳をかさず〝結婚したらどうにかなるだろう〟と一諸になるものです。うまく行かないことがわかったなら、勇気をだして離れるべきだったのです。

三、きっぱりとした勇気ある態度。上の質問に対して〝幸福になれると思います。でも結婚する前に真面目にこの点を考えて、本当に幸福になれるかどうかをみることにしましょう〟と答える者です。

第二の質問

あなた方お二人はお互いに合いますか？

一、私共二人は根本的な点で和合できない。絶対にできないわけではないのですが、非常にむつかしいようです。心がひかれるというのと和合とは別物です。この場合には勇気のいることですが、早く交際を打切った方がよい。

二、私共は根本的な点では和合できますが、他の色々な点でも和合できるには、時間と努力を要します。そうでしたら、交際期間中に充分の和合まで改良してゆくこと。

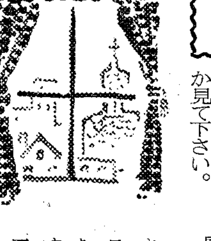
三、私共は完全に和合できるとはっきり云えます。でしたら更にそれを深めてゆくだけです。

○　○　○

近く結婚なさるお二人はもう世間知らずの子供ではないのですから、軽はずみをなさるとは思いません。現実に足をふまえた楽天家ですから、交際期間中によく目をあけて先々のことを真剣に考えて下さい。

教皇のことば

〝許婚者は相互に助け合い、ともども人生の変転に対決し、更に永遠の救いを獲得できるように、よく覚悟し、よく準備した上で結婚生活に入らねばならぬ〟〝結婚の近い準備に関しては、未来の配偶者を念入りに選択することがこの上もなく大切である。実際、結婚の幸福あるいは不幸は大部分これに依存する〟。



小さな悪いこの世の子

鹿　野　秀　子

小三の頃華族の娘が学習院から転校してきた。そのMが私と同じくおてんばであったので、私はMを従えて、肋木の上でひっくり返ったり約二米もある処から飛び降りたり猿のような芸当をして、出来ない友達をからかったものだ。二年余りでまた他県の附属に転校したが、そこにYという才媛がいた。風変りの由で鈍ちゃんと呼ばれていたが、実は人々の嫉妬から先生には中傷され、友人間には不当に扱われていたことが解り可愛想に思って親切をつくしたがお作法の時間にYが大真面目でしたことが余りに滑稽で、皆と哄笑し、必要以上に笑い過ぎたことがあった。またFという故某大学々長の娘が傲慢で何となく気にくわないものだから、無邪気な悪口をいっていじめたこともあった。——何という我慢であろう。

やがて多勢の友達と別れて、県立高女に入学したがここは、T女高師等の入学率が良い学校だけに皆猛勉強をしカマボコと呼ばれる点取り虫が多かった。当時私はまだ子供で至って無邪気で競争心など無かったが、勉強は元来好きであったのでそのお蔭で委員に選出されたが、すべての人を可愛がらなければならない立場の委員が、好きな人と慕ってくる人とは愛したが、嫌いな人には素気なく接した。

——可愛想なことをしたものだ。遊びは幼児から人形遊びが好きで、人形を数十個造り各に個性を与え、顔や声を変え人形劇を自作自演し皆を愉ませたが、これも我儘のせいであろう。

三つ子の魂百までもとは云うが、このように悪かった私が成人後キリストを知ってからは別人のように内省的な人間になり己を殺し、嫌いな人をも努力して愛するようになりつつある。カトリックの家庭に育ちまたはカトリックの学校で教育された人は早くから人間が出来るようだ。世の光として神の光栄を早くから現すことが出来るから、子供達には是非カトリック教育を受けさせなければならないことを痛感しているのである。

子のかげに

三　帰　児

「ゴム風船だけは止めて欲しいわ。ゴムを口にくわえ『ふーっ、ふーっ』といって、夢中にふくらませている恰好をみると、私はらはらするの。何時どんなはじみで呑みこむかわかんないものねえ」

「私もなの、ある風船のついた棒が恐しくてしようがないの。転んで喉でも突いたらそれこそ一大事ですよ」

「そうね、私はほら、うちの子が胃腸が弱いせいか知らないけどあのお饅頭の方が心配ですね…」

「でもお饅頭の方はその日出来立ての新しんじゃなくて？」

「外側の方はそうでも、中味の餡はいつか古いのもあるっていうことよ」

可愛いお子さんたちを幼稚園に通わせている母親たちの立話である。近づく幼稚園の運動会の賞品やお土産の品定めであろうか。子供に対する母性愛はまことに細かな所に気付くものだと感嘆しないでいられない。

数日前のこと、中年の婦人が四歳位の男の子をきれいな服や帽子で飾り、足には新しい靴をはかせて、その子と一緒に道を歩いていた。子供はうれしくてたまらないといった風に飛んだり、跳ねたりして駈け出していたが、一方婦人は気が気でならないといった心配振りであった。このの子の母に違いない。「転んでも知らないよ」という母の声の下から子供は見事に一回転。「それ見た事か、自分の故よ」と厳しく叱りつけて知らない顔をするかと思いのほか、母親の動作の素早いこと。またたく間に抱き起し、しっかりと胸にだきしめて、しかも「まあ……ごめんなさい、ママが悪かったわ」。と言いたげな表情をしているのである。「母性愛の不思議さよ！」と驚くのである。

よく世の母親達は「きれいなお子さんだこと。あなたのお子さんですか」と言はれれば、言葉より早くその子を前に差し出して後で「ええ」と答えている。「子供は親の延長である。この方の自己主義は大げさに過ぎる」とその時思えば、うんざりもしようが、しかし実際には、それほど嫌な感じを受けないばかりか、むしろ好感が持たれるのだから不思議である。

一体何故であろうか。真の母性愛には虚栄とか傲慢とかを打消す偉大な力、謙遜の徳が、がっちりと結び付いているからであろうか。母親は子供のかげにかくれるのである。——

私はここで母性の鑑みである聖母のことを考えて見た。やっぱり聖母も然うであった。

キリストの降誕の折、東方の博士等は「幼子のその母マリアと共に居るを見、平伏して之を礼拝した」とはあるが聖母に就ては何も語られていない。またカナの婚筵におい水をブドー酒に変化させたあのキリストの奇跡に際しても、誰より心配をし、よく世話をしたのは聖母であるが「是イエズスの奇跡の始めにして……己が光栄を顕はし給いしかば……」とは聖書に記されてあっても、聖母に就ては全くその子イエズスのかげにかくれてその姿を表はされてはいないのである。

今年もまたロザリオの月がやって来た。イエズスを世に示し、母性愛といおうか、御子のかげにかくれる聖母の方法をいささかなりとも、体得しようと祈りもし、努めたいとは思うのである。

ぶっくがいど

アンチオケの聖イグナチオ書簡

G・ネラン
川添利秋　訳

その名のみ聞いて、どういう人物であるかについては全く知らなかったアンチオキヤの聖イグナチオ。ただ僅かに、自分は天主の穀物であり、獣の歯にひかれてキリストの汚れなきパンになりますといい、又カトリックという語をはじめて教会に関して用いた人、ということを知っている位であった。

今訳された七通の書簡を読むに及んで、私はこの愛すべき司教の面影を彷彿として思いうかべ、大変嬉しかった。聖人は九六～一一七年頃殉教した人であるから、使徒の時代のすぐ後につづき、まだ新約聖書が現在のような形をととのえていなかった時代の人である。その意味からしても、この聖イグナチオの書簡は歴史上重要な意義を有することが分るのである。

それらのことをぬきにしてもこの書簡ににじみでている聖イグナチオの信仰と人柄は、全く晴素らしい。この書簡は聖人が捕えられてローマに送られる途中、処々の教会にあてて書いたものであるが、それは死刑を宣告されたものの遺書であり、また殉教者の信仰告白でもある。

むしろ私こそ、皆さんから、信仰と訓誡と忍耐と寛容との油を注がれる必要があると思いますしかし愛にかられて皆さんの前に口をつぐんではいられませんので、何りよもまず、皆さんが神の思いに従って歩まれるよう、お勧めいたします。なぜなら、われわれの生命そのものであるイエズス、キリストは聖父の御思いであり、それと同じように、世界の果てにまで任命されている司教達はイエズス、キリストの御思いの内にあるからです（エペソ三）どうか私が口先ばかりでなく、心からの、また見掛けばかりでなく真のキリスト者となるように祈って下さい。もしそうなれば、名実共にキリスト者としてこの世を去ることができます。そもそも目に見えるものに良きものはありません。われわれの神イエズス、キリストも御父のもとにある今こそもっとも栄えておられるのです。キリスト教というものは説得力よりも、御力に依拠するものです、とくにこの世の憎みにさらされているときには（ローマ三）

次にのべるような文章の中に聖人の吐露された心情を読みとるのである。この世の魅力も方国の支配も、私には何の価値もありません。地の果てまで支配するよりは、イエズス、キリストに到るために死ぬ方がずっとすばらしいことです。私の探し求めているのはわれわれのために死んで下さったその御方であり、私の慕い求めているのは、われわれのために復活して下さったその御方です（ローマ六）皆さんは人を喜ばさないで神を喜ばせて頂きたいと思います。（ローマ三）

聖人は又教会の一致を説いて倦まない。そのためには、司教と心を合わせる必要を説き、私はエペソの目に見える司教、慈悲深いオネシモにお目にかかりましたが、それはすなわち神の御名において教会全体にお目にかかったことになるのです、と述べる。

兎に角聖イグナチオと同時以に身をおくことによって原始のキリスト教時代にじかにふれることが出き、司教を通してイエズスをイエズスによって御父を讃美するという、原始の時代からの、カトリックの讃歌を聞く思いがする。（二五〇円、みすず書房）　（F）

古い歴史・新しい内容

コンサイス英和辞典（改訂版）　四〇〇円　革五五〇円
コンサイス和英辞典（改訂版）　三八〇円　革五三〇円
コンサイス英英辞典　四〇〇円　革五五〇円
デイリーコンサイス英和辞典　二〇〇円　革三〇〇円
新クラウン英和辞典　縮刷 D版 大型版　四〇〇円　四八〇円　八五〇円
ジェム英和・和英辞典　一五〇円
最新明解英和辞典　三〇〇円
初級クラウン英和辞典　三〇〇円
初級コンサイス英和辞典　一六〇円
三省堂独和新辞典　五三〇円
コンサイス独和辞典　四三〇円
コンサイス仏和辞典　三〇〇円
コンサイス露和辞典　六〇〇円
日西辞典　二、〇〇〇円
商業英語活用辞典（増補版）　六五〇円
新英文法辞典　一、二〇〇円

辞書は三省堂

辞海　縮刷 背革特装版　一、〇〇〇円　二、〇〇〇円
新版広辞林　一、一〇〇円
明解古語辞典（改訂版）　四五〇円
明解国語辞典　三〇〇円
新修国語小辞典　一五〇円
音訓両引き国漢辞典　三五〇円
三省堂小学国語辞典　二八〇円
大明解漢和辞典　七〇〇円
明解漢和辞典　三五〇円
三省堂大六法全書　一、一〇〇円
模範六法　三五〇円
明解六法　一五〇円
学習百科事典　八〇〇円
明解日本語アクセント辞典　五〇〇円

SSD
三省堂福岡出張所　福岡市向田町九ノ三
本社　東京都千代田区神保町

カトリック
深堀司教認可
発行所　福岡市浄水通
福岡司教館
発行兼編集人　深堀　敏
定価　一部十円

世界平和のためロザリオを

家庭で誦えることを要請

教皇書簡

教皇聖下はロザリオの月がはじまる前日、ローマ司教区総代理クレメント・ミカラ枢機卿に書簡を送られ、現下の重大な要求と公会議の準備のため、特別に神の御母に祈ることを信者に懇請するよう述べられた。――（すでにロザリオの月も終っているが、ロザリオの祈りは決してこの月に限ったものではないので、教皇のご意向をよく悟ってそのために熱心に祈るよう、特に教皇書簡の内容を発表する――編集部）

1、明日からはじまる一〇月は平和の想いとえい智の決心と信頼にみちた期待を私の心に吹きこむ。

最近ここから遠い国にも近い国にも種々の天災が起ったときいて非常に心を痛めている。その外にも誰でもこの人生の旅を渡ってゆく上に免かれることのできない様々の試練と不安が年中たえず起ってきている。

2、然し全人類のいわば息をおさえるのは、人間同志、国家間の真の平和を熱望する世界がいつまでも不安定に苦しみ、将来に関して悲劇的な心づかいによっていろいろと乱されていることである。

3、所が神を信じ、全人類の贖罪のためイエズス・キリストがこの世に現存し給うことを信じる魂にとって、一〇月のはじめに神の御母を仰ぎみることによって水平線上にやわらかな光芒が現われ、ロザリオの信心によって「天主の御母聖マリア」と誦える信者が大人も子供も一つの心となって高くあげられ、光と力づけと平和を頂いているのである。ロザリオの祈は信者にとって最もやさしい単純な祈である。

3、われわれは錯覚の下に働いているのではない。以前にも度々起ったように、いま世界が通過しつつあるこの時機は、実に重大かつ危険である。人々の歴史的使命、神に似せて造られた各人の永遠の運命がこの時機にかかっているのである。

4、私は家庭、社会、宗教の各秩序を擁護することを自分の神聖な義務と感じているのであるが、私の心をしめつける様々の悲惨や破壊のヴェールをとりのけることは、私の習慣とする所ではない。

しかしその道の権威者達によって見せつけられる所をありのままにみなければならない。すなわち生命の一般的不尊重、権力欲、誤謬への巧妙にして執拗な引きずりであって、反キリスト教的精神と理論を用いて、真理の仮面をかぶったもので囲われた大衆の社会生活の組織制度を作り出そうとするものである。

5、イエズスの御母にしてわれらの母、キリスト信者の扶けにして天地の元后なるマリアに対して、非常に熱心に祈るよう全信者に要望する。主祭文と天使祝詞、栄光誦を口に、イエズスとマリアの玄義を目の前にしながらコンタツを誦えることは、なんと甘味なものであろう。この一〇月の間特に家庭で、日々の労働のあと、親も子供も、わけても汚れを知らぬ幼児たち、病人も老人も一緒にコンタツを誦え、この祝された祈を天に在す御方に献げて頂きたい。

6、平和のために祈るとともに、来るべき公会議の準備のためにもコンタツを誦えて頂きたい。

教皇公使教区御視察について

教皇公使ドメニコ・エンリッチ大司教は、来る一一月一三日午後一時日航機で来福、翌日天草殉教祭に臨席なされたあと、一六日まで福岡、宮崎両教区を巡回なされる。くわしい御日程はのちほど司教館から発表される。

世の光

教皇とパパ

一〇月二八日は、現教皇ヨハネ二三世の選定記念日であり、一一月四日は戴冠第二周年記念日となっている。歴代のキリストの代理者、ペトロの後継者は、名前は変っても、いつも教皇、パパと呼ばれている。なぜ教皇をパパと呼ぶのだろうか。大抵の外国語ではたとえば伊語ではパパ、英語ではポープ、仏語ではパプといって原語のパパに近いが、日本語では普通教皇といい、パパの本来の意味を表わすにはかなりの説明を要する。

カトリック大辞典には次のように記している。「教皇（パパ）なる呼称は東方においては、もと大修院長、司教、総大司教等に等しく用いられ、三世紀以来は西欧にもそう用いられた証跡がある。これが次第に教会の首長としてのローマ司教の職位呼称として一般化するに至り、遂にキリスト教的古代の去る頃よりこれに専用される に至った。」（一巻・六二七右）

パパの本来の意味は父である。われわれが霊魂と肉体の類似を見て、肉身についていわれる言葉を霊魂、超自然の世界に使用するのはこのパパという言葉だけではない。しかし、教皇がパパと呼ばれる理由は、この類似にのみ基くものだろうか。答えは否である。そこには、類似以上の有機的な基礎があるのである。

①キリスト教のメッセージの中心になるものは、神の父性の啓示である。父としての神は、旧約聖書においてもある程度見られるが、それを完成させるのはキリスト教である。キリストが教え給う父は内面的な、人々の生活にとけこみ「隠れたるに見給う」（マテオ・六の4）方であり、また恐れの神ではなく「この世を愛し給えることは御独子を賜うほど」（ヨハネ三の16）御慈愛と御あわれみにみちた父である。こういわれても、まだわれわれの中には次のような考え方が残る。天上には、人々からはなれて御父が在して、そこからわれわれに父としての摂理を及ぼし給う。地上には人々が神の御守りの下に生活の困難のただなかに独りでもがいていると。

②それは、われわれが「われを見る人はわが父をも見るなり」（ヨハネ・一四の9）と仰せられた神人キリストを忘れているからである。「父こそわれにましまして、みずから業をなし給うなれ。われ父に居り、父われに在す。」（ヨハネ・一四の10―11）キリストこそは目に見えぬ御父の完全な生きた姿であり、キリストを通じての父子、家族関係こそカトリック教会の本質であり、キリストは教会によって神の父性をわれらにまで及ぼそうとする。しかしこの教会はペトロの上にたてられ、ペトロは教会を意味する。「汝は福なり、ヨナの子シモン、そは之を汝に示したるは血肉にあらずして天に在すわが父なればなり。われもまた汝に告ぐ、汝は岩なり、われこの岩の上にわが教会を建てん。」（マテオ・一六の17―18）ペトロとその後継者、教皇はキリストの行為と使命との連続を全うするものである。キリストは御父から御自分の父性を啓示する使命をうけたが、今は同じ使命を教皇に与え給う。「わが父のわれを遣わし給いし如く、われも汝を遣わす。」（ヨハネ・二〇の21）だれが御子の使命であり、存在理由とすると、教皇は御子キリストを代表するばかりでなく、もう一歩すすめて、御父御自身を代表するものといわねばならぬ。教皇を見る人は、われらの唯一の父、永遠の御父を見るのである。キリストの御言葉はまた教皇の口にのぼせることもできる。アンチオケの聖イグナチオも彼は御父の姿であるといっている。

③キリストがつちたてた神と人間との父子、家族関係こそカトリック教会の本質であり、キリストは教会によって神の父性をわれらにまで及ぼそうとする。しかしこの教会はペトロの上にたてられ、ペトロは教会を意味する。「汝は福なり、ヨナの子シモン、そは之を汝に示したるは血肉にあらずして天に在すわが父なればなり。われもまた汝に告ぐ、汝は岩なり、われこの岩の上にわが教会を建てん。」（マテオ・一六の17―18）ペトロとその後継者、教皇はキリストの行為と使命との連続を全うするものである。キリストは御父から御自分の父性を啓示する使命をうけたが、今は同じ使命を教皇に与え給う。「わが父のわれを遣わし給いし如く、われも汝を遣わす。」（ヨハネ・二〇の21）だ

おんみが、選み給いし、主のしもべなる教皇 ヨハネ23世聖下の上に御慈悲と御保護とをたれ給わんことを。

第四回 天草殉教祭について

第四回天草殉教祭は、本渡カトリック教会および本渡観光協会主催のもとに、来る一一月一二、一三の両日深掘司教、司祭多数、熊本県下信者、全高民参加のもとに盛大に挙行される。教会境内のルルドの洞窟に参詣して教皇のために祈るものには免償が与えられる。

殉教祭プログラム

第一日　一一月一二日（土） 午後六時より
本渡教会ルルド洞窟前でミサ聖祭（シーヒー師司式）
千人塚までローソク行列

第二日　一一月一三日（日） 午前一一時三〇分
千人塚で司教荘厳ミサ（エンリッチ教皇公使司式）
教会まで聖体行列

汽船連絡時間

一二日（土）
❶三角発　午後一二時四五分―本渡着三時
❷三角発　午後三時三〇分―本渡着五時四〇分

一三日（日）
三角発　午前八時三〇分―本渡着一〇時四〇分
福岡教区のみなさま、どうかたくさん御参加下さい。
本渡カトリック教会主任
シーヒー神父

永久聖体礼拝（一一月）

第一日曜　那珂町教会
第二日曜　大江教会
第三日曜　杵築教会
第四日曜　トラピスト修院　琵琶嶋修院　玉名教会　日向学院

祈禱の使徒会（一一月）
〔一般の意向〕　家庭内の聖書読朗
〔布教の意向〕　日本の青少年のため
〔日本布教委員会の意向〕　カトリックの若い世代が信仰に反する誘惑に負けずに、かえってこれに打ち勝つように。

小西行長追悼祭

本誌前月号既報の通り、キリシタン大名アウグスチノ小西行長の殉後三六〇周年記念追悼祭が左の通り熊本県宇土市教育委員会主催で開かれる。この式典には深堀司教ほか多数司祭、熊本信愛女学院と八代白百合学園生徒、修道女、信者が参加する予定。

とき　一一月五日（土）
ところ　宇土小学校講堂

プログラム
司教荘厳ミサ（午前一〇時三〇分より）
講演（午後一時より）
「キリシタン史上における小西行長」　下田一喜
「小西行長と宇土」　池田勝
古武道演武（午後四時）

一月 煉獄の霊魂の月

一日（火）　諸聖人の大祝日（守るべき祝日）
今日は天国の聖人たちの日であるとともに、母なる教会のよろこびの日でもある。自分の子らのたすかりに始終心をつかって、危険から防ぎ、不信仰やよわさのため手もとを離れてゆく子らをみて悲しむ教会も、今日はたすかりの栄冠をうけた子らの歌う感謝の歌にとりかこまれてよろこびをかくすことができない。

二日（水）　諸死者の記念日
死者のためのミサは、煉獄に苦しむ魂に対する同情と肉身のよみがえりに対する希望によって貫かれている。いずれにせよ、苦しむ霊魂のために祈ることは生者の果たすべき愛徳のつとめである。

三日（木）　文化の日
福岡地区信徒使徒職大会

四日（金）　聖カロロ・ボロメオ司教証聖者（ヨハネ二三世教皇戴冠式の記念日）

五日（土）　日本の福者パウロ・ナヴァロ殉教者
小西行長追悼祭

六日（日）　聖霊降臨後第二二の主日
一一月は「諸聖人の通功」の月である。特に今日のミサの祈りのなかで神の国の市民である信者が、苦しみのなかで相扶け、祈り合い、相たすけて聖徳に進むべきかが教えられている。
大牟田教会で堅信

八日（火）　教区司祭月例集会の日
聖マルチノ司教証聖者
フランスのツールの司教で、西欧における修道院制度の創始者のひとり。

一二日（土）　天草殉教祭第一日

一三日（日）　聖霊降臨後第二三の主日
会堂の司の娘の復活の奇蹟は、キリストの神秘体のひとりとして、われらも主の全能の力により、世の終りに復活できるという確信をつよめる。そのためには、今十字架の敵として歩んではならない。
天草殉教祭第二日

一五日（火）　聖大アルベルト司教博士証聖者

一八日（金）　ローマの聖ペトロ聖パウロ大聖堂奉献の祝日

二〇日（日）　聖霊降臨後第二四の主日
世の終わりに関する主の預言は、恐怖心をそそるためにではなく、信仰のよき戦いをつづけるわれらに凱旋の希望をそそるためである。「天地はすぎん、されどわが言はすぎざるべし」それは義者が朽ちざる報いをうけるときであるから。
呼子教会で堅信

二一日（月）　童貞聖マリアのご奉献の祝日
聖マリアは幼時エルザレムの神殿に奉献され、そこである期間をすごされたといわれている。スルピス会系大神学校の保護祝日　祝典は二三日。

二二日（火）　聖女セシリア童貞殉教者
熊本信愛女学院創立六〇周年記念式（司教荘厳ミサ）

二三日（水）　福岡大神学校で司教荘厳ミサ
古賀教会で堅信（午後六時）

二七日（日）　待降節第一の主日
延岡教会（午前）と宮崎教会（午後）で堅信

二八日（月）　都城教会で堅信

熊本信愛女学院創立60周年

古い伝統と新しい熱意

来る二二日に記念祝典

熊本市上林町熊本信愛女学院（幼きイエズス会経営）では来る二月二一日から二六日まで六〇周年記念式典を挙行する。特に二二日（火）には講堂で九時から荘厳ミサが深堀司教司式で献げられたあと、多数来賓出席のもとに記念式を行なう。

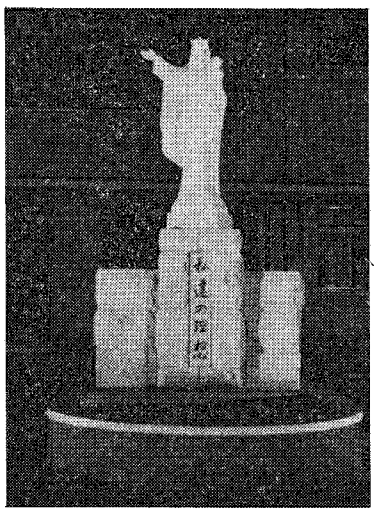
同女学院の創立は明治三三年五月五日にさか上るが、その一〇年前に当時熊本教会を司牧していたパリ外国宣教会のコール師によって幼きイエズス会（正式名はショーファイユ修道女会）の修道女数名が来熊し、天使園、聖心医院の事業を開始し、やがてポルジア童貞の着任によって、明治二七年に現在の修道院が建築され六年後の三三年に熊本信愛女学院の前身、玫瑰女学校が設立されたのである。

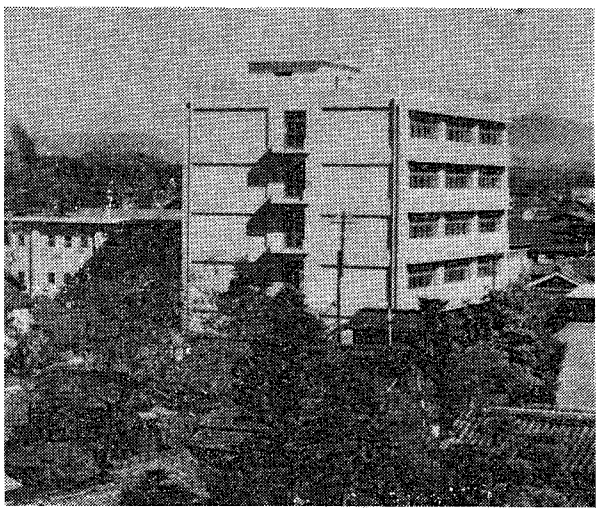
大正九年熊本中央実科高等学校と改称され、同一二年には更に上林高等学校と改称された。昭和六年には上林女子商業学校が設立されたが、両校とも年を追って定員を増加し、それにつれて教室の増築がつづけられた。昭和二三年には熊本信愛女学院と改称、新制中学校、翌年に新制高等学校の設立にともない普通科がおかれ、二五年には幼稚園、二八年には小学校が設置された。その二年前には高等学校に商業科が認可された。昭和三〇年には水俣市に信愛幼稚園分園が生れたので、学校法人熊本信愛女学院は五つの学校を経営することになった。

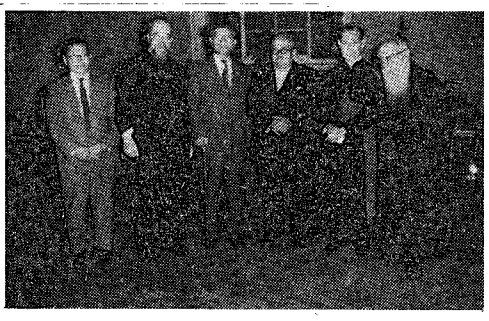
現在生徒数は高校八三六、中学一〇四、小学校一四三、幼稚園二三九、計一、三二二名である。職員数は事務、傭員あわせて八六名。現校長は木村リョウ童貞。

六〇周年記念式に先立って去る一〇月一三日フアチマの聖母御出現の記念日に、新校舎の祝別式が熊本手取教会のブレンチフィールド師によって行なわれた。これは創立六〇周年記念事業の一つとして昭和二九年から計画され、老朽校舎の改築と生徒数増加による増築の必要に迫られて昨年一二月着工、この程竣工したもの。なお本工事は将来全校二五〇〇坪の改築を予定した第一期工事である。新校舎は鉄筋コンクリート五階建八二六坪（二七三〇平方㍍）で、一、二階が管理室三階以上が普通教室二五、別棟二、三階の器楽練習室に個室二四、階下は守衛室となっている。塔屋は水タンクとエレベーター機械室であるが、エレベーターが取付けられるまでは無線クラブ室として使用される。設計施工は藤木工務店。木建築では視聴覚教育の施設、放送設備と器楽室の完備に重点をおいた。玄関には、同窓会から贈られた〝私達の理想〟なる聖母子像一（・七〇㍍）が建立されている。

（写真上は聖母子像、下は新校舎西側）







ガスキノ修士

立誓願五〇年の祝い

日本サレジオ会創立の草分けのひとりルイジ・ガスキノ修士の立誓願五〇年金祝が去る九月二九日大分教会で盛大に行われた。式典には宮崎教区管理者深堀福岡司教、サレジオ会ダルクマン管区長、モンセイニョール・チマッチ師、リビアベラ師のほか大分地区の全サレジオ会員はじめ、上田大分市長や多数地元信者が集って金祝を祝うとともに、在日三五年間の労苦に感謝を表わした。

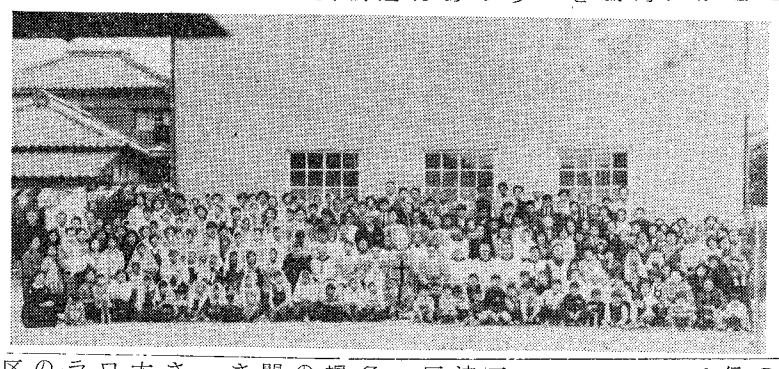
ガスキノ修士は大正一四年サレジオ会員の最初のグループのひとりとして、チマッチ師らと一諸に来日、まず創立の苦労のたえなかった一五年間を宮崎で働き、カオリ師をたすけてカリタス女子修道会の創立に尽力した。戦後大分に移り、まさに一〇年一日のごとく、第一線で働く司祭らの陰で貴重な奉仕をつづけてきた。【写真は右からチマッチ師、深堀司教、ガスキノ修士、上田市長、リビアベラ師都成氏】

佐賀地区司教デー

忠誠と服従をたかめて

佐賀ミラノ外国宣教会はじめてのこころみである「司教デー」は一〇月一六日、佐賀教会に深堀司教をむかえて、地区内外司祭一〇余名、県下各教会の代表者ら、地元信者全員が一堂に集まり、教区最高の司牧者に対する忠誠と服従、一致と親密の情をあらわした。

この日まず九時から六五名の信者に堅信の秘跡がさずけられたあと、司教は教会を埋めつくす信者の中央を通って祭壇に進み、司教座に着座とともに佐賀教会主任マグリン師が司教職の本質について説教し、ただちにズバノニ師助祭長、アックワビバ師と浦口師補祭で司教荘厳ミサが献げられた。聖歌には、サルビ師からイタリヤ語を習っている佐賀大の学生二名が奉仕した。



布教の日に聖体行列

今村教会　千名をこす盛況

福岡県三井郡大刀洗町の今村教会（主任糸永一師）恒例の聖体行列は一〇月二三日布教の日を期して開かれたが、例年をしのぐ熱心さが感じられた。この行列を信者の信仰を一層ふかめるものにするようにとの深堀司教の希望で、前晩から行列の開始時刻まで聖体が顕示され、信者は夜中も交替で礼拝をつづけ、この愛の秘蹟を黙想し聖心に対する侮辱を償うよう努めた。ついで朝一一時からはこの熱心のなかで司教のミサと説教が行なわれた。

午後二時教会前の広場には一〇教名の司祭、小神学生、福岡市とその近郊、久留米、本郷の各教会の信者も参集して地元信者に合流、聖体は、竹森、鵜野両師に守られて青木保師が奉持、その前後を千名を越す参列者が教会、団体別に進んだ。赤い聖母旗、婦人たちの白いヴェール、紋付に威儀を正した成年男子たちの敬虔な光景が、黄金色ひといろの筑後の田園に美しくうきあがっていた。四〇分で清心慈愛園に準備された仮祭壇に到着、山川師の説教で聖体に対する愛熱を高められたあと、再び行列を開始、軒並につづく信者家庭にかかげられた揃いの聖旗、行列に加われない人々が跪いて主を迎える姿など伝統に固められた信者部落ならではの雰囲気がみなぎっていた。

今村教会に隣接の本郷教会でもこの聖式のため、徹夜の聖体礼拝を行なった。

司祭異動

宮崎ザベリオ会地区

ヴァレリオ・アンザネロ師延岡教会助任、アントニオ・ノヴェロ師都城教会助任、フルヴィオ・ボッフィ師日南教会助任

誓願式

福岡県塩原町のウルスラ会大橋修練院で一〇月九日（日）午前九時から、金松師司式のもとにマリ・パウラ・ロザリア童貞（牧篤子さん―別府教会出身）の終生願式が行われた。

実りをこと ほぎ運動会

―新田原―

新田原教会では、秋晴れの九月二五日（日）、豊かに実る稲穂の波を見下す新設運動場で初の小教区運動会を催した。

市長・市会議員ら来賓をはじめ多くの未信者を迎え、朝九時国旗掲揚、全員「めでたし」を合誦のち、主任司祭グロージャン師の開会の辞をもって幕は切っておとされた。

幼稚園児の可憐な遊戯からお父さん、お母さんまでの盛り沢山な大家族的競技に和気あいあい、グロージャン師、ベルナルド師（トラピスチヌ修道院付）も万場拍手の中に出場、全員を熱狂させた地区別対抗リレーを最後として、ルルドの聖母に優勝旗を捧げる優勝地区を先頭に、全員聖母讃歌を合唱し、四時多彩な運動会を了えた。

（写真は、優勝旗をもって運動場を一周）

第二七回 福岡地区 布教委員会

街頭募金の件など決定

一〇月一六日午後二時より第二七回福岡地区布教委員会が司教館で開かれ、指導司祭平田勇師ほか主任司祭、各教会委員が出席、討議の結果、次のような決定をみた。

① 来る一一月三日別掲のプログラムに従って第三回福岡地区信徒使徒職大会を開催する。各教会は個別に布教状況を報告するとともに、布教への熱意を高揚するため布教会員にも発表をしてもらう。本大会に信者全員が参加するよう委員たちが積極的によびかける。

② 布教大会にひきつづき、去る五月二九日に雨で順延になっていた教会対抗ソフトボール大会を行なう。各教会では一〇月の最後の日曜までに出場メンバーを知らせること。賞品としては司教トロフィーほか、花びんなどを贈る予定。出場および応援のため信者各位が遠慮なく参加して頂く。弁当持参のこと。

③ 今年度クリスマス運動について。パンフレット、ポスター類は昨年度の二割増を目標にして布教に協力すること。

④ クリスマス前の街頭募金は昨年に準じて、一二月四日より一八日まで目標額一三万円をめざして行なうこと。

ペリドン博士来福

国際カトリック移住委員会の日本駐在委員ペリドン博士は、日本カトリック移住協議会理事坂本竜起氏と一〇月二二日から二五日まで福岡と佐賀を訪問。同会の福岡、宮崎教区移住担当司祭平田勇師の案内で大刀洗町、筑豊炭田などを視察し、また鵜崎福岡知事県渉外課長商工会議所長らと懇談会を開いた。

第3回　福岡地区 信徒使徒職大会

期日　一一月三日文化の日　午前一〇時より

場所　福岡市山荘通り　泰星高等学校講堂

プログラム

一、福岡地区信徒布教委員長の挨拶と布教状況報告

一、各教会布教会員による布教状況発表

一、司教訓話

一、布教の哲

一、聖体降福式

上記大会後、教会対抗ソフトボール大会を開きます。皆様多数御参加下さい。

宗教書・宗教用品のお求めは
聖パウロ書院で
福岡市万町電停前
TEL ④四五八八

G・テイボン著
愛の哲学
神の合わせ給いしもの
S・カンドー、金山政英 訳
目次
第一部
精神と生活の相剋
感覚と精神
愛と結婚
愛の清め
第二部
肉と霊
女
愛の真実
愛の偽り
愛の悩み
三省堂
¥190

キリスト教百科事典
ヘルデル出版社　諸事典 編集 援助
上智大学教授　小林珍雄責任編集
カトリックの神学、哲学、道徳、倫理、公会議、修道会、旧新約聖書、修徳、神秘神学、数千名の聖人伝、典礼、祝日、キリシタン、外国日本の定期刊行物、各種団体、学校、文化祭、地名、日本各教区、異端、他宗教、著作等を総合的に最新資料と駆使して解説し、これに年表一覧表、統計、豊富なさしえを配し読むと同時に見る事典とした。
定価一・六五〇円　四六縦二段組四六判
九六六頁さしえ六五四個
発行所ヘルデル代理店 エンデルレ書店

福岡大神学院訳
司祭職
B6判 二九二頁 価三〇〇円・送四〇円
現代四教皇の司祭職についての文書

カルメル会訳
イエズスの聖テレジア自叙伝
世が生んだ大聖女、カルメル会改革者の自敍伝邦訳版が完成いたしました、偉大な観想者が真摯、誠実、確実な語調で語るその生涯、特にその内的生活、神秘生活の発展…本書は聖女の著作中もっとも重要な著です。
B6判　五五九頁・価五五〇円・送五五円

カルメル会訳
幼きイエズスの聖テレジアの教訓と思い出
聖女の実姉・聖き面影のジュヌヴィエーヴ童貞が集めたた勧告と思い出を収録しています。
B6判　二八八頁・価三五〇円・送四〇円

『神なんじを召し給う』②
解放への召命
C・ジャロー

アブラハムの召命のなかにわれらキリスト信者の召命が含まれていると考えられる。かれの心にひびいた神のみことばと同じみことばが、ガリレアの漁師たち（ペトロやヤコボら）の耳にもひびき、かれらを通してわれらに達したのである。〝アブラハムにおいて人類は神のみことばに従う習慣を身につけるようになった〟（聖イレネウス）

アブラハムは放浪者〝よそ人、旅人〟（ペトロ前二の11）となりこの地上に〝永遠の都をもたず、未来の都を探す者〟（ヘブレオ一三の14）となることを決意したのである。この世には定住の居はなく、状況に応じて仮のテントを張るだけである。一定の地に執着しないこと、生をうけた家族を離れ血を分けた民族から別れることは決して小さな犠牲ではない〝お前の父母とお前の父の家を去れ〟。

自分に属するものを捨てることによって、かれは真の神にのみ仕える意志、信仰のために父祖の伝統とつながり、内容の乏しいあらゆる習慣を犠牲にする決心を更に一層固めるのである。霊的独立と自由の意志が七五歳の坂をこえたこの老人に感嘆すべき若々しさを授けるのである。

カトリック教会は死に臨む者の枕辺で祈るとき、アブラハムの教訓を思い出す〝主よ、アブラハムをカルデアのウルより救い給いしごとく主の僕の霊魂を救い給え〟神の方にゆこうとする魂の努力はすべて解放への努力といえる。これは勿論地上では充分に実現しないのであるが、死という最後的別離と解放にわれらを準備する。

こうしてアブラハムは偶像と父母、煙瓦の町とその享楽、異教世界のすべてを後に残して出発する、かれはひとり未知の世界に出立するのである。

かれの召命はまさに別離と放棄への召命である。しかしそれは普遍的、宣教的召命でもある。かれの民族が祝せられることはすべての民が祝せられることである。従ってかれは血縁的子孫と精神的子孫の二つの祖となったのである。

このように父祖アブラハムが単純そのものの心をもって、神のこのお招きに応じていったのをみると、かれの精神の偉大に心うたれて感嘆の念を禁じえない。なぜならかれは自分の属していた家族や民族の視野でものを見ることをせず、それらをはるかに越えて、将来かれの故に祝せられるであろう数限りない子孫たちの上にまで視野をひろげていたからである。

神はわれらの父である ⑤
御父の啓示者

イエズスの玄義

イエズスは真の人、真の神にて在しながら、只ひとりの御方であると教会は教えます。どうしてそういうことができるのかは、私共の理解をこえる玄義であります。イエズスが真の人間にて在すことは福音書を一読すれば明らかであります。イエズスはまた同時に真の神にて在す。かれは普通の人とは違った非常に崇高なものを兼そなえておられます。御自分が神からつかわされたもの、父なる神と一つのものであると宣言しておられます。そしてこの主張を証明するために沢山の奇蹟を行ない預言をなさいました。

イエズスにおいては「人なる私」と「神である私」というように区別することはできません。神にて在す御方がマリアの胎内で体をおとりになってこの世に生れてこられたのです。これを「御託身」と申します。

神の子どもたち

❶ マリアから生れ給うた神人イエズスが、父なる神の愛のご計画を私共に示し給うたのです。

〝われらに対する神の愛はここにあらわれた、即ち神はその御独子を世につかわされた。それはわれらがかれによって生きるためである〟（ヨハネ一書四の9）

〝われらが神の子と称せられしかもそうあるために、父がどれほどの愛をわれらにお与えになったかを見よ〟（同上三の1）

❷ 御子イエズスは私を愛し給う。御子は御父同様私を愛するため、ご自分を死にわたし給った。そのご死去の功徳によって私共に聖寵を回復して下さったので、神の養子となることができたのです。

〝神は御子をおつかわしになった、それはわれらを養子にするためであった〟（ガラチア四の4－5）

〝神は御子を惜まずにわれらすべてのために死にわたし給った〟（ローマ八の32）

〝私は今肉体をもって生きているが、私を愛して私のためにご自分をわたされた神の御子への信仰によって生きている〟（ガラチア二の20）

神の愛に応える

❶ 神の子らしく生きる。

私は神の養子とされたのですから、神との間には特別親密な関係が生じています。私共は神のようなものになったと聖人たちは申しております。もしそうならば、私共の生活はどれ程清いものでなければならないでしょう。

❷ イエズスに倣って生きる。

イエズスのみ教え、その愛のご計画に対して深い信仰をいだくこと。

福音の掟に愛をもって服従すること。〝私の掟を保ち、それを守る人こそ、私を愛する人である。私を愛する人は私の父にも愛される〟（ヨハネ十四の21）

御子の忍耐に反するものを捨てること。〝自分の十字架をとって私に従わない人は私にふさわしくない、私のために命を失う人は、命を見出すであろう〟（マテオ一〇の38－39）

教皇さまにお会いして
A・ラプラント

教皇聖下とお話しすることは、いつもお慮です。お話しが終って出るとき、今までよりももっと神の方にひかれるのを感じるものです。前の教皇様のときには三度このようなお恵を頂きましたが、去る六月三〇日にはヨハネ二三世教皇聖下とお話しすることができました。これほどのことは私も期待していませんでした。

六月二九日の午後ローマのカナダ学寮に泊っていた私の許に、公式の招待状が届いて、明日正午に教皇様への謁見にくるようにとのことでした。招かれたのは六〇人ばかりで、その中にはモンセイニョールと神父たちが六、七名いました。謁見の予定の時間が遅れて教皇様がおでましになったのは一時を十分すぎた頃で、私たちは待ちあぐねていただけに、お姿を拝見したときには本当にうれしゅうございました。

教皇様はゆっくり時間をかけて一人々々に話しかけられました。お顔には深いご慈愛と親心があふれていました。私の右の第一人目にいた方はスエーデンの女子カトリック・アクションの指導者でしたが、彼女が霊的花束を差しあげますと教皇様は彼女を祝福なさり使徒職の状況についてお尋ねになり、彼女のうち宛におれの手紙を書かせると約束なされました。

私のすぐ右はミショノウという有名なフランスの司祭でしたが、その前にいらっしゃると目がキラッと輝き〝前にお会いしましたね〟と同様、お声は若々しくきこえ、背は私よりも低く一㍍六五ぐらいと見えました。式中カッパを召されたときには褪が長く地にたれておりました。

愈々教皇様が私の前にいらっしゃいましたので、指環に接吻し、神学校を祝福して下さいとお願みしますと〝よろしい神学生と教授たちを祝福します〟といわれ、私が日本で働いていることを申しますと、〝おうそうですか、おめでとう、大切なことですからよくやって下さい〟と申されました。私が神学校で働くシスターたちの霊的花束をお渡ししますと、喜んでお受けになり、お礼の手紙をかかせると約束なさいました（シスターたちは本当にお手紙を頂きました。秘書のサインになっていますが、教皇様ご自身のお手紙とも申せます。なぜなら〝私たちはシスターに手紙をかきましょう〟と申されたのですから）

私の次には教皇様と同級だったという老神父様がおられました。この方は指環に十回以上も接吻しましたが、教皇様は少しもイヤな顔をなさいませんでした。謁見が終ったときこの司祭は私に〝聖ピオ十世教皇の再来ですね〟とささやきました。

教皇様はとてもユーモラスなお方ときいていますが、私もその場面をみました。聖ペトロの大祝日に教皇様はお部屋の窓から、参集した群衆を祝福なさいましたが、その祝福のラテン語の定った祈りが終ったときに、いきなりイタリヤ語で〝聖ペトロ万歳〟と叫ばれました。皆は一瞬あっけにとられましたが、その驚きはすぐに物凄い拍手にかわりました。

私はキリストの代理者の人間的美点――特にその優しさと謙遜を目のあたりに見て、心から感動してローマを去りました。（福岡大神学校長）（文責編集部）

（写真上は青年たちと談笑なさる教皇さま）

教皇謁見について

毎週何回も――少くとも二回以上――公的な多人数の謁見が行われる。それが千人単位の人数の巡礼者の場合は聖ペトロ大聖堂で、またある時は三千人収容できる教皇宮殿の掩視の広間で行なわれ、またある時はヴァチカン中でもっとも美しい枢機卿会室で、あるいはクレメンスの広間で行われる。そこで教皇は拝謁者にむかって各国語で話すのである。（カトリック全書〝教皇〟二三九頁より）

〈〈〈青い空〉〉〉

いつものように、いつもの処で鳴いていた蝉の声が聞かれなくなってから、もう久しい。貪しい刑苑にも、そこここで秋菊が輪を開き、このところ毎日爽かに澄んだ秋の〈青い空〉が続いている。

〈秋の空〉は人の心を懐柔するというが、全くである。聖母マリア様に捧げるロザリオの月にふさわしく、十月（秋）の空は幼い日に人の心を遷す。きょうの秋もその例に洩れない一人である。

秋の空と幼い日――この二つが重なると私は必ず、あの終戦直後の、小学生として最後のものであった運動会を思い出す。

思い出には、なつかしいものにしろ、悲しいものにしろ、大概感傷を伴った甘すっぱさ、辛さがあるが、この思い出はその何れにも属さないもので……その時に見た〈青い空〉の素晴しさは、今日に至るも私の心から失われていない――ヨイショ！――ヨイショ！」と、紅白が交互に引き合う綱引きで、天真爛漫の言葉そのままに、先生の合図で両足を踏んばり、全力を綱にかけて「ヨイショ！」と引いた瞬間に見た、あの青く澄みきった空は、それ以来幾度と見とれた青空のどれよりも、美しいものとして私の心の中にある。

私はあの時の〈青い空〉を、また見たい！と希う――

「見れるだろうか？」「見れるとも！」「どのようにして？」

「天主様に対する信頼の〈綱〉とお前の凡てをかけ聖意の声のままに、あの運動会の綱引きのように引いてみよ。必ずあの時の、否あの時以上の、素晴しい〈空〉が見れるだろう」

この小さな問答は天主様に対する、私の信頼の足りなさを覚知させる。綱を握っていながら（天主様に全く信頼を置いていると言いながら）尻もちをつく事に不安を覚えて、聖意のままに力一ぱい引っぱっていないが故に、私の昨今には、あの日の素晴しい〈青い空〉が見えない事を知る。これは弱さでなく、傲慢に他ならない。

〈幼児の如き信頼〉という聖言葉が、あの日の〈青い空〉の青さの中に浮彫りになる、私の心の中である。

文字通り〈死の陰の谷〉をゆく私の日々であるが、天主様への信頼の綱を聖意に従って、力一ぱいに引っぱる一日一日であれば、苦悩と悲哀という木の生い茂るこの暗い谷間からも、日ごとに〈青い空〉が見えることに、私は勇気づけられる。（卓下の小犬）

短歌
二丈

日曜の朝のつとめを終えて来て今朝のぶあつき新聞をとる
モールスの附号と見えし雲流るジェット機去りて深き空かな
秋の日のたださす所まぶしくて棄てらは暗きかげをつくりぬ
雲の下はあかねにそみぬ朝ミサの道行くほどにあかね広がる

俳句
風声

秋汐の騒ぐ小島に渡船待つ
島小さく大夕焼の中に浮く
通勤の野菊の径となりにけり
爽やかや樹々の晴間の高き朝
秋麗生徒にまじり御看き待つ
小旗ふる児等の歓声秋空へ

牧恵女泉

聖心の使徒（昭和35年11月号）

表紙　「灯」（湯崎夫沙子画五〇七頁参照）
十月の意向　わが家に神の御言葉を……塚本　昇次
青少年を愛せよ（十一月の布教の意向）……今田　健美
黙想　心の細道……下嶋　正昭
聖書とともに……粕谷　源蔵
写真特集　神からの書……レバツフ著　長島達也訳
教会と聖書……
聖書夜話……
神のかたどり（上）……H・チースリク　高橋　憲一訳
荒野の師父らのことば……須賀敦子訳
万国聖体大会に参加して……伊藤小枝子
よみもの（一）……十字架のイエズス修道女会
チベットへの道（四）……W・ハイスィヒ　磯見昭太郎訳
新本めぐり……
ポスト……

日本祈禱の使徒会発行
購読会員費　一カ月　三十円　〒五円　一カ年　三百円　〒五十円
東京都千代田区紀尾井七

医療法人雪の聖母会経営

井手医院
院長　井手速見
診療科目　内科　放射線科　小児科
久留米市日吉町十六番地　電話　二一七五番

聖マリヤ病院
院長　井手一郎
副院長　佐藤謙治
外科医長　津留水城
診療科目　外科　内科　小児科　放射線科　精神科　神経科　歯科
健康保険、国民健康保険、生活保護法
労災保険、未熟児養育施設　指定病院
久留米市津福本町西鉄試験場駅前　電話　五八〇〇・八〇〇〇番

おと

アントニオ

夜、しずかに部屋にすわっていると、いろんな音が聞えてくる。昼はあたり一面のいろんな音にまぎれこんで、はっきりしないが、夜――あたりが静かになると、音の一つ二つが鮮かにそれぞれの個性をうき出させてくる。

今、聞こえているのは、電車が鉄橋を渡る音である。間遠な音からだんだん気せわしくなって行くそしてスピードをあげきった所で急に高い音にかわる。その時が鉄橋にかかった時である。やがて小さく、小刻みから間遠になるのはだんだん駅に入りつつあるわけか時おり警笛も変ったりする。

そのうちに空からの音。これがうなるが如くひびいて来る。今、日暮の下り三便が福岡の上空から降下の姿勢で南に下り、板付に入りかけているらしい。

それの合の手に再び電車の音がしてくる。カッタンコーカッタンコーとひびき、警笛が耳をうつ。下りが発車したらしい。

また空からの音。今度はのびやかな音ではなく、たたきつけるような、だっという音である。名物のジェット機である。やかましさはナンバーワン。

そしてなつかしい蒸気機関車の大きく煙を吐く音、長く尾を引く汽笛。電化とともに、この詩情にあふれた音が聞けなくなるのは、世の進歩か――。一老兵は消えて行くのみ」

旅とこの汽車は切りはなせぬ。電車やバスはどんなに速くに乗っても、何かきぜわしさを感ずる。しかし、今に昔がたりとなることだろう。

むこうの坂道を下る自転車の音そして同じ坂を上ってくるハイヤーの音。こっちにまわってくる。

さては、おむかえのJさんの御主人のお帰りか。いつもの通り不思議にわが家の前でとまり、それから、気げん良くうたをうたいながらの御帰邸である。

そのうちに雨戸をくる音。もう夜もふけかけて来たか。

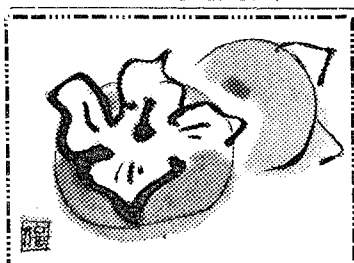
これだけの音をききながら、すべてが現世の音だけで、何一つ信仰の耳をひらかせるのがないとは。では、せめて一つ、みんなで大きな声でロザリオをくろう。

自己批判

―長所を見出して―

仕事に追われて充分な内省の時が持てないのが残念であるが、音楽、登山、絵画等とともに実は批判や内省は私の趣味の一つである。自己の欠点を的確に把握した上で長所を知ることが必要である。それは神への感謝を増進し、また御旨を知り、行なう必須条件でもあり、短所を科学的に是正するのに有効であるからである。

盗みと殺しの罪は生れつき犯すような人間ではないが、他は犯す可能性がある欠点だらけの私に、一体どのような長所が内蔵されているのであろうかと自己批判をした。ところが私のような者でさえ魂を照らしてよく考察すれば、一、誠実二、正直三、言行の動機が常に純粋なこと（良心的で悪意やたくらみが無い）四、責任感が強い五、同情的で親切六、人を恨まない七、怒らない（義憤は強い）八、実際的九、合理的十、独創的等が挙げられる。然しこれらは裏を返せばほとんどが私の欠点となっているので、私は一、四、十以外は長所を少しも誇りに思っていない。むしろうらめしくさえ思うときがある。これらのため現世的には多分に損をしているのでは。例えば三、六は珍しい人だと思われ六、七、は人からつけこまれ人に非礼の言行をさせ増長させるという具合に…。このような性格の人は神から愛されるできるが、処世術が苦手なので人からは誤解を受け易く現世の幸福は少



木犀に寄せて

安部　麻里

あかとき
厨に立ちて来を洗う
白きとき汁のこぼれるあたり
るるるると暗くこおろぎ
一すじ――
金木犀の香に満ちて。
まひる
庭に立ちて布を干す
黒きスカートとブラウスの
奏でる光りと影
一すじ――
金木犀の香に揺れて。
かわたれ
縁に立ちて夕づつを仰ぐ
とき色のさみどりの
人呼びて聖母の宝石!!
一すじ――
金木犀の香におりて。

与え給うたもの

なでしこ

ある画家が立身のためといおうか知名の士になり度いためというか、つてを求めて有名な画家の一族と結婚して一応名は世に出た例がある。

そこで、どこまでの進境を示されるかと心たのしみに見ていると廿代から卅代にかけては、一応えらしいえをかいておられたが、四〇を過ぎて円熟の境地に入られるべき五〇代ともなるとまるで駄作駄作の連続で、一応名が出ただけにはたで見ていて、みじめで仕方がない。

ある音楽家が地方の片すみで黙々と勉強していられた。その歩んだ道は決して正規の道でなく全く例外的な道であった。第三者が考える時いつ、どうしてこんなところまで進んでこられたかふしぎな程の進境を示される。

そのスケールの大きさ、感情の表現状態など一般の方の場合と大分異るように思われる。しかし自分で世に出るために様々な手段をないのでしょうか。私たちは特別親しい規則的なつき合いと単なるつき合いを区別いたします。

結婚を考えないで、できるだけ多くの青年男女がつき合うことは楽しいことですし、いろいろな性格を知ることになりますから、特に結婚をまだずっと先にしか予定していない人々にとっては有益なことです。しかし蝶のようにだれかれの見さかいもなしに、軽々しくつき合うことは非常に危険です。コントロールをしらない親しさから取り返えしのつかない結果が生じます。

若い人達の身心というのはガソリンを含んだワラのように、ただでさえも引火しやすい状態にあることを忘れないで下さい。

場合によって美点を故意に埋没させ、他人の悪い面を真似る誤った考えは、神の御旨に反するので改めるべきだと考えた。信仰を得て間もないのでまだ十αは少いが、これからは大いに変らなければならない。（鹿野秀子）

カトリツク結婚講座

男女交際 ㉑

ここで男女交際とは、結婚の目的をもってよりよく知り合うために、ひとりの男性がひとりの女性と特別親しく規則的に交ることを意味します。生涯の契りを結ぶにさきだって熟考しなければならないのは、この人と結婚して私はこの世でも来世でも真の幸福を期待できるかということであります。二人の結びつきから出る責任は決して軽いものではありません。相手と二人の間から生れる子供たちの幸福がかかっているからです。

所で正しい選択をする相手をよく知り、そしてよく知るにはつき合ってみなければなりません。時として通信だけで結婚を決定することもありますが、人物を深く認識するには不充分です。まじめな男女交際がどうしても必要です。

よりよく知り合うため

相手をよく知るためというのが男女交際の目的でなければなりません。夫婦として苦楽を共にし、父母としての義務をキリスト信者らしく果してゆける相手であるかを、よく見定めるべきです。不幸な結婚を歎く夫婦というのはたいていこの点を甘くみていた結果であります。

二人はたがいにより研究し、理解し、ざっくばらんに欠点も弱点も知らせ合い、気質や性格、趣味などについてありのままに検討し合うことが大切です。そうしないで自分の良い面ばかりを見せたり自分の理想と夢みていることをあたかもすでに実現しているかのように話したりするのは、相手をあざむく奸計というべきでしょう。

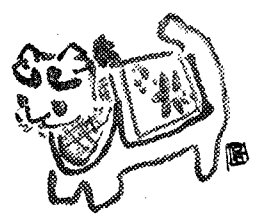
男女交際を正しく行なうには、少しもつくらずに、できるだけ生地のままでつき合うこと。

親が子供の結婚相手を探すことは悪いことではありませんが、若い人が自分が正しい判断を用いながら、親や、自分をよく知っている長上、友人の御告をも考慮しながら伴侶となるべき人を探す方がよいのではないでしょうか。また祈りによって天の光をお願いすることも忘れてはなりません。

結婚のために

結婚を少しも考えていないのに私たちがことでいうような男女交際に入ってはなりません。この交際から必ずしも結婚にいたるとは限りませんが、まじめにこの見地に立つべきです。

では結婚するつもりでなければ男は女のひとつき合ってはならないのです。



ぶっくがいど

福岡にも八幡市黒崎に煉獄援助修道会という煉獄の霊魂を救うことを主な目的とする修道会がある。この本は、その創立者エウジエニ、スメットこと御摂理のマリア童貞の伝記である。

今まで観想、活動、布教、慈善などによって戦闘の教会のためにつくしてきた修道会はあった。しかし煉獄で苦しむ霊魂の救済を第一義的な目的としてたてられた会は、これがはじめてで、その点全くユニークな存在であるといえよう。この会の精神については、序文にペトロ、アルベ師の明解な説明があるので引用させて頂く。

その精神を最高に表わすために本会においては修道者の三誓願の外に、英雄的な奉献をも誓う。人が永遠にかけて生涯の労苦の中に積んでゆく功徳の一切を、修女達はすべての煉獄の霊魂のために捧げることを誓うの

御摂理のマリア童貞

である。清貧、貞潔、従順の三誓願が、人間的、地上的生活の完全な奉献であるのに対して、それは来世の奉献を意味するものとなるのである。神のために地上において苦しんだ者も、その生涯の終りには、主の御懐に抱かれるという永遠の歓喜を、希望として抱くことが許される。しかしこの会員にあってはすでに一切の功徳を煉獄の霊魂に捧げたものとして、修道者としての最も切実な憧れである天国への凱旋の延期をも、大いなる愛をもって甘受しようとするものである。その誓願の中には、地上の一切の功徳だけでなくして、死後において地上の姉妹よりうけることのできる救済をも、すべて他の霊魂にゆずることが含まれているのである。

ポール、クローデルは、ジャック、リビエールの回心を促すにあたって、たとえどんなに拙く書かれているものであっても、聖人伝を読むようにと、その書簡の中ですすめている。この書は第一級の伝記とはいえないかもしれないが、天性と聖寵

（一五〇円　中央）

一昔前ごろとか、イギリスの外務省に風変りな書記官が一人いて、外交々渉の国際会議には、いつも最後列で壁に向って席を占めていて、如何なる白熱した状態の中にあってもその渦中にまき込まれることなく、その重要ポイントを的確につかむのが彼の役目だった、と。

この場合私の壁は天主様であり私はこの「壁面居士」なのだなと思った。

黙想の結論は与えるにふさわしき者に与え給ふた天与の才能がみはからいにより、最もよしと思し召された時に開花した事を思った。

御はからいの尊さを知り、その神秘に少しでも触れた者には、只の才能と簡単に片づけてしまうわけには行かない。その御はからいへのお答えはと尚も静かに壁に耳をかたむける時「仰せのごとく我になれかし」と答え給ふたマリア様の御言葉にふれる。

「われは　主の使い女なり」

これはマリヤ様お一人の御言葉ではない。われわれ人類全体の言葉でなくてはならず精神でなくてならはない。

その音楽家は、お告げの祈りを耳にされた時、目の前は黙然として開げられたようだ。与え給ふた御方に対し奉り、従順に聖旨に従うことが誠の謙遜である事を悟られたその方は、今後如何なる進境を示されるかと、一層楽しく見守られる。

十字架の道を歩まれるかぎり、その進境は止まることのないことを信じて。

一九六〇・一〇・一〇

▽

古い歴史・新しい内容

コンサイス英和辞典（改訂版）　四〇〇円
コンサイス和英辞典（改訂版）　五五〇円
コンサイス英英辞典　三八〇円
デイリーコンサイス英和辞典　五三〇円
新クラウン英和辞典　四四〇円
ジェム英和・和英辞典　五五〇円
最新明解英和辞典　二〇〇円
初級クラウン英和辞典　三〇〇円
初級コンサイス英和辞典　二〇〇円
初級コンサイス和英辞典　一五〇円
三省堂独和新辞典　五三〇円
コンサイス独和辞典　四三〇円
コンサイス仏和辞典　五〇〇円
コンサイス露和辞典　六〇〇円
日西辞典　二、〇〇〇円
商業英語活用辞典（増補版）　六五〇円
新英文法辞典　一、二〇〇円

辞書は三省堂

辞海　縮刷版　背革特装版　一、〇〇〇円
新版広辞林　二、〇〇〇円
明解古語辞典（改訂版）　一、二〇〇円
明解国語辞典　四五〇円
新修国語小辞典　三八〇円
音訓両引き国漢辞典　一五〇円
三省堂小学国語辞典　三五〇円
大明解漢和辞典　二八〇円
明解漢和辞典　七〇〇円
三省堂大六法全書　三五〇円
模範六法全書　一、一〇〇円
明解六法全書　三七〇円
学習百科事典　一五〇円
明解日本語アクセント辞典　八〇〇円　五〇〇円

三省堂　福岡出張所
福岡市向田町九ノ三
本社　東京都千代田区神保町

カトリック
深堀司教認可
発行所 福岡市浄水通 福岡司教館
発行兼編集人 深堀敏
定価 一部十円

二つの教区委員会設置

典礼と公教要理問題に関して

去る一一月八日司教館で開かれた教区司祭月例集会の席上において、深堀福岡司教兼宮崎知牧区管理者は、二つの新らしい教区委員会の設置を発表した。この発表によると一つは典礼問題を討議するもので、委員には福岡大神学校長ラプラント師のほかに、福岡・宮崎両教区の各地区から一名ずつ（但し、福岡地区は二名）が任命された。即ち平田惣五郎、浦口均、バーレットーラバルタ、サルビ、ベラス、デルフォルジュ、ザンパロの九師。毎月一回定期的に集会する。ここで決定されたことは司教の認可を得て公表され、実践される。

もう一つの委員会は公教要理問題を審議するもので、委員にはこれまで福岡大神学校のラベル師のほか棚町正刀、平田勇、青木保、ソラノの各師だけが任命され、残りの五名は追って任命される。

公教要理委員会の目的

公教要理委員会の第一の目的は「新らしい」公教要理を編さんすることでなくて、すべての信者と求道者および洗礼志願者の信仰を強める方法を見出し、その結果、これを利用しうるように――必要の場合には、地方的な特殊事情に合わせて――すべての司祭およびカテキスタにその方法を知らせることである。しかし司教は、委員会が仕事として、場合によっては子供のための公教要理を編さんする可能性を排除してはいない。しかし委員会の第一の目的は、このような公教要理の編さんではない。

公教要理改訂委員会編「カトリック要理」を採用せず

深堀司教は、同日の司祭集会で第二の重要事項を発表した。即ち福岡・宮崎両教区において公教要理を教えるにあたっては、信者に対しても求道者および洗礼志願者に対しても、今後は教科書あるいは手引き書として公教要理改訂委員会編の「カトリック要理」という名をもつ新らしい公教要理を使用してはならない。そして「公教要理」の名称で知られたこれまでの古い公教要理を用いなければならない。新しい公教要理は、確かに司祭あるいはカタテキスタの参考書として利用することは差支えないが、これを手引き書として使用してはならない。

新しい公教要理が古いものに比べてある利点を持っていることは認めるが、種々の理由から、古いものを今まで通り使った方がよいと考える。その理由の主なるものは左の通りである。

❶ 公教要理をすべての人に、即ち信者にも求道者および洗礼志願者にも、もっと理解し易いようにしたその意図は、確かに称賛すべきものであるが、所々に余りにくだけすぎた表現やいい廻しが使われたために、神に対する尊敬の念が足りないように思われる。

❷ また同じような意図のために少し難解な用語は、もっと易しい用語におき代えてある。例えば聖寵という言葉は恩恵となっているが、この恩恵という言葉の意味は公教要理を学ぶものは、このような用語にぶつかったときに、自然的な普通の意味で使われたものと思い込んでしまい、実際にこの言葉が示そうとした意味は判らないままになってしまう。

❸ なお新公教要理に使われている表現は、神学的あるいは論理的観点からは正しくても、一般の人は不幸にして必ずしも常にそれを完全に神と関係づけえないという場合がある。例えば「秘跡は聖寵を与える」と書いてあるのは正しいが、やはり「神が秘跡によって聖寵を与える」としなければならないであろう。でなければ信者、特に子供の場合には、聖寵は自然的秩序に属するものと思い込んでしまうであろう。なぜなら聖寵は秘跡によって、つまり社会的儀式を通じてわれわれに与えられるからである。さらにミサも、ただ人間的な、そして社会的儀式としてしか考えられないという危険がある。

天よ、上より露をしたたらせよ。
雲は義人を雨と降らせかし。
地は開けて救主を生まんことを。
（イザヤ45の8）

世の光

救いと平和

「待降節が始まった」というのは余りにも平凡すぎる。平凡すぎるとはいったが、平凡すぎるのは言葉の内容ではなく、うけ入れるわれわれの心である。

待降節とは主の御降臨を待つ期間であり、聖パウロがいう「われらの救霊は今や近きにある」（ローマ書、一三の一一）時をいう。救いの時である。そしてこの待降節という言葉が平凡に聞こえるのは、今まで何回となく聞かされながら、その内容、救いを確実に自分のものとすることができなかったからである。その理由は、われわれが救いを余りに抽象的にとり、または未来のものとしてとり、そうすることによって、自然に救いをわれわれ自身から遠ざけたことにあるのではないだろうか。

われわれはよく、救いに到るか、救いを得るとかいうが、救いは人生の目的ではなく、人生を目的に導く道具であり――人間は霊的なものであるが故に――目的に向かう人生の過程をいう。われわれの目的は、「顔と顔を合せて」（コリント前書、一三の一二）神を見愛することにあり、全力をあげてそれに向かうのが人生の姿である。救いとは至福直観への秩序づけともいうことができよう。これもやはり抽象的でひとことのようにひびく。

救いをわれわれ自身の中に現実として感じさせるのは、ペトレへムに現われた天使達である。「最高き処には神に光栄、地には御好意の人々に平安」（ルカ、二の一四）。救いの出現を告げるはずの天使達は「神の御旨にかなう人々に救い」といわず「平安」という。平安とは平和の意である。平和、平安とは、アキノの聖トマがいうように、秩序の静けさである。そして内的かつ霊的なものである。てわれわれにおける秩序の静けさとは神に対するわれわれの絶対的な、また全体的なつながりの実現にある。被造物のわれわれがすべてにおいて、創造主の神に服従することは真理――ものの真の姿――の要求するところである。この神の御旨の追求、それわれわれを正しき秩序に、安静にしたがって平和にひきもどしてくれる。すなわち抽象的にひびき未来に見えた救いは心の平和、平安となって現われる。救いとは唯一の道、キリストを通って神に到ることをいい、この高き処には神に光栄、地には御好意の人々に平安」（ルカ、二の一四）。救いの出現を告げるはずの天使達は「神の御旨にかなう人々に救い」といわず「平安」という。平安とは平和の意である。平和、平安とは、アキノの聖トマがいうように、秩序の静けさである。内的かつ霊的なものである。てわれわれにおける秩序の静けさとは神に対するわれわれの絶対的な、また全体的なつながりの実現にある。被造物のわれわれがすべてにおいて、創造主の神に服従することは真理――ものの真の姿――の要求するところである。この神の御旨の追求、それわれわれを正しき秩序に、安静にしたがって平和にひきもどしてくれる。すなわち抽象的にひびき未来に見えた救いは心の平和、平安となって現われる。救いとは唯一の道、キリストのように、魂が生来の目的である神に向かって進み、動くとき、はじめて被造物としてのものの秩序が生まれる。聖アウグスチヌスもこのことをさして「主よ、御身はわれわれを御身に向けるものとしてつくり給へり。しかし御身のうちにいこうまでわれわれの心は安んじないのである」（告白録、一の一）といっている。

故に心の平和にはげむものは、救いの実現に努力するものである。――普通、平和とは国家間の平和と見られている。しかし平和は心、社会、国家間に見られ、心の平和がすべての平凡の基礎をなすものであるからして、キリスト信者たるものは、まず自分の心の中にキリストによる平和を確保することにより、平和を求むる社会、国家に貢献することができる。

いかようにして平安、秩序をうちたてるか。詩篇作家はこれに答える。キリストは、神の理性、意志の表現、御言にて在す。キリストはわれわれが神の御旨に適うものとなるために、いかに生くべきかを自らの言、行ない、御自分の人間としての生活をもって教え給う神御自身である。「われは道なり真理なり、生命なり」と仰せられたキリストは、神の掟を与えるばかりでなく、掟そのものにて在すのである。だからこそ「彼によりて「汝の御法を愛する者には大いなる平安あり」（詩篇一一八の一六）とうたい、またヨブ書にも「神は御心賢く、御力強く在し給う。誰か之れにさからいて安きを得たるものあらんや」（九の四）といっている。「神に似せて作られた」（創世紀一の二七）人間は当然、被造物に対する神の理性、意志――それをわれわれは掟とよんでいる――に適合させるべきである。故にこの理性の適合、意志の一致を弱め、破壊する罪はすべて秩序を破壊し平和を妨げる。

しかしこれとても神は霊にて在す故に、肉につつまれたわれわれにとって現実に生きることは難しい。これに対しヨハネは「はじめに御言あり、御言は神にありたりき……しかし御言はひとなりてわれらの中に住み給へり」（ヨハネ一の一と一四）と教えている。キリストは、神の理性、意志の表現、御言にて在す。キリストはわれわれが神の御旨に適うものとなるために、いかに生くべきかを自らの言、行ない、御自分の人間としての生活をもって教え給う神御自身である。「われは道なり真理なり、生命なり」と仰せられたキリストは、神の掟を与えるばかりでなく、掟そのものにて在すのである。だからこそ「彼によりて

柔和と謙遜による世界平和

〔布教の意向〕インドにおけるカトリックの社会的責任

〔日本布教委員会の意向〕日本の信者がキリストの神秘体である教会の一員として、その発展のために積極的に働く任務の自覚に至るように。

牧山喜代太郎さん

（福岡市糞鳥教会主任牧山藤房師厳父）一一月二九日逝去。葬儀は三〇日馬渡島教会で営まれた。

祈禱の使徒会（一二月）

〔一般の意向〕キリスト者の

貧しい人々にも楽しいクリスマスを！

ヴィンセンシオ・ア・パウロ会は、貧しい人々を訪問して物心両面からできるだけ援助して、かれらを慰めることを主目的として活動している会です。

クリスマスも近づいてまいりましたが、会員も一年のうちでこの期間にもっとも力を注いで、多くの貧しい人々に楽しいクリスマスを送っていただくように、仕事をつづけております。しかし会員はそのすべてが学生であり、会員の力だけではとうてい満足なことはできませんので、信者の皆様にもできるだけご協力をお願いいたしたいと思います。

お金、衣類、古新聞、雑誌、空びんなど、どんなものでも結構ですから、日曜日のミサの後なりお届け下さい。電話でお知らせ下されば会員が伺います。

右よろしくお願い申し上げます。

ヴィンセンシオ・ア・パウロ会
大名町教会（④三六八七）
箱崎教会（65三八六七）
久留米教会（七八八四）
大刀洗教会（四）
佐賀教会（四七五四）
手取教会（②三〇三〇）
明光学園（大牟田五一六〇）

永久聖体礼拝（一二月）

第一日曜 二日市教会
八代パウロ会
第二日曜 本渡教会
幼きイエズス会（久留米日吉町）
第三日曜 聖母扶助会（別府野口原）
唐津教会
第四日曜 聖小崎育児園
中津八幡前教会

一一月

三日（土） 聖フランシスコ・ザベリオ証聖者
インドと極東にキリストの福音をもたらしてくれた聖フランシスコに感謝をささげ、信仰に忠実なりんことを誓う。

福岡大神学校で叙階式

四日（日） 待降節第二の主日
旧約の義人らは救世主のご来臨をまちわびて心からの祈りを神に献げた。われわれも同じ熱意をもって主のお出でを祈願しよう。〝神よ、われらをかえりみ、われらを生かし給え。主よ御慈悲を示し、救いをわれらに与え給え〟（奉献文）。邦人司祭養成の日。

SVP福岡中央理事会総会（於大名町教会、司教臨席）

六日（火） 聖ニコラオ司教証聖者
教区司祭月例集会の日

七日（水） 聖アンブロジオ司教博士証聖者
聖者はいつでもどこでも神を探索する。〝神はいずれにも在すしかし神を愛する者にはさらに近くに在し、神に仕えるのを意るものには遠くに在す〟とアンブロジオは教える。

八日（木）聖マリア無原罪の御やどりの祝日
神の御子は御父のおんふところからマリアのご胎に下り給う。御子の新しいすみかは、聖霊によってしつらえられた。マリアの霊魂は三位一体の傑作である。

福音の光修道院で誓願式（後四時）

那珂町教会で堅信（後七時）

九日（金）学士会

一一日（日） 待降節第三の主日
洗者ヨハネは「あなたたちのなかに、あなたたちの知らない一人の人が立っている」と告げる。われわれはそれが来るべき救主であることを知っている。その主は近くに在す。この主を発見して、近づいてゆく者の心はよろこびにみたされるであろう

一三日（火） 聖女ルチア童貞殉教者

一四日（水） 四季の水曜日
マリアが天使のお告げをうけて、神の御母となるべく召され給うたこと、神の恩召しに謙遜に従い給うたことを黙想する。

一六日（金） 四季の金曜日、大斎
今日はマリアがエリザベトを訪問し給うたことを黙想する。謙遜なるマリアは神がご自分に対してなされた偉大なる業を認めて讃美の歌を献げる。

一七日（土） 四季の土曜日

若松教会移転改築祝賀式（司教臨席）

一八日（日） 待降節第四の主日
「人みな神の救いを見るであろう」主よ来り給え、遅れ給うなかれ。

若松教会祝別式

二一日（水） 使徒聖トマの祝日

二四日（土） ご降誕の大祝日の前日
キリストはわれらを救うために奴隷のすがたをもって来り給うわれわれもキリストの奴隷となりたい。

二五日（日）わが主イエズス・キリストのご降誕の大祝日
神の御子がわれわれと同じ人性をとって降り給い、われわれのうちのひとりとなり給うた。そして神のご来臨によってわれわれは神のものとなり、神の生命に与れるものとなったのである。神のへりくだりが、人間を神にまで高めたのである。

大名町教会の真夜中のミサは司教荘厳ミサ

二六日（月） 最初の殉教者聖ステファノ

二七日（火） 福音史家聖ヨハネの祝日

二八日（水） 罪なき聖嬰児ら殉教者

教皇公使 福岡 宮崎 初訪問

聖座とのつながりを固めて
天草殉教祭にも臨席

駐日ローマ教皇庁公使ドメニコ・エンリッチ大司教は、福岡、宮崎両教区公式訪問のため一一月一二日から一六日まで福岡、熊本、大分の三県を巡回、教皇の代理者として、各地の司祭、信者、県市当局者と懇談、カトリック施設を視察して、教区とローマ聖座とのつながりを一層緊密にして一六日、正午帰京した。

福岡から熊本へ

一一時半、板付空港につかれた公使は、まず阿部福岡市長を訪問ののち、福岡雙葉学園生徒の奉迎のなかを司教館に到着。小憩ののち三時四五分博多発のかいもん号で熊本に向かった。熊本駅頭には市内コロンバン会司祭、信者有志のほか県知事代理らが迎え、駅長室で石井市会議員が信者を代表して公使に挨拶、新聞記者とのインタビューが行なわれた。

天草殉教祭へ

一三日(日)は天草で毎年行なわれる殉教祭を司式なされるため、七時半手取教会を立ち三角港をへて本渡市に向かわれた。特別に廻航された船には福岡、熊本の各地からこの式典に参加する信者ら二〇〇名も乗りこんだが、美しい不知火の海を渡る間に全員でロザリオを誦え、公使からもお話しなされた。

本渡港桟橋には横山市長や富崎市商工観光課長らが出迎え、公使の御来島を全市民に知らせるため花火が打ちあげられた。教会境内のルルドの洞窟前には天草島の大江、崎津両教会、地元の信者らが整列、公使に花束を贈呈、市長が観迎の辞をのべ、公使はキリシタン時代からローマと深い関係のあった天草を訪れたことをよろこぶ旨のお言葉があった。

そのあと教会から式典の行なわれる城山公園の千人塚まで、市の中央を通って十字架を先頭に行列が行なわれ、大カッパを召された公使と深堀両司教の前後を参加信者が従った。大司教司式荘厳ミサにさき立ち、殉教者記念碑のうしろに日章旗と並んで教皇旗が掲揚された。ミサはダイモンド師助祭長、浦口、ベーカ両師名誉助祭、牧山、竹森両師が補祭として仕え熊本の幼きイエズス会志願者が聖歌を奉仕した。昨夜来の雨もあがって波しずかな海を見下す会場は来賓、信者、市民らで埋まり、天草島ではじめての大祭典が厳粛にとり行なわれた。ミサにつづいて予定の聖体行列に移ったが、公使自ら聖体を奉持、全市民が好奇と畏敬の目をもって眺めるなかを教会まで進んだ。聖典終了後公使は答礼のための市役所を訪問したが、市長から天草に古くから伝わる織物が贈られた。

なお、教皇公使御来島の前夜午後五時半よりルルドの洞窟前の野外ミサを雨のために中止して、主任司祭シーヒー師が教会で献げた。ミサ後幸い雨が止んだので市の目抜通を通って教会—千人塚の往復コースでローソク行列を行なった。市民の多くもローソクを手につみの星を歌って、聖母と殉教者に賛美を献げた。なお同夜のミサ、行列と翌日の公使ミサはRKKからテレビとラジオで放送された。

教区公式歓迎会

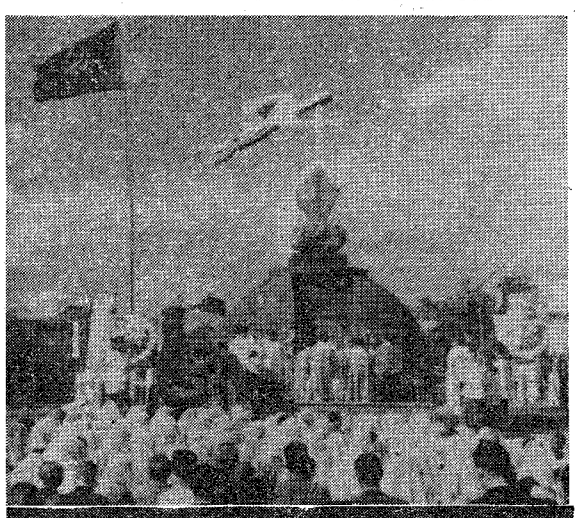
一四日(月)午前一〇時半より大名町司教座聖堂で行なわれた歓迎会では、司祭、修道者、神学生、信者らを前にして信仰について説教なされ、ついで聖歌隊が「ツーエス・ペートルス」を歌うなかで読誦ミサが献げられた。ミサ後、司祭館の前に集まった信者に挨拶。司教館で教区司祭らと中食を共にされたあと、修道女と福岡カトリック学生会のグループにそれぞれ訓話をなされ、三時福岡県庁に鵜崎県知事を訪問して敬意を表された。四時から福岡サンスルピンス大神学校を訪問、大神学生一同に霊的講話をなされた。

大分と小倉

翌一五日(火)は〝ゆのか号〟で大分県に向った。中津駅に一分停車中ドンボンスコ学園の生徒のブラスバンドが歓迎の意を表し、別府駅では海の星幼稚園、修道女らが盛んな歓迎をし大分駅にはサレジオ会会および宮崎のザベリオ会の司祭、県知事代理、上田大分、荒金別府両市長が出迎え、教会広場では折りしも七五三のお祝いできれいに着飾った子供たちから花束をおうけになった。聖体降福式のあとの昼食会ではチェッケッチ師が大分を、フォッケサト師が宮崎を代表して聖座に対する忠誠をひれきした。ここでも県市に答礼に赴かれ、三時一八分第一〝ひかり号〟で別府を出発。小倉春春口のカトリック教会では北九州地区の信者たちにお話しなされ、八幡のパリ・ミッション会本部で司祭たちと交歓された。

今村教会

福岡御滞在最後の日には、教区



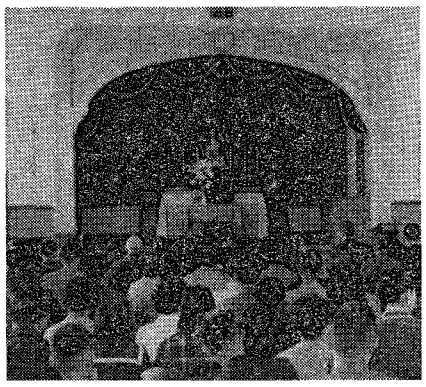
(上) 本渡千人塚での公使司式ミサ
(下) 天草殉教祭のローソク行列

(上) 大分教会で子供たちの歓迎をうける公使
(下) 道路にひざまづいて公使を迎える今村教会信者

福岡地区信徒使徒職大会

一一月三日、一〇時半より、泰星高等学校講堂において、昭和三五年度の福岡地区信徒使徒職大会が、深堀司教臨席のもとに、司祭信者約二〇〇名が参集して開かれた。

大会は青木会長の挨拶と、地区の各教会の布教概況について報告があり、能登原さんと桑原教授により、信徒として布教へいかにあるべきかについて。指導司祭平田勇師より、全信徒が布教へ熱意をもやしてあたるべきであるとの訓話があり、最後に司教が、布教のための霊的心がまえについて述べた。一同は布教への誓いを新たにしたあと、泰星高校附属聖堂で、司教司式のベネイデクションにあずかった(写真は使徒職大会で訓話中の深堀司教)



県知事から表彰

熊本信愛女学院校長木村リョウ童貞は、多年学校の経営と熊本県私学振興のために尽した功績を認められて、一一月二一日熊本県知事から表彰された。私学関係者の表彰は毎年文化の日に行なわれるのであるが、今年は国体開催のため延期されていた。

堅信のよろこび

〔大牟田教会〕一一月六日、三三名が受堅

〔古賀教会〕一一月二三日、午後五後より二五名が受堅

〔呼子教会〕一一月二〇日、三六名が受堅、なお呼子教会に属する松島教会でも一三名が受堅。

の代表的小教区ともいうべき大刀洗町の今村教会を御訪問。農繁期にもかかわらず小中学生を加えて数百名の信者が沿道にお迎えし糸永師作詩作曲の「教皇公使を迎える歌」の合唱には御満悦の様子であった。町長挨拶にこたえて教会内で、先祖の信仰に忠実であるように、特にこれからも召出しによろこんでこたえるようにとお諭しになった。

教区御訪問の全予定をとどこうりなくすまされた教皇公使は、正午板付から帰京された。

大牟田で聖体行列

大牟田教会(主任川口清師)では恒例の聖体行列を一一月六日午後一時半より挙行したが信者、幼稚園々児とその父兄、倉永の明光学園生徒ら約一、五〇〇名が深堀司教の奉持する聖体を中心に聖なる行列を行ない、天使幼稚園運動場の仮祭壇での降福式で終ったが、三池争議で喧騒にあけくれた大牟田市民の上にも、平和と愛の教訓をたれた。説教は福岡大神学校の平田三郎師。

北九州は中止

北九州地区合同聖体行列が主たるキリストの大祝日に新田原教会で行なわれる予定であったが、折りあしく朝からの雨のため中止。貸切バスで参加した信者たちは、深堀司教司式の聖時間にあずかった。

ガラシア夫人展など
熊本信愛の創立記念祭

熊本信愛女学院創立六〇周年記念祭は一一月二一日より六日間、新校舎落成祝典をかねて多彩なプログラムのもとに挙行されたが、第二日目には午前九時より職員、全校生徒、多数司祭、修道者来賓参加のもとに小雨をおして校庭で深堀司教司式の感謝と慰霊の荘厳ミサが献げられた。ついで講堂での式典には寺本県知事、坂口市長、横山県教育長ほか、カトリック学校代表者、県下の公私の高中小学校長二百数十名が出席して、創立者メール・ボルジア童貞の功績と本学院の確固たる伝統を賛えた。

また熊本在住の一篤志家の特別の厚意により細川ガラシヤ夫人の貴重な遺品の展示、生徒及び同窓生の作品展示会、バザー、自衛隊による祝賀演奏会、小中学校招待珠算競技会、保育連絡会などが盛に行なわれた。ちなみに新校舎にとりつけられた放送室は、学校にとりつけられた設備としては西日本随一を誇る立派なものである。

誓願と着衣式

新田原トラピスチヌ大修道院で一〇月三〇日深堀司教司式のもとに誓願式と着衣式が行なわれ。

終生誓願—ヨゼファー八代若子童貞(秋田市亀の町出身)

有期誓願—マリア永富邦子童貞(平戸市神崎町出身)

着衣—ドミニカ日證幸子童貞(福岡県粕屋郡粕屋町—吉塚教会所属)

デユノワイエ師帰任

昨年一〇月はじめ休暇のため帰国中であったデュノワイエ師(パリ外宣会)は、一一月一六日行橋教会に帰任した。

学生の黙想会のお知らせ

二月一一日(日)午前八時三〇分より福岡市小笹の聖パウロ修道院で男女学生のため、クリスマス準備の黙想会が行なわれる。多数ご参加下さい。

お願い

福岡市和田カトリック墓地を新しく購入予約なさった方はできるだけ早く料金をお納め下さるようお願いします。

一坪　二、五〇〇円

和田カトリック墓地管理者
大名町教会主任司祭

宗教書・宗教用品のお求めは
聖パウロ書院で
福岡市万町電停前
TEL ④四五八八

＝新刊＝
手引
実践倫理神学
前編・渡辺吉徳 編
人間の目的、法律、良心、聖ちょう、罪悪総論および対神徳についての詳細な手引きです。伝導士、教会委員など小教区の指導的役目をお持ちの方や普通公教要理の勉強以上に少し深く研究してみたいと望まれる方々には好適です。
B6判 186頁
¥170 〒20

キリスト教百科事典
ヘルデル出版社 諸事典 編集 援助
上智大学教授 小林珍雄責任編集
カトリックの神学、哲学、道徳、倫理、公会議、修道会、旧新約聖書、修徳、神秘神学、数千名の聖人伝、典礼、祝日、キリシタン、外国日本の定期刊行物、各種団体、学校、文化祭、地名、日本各教区、異端、他宗教、著作等を総合的に最新資料と駆使して解説し、これに年表一覧表、統計、豊富なさしえを配し読むと同時に見る事典とした。
定価一・六五〇円　四六縦二段組四六判
九六六頁さしえ六五四個
発行所ヘルデル代理店 エンデルレ書店

青年男女にも
父母と先生にも
必読をおすすめする
小出神父様の
『男性と女性』二〇円
『青年期の課題』三〇円
『恩春期の心理』四〇円
送料(三冊で)一〇円
紙幣同封、通常封書で御注文下さい。
広島市石見屋町四〇の丙
テレサ出版部

『神なんじを召し給う』③
アブラハムの真の子
C・ジャロー

われらがアブラハムの子であるためには、かれのような信仰をもち、かれのように心を開かねばならない。かれとの血のつながりだけでは何の役に立とう。ユダヤ人は太祖の裔であることに誇りを抱いており、全希望をそれに托していたが、アブラハムの使命の基礎そのものである宮教的、普遍的思想には共鳴しようとしなかった。血のつながりに対する自負の故に、かえって傲慢で非協調的な孤立に陥ってしまった。その上アブラハムの裔であり全国民の待望の的であった救主を認めることさえできなくなったのである。

ヨハネ福音書にはユデヤ人とイエズスとの激しい論争が記されている。かれらが〝われらの父はアブラハムである〟と言うのに答えて、イエズスは〝もしお前たちがアブラハムの子ならばアブラハムの業をなせ〟と反駁し給う。太祖の裔であっても神のお目には何の価値もない。洗者ヨハネもかれらの自慢をからかって言う〝心のなかで、われらの父はアブラハムだと言おうとするな、私はお前たちに言っておくが、神はここにあるこれらの石からアブラハムの子らをつくることもおできになるのだ〟聖パウロは〝アブラハムの真の子はかれのような信仰をもつものであり、信仰によってこそ約束された遺産を手に入れることができるのである〟と述べている（ローマ四の13―16参照）

太祖の信仰が、全人類の祝福の約束を対象としており、またそれが万人救済という神のご計画に協力することであったと考えるならば、万人に対する普遍的愛を自分のものとしないでは、どうしてわれらはアブラハムの信仰上の子となることができるであろうか。

信仰によるこの承諾からイスラエルの民族が生れたのであり、この〝成れかし〟に、後日アブラハムの裔であり救主の母である聖マリアの〝成れかし〟がつながっているのである。同様に普遍的宮教に向ってのアブラハムの出立に、カトリック教会の宮教活動、万人に対する福音の伝達がつながっているのである。

教会に加わろうとする求道者の歩みは、太祖の出立にみならうものであり、神がかれにおいて万人に呼びかけ給うたその招きに対する応答なのである。

アブラハムの生涯に含まれた教訓とは、神が愛に在すこと、われらにその愛を伝えることだけを望み給っているということである。自分自身を全面的に神に托せること、これが信仰の基本的態度であるのである。それはまた正統な愛の表現であるのである。

× × × ×

神はわれらの父である ⑤
洗礼の秘跡

洗礼とは神の子となりキリストの教会に受けられるための秘跡です。父なる神が与え給う超自然的生命によって霊的に誕生することであります。洗礼によって私共はイエズスに結ばれ、イエズスを通じて父なる神に結ばれます。イエズスは天にお帰りになるときに、人々をご自分に結びつける方法を教会にお残しになったのです。これが洗礼の秘跡であります。

洗礼の儀式

現代では洗礼の式には長い時間を要しません、悪ま抜いや十字架の記しが数回繰返えされ、使徒信経や主祷文を誦え、額に水をそそがれ、白衣とローソクを頂くなどで子供の場合には十五分位のものです、然しこれらの一つ一つの意味をよく解るには、昔行なわれていた式のやり方までさか上って見る必要があります。

昔は年一回復活祭に洗礼が授けられました。洗礼志願者は四旬節中に三、四回教会に出頭し、その度毎に悪ま抜いを受けたり、教理の試験があったりして、最後に主のご復活の日に洗礼の水をそそがれ、すぐに堅信の秘跡をうけ、白衣を身にまとって初の聖体拝領をしたものであります。

神の子となる式

子供のときに受洗したひとは洗礼のもつ深い意味を充分に評価しないきらいがあります。この秘跡の効果は実に偉大なものであって、これについて度々黙想することは大切です。私共が神の愛子とされたことに信仰生活全体がかかっているのですから。そもそもキリストが世に降り給うたのは、私共を父なる神に導くためです。

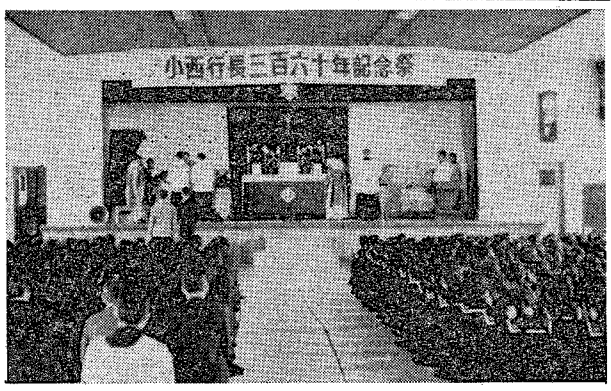
そのご死去ご復活の功徳によってみなキリストに結ばれ、一つのものになって神のみまえに現われることができるようになったのです。この功徳を各人が蒙る方法が洗礼の秘跡です、これによって私共も神の愛子のひとりに加えられ、キリストと一致することができるのであります。

洗礼をうけた者は、祈りが必ずきき入れられるという信頼、すべての行ないが御父の御旨にかなうという確信をもって恐れなしに全き希望をもって、神と交わることができます。

イエズスのように御父の光栄と賛美となるような生活をし、神の子として御父のために生きることができるための第一歩、これが洗礼であります。

教会の子となる式

私共は洗礼によって神の子となると同時に教会の子となります。すでに教会に属している人々との間に霊的血縁が生じ、キリストが教会に譲り給うたすべての霊的宝に与ることが許されます。教会に属しているということが、キリストと父なる神に結ばれているということの見える保証です、母なる教会から離れる者は、父なる神、救主なるキリストから離れてゆく者であります。



小西行長公をしのぶ
宇土で三六〇周年祭

天正一六年から慶長五年（一五八八―一六〇〇）まで肥後の国宇土の領主であったキリシタン大名オウガスチノ小西行長の殁後三六〇周年記念式が、一月五日（土）午前一〇時半より熊本県宇土市の宇土小学校講堂で挙行された。式は午前が司教荘厳ミサ、午後が講演会に分れ、深堀司教の献げるミサには、ダイモンド、金松、山川の各師が奉仕し、熊本信愛女学院と八代白百合学園の生徒約二八〇名、地元の演武が披露されて、多彩な記念行事をとじた。

講演会は宇土市教育委員会主催で進められ、まず深堀司教が「小西行長と力トリック教」宇土高校長池田勝氏が「小西行長と宇土」郷土史家下田一喜氏が「キリシタン史上における小西行長」と題してそれぞれ講演を行った。有力者らが参列して、先人の遺徳をしのんだ。

落葉に想う
A女

「あら、またこんなに沢山木の葉が散ってるわ……」

まつばかきを手にし、掃いても掃いても空から舞い落ちる木の葉をかき集めながらふと考えさせられる。すぎし夏の頃、緑の葉を繁らせて日陰をつくってくれたこの木はなくてはならない存在だった……。

かつては一家の重要なポストであったのに、年老いて今では落葉の如き存在のおばさんのお話。

嫁から叱言をいわれ寂しくつらく思っていましたら幼稚園に行ってる孫が、やすむ前に小さな手を合わせてしきりと祈っていました

「何してるね」

「おばあちゃんがかわいそうだから、私ね、マリア様におばあちゃんをいじめないで下さい、とお願いしてるのよ」というのを聞いて泣かされました。まだ何も分らないと思ってたい孫がもうこんなに成長しているのかと驚きましたと

お友達が病気をしても早くよくなり、皆と一緒に遊べるようマリア様にお祈りしましょう……など話し合っているうちに、風が吹いても、

〝マリア様が守っていて下さるから大丈夫〟勝負をするにも〝マリア様にお祈りして〟といっている子供ら、大きくなってもマリア様になって心のやさしい情け深い、あわれみ深い愛の持主になってくれたらと思う。

防波堤

何年前でしたでしょうか、アメリカのアイクさんが突然心臓病で倒れられたことがありました。その時手紙をかいて、「今の世界では、東西の勢力のバランスが破れることが一番危険です。目前のバランスを保つためには、アイクさんの健康な心身が必要とされます。それ故人間以上の御力によりすがって、真の健康を回復して下さい。遥かに御祈りして居ります。」ということを申し送ったことがありました。折り返して賀同と感謝の返事が来ましたが、アイクさんは果して人間以上の御力によりすがられたのでしょうか。

それから何年か後の今十一月十日、大統領の選挙が行なわれて、若々しいケネディーさんが次期の大統領に選ばれました。

カトリック信者のケネディーさんが選ばれたことについて、私共信者には何か意味があるようで本当に心強さを覚えます。天主様は、ケネディーさんに何をお望みでしょうか。最も重い責任を背負う大統領に私共信者は世界平和のために心からの祈りと声援を送り度いと思います。私は信者が政治にかかわることなんかと、政治を度外視していた頃もございましたが、聖国の政治家はわれわれ信者でありまた、聖国の兵隊もわれわれ信者であるとするならば、ウカウカ見ごすわけには行かないと思うようになりました。

世界平和を維持するためには固い団結によって国境を越えて聖国の繁栄のためにあらゆる努力をしなくてはならないと、心ゆすられるものがございます。

自分のまわりに何事もなければそれでよいという時代でなくなりました。チリーの津波が日本の海岸に押しよせたように、どこの嵐も波及して来る世の中でございます。目に見える防波堤は打ちくだかれることはあっても、われわれ信者が目に見えない防波堤をきづくならば一歩一歩聖国の形成に近づくことが出来るのではないでよしうか。ロザリオの鎖でつなぐ目に見えない防波堤、世界中にこの防波堤を築く時本当の平和がきづき上げられることを信じて力づよくロザリオの祈りを唱えつづけ度い物でございます。

め で度し聖籠みちみてるマリア

一九六〇・一一・一〇

俳句

絵皿描く陶匠秋の日射し受け　風声

鵙猛る陶房の女せかれをり

人形展観て秋天の街に出づ

球根の売場はしづか売子親切　牧泉

花の色子等にまかせて球根買う

福岡地区教会学校
ソフトボール大会

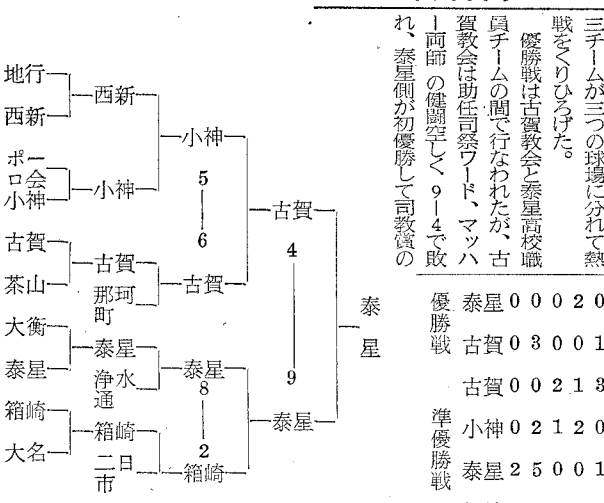
一一月三日文化の日一二時半信徒使徒職大会について泰星高等学校々庭で福岡地区の教会、学校のソフトボール大会が行なわれた。

深堀司教の始球式後福岡教区小神、聖パウロ会小神も参加して一三チームが三つの球場に分れて熱戦をくりひろげた。

優勝戦は古賀教会と泰星高校職員チームの間で行なわれたが、古賀教会は助任司祭ワード、マッハー両師の健闘空しく9―4で敗れ、泰星側が初優勝して司教賞のトロフィーを獲得した【写真は優勝した泰星チーム】

試合経過は次の通り

優勝戦	泰星	0	0	0	2	0	7	9
	古賀	0	3	0	0	1	0	0	4
準優勝戦	古賀	0	0	2	1	3	6
	小神	0	2	1	2	0	5
	泰星	2	5	0	0	1	8
	箱崎	0	0	1	1	0	2



聖心の使徒（昭和35年12月号）

表紙　クリスマスの天使
十二月の意向　平和――この得がたい賜物……千寿　利久
インド社会問題（十二月の布教の意向）……粕谷　源蔵
黙想　心の細道……宇佐美公史
最上の賜物（七）さらにすばらしく更生されて……K・ティルマン
ベトレヘムをたずねて……H・チースリク
写真特集　われらベトレヘムへ行かん
クリスマスには―三つのミサ……C・ハウエル
十二月の聖人　最後の旅……A・ガーベレ
荒野の師父らのことば……須賀敦子訳
海の彼方よりアルプスの村に生きる信仰……安斎　伸
聖書の時間　神のかたどり（下）……H・チースリク
自然の驚異（一）H・ムシャレク
チベットへの道（五）……W・ハイスィヒ
新本めぐり……
ポスト……

日本祈禱の使徒会発行
購読会員費（一カ月　三十円　〒五円　一カ年　三百円　〒五十円）
東京都千代田区紀尾井七

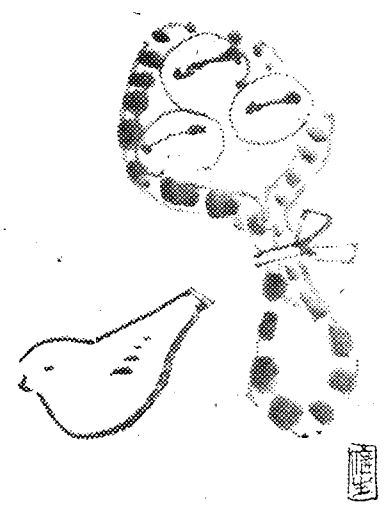
祝　御降誕　医療法人雪の聖母会経営

井手医院
院長　井手速見
診療科目　内科　放射線科　小児科
久留米市日吉町十六番地
電話　二一七五番

聖マリア病院
院長　井手一郎
副院長　佐藤謙治
外科医長　津留水城
診療科目　外科　内科　小児科　放射線科　精神科　神経科　歯科
健康保険、国民健康保険、生活保護法
労災保険、未熟児養育施設　指定病院
久留米市津福本町西鉄試験場駅前
電話　五八〇〇・八〇〇〇番

メダイと御摂理

二宮邦彦



私達は毎日一時間、全員が二チームに分れて、運動のために野球をやっている。（時間の関係で試合はせいぜい六、七回止りであるが、この時ばかりは互に何もかも忘れて、熱戦を展開する。真剣そのものである）

十一月四日、私のチームは七対六で勝った。私は四打数二安打、出塁率六割打点三を記録し、相手チームのエースを降板させた。試合を終って、気をよくした私は、普通なら皆の先頭に並び、意気揚々と引揚げて来るところである。

ところが、この日に限って私はチームの最後尾について歩いた。別に理由があったわけではない。だた黙って歩いていた。

運動場を出て織布工場のの横を通り過ぎ、温室の前の通路にさしかかった時である。一瞬私は自分の足もとに何かがきらりと輝いたのを感じた。私ははっとして立ち停り、足もとに眼をやった。そこには敷きつめられた砂とその上に立てられた箒の目、そして靴跡以外の何ものも見当らなかった。

ガラスの破片か何かだったのだろう。

そう思いながら、しかし私は確かにこの眼に感じたのである。白く光り輝いたものを。

私は左脇にグラブを抱えたまま腰をかがめた。思い切って右手で砂の中をまさぐってみた。指先に鈍い銀色をした糸のように細い鎖がひっかかったのは、瞬間のことであった。拾いあげてみると、それは聖母のメダイであった。落し主は直ぐにわかった。O君である。「Nさん、何か拾いましたね」「さては、昔やっていましたね」野球用具を抱えて帰る雑役夫達である。

部屋に帰った私はO君を呼び、掌にのせたメダイをO君に見せてやった。O君は一瞬驚いた様子であったが、直ぐに「どこにあった？」と眼を光らせた。彼の話によると、失くしたことに気づいたのは二日前で、心当りは限なく捜したが、どうしても発見出来なかった由である。私は拾ったありのままを話した。O君は頭を捻って不思議がっていた。私は云った。「神様が私に拾わせられたんだよ」と。その日に限って私はチームの最後尾を歩いた。しかもメダイはかなり古いものである。いくら観察しても、私が感じたような光を発したり、反射したりするとは思えない。私が拾った時は砂の中に隠れていたのである。そこは毎日何十、いや何百の人達が通る通路であり、朝晩必ず丁寧に掃除されるところである。それをその日、何人かの最後尾を行った私だけが拾いあげたのだ。

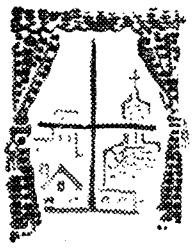
私はもう一度云った。「絶対、眼に見えない神様の御摂理に違いない」するとO君は瞳を潤ませて云った。「有難う。僕は嬉しいよ」

その喜葉が一年前まではあれほど頑なに神様の存在を否定し続けていた君の口から出たということが嬉しいよ」と。

そうだ、自分が今日この冷厳な試錬の中から尚神様を仰ぎながら喜びと平安を得て、感謝の日々を過すことが出来るのは、実にこのO君の導きによるものである。私は自分より遥かに年下のこのO君の人柄にひかれ、その敬虔な信仰態度に打たれて、今春入信したのであった。O君よ、有難う！

カトリック結婚講座

結婚の聖式 -㉒



本講座のむすびとして信者同志の結婚の聖式を説明しましょう。これは秘跡とミサに分かれます。

結婚の秘跡

❶当事者二人は聖体拝領台の近くに並んで席をとり、そのうしろに証人ふたりがつきます。キリスト司祭は勧告を与えます。キリストのみ名において結婚が世のはじめから神に祝せられたものであり、秘跡の品位にあげられたものであることを述べて、この結びの崇高性を説きます。これは司祭叙階式で司教が被叙品者に叙階の秘跡の偉大さと聖職の重大さについて与える荘厳な勧告に通じるものであります。結婚に伴う聖なる義務、愛と忠実、相互扶助、同心同体、子供の養育などのつとめをもう一度ふたりに思い出させるのです。

❷このあと結婚契約のとり交わしがなされます。司祭は日本語で新郎に向い「某さん、尊き母なる教会の儀式に従って、ここにおられる某さんをあなたの妻といたしますか」と尋ねます。新郎は「いたします」とはっきり答えます。同じように新婦に向い「某さんをあなたの夫といたしますか」と尋ね、上と同じ答が表明されます。

次に二人は右手を合わせ、司祭のあとにつけていいます「わたくしたちは、ただ今より配偶者となり、順境においても、逆境においても豊かなときも、病気の際も健康の際も、終生変ることのない忠実を誓います」司際はそれにつづいてラテン語で「われ父と子と聖霊のみ名によりて汝らの結婚を結ぶ」と加えます。以上が結婚の本質です。

❸それから新婦の指環が祝別されます。新郎はそれを受けて新婦の薬指にはめてあげながら「わたくしの忠実の印として、この指環を受けて下さい」といいます。薬指にはめるのは、昔の人がこの指と心臓とが〝愛の血管〟によって直結していると考えていたからです。このあと二人のための祝福の祈りがあって、ミサが始まります

結婚のミサ

このミサの教訓の部分は、非常に含蓄のある教えに満ちています聖パウロの書簡は、この秘跡の偉大さを教会とキリストとのつながりによって説明し（エフェゾ書五の22－33）、福音においては、離婚の禁止についての主の教えがよまれます。

ミサ中二度にわたって「結婚の祝福」というものが与えられます。これはミサなしに行なわれる結婚式や、司教の特別の許可がない限り待降節と四旬節中にはずけられません。また新婦が再婚場合で前に一度これを受けたことのある者には与えられません。

この祝福はミサ中の主祷文のあと、信者への掩祝の直前になされます。これは特に新婦にあてられたものであって、信者たる妻、母としての諸徳の実践を勧め、そのための天的助力を願うものです祝福には次の言葉が含まれています。「願わくは婚姻により夫に結ばるるにあたりて、主の御保護を願う主のこの婢を御いつくしみもて顧み給え……。かの女が信仰とおきてとに堅くとどまり、夫に忠実にして、悪しき父を避け、規律の力もておのが弱さを支えんことを……。多くの子供に恵まれ、試練に耐えんことを」。

（完）

ある朝の祈り

「キショー！」「起床ッ！」温い布団の中で、エビ寝の私の耳はかすかに号令を聞いた。風に冷たさが加わり山野の緑葉が紅く染まり始める頃ともなると朝の世界に起き辛さがやってくる。

その起き辛さが、この朝の私を支配した。鼓膜を震はせた号令が、冷たい氷の塊のように背筋に感じられ……私の体は、下手なパン職人が慌て作った、サンドウィッチの挾身のように、布団の中で縮んでしまった。そして、このような時にはよく仮睡夢に陥入るものらしく、吸いこまれるように、夢の中にのめりこんでいった。

「兄チャン、早よう起きんと会社に遅れるよ、もう七時よ……」しきりに妹が呼び起している。その声を右の耳から左に流しながら私は布団の中で、モゾモゾと計算を始め出した。

「七時か、するとまだ四十分は間がある。洗面、朝食で十五分、会社まで二十五分……ちょうどいい時間だ、どれ起きるとしようかだが、待てよ？朝食を摂らねば十分間、一寸辛いが駈ければ会社まで十分間、共に節約？が出来る。だとすると、あと二十分間は床の中に居てもよい訳だ。エイッ！朝食は犠牲ダッ」という計算である妹の声はボーッとして聞えないのに、こんな計算は誠にスムーズに出来るから、全く妙である。

さて、夢というものは、往々にしてその頂点で破れがちで、この夢もやっと計算が済んで、ヤレ二十分間の愉しみ……というところで破れてしまった。隣房まで来ている点呼に、私は、はじかれた豆よろしく布団からとび出て、無事？に点呼を済ませた。

窓を開くと、冷やかだが、しかも清々しい風が流れこんで来た。狭い格子窓を、ぬるんだ空気と清々しい外気が、往き交うのが見える程に、外気に味を感じた。深呼吸を二度程やっぎばやにすると、唯一つだけ識っている聖歌（あまつみはは）が、その場に存在を欠き得ないもののように、しかし極く自然に、心の中からくちびるにわき上がってきた。

〈アマツミハハー、セーイマリア……〉

幸福が静かに私を包んできた……と、意識したところで、私は頭を「ガン！」とたたかれた。即ち――

〈自己を愛するが為、又僅か十分間の瞬時的恩恵に与る為には、朝食さえも犠牲？にする。そして更に、十分間の刹那的幸の為には汗することをも厭はぬ。そうした私でありながら、天主様に対する私の意高はどうであろうか〉という鉄槌を頭に受けたのである。

天主様をお愛し申上げる為の、犠牲の如何に少ないことか！永遠的恩恵に与っていながら、聖徳めざして駈けゆく心の、何と弱々しいことか！

静かに聖心の内に導かれながらひざまずき、私は朝の祈りに心を潜めた。

卓下の小犬

おねがい

「カトリック」を毎月ご愛読下さいましてありがとうございます。編集部としましては人手不足ながら、少しでも皆さまのお役にたつ新聞をお送りしたいと、小さな頭をしぼって努力しております。広く皆さまからの御批評、御希望をお寄せ下されば幸いと存じます。御協力をひとえにお願いいたします。

カトリック編集部

短歌

二　丈

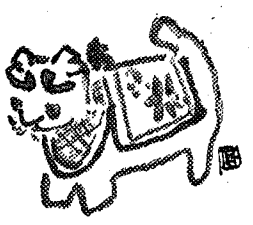
二十年前の諷刺の映画見つめおり心から笑う人にまじりて

雲もれ日照り込むところ青色の緑に変えて海は透りぬ

見上げれば空の青さはかなたなり　子ら点々と稜線にあり

生徒らの白のブラウス光かえし　並び行きては海をはなれぬ

ふっく



がいど

ドン・マルミオン著「修道者の理想なるキリスト」この霊的生活の宝庫とも称すべき書物の全貌を紹介するなどということは、限られた能力と紙面とでは到底できることではない。

今、この中の「従順の宝」の項だけでもとり出して共に考察してみたい。従順は、ただ修道者の立てる願たるのみならず、それは又平信者に必要な徳でもある。われわれは神とその御旨に従順でなければならない。従順の対象となるものには天主の十誡、聖会の掟、自然法等がある。平信者は願を立てているわけではないから、院長に従順である要はないが、キリストの代理者たる聖職者には従順でなければならぬ。「汝らに聴く者はわれに聴くなり」神がその代理者としてたて給うた権威者に忠実に従うことができるようになれば、心は大きくひろくなり、神愛のいい尽しがたい歓びにあふれて、神の掟を守ることができるようになるであろう。

「主よ、おんみはわれらの頭上に人間を立てたるなり」との詩篇の一語を深くかみしめねばならぬ。自分よりもすぐれた人に従うことは容易である。しかしその反対のように思われる時には大きな困難を伴う。必要なのは信仰の精神である。自分よりすぐれた人、自分の好きな人意見を同じくする人に従うのはあたりまえのことであって、とりたてて従順の徳というべきものでもないであろう。人が人に従うことは、考え方によっては奴隷的な、屈辱的なこととさえ感ぜられるかもしれない。憎むべきものは我意である、一切を捨てても我意を残していては無益であろう。ただ神を愛し、神に従いたいためにこそ、我意をすてて、神の立て給うた権威者に従うのである。真に神に従い神に仕えることによって、被造物の奴隷たることより免れ、奴隷的であるどころか、万有に王たりうるのである。

長上の命令が道理にかなっているから従うのではない。動機はそこにあるのではなくて、神の代理者であるが故に、たとえどんなに無能な、ひどい欠点をもった人であろうとも、あえて従うのである。しかし自分の意見が正しいと思う場合には、それを開陳することができる。それでも長上が意見をかえないならば、その命令に従うことは、神の光栄と自分の霊魂のために非常に有益であるとの深い確信をもって、天主を愛する一念よりなすのである。その際でも、自分の意見はあくまで自分の意見として有していて差支えないただ心に不平をいだきながら、外面的には型どおりに命ぜられたことを成就するだけでは、先に述べた確信がないので、それはよみせられないであろう。神はそれをなす心を見給うからである。

「アダムの不従順によって閉ざされた天国の門を、再び開く鍵はただ一つ――従順の鍵のみである」と神は聖女カタリナに仰せられた。「されば兄弟たちよ、神に到るの道は、この従順の道だけであることを、心に銘じて確信せられよ」と聖ベネディクトはその戒律の中で述べるのである。

（四八〇円、ドンボスコ）

（M）

神を楽しむ

古い歴史・新しい内容

コンサイス英和辞典（改訂版）　四〇〇円
コンサイス和英辞典（改訂版）　五五〇円
コンサイス英英辞典　三八〇円
デイリーコンサイス英和辞典　五五〇円
新クラウン英和辞典　四四〇円
ジェム英和・和英辞典　四八〇円
最新明解英和辞典　八五〇円
初級クラウン英和辞典　三〇〇円
初級コンサイス英和辞典　五〇〇円
初級コンサイス和英辞典　一五〇円
三省堂　独和新辞典　五三〇円
コンサイス独和辞典　四三〇円
コンサイス仏和辞典　五〇〇円
コンサイス露和辞典　六〇〇円
日西辞典　二、〇〇〇円
商業英語活用辞典（増補版）　六五〇円
新英文法辞典　一、三〇〇円

辞書は三省堂

辞海　縮刷版　一、〇〇〇円
新版広辞林　背革特装版　二、〇〇〇円
明解古語辞典（改訂版）　一、二〇〇円
明解国語辞典　四五〇円
新修国語小辞典　三八〇円
音訓両引き国漢辞典　一五〇円
三省堂小学国語辞典　三五〇円
大明解漢和辞典　二八〇円
明解漢和辞典　七〇〇円
三省堂大六法全書　三五〇円
模範六法全書　一、一〇〇円
明解六法　三七〇円
学習百科事典　一五〇円
明解日本語アクセント辞典　八〇〇円　五〇〇円

三省堂　福岡出張所
福岡市向田町九ノ三
本社　東京都千代田区神保町